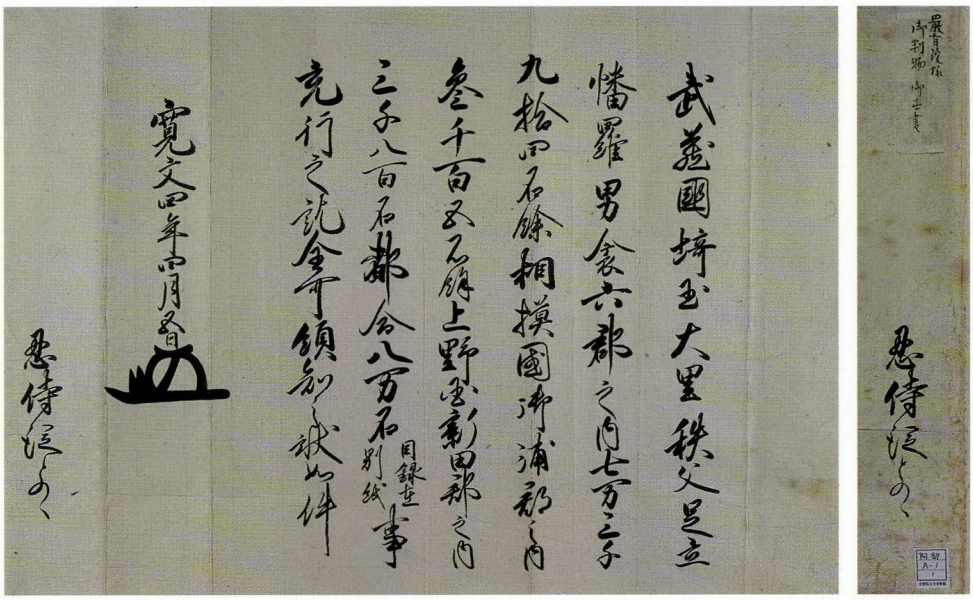
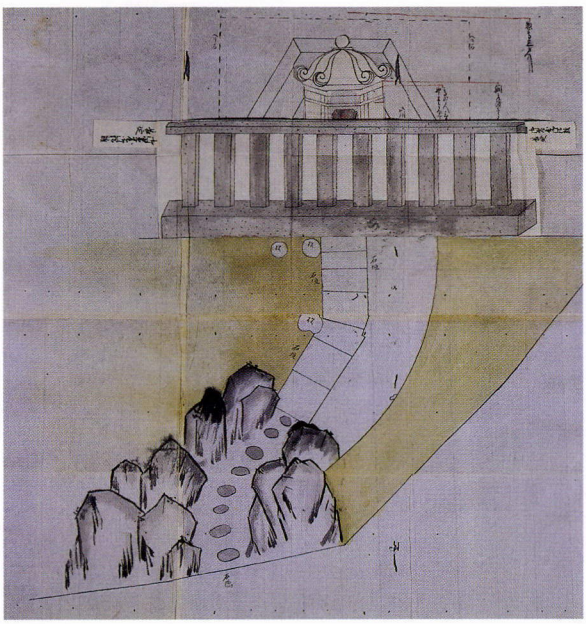
学習院大学史料館収蔵資料目録　第17号

陸奥国棚倉藩主・華族 阿部家資料

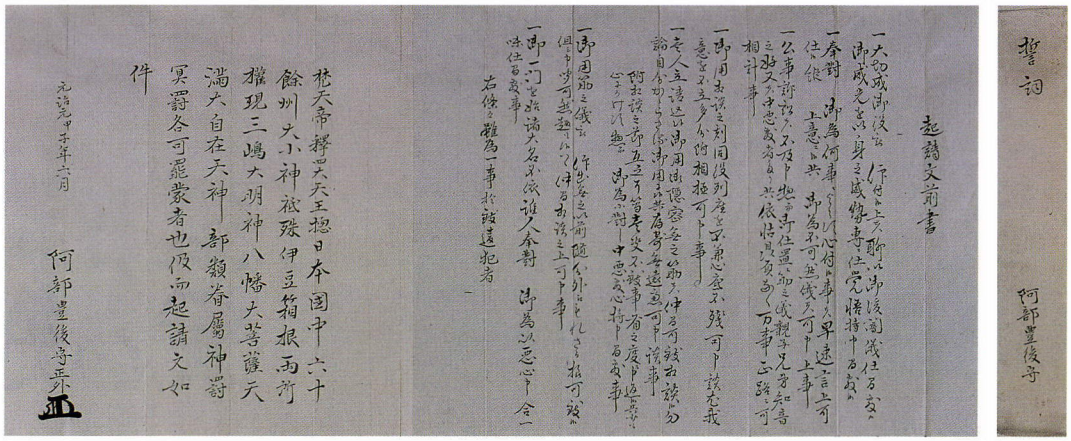
学習院大学史料館



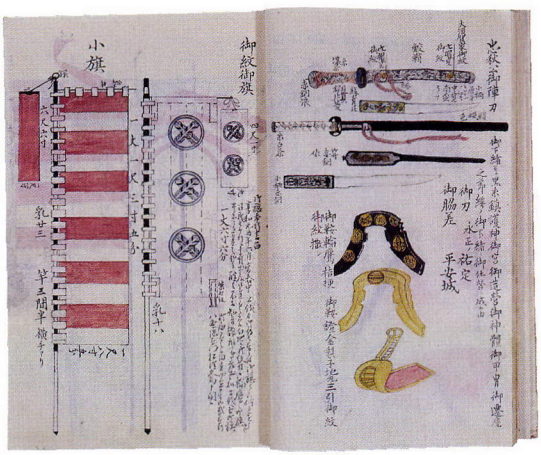
徳川家綱領知判物　寛文４年(1664)４月５日　１通・包紙共(資料番号１－１)

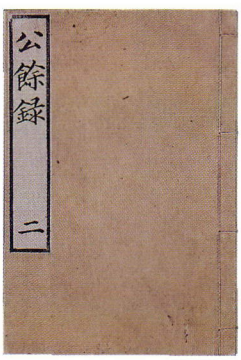


日光空煙(阿部忠秋)様御廟絵図　１鋪・袋共(資料番号49－１)



老中就任誓詞　元治元年(1864) 6 月　1 通・包紙共(資料番号749)





公余録　巻 1・巻 2　川澄次是編(資料番号896・897)

目　次

陸奥国棚倉藩主・華族　阿部家資料目録　解題 …… 5
凡　例 …… 23
目　録
A　大　名 …… 26
1．家 …… 26
1－1　領知判物・朱印・目録など
1－2　位記・宣旨・口宣案
1－3　大名誓詞・家格など
1－4　藩主条目
1－5　家譜・家伝
1－6　内室続書・両敬
1－7　法号留・菩提寺由緒書・霊廟図
1－8　伝授書・免許状
1－9　落款押印集
1－10　和歌・漢詩・俳句
1－11　同姓阿部家
2．藩　庁 …… 70
2－1　分限帳
2－2　備立書
2－3　忍領・同飛地
2－4　白河領・同飛地
2－5　幕府役人
2－6　海防図など－白河領・同飛地－
2－7　棚倉領
2－8　江戸屋敷図・御用部屋日記
B　書籍・絵図類 …… 104
1．書　籍 …… 104
1－1　成寿院写本
1－2　写本
1－3　板本

2．絵図類 …… 122
2－1　写本
2－2　板本
3．扇面ほか …… 130
C　知藩事 …… 132
D　華　族 …… 136
1．家 …… 136
1－1　婚礼・誕生祝ほか
1－2　法事・菩提寺
2．家記・旧藩史編纂 …… 148
2－1　明治家譜
2－2　公余録・公余附録ほか
2－3　旧藩事蹟考草按・温古録
2－4　16代阿部正外履歴取調
2－5　編纂資料など
3．華族社会 …… 168
3－1　華族会館
3－2　宗族
3－3　貴族院
3－4　学習院
3－5　第十五国立銀行・日本鉄道
3－6　寄付・救恤
4．家　政 …… 178
4－1　家憲など
4－2　家扶日記・書類綴
4－3　会計方出納簿など
4－4　領収証書
4－5　書状・覚書
4－6　不動産経営－麻布霞町－
4－7　事業投資－米市場－
4－8　棚倉
E　阿部正功 …… 256
1．正功著作物 …… 256
1－1　日記・手帳
1－2　調査旅行記など
1－3　図・スケッチなど

2．書状・葉書・名刺 …… 302
3．収集文献 …… 314
3－1　目録
3－2　書籍類の写し・抜書
3－3　雑誌・新聞の抜書
3－4　地図
3－5　書籍・雑誌
3－6　写真・絵葉書
4．正功没後の動向 …… 376
F　拓　本 …… 378
G　包紙・封筒など …… 382
H　モノ資料 …… 384
I　他家資料 …… 388

付　表

付表1　阿部家歴代一覧 …… 392
付表2　阿部家系図 …… 394
付表3　阿部家領地国郡別村数・石高 …… 396

陸奥国棚倉藩主・華族　阿部家資料目録　解題

本目録『学習院大学史料館収蔵資料目録』第17号には、江戸時代の譜代大名で、明治時代に入って華族となった阿部家資料を収めた。

本資料群の名称はこれまで「奥州棚倉藩主阿部家文書」とされてきた。だが第一に、本資料群は大名家であるとともに、華族であった阿部家で生成・保存されてきた資料である。第二に、ガラス乾板・箱などの紙媒体以外の資料を含む。これらから、資料群名を「陸奥国棚倉藩主・華族　阿部家資料」と改称することにした。

1．資料群の概要

資料群番号：　1

資料群名称：　陸奥国棚倉藩主・華族　阿部家資料

年代の上限～下限：　1585年（天正13）～1959年（昭和34）

数　　量：　4706点。うち箱41個、ガラス乾板３枚、金具１点、バッチ１個

出　　所：　阿部家

役　職　等：　大名・華族／子爵

2．伝来の経緯

本資料群は、阿部家の東京都港区麻布邸内に保管されていた資料である。昭和43年（1968）９月、原蔵者の阿部正友氏（故人）が居を東京都渋谷区広尾に移されるにあたり、旧宅にあった資料の一部が本学に寄託された。受け入れ部署は、同39年に開設されていた文学部史学科史料室（以下、史料室と略記）であった。同50年、史料室は改組されて、大学付置機関となり、名称を学習院大学史料館とした。これにともない本資料群は史料室から当館へ移管された。

3．これまでの整理状況

（1）第一次整理

先に記したように、本資料群が本学に寄託されたのは昭和43年９月のことである。受け入れは史料室で行った。当時、史料室に専任の職員がいなかったため、整理は学習院大学史学会内の「近世史研究会」が行った。学習院大学史学会は、主として史学科の教員と卒業生・在学生で構成される学会である。

この第一次整理の成果は、学習院大学史学会の会誌『学習院史学』第６号（1969年度発行）に「陸奥国棚倉藩主阿部家文書目録」として公表された。目録執筆者は小沢文子・松尾涼・山口（篠沢）治子・善積（松尾）美恵子の各氏である。

同目録の凡例には、主として明治４年（1871）の廃藩置県までとするが、成立が明治５年以降で

あっても、内容が近世に及ぶ場合は収録したとある。収載資料の総件数は916件で、整理方法はいわゆる主題別分類で、大項目16項目を立ててこれに適宜、中項目を加えている。大項目・中項目のなかは年代順に配列してある。資料番号は通し番号１～353を付与してある。

（２）第二次整理

第二次整理は、昭和48年に結成された「阿部家文書研究会」のメンバーによって行われた。「阿部家文書研究会」は、当時、学習院大学文学部史学科教授であった児玉幸多氏の指導のもとで活動した。活動の成果の一部に昭和49年度・昭和50年度に文部省科学研究費補助金の交付をうけて公刊した『阿部家史料集１・２　公余録（上）・（下）』（吉川弘文館、1975・1976年）がある。

『阿部家史料集１・２』は、翻刻部分と付録部分とに分かれる。翻刻部には、本資料群中にある「公余録」全８巻、および「公余附録」第１巻を収載する。付録部分は「阿部家系図」「藩主表」「阿部家関係法号一覧」、そして「阿部家文書目録」からなる。

この『阿部家史料集２』掲載の「阿部家文書目録」と、先の『学習院史学』掲載の目録とを比べると、表「『阿部家史料集２』掲載の目録での追加資料」に示す38の資料が、新たに加えられたことがわかる。

表　『阿部家史料集２』掲載の目録での追加資料

資料番号	資　料　名	資料番号	資　料　名
36　(19)	領知判物・郷村帳差出覚	132　(164)	御法号留
37　(20)	領知判物・郷村帳差出覚	133　(163)	御法号留
38　(24)	領知判物差出覚	138　(174)	[丸山祠堂覚]
40　(46)	奥州白川城内外絵図	139　(175)	丸山御宮・御仏殿品々之覚
81 (147)	正外官位召上・謹慎命令書写	140　(176)	丸山祠堂私記
84 (150)	正功棚倉藩知事辞令	141　(165)	[御宮・御仏殿出費書上]
93　(74)	[参州願照寺答書]	142 (1016)	[東叡山燈籠献上覚]
116　(96)	阿部氏御系譜略	165　(768)	聖護院御門跡到着ニ付上使之節之留
117　(66)	阿部総括系	166　(778)	奥出頭書
118 (109)	御家禄封土・系統書上	167　(832)	[阿部家代々幕府諸役任免覚]
119 (173)	阿部家社稷書上	175 (1042)	[詔書請書控]
120 (110)	略伝	176　(810)	琉球人名書
121 (111)	阿部正由履歴	262(919-2)	[温古録目次]
122 (812)	[正外幕末勤役覚]	275 (1041)	[棚倉藩記録]
123　(97)	成寿院様御続書	276 (1045)	[棚倉藩略記]
124 (106)	事跡考	277 (1044)	[修史館宛回答写]
125 (107)	阿部家事跡考	292 (1014)	[年貢高覚]
126 (108)	事跡考付録	294 (1043)	[棚倉藩庁留]
130 (208)	[御成馳走覚]	323 (1040)	御進発ニ付御人数調

註１　「資料番号」欄のうち、裸数字は『阿部家史料集２』の目録、括弧内の数字は本目録での番号をあらわす。『阿部家史料集２』の目録を利用した場合は、括弧内の数字で資料請求して頂きたい。

註２　作表は主として当館の内部資料によった。内部資料とは「学習院史学」の目録コピーに挟み込まれたメモ（学習院用箋Ｂ５版２枚、鉛筆書き）である。

註３　資料名は上記のメモの記載による。

表に示した38の資料は、近世資料が中心であり、基本的に『学習院史学』掲載の目録を補足するものであった。

ただし注意したいのは、『阿部家史料集２』掲載の「阿部家文書目録」では『学習院史学』収録の目録から48件の資料を削除している点である。削除されたのは、作成主体が阿部家ではないと判断された資料で、具体的には「白川家政録」など松平定信の行状を記した写本、絵図・武鑑などの出版物である。この旨は『阿部家史料集２』の「あとがき」（児玉幸多氏執筆）に「今回補訂した上で、近世阿部家に関するものに限定して収載したものである」と記載されているので、改めて注意を促しておきたい。

またこの第二次整理では新たに資料番号を付与しているが、資料番号は通し番号１～328である。『学習院史学』収録の目録の番号と比べると25減少している。この番号のズレ（38の加筆、48の削除を単純に計算すると10の減少となるが、実際は25）は番号の付与の仕方が変わったためである。

つまり『阿部家史料集２』掲載の「阿部家文書目録」は、『学習院史学』掲載の目録を基本的に踏襲して加筆したものであるが、完全な改訂版とはいいがたく、資料番号にも異同がある。利用に際しては注意していただく必要がある。

（３）第三次整理

昭和48年４月１日、史料室に専任の助手（山口治子氏）がおかれた。当時の執務日記によると、本資料群の近代資料の整理に本格的に取りかかったのは、当館が発足して最初の夏、つまり昭和50年夏のことであった。整理には院生が協力したようで、執務日記の同年８月20日条に「近世史院生、阿部家文書目録（近代編）作成のため来室」とある。

その後、本資料群に関する記事はしばらく見えないが、執務日記の昭和51年５月17日条に「本日より阿部家文書の整理にもどる」とある。そして翌年３月、目録第２号『奥州棚倉藩主阿部家文書』（以下、『旧目録』と表記する）が刊行された。

『旧目録』には総数1727件の資料を収録した。整理は、主題別分類を施して、整理番号を新たに付与する方法をとった。

４．本目録の整理

今回は第四次の整理になる。本目録のデータ総件数は4082件である。第三次までの整理で除外されていた未整理の資料、細目をとっていなかった挟み込み資料などが加わり、『旧目録』よりもデータは2355件増えたのである。

本目録に新たに掲載した資料は、大きくは（１）写真資料、（２）本紙からはずされた包紙・袋・

封筒の類、（3）容器、（4）挟み込み類の4つに分かれる。

（1）から（3）については『旧目録』で付与した資料番号1～1727の続き番号1728～1822を与えた。（4）については、適宜、枝番号を与えた。『旧目録』の番号付与の仕方に問題なしとはいいがたい。だがこれまでの三回の整理により、同一の資料に少なくとも三つの番号が付与されてきたという事情から、これ以上の混乱を避けるため、新たに親番号を与えることはしなかったのである。

5．阿部家の歴史

阿部家は、備後国福山藩主阿部家を宗家とする譜代大名の家で、幕府が設定した家格は雁間詰・城主である（歴代当主の名前などについては巻末の付表1「阿部家歴代一覧」・付表2「阿部家系図」を参照のこと）。阿部家の2代当主忠秋は、3代将軍徳川家光の側近として幼少から仕え、寛永12年（1635）に下野国壬生城主（現、栃木県下都賀郡壬生町）となり、2万5000石を領した。同16年忠秋は武蔵国忍（現、埼玉県行田市）に移されて5万石を領した。のち忠秋は寛文3年（1663）までに8万石に加増された。以来、阿部家は184年間、忍を居城とした。

元禄7年（1694）阿部家の石高は10万石となった。当主は忠秋から2代のちの正武で、加増は上方などの飛地で行われた（巻末の付表3「阿部家領地国郡別村数・石高」を参照のこと）。これは正武が京都所司代や大坂城代を歴任したことと関係しよう。

領地は文政6年（1823）に陸奥国白河（現、福島県白河市）へ移った。これは度重なる外国船の渡来により沿岸防備が緊急課題となった幕府の施策と関連している。

幕府老中の職にあった16代正外は兵庫開港問題で朝廷と対立し、幕府もこれに対処して老中を罷免した。慶応2年（1866）6月、正外は隠居を命じられた。同月、17代当主として正静が家督を継ぎ、陸奥国棚倉（現、福島県東白川郡棚倉町）10万石を与えられた。

同3年10月、15代将軍徳川慶喜は、大政奉還を朝廷に申し出て、徳川幕府は瓦解した。しかしながら、これに対抗する勢力があり、新政府軍と衝突した。戊辰戦争の勃発である。同4年閏4月22日、棚倉藩は深慮の末に奥羽越列藩同盟に加わり、新政府軍と戦い、同年6月に棚倉は落城した。9月に17代正静は白河口総督府参謀に謝罪嘆願書を提出するが、受理されなかった。12月、新政府より正静は城地を没収されて、東京での謹慎を命じられた。

正静の後を継いで当主となったのは18代正功で、正功は新政府から新たに棚倉城6万石を与えられた。明治2年（1869）6月17日、新政府は版籍奉還を命じた。他方、同日付で大名を知藩事に任命する手続きが進められた。同年8月25日、正功は棚倉藩の知藩事任命書を受け取った。棚倉での政務は旧藩士から任命された執政・参政などが行った。藩知事は通例、在城することになっていたが、正功はしばらく勉学のため東京にとどまったためである。

明治4年7月16日、廃藩置県によって正功は知藩事の職を解任された。同17年、正功は子爵に列した。

6．資料群の内容

（1）概　要

本資料群には、まず（1）大名としての阿部家の機能に基づいて作成、授受、保管された資料群がある。さらに（1）は、①当主とその家族の個人的活動あるいは狭義の家組織の機能のもとで作成、授受、保管された資料群と、②家臣団によって維持・運営されている藩庁内各部局の機能に関わって作成、授受、保管された資料群と、③徳川将軍家の家臣家である阿部家の幕府役人としての機能に関わって作成、授受、保管された資料群とに分けられる。

ついで（2）廃藩置県後の棚倉知藩事としての阿部家の機能に関わって作成・授受・保管された資料群がある。

そして（3）明治2年（1869）以降、華族としての阿部家の機能に関わって作成・授受・保管された資料群がある。（3）はさらに、①当主とその家族の個人的活動あるいは狭義の家組織の機能のもとで作成、授受、保管された資料群と、②家扶以下の家臣が担った家政内各部局の機能に基づいて作成、授受、保管された資料群とに分けられる。

このうち、本資料群のなかで多くを占めるのは、（3）華族としての機能に関わって作成・授受・保管された資料で、18代正功期に集中している。

もっとも点数は多くないが、上記（1）の小資料群は、中・小藩の資料や幕府諸役所の資料の遺存があまり確認されていない現状にあっては、重要なものといえよう。以下、大項目・中項目に沿って資料の内容を簡単に紹介する。

（2）内　容

A　大名

大名は、武家内部に設定された階層のうち最上層に位置し、その範囲は通例、領知高1万石以上の者とされる。しかしこれが基準として確定する時期については諸説があるようである。たとえば、天和3年（1683）の武家諸法度以前、大名とされたのは城主と領知高5万石以上の武家であり、これに該当しない武家は小名と呼ばれたとする見解がある（上野秀治「徳川将軍家の領知判物・朱印状」当館主催 第35回史料館講座、2001年10月29日）。この見解にしたがっても、先述のとおり阿部家は忠秋が寛永16年に城主として5万石を領しており、大名と呼称するに相応しい。そのため本目録では大項目「大名」をたてた。

A－1　家

ここでいう「家」とは、阿部家当主およびその家族に限定した狭義の家である。

A－1－1　領知判物・朱印・目録など

大名の領知は、将軍から発給される安堵状、および幕府の担当役人が作成する目録によって保証された。領知安堵状の様式は大きくは判物と朱印との二つに分かれる。武家の場合、領知高10万石以上あるいは官職が四位侍従以上に判物が出され、これらの条件に満たないものに朱印が出された。2代忠秋以降、阿部家当主は従四位下に叙されるか、10万石を領したため、判物によって所領を安堵されている。

本資料群中の判物では、この忠秋宛に寛文4年（1664）4月5日付で4代将軍徳川家綱が発給し

たものがもっとも古い。

先述のとおり、阿部家は判物を受ける家格であったが、本資料群には将軍発給の領知朱印が含まれている。1つは2代忠秋の嗣子としての正能に与えられたもので、寛文4年4月5日付である（資料番号2−1)。今1つは、加増あるいは所領替えなどの際に発給されたものである（資料番号4−1)。

領知目録は、領地の細目を記した目録である。領知判物・朱印に附属して、判物・朱印担当の奉行が将軍の意を奉じる形で作成した。

なお本資料群には、将軍の判物・朱印、領知目録の写しがある。これらはその様式から、将軍代替わり時の継目安堵に先だつ判物・朱印改めをうけるにあたって作成されたものと考えられる。

A−1−2　位記・宣旨・口宣案

武家の従五位以上の叙位、五位相当以上の律令官職への任官では、叙任文書が朝廷から発給された。朝廷から出される文書は、叙位については位記と口宣案、任官については宣旨と口宣案が一般的である。

また叙任文書に付随して上卿・職事書付が出された。本資料群中にも延宝9年（1681）以降の数通の上卿・職事書付が残っている（資料番号149)。

本項目にかかわる資料でもっとも古いのは、承応元年（1652）12月28日付の3代正能宛の叙位任官文書4通である。これは2代忠秋の嗣子としての正能に与えられたものである。

位記・宣旨・口宣案の遺存状態はそれほど良好ではない。近世段階、阿部家では叙任文書はある程度の処置を施して保存していたが、幕末の混乱期に散逸した可能性がある。保存措置については、口宣案・位記を一括にしていた形跡をあらわす包紙（資料番号1748−1）が本資料群中にあること、「口宣箱」という専用の容器があり定期的に樟脳が入れ替えられていた（国文学研究資料館史料館所蔵三井文庫旧蔵資料「いろは抄」）ことがあげられる。一方、散逸についてはつぎの傍証がある。以下引用するのは、享保18年（1733）12月18日付の6代正允宛位記の端裏にある貼紙に記載された記事である。

「正允公御本家御相続前ノ位記也

右者御足軽荻原勘兵衛白川戦争後於同所発見ニ付、重キ御品ノ事ニ付同人父勘右衛門取置キ折リヲ以テ献呈心掛居候処、幸今般出京ニ付父ノ遺志ヲ継キ献上致度旨申出ニ依り御入納相成ル」（資料番号131)

上の記事の白川戦争は、慶応4年（1868）閏4月以降の白河城をめぐっての新政府軍と奥羽越列藩同盟勢との戦いを指している。

なお慶応元年10月に兵庫開港問題が原因となって、朝廷から官位を召し上げられた16代正外の官位復官に関する資料は項目「D−2−4　16代阿部正外履歴取調」に収めた。

A−1−3　大名誓詞・家格など

本項目には、将軍家・幕府と大名阿部家との関係のなかで作成された資料（領地関係を除く）を収めた。

1つは、将軍代替わり時に大名から幕府に提出した起請文（一般にこれを大名誓詞という）であ

る。本資料群には、慶応3年（1867）10月19日付、徳川慶喜の15代将軍職就任にともなう誓詞がある（資料番号750）。

2つめは、阿部家の家格に関する資料である。

3つめは、儀礼に関する資料で、元禄7年（1694）・同8年に行われた5代将軍徳川綱吉の江戸藩邸への御成の記録（資料番号207・208）や、将軍家から与えられた品物についての記録（資料番号206）、燈籠献上に関する資料（資料番号1016）、将軍・幕府への献上品（代金）についての記録（資料番号1013）である。

このほか、嘉永7年（1854）と安政6年（1859）の武家諸法度（資料番号894・895）を配列した。

A－1－4　藩主条目

藩主として阿部家当主が発給した条目を配列した。条目の様式は、

（1）冒頭に「条々」として当主の花押を据えたもの

（2）冒頭に「定」として差出人の記名がないもの

（3）冒頭に「覚」として差出人の記名がないもの

に大きく分けられる。

（1）の様式をとるのは家中条目、倹約条目、町方条目、川俣条目である。

（2）の様式は江戸番・国元の城番の休日規程、寄場の勤務規程、郡方の勤務規程である。

（3）の様式は門鑰置所、二丸屋鋪、武具方の管理者の書き上げ、条目の扱い方に関する心得書に用いられている。

年代は、元禄2年（1689）6月に4代正武が発給したものがもっとも古く、文政8年（1825）6月に11代正篤が発給したものが新しい。

A－1－5　家譜・家伝

幕府（官撰）による家譜取り調べは少なくとも寛永・寛政、また未完に終った弘化年間の3回を数えるが、当該資料群に含まれるのは、寛永と弘化年間に阿部家が幕府に提出した家譜の控えである。関連資料が白河集古苑所蔵の「阿部家文書」にある。

上記の家譜と成立の契機は異なるが、歴代当主に関するエピソードを記した、いわゆる家伝的編纂物が多数ある（資料番号949「玉埃集」など）。また民間の書肆が武鑑を出版するために取材した際に作成されたと考えられる家譜情報の控えがある（資料番号1018）。

明治期に行われた家譜編纂については、項目「D2　家記・旧藩史編纂」に配列したので、参照されたい。

A－1－6　内室続書・両敬

11代正篤の内室島津薩摩守斉宣娘聡こと聡徳院、12代正瞭の内室松平周防守康任養女永井飛騨守直与娘彩こと成寿院、14代正定の内室花房大膳職恕娘鏞こと玉仙院、15代正耆の内室阿部伊予守正寧娘豊、17代正静の続書がある。

資料番号113「諸家御続合・伊呂波分御会釈全」は両敬関係にある諸家の書き上げである。

A－1－7　法号留・菩提寺由緒書・霊廟図

本項目には歴代当主および正室・子女の法号留、菩提寺関係の資料を収めた。

2代忠秋（空煙）の墓所は日光山にあるが、そのほかの当主・家族の江戸菩提寺はおおむね浅草西福寺である。西福寺の由緒は資料番号171「西福寺由緒」・資料番号172「西福寺譜」にみえる。

このほか、弘化3年（1846）に三河国碧海郡願照寺と阿部家との間で起こった争いに関する資料（資料番号74）などがある。

明治以降の法号留や法事関係資料は、項目「D－1－2　法事・菩提寺」に配列したので参照していただきたい。関連資料が白河集古苑所蔵の「阿部家文書」にある。

A－1－8　伝授書・免許状

兵法・弓馬・炮術・剣術の伝授が多くを占める。そのほかでは9代正由が阿部家に入家する前に取得した和算の伝授書「弧背真術」（資料番号1690－1・2）、天保期に作成された書道・生け花の免許状、和歌・歌道に関する伝授書などがある。いずれも白河集古苑所蔵の「阿部家文書」に関連資料がある。

A－1－9　落款押印集

4代正武以降の当主の落款集を収めた。料紙からみて近代以降に成立したと推察される資料があるが、内容年代に準拠してここに配置した。

関連資料が白河集古苑所蔵の「阿部家文書」、行田市郷土博物館保管資料にある。

A－1－10　和歌・漢詩・俳句

項目「A－1－8　伝授書・免許状」に歌道に関する作法書などがあることからも明らかなように、阿部家の当主・家族は和歌などをたしなんだ。

本項目には、当主や家族が作成した和歌・漢詩、彼らに贈られた和歌・漢詩などを収めた。これらの形態は短冊・懐紙などである。阿部家で作成したもののなかには、添削のあとがみられる草稿（竪冊）が含まれている。

このほか特筆されるのは、文化元年（1804）から同5年にかけて、9代正由の大坂城代・京都所司代赴任に同行した妻多喜（7代正敏の娘で、8代正識の養女）が記した、歌混じりの旅日記である（資料番号1187「御道の記」）。本資料は上層武家の女性の教養を知るうえで興味深い資料であるといえよう。関連資料が白河集古苑所蔵の「阿部家文書」にある。

当主の書跡は、本目録の項目「F　拓本」からも知ることができる。

A－1－11　同姓阿部家

資料番号68「御系図」をはじめとする福山藩主阿部家・旗本阿部家の家譜、当主宛の年始の挨拶状などを配列した。

このほか3代正能の子で分家して旗本となった阿部家の知行所の絵図（資料番号32「上総御知行所絵図」）を収めた。

A－2　藩庁

阿部家当主と家臣団によって維持・運営された領地の支配、幕府役職（勤仕）に関する資料を収めた。これらに関しては項目「A－2－2　備立書」で一例を示すように「公余録」「温古録」などの明治・大正期の編纂物のなかで触れられることがあるので、項目「D－2　家記・旧藩史編纂」に、目を通していただきたい。

A－2－1　分限帳

内容年代がもっとも古いのは、慶安年中の分限帳である（資料番号1050）。ただし本資料は写しである。そのほかは文化年間、嘉永2年（1849）の成立であり、資料番号1051・資料番号1052の「(分限帳)」はともに、短冊を台紙に貼り付けた様式をとる。

A－2－2　備立書

安永5年（1776）に行われた10代将軍徳川家治の日光社参時の備立書がある（資料番号805）。

資料番号1078「備立絵図」は、安政3年（1856）9月に白河でなされた軍事訓練の様子を図示したものである。これに関連して「公余録」第7巻の安政3年条に、阿部家は甲州流を奉じて、甲州流の備立書を多く所持する。しかしここ数年絶えており、家臣森鈞之助・杉浦粂八郎を兵学修行のため江戸に遣わした。安政3年両人は修行を終えて戻り、甲州流兵法を復古した軍制改革に関与した。同年5月に15代正耆は白河に入り、9月にかけて藩士に調練をさせたとの記事がある。

A－2－3　忍領・同飛地

城付地に関しては城内・城外絵図（資料番号45）がある。このほか寛政8年（1796）に9代正由が国入りしたときの巡見記録などがある（資料番号1019「領内所々巡見覚」ほか）。

忍領の飛地領は、4代正武期にあたる貞享3年（1686）3月に摂津国川辺郡において1万石を与えられた。また元禄7年（1694）4月に1万石の加増をうけた。このときの領地は摂津国河辺郡・豊嶋郡・嶋下郡・武庫郡である。その後も元禄12年に上野・相模国の所領が、武蔵国埼玉郡のうちに移されるなど、飛地の一部に変更がみられる。摂津の飛地領が幕府に収公されるのは、忍から白河へ転封する文政6年（1823）である。

A－2－4　白河領・同飛地

本項目中では、白河城引き継ぎの際に作成された絵図（資料番号46「奥州白川城内外絵図」）、白河城の補修にかかわって作成された書類が特筆されよう。

このほか白河城図には資料番号49－2・3があるが、目録編成上、資料番号49－1「日光空煙様御廟図」に代表させて、項目「A－1－7　法号留・菩提寺由緒書・霊廟図」に配列したので、あわせてご覧いただきたい。

白河領の飛地領は、出羽国村上郡山野辺（現、山形県山野辺町）にあり、支配は同地に陣屋をおいてなされた。本資料群には陣屋の間取り図などがある（資料番号37－7「羽州山野辺陣屋図」など）。出羽国村山郡の飛地領のうち一部は弘化3年（1846）に遠江国・播磨国・信濃国（計3万468石）に振り分けられた。飛地領分図に資料番号37－2「播州加東・美嚢郡分領図」ほかがある。

A－2－5　幕府役人

阿部家当主が務めた幕府の役職名と就任時期については、巻末の付表1「阿部家歴代一覧」を参照していただきたいが、以下、簡単に記す。

9代正由は享和元年（1801）に寺社奉行となり、文化元年（1804）までその職にあった。資料番号775「享和二壬戌年三月申合書」ほかからは、寺社奉行が管轄する持場制度の改正の様子が明らかになる。

12代正瞭期では、江戸に下向した知恩院門跡の将軍上使を務めた際の資料がある（資料番号804）。

15代正耆期では、嘉永３年（1850）の琉球使節が来日した時のものがある（資料番号810「琉球人名書」）。

16代正外は、元治元年（1864）に老中に就任して、慶応元年（1865）10月までその職にあった。老中就任時に幕府に提出した誓詞（資料番号749）、就任中に作成された記録・書類の控え（資料番号777「御朱印渡候頭書」ほか）がある。このほか正外の時期に作成された先例書の写しが、多数ある（資料番号751A～760A「月次御礼留写包紙一括」ほか）。これらは書写奥書から同役間で貸借・転写を繰り返したものと推察される。

A－２－６　海防図など－白河領・同飛地－

13代正備期では、幕府老中宛に提出した海岸絵図がある（資料番号1031ほか）。

15代正耆期では、嘉永３年に幕府目付に提出した海岸絵図の控えがある（資料番号1034ほか）。

A－２－７　棚倉領

慶応３年（1867）正月28日付で作成された棚倉城受け渡しに関する一連の記録・絵図（資料番号62ほか）などである。

戊辰戦争に関する同時代の資料は遺存していないが、明治から大正年間にかけて編纂された家史・旧藩史が好材料となる。「D－２　家記・旧藩史編纂」を参照されたい。

A－２－８　江戸屋敷図・御用部屋日記

阿部家の江戸屋敷は、幕府役職への就任と退任にともなって、転宅をくりかえしたが、そのすべてを本資料群から明らかにすることはできない。上屋敷では山下門内の邸（現、帝国ホテル）、中屋敷では麻布龍土の邸、抱屋敷では深川八郎右衛門新田の邸絵図が遺存するにとどまる。

江戸上屋敷内にあった「御用部屋」では家臣が執務をとった。元治２年（1865）正月から明治２年（1869）５月までの「御用部屋日記」40冊ほかがある。藩知事時代の執務日記は項目「C　知藩事」に配列した。

B　書籍・絵図類

成立が近世以前と考えられる情報複製物（書籍・絵図など）を収めた。

近代以降の成立と考えられるものについては、項目「E－3（阿部正功の）収集文献」に配列したので、あわせて御覧いただきたい。

B－１　書籍

B－１－１　成寿院写本

成寿院は永井飛騨守直与の娘彩で、松平周防守康任の養女として12代正瞭と結婚した。本項目には彩の書写本を配列した。彩による書写本として一括した根拠は、ひとつに資料の末尾に別筆で「成寿院様御筆」とある。ふたつめに昭和８年（1933）９月改の「御書籍目録」（資料番号1282）に分類項目「成寿院様」があることによる。白河集古苑所蔵の「阿部家文書」に関連史料がある。

B－１－２　写本

作成者が不明な写本について主題別分類を行った。本項目内の分類は、将軍家関係、武家系図、武家規式、朝廷関係、和歌書、物語、日記・実録、教訓書、遊芸、漢籍である。

B－1－3　板本

民間の書肆が出版した書籍を収めた。数量が多くないので刊行年順に配列した。刊行年が不明のものは、末尾に置いた。

B－2　絵図類

B－2－1　写本

本項目内の分類は江戸・上方・その他である。このなかには当主の幕府役職就任と関係すると思われる資料がある。たとえば、包紙上書に「阿部播磨守」とある資料（資料番号823・824）や大坂城代の中屋敷図（資料番号820）などである。しかしながら、これらの書写の時期を特定することができないため、本項目に収めた。

B－2－2　板本

民間の書肆が出版した絵図を収めた。本項目内の分類は、全図（世界図・日本図）・江戸・その他である。なお資料番号1653の江戸切絵図は書き入れなどから18代正功の収集にかかるものと考えられるが、成立年に準拠して本項目に収めた。

B－3　扇面ほか

作成主体が阿部家の当主・家族以外の書画類を収めた。

C　知藩事

明治元年（1868）12月に家督を継いだ正功には、明治2年3月に東京下谷数寄屋町に邸を与えられた。同年5月28日、正功は東京麻布邸から数寄屋町邸に移り、同邸を知藩事の政務局とした（項目「A－2－8　江戸屋敷図・御用部屋日記」のなかの資料番号65－2「下谷池ノ端仲丁屋敷絵図」を参照）。ただし同年9月に数寄屋町邸は召し上げられて、東京裏四番町に移転した（白河集古苑所蔵「阿部家文書」の79「丁卯十月以来履歴書」）。

本項目には上記のように転々とした東京の政務局で作成された日記6冊、資料番号1055の「藩士先祖書・親類書」全21冊などを収めた。

D　華族

身分としての華族は明治2年6月に創成した。これは版籍奉還により社会的地位を失った旧領主に対する処置として与えられたものとされる。その後同17年7月8日、公表された華族令の「叙爵内規」により、阿部正功は子爵に列した（白河集古苑所蔵「阿部家文書」の43「爵記」）。

D－1　家

ここでいう「家」とは阿部家当主およびその家族に限定した狭義の家とするが、その活動を支える運営は家扶以下の家臣が行っており、本項目に配列した資料の作成主体もまた家臣である場合が多い。したがって項目「D4　家政」に収めた資料のなかにも本項目に関わる資料があるので、通覧していただきたい。

D－1－1　婚礼・誕生祝ほか

明治5年から明治44年にかけて、阿部家で行われた主に婚礼・誕生行事などに関する資料を収め

た。

D－1－2　法事・菩提寺

記事の下限が明治期にわたる法号留、明治以降に行われた法事・先祖供養に関する資料である。法事には、たとえば明治33年に営まれた初代忠吉の父阿部正勝300回忌の記録（資料番号197・204）がある。関連資料が白河集古苑所蔵の「阿部家文書」にある。

D－2　家記・旧藩史編纂

六国史や「藩翰譜」の書き継ぎを企図した明治政府による歴史書編纂、人身掌握のための系譜提出の要請、統譜調査（白河集古苑所蔵「阿部家文書」の71「阿部家御系譜略類」）などをうけて、阿部家では数度にわたって家記・旧藩史の編纂を行っている。いずれもその作成には、家扶以下の家臣・旧藩士がふかく関わったとみられる。白河集古苑所蔵「阿部家文書」に関連資料がある。

D－2－1　明治家譜

明治期に作成された家譜である。資料番号70「阿部家譜」は明治20年までの記事を収載する。ほかに18代正功の履歴書控えなどがある。

D－2－2　公余録・公余附録ほか

「公余録」「公余附録」は旧藩士川澄次是による編年史である。明治初頭に成立した。「公余録」の記事内容は元和2年（1616）から慶応2年（1866）までである。「公余附録」は「公余録」の続編で、正功の年譜ほかである（細目は本目録本文を参照のこと）。「公余録」全冊と「公余附録」の一部は『阿部家史料集1・2　公余録（上）・（下）』に翻刻されている。

なお「公余録」「公余附録」はその後の家記・旧藩史編纂に利用されたとみられる。それら抜き書き類は、項目「D－2－5　編纂資料など」に配置した。

このほか本項目には、川澄次是の書写本を収めた。これが本資料群に含まれるようになった経緯は未詳である。

D－2－3　旧藩事蹟考草按・温古録

旧藩事蹟考草按・「温古録」ともに対象とする時期は、天保2年（1831）から明治4年（1871）までである。「温古録」の冒頭に「旧藩ニ於テ國事ニ鞅掌セシ始末下調」とあることから、同書は明治24年に設置された旧藩事蹟取調所（史談会）へ提出する書類の下原稿と推察できる。

D－2－4　16代阿部正外履歴取調

明治20年（1887）に正外が没してのち、阿部家では正外の履歴を作成して、官位復旧運動を展開した。運動は数度にわたり、史談会・宮内大臣などに対してなされたが、結局、歎願は受理されなかった。本項目には明治28年ころから始まる運動に関する資料を収めた。関連資料が白河集古苑所蔵「阿部家文書」にある。

D－2－5　編纂資料など

本項目の冒頭で述べたように、明治期にいたり各省庁では、それぞれの目的で家譜・旧藩史の提出を命じた。これらの要請に対して、どのようなシステムで、編纂したのか。旧藩士（たとえば本目録の作成欄に記した高松重巽・門叶直太郎など）からどのような記録が徴収されたか。その検討は今後に残されている。本項目には、料紙からみて明治以降に成立したと推察される編纂材料を収

めた。

D－3　華族社会

D－3－1　華族会館

明治7年（1874）6月、華族会館は華族同族化の拠点として創立されたが、運営方針をめぐって意見が対立した。そのため、同9年3月宮内省に華族掛が新たにおかれて、華族は同省の管轄に付された。以後、華族会館は華族からの諸願・伺い・届けなどを上申し、宮内省からの通達を下達する中間機構となった。

本項目には華族会館の運営に関する資料や、会館からの告示などを収めた。なお会館告示の控えなどは項目「D－4－2　家扶日記・書類綴」のなかにも散見する。参照していただきたい。

D－3－2　宗族

宗族は、華族会館の部長局の下に置かれた組織で、先祖を同じくするグループである。宗族制は明治9年（1876）5月から同17年12月まで施行された。阿部家は、孝元天皇皇子大彦命六代雉子の子孫として、「第三類　安倍氏」に属した。本資料群には、安倍氏宗族の条約・会合通知などがある。なお項目「E－2（阿部正功）書状・葉書・名刺」のなかにも関連資料がある。

D－3－3　貴族院

明治22年（1889）の大日本帝国憲法の発布と、帝国議会開設により、華族は政治的特権を保証された。特権とは、満25歳に達した公・侯爵は貴族院の終身議員となり、伯爵以下は互選によって貴族院に選ばれると7年の任期を与えられるといった権利である。

本項目には、貴族院選挙に関する資料を収めた。項目「D－3－1　華族会館」に関連資料がある（資料番号1114－2・3・6～8）。

D－3－4　学習院

明治10年（1877）10月、学習院は華族会館が管轄する私立学校として開設されたが、徴兵令改正（免役料上納による兵役免除の制廃止）に対処してその特権を享受するために、同17年4月に宮内省所管の官立学校となった。以後、華族子弟の学習院就学が義務化されて、学習院は華族にとって教養・学歴を身につけさせ、世代的維持を果たす機関として機能していくことになった。

本項目には学習院の維持運営にかかわる資料、成績表がある。

D－3－5　第十五国立銀行・日本鉄道

明治10年（1877）5月、華族が保有する金禄公債証書を資本とした第十五国立銀行が開業された。華族は株主となって、きわめて有利な配当金の恩恵に預かった。

ついで明治14年11月、日本鉄道会社が創設された。これは東京から青森までの鉄道の施設と営業を当面の業務とした。日本鉄道会社の創設にさいしては、第十五国立銀行およびその株主である華族が参加した。

以後、第十五国立銀行の資金運用の重点は次第に日本鉄道会社の株式所有と貸付に移行していくが、同行は昭和2年（1927）の金融恐慌のさなかに倒産して、取り付けを一時停止したため、多大な経済的打撃を華族社会に与えた。

本項目には、両社の株配当金に関する資料などを収めた。

D－3－6　寄付・救恤

華族会館の斡旋や華族がその社会事業団体（たとえば日本赤十字社）の会長になっている関係などにより行われた寄付・救恤である。

D－4　家政

廃藩置県後、阿部家の家臣団組織は大幅に縮小された。その状況下、家政を運営したのは家扶・家従たちである。執務は東京の麻布霞町邸内の用所で行われた。職務は多様で、いわゆる表と奥向の事務・会計に携わった。

D－4－1　家憲など

資料番号243「明治十八年十一月御門番心得控」・資料番号244「明治十八年十一月御家扶・御家従心得控」は家扶・家従・小使の職掌を定めた家憲である。この家憲がだされた理由の一因には、この前年に家扶恒屋盛庸の解任一件が起こったことがあげられよう（資料番号235～241など）。

D－4－2　家扶日記・書類綴

基本的には明治３年（1870）から大正15年（1926）までの執務日記・書類綴であるが、挟み込み資料が多く、内容年代は昭和17年（1942）まで下がる。

D－4－3　会計方出納簿など

内容は多様で、明治３年（1870）から大正14年（1925）にかけて用所内にあった会計方で作成された出納原簿のほか、当主から家族への配分金である分量金に関する資料、大正４年の棚倉からの廻金、麻布霞町の地代・家賃受払、18代正功の民俗調査旅費支払などがある。

D－4－4　領収証書

内容は多様で、納税領収証書や住居建築、日用雑品の領収書などがある。年代は明治９年（1876）から同43年までである。

D－4－5　書状・覚書

家扶宛の書状あるいは覚書である。

D－4－6　不動産経営－麻布霞町－

秩禄処分ののち華族にとって家政の計画的運営は重要な課題であったが、阿部家の場合は貸地経営による収益が大きな位置を占めたようである。貸地経営は東京の用所の家扶・家従の管掌に属した。麻布霞町の土地整備・宅地開発は先進的で、明治19年（1886）から同21年にかけて集中的に行われている。

本項目には、麻布霞町地区（現、東京都港区西麻布１・３丁目、六本木７丁目）の地券・土地整備・図面（地割りのほか、燈籠・祠など上物に関するものを含む）・貸賃料に関する資料を収めた。関連資料が白河集古苑所蔵「阿部家文書」にある。

D－4－7　事業投資－米市場－

16代正外は、明治７年（1874）から他の華族などとともに、東京小網丁（現、中央区）米穀相場会社へ投資したが、負債を被ったものとみられる。

D－4－8　棚倉

明治３年（1870）７月の廃藩置県によって、県令が貫属士族を直接掌握することになった。また

同年、旧大名は東京定住を命じられた。そのため、旧大名と旧領民との関係は、大凡、稀薄化に向かう。だが明治年間、旧藩地の経済開発、旧藩士子弟の教育などに阿部家は関わっており、両者の関係は各般にわたってつづいたといってよい。

本項目には、棚倉の邸から東京麻布霞町への道具類移管、旧藩士の復族・待遇、鉱山・鉄道などの興業、旧藩士の子弟への教育助成などに関する資料などを収めた。また明治23年に棚倉蓮花寺内に建立された戊辰戦争戦没者招魂碑に関係する資料、明治43年に棚倉城跡に遷座されて創建された鎮護神社に関する資料を収めた。なお招魂碑については項目「F　拓本」に、鎮護神社については項目「E－3－6　写真・絵葉書」に関連資料があるので、参照していただきたい。

E　阿部正功

18代正功は漢学を学んだのち、慶応義塾で西洋の学問を学んだ。正功は考古学・人類学に興味をもち、公務の傍ら15歳から晩年にいたるまで、日本各地をまわって「土俗」調査をつづけた。正功は東京人類学会の会員でもあった。その活動は日本の考古学形成期と重なるもので、学問史のなかで解明が進められるべきものであろう。なお正功の履歴書は項目「D－2－1　明治家譜」に配列したので参照していただきたい。

E－1　正功著作物

本項目には正功の著作物を収めた。

E－1－1　日記・手帳

日記は明治12年（1879）から大正13年（1924）までである。

E－1－2　調査旅行記など

明治7年（1874）から同33年までに作成された作文集・調査旅行記などである。正功は麻布霞町の自邸、東京近郊とくに荏原郡（現、東京都世田谷区・目黒区・大田区・品川区付近）、駿河・甲斐、旧領である棚倉町近隣（現、福島県東白河郡）などで発掘調査を行ったことがわかる。

E－1－3　図・スケッチなど

遺跡・遺物・民具・生物の図やスケッチなどである。現段階では作成年代を未詳としているものが少なからずあるが、項目「E－1－1　日記・手帳」・「E－1－2　調査旅行記など」とあわせて考察することで作成年代を推定しうるであろう。

E－2　書状・葉書・名刺

正功宛および内容が学問関係におよぶ家扶宛の書簡と葉書、正功が受け取った名刺である。差出は、日本考古学会設立創始者の一人である下村三四吉、東京人類学会の創立者であり東京帝国大学理科大学人類学室の教授であった坪井正五郎、坪井の教室員であった鳥居龍蔵・八木奘三郎・若林勝邦などである。

消印などから発信年が明らかな考古学者からの書信は、明治21年（1888）以降のものであり、正功が同18年ころに麻布霞町で横穴墓を発見して、以後、考古学界の人々とより深く交流したことを窺がわせる。

とくに鳥居龍蔵との関係は深かったようで、東京帝国大学を辞任した翌年、大正14年（1925）に

鳥居が刊行した『人類学上より見たる我が上代の文化』（叢文閣）の序言に「麻布霞町阿部山の我が書斎にて　鳥居龍蔵」とある。

E－3　収集文献

正功が書写した文献、あるいは購入・受託した文献である。

E－3－1　目録

資料番号1280「書目」は蔵書目録、資料番号1281「書籍目録」は慶応義塾などでの読書録である。正功没後に改められた昭和8年（1933）9月成立の「御書籍目録」（資料番号1282－1）は、項目「E－4　正功没後の動向」に収めた。

E－3－2　書籍類の写し・抜書

内容は多様である。書写者は正功であるとは限らない。

E－3－3　雑誌・新聞の抜書

主として正功が雑誌（「東京人類学会雑誌」「史学会雑誌」など）や新聞（「東京日日新聞」「国民新聞」など）から書写した抜き書き類である。内容は華族としての活動にかかわるもののほか、遺跡・遺物に関するものが多い。

E－3－4　地図

市販の地図類である。明治21年（1888）発刊の参謀本部陸軍部測量局「2万分の1の迅速測図」（資料番号1677）、明治25年発刊の大日本帝国陸地測量部「20万分の1地形図」（資料番号1678）、明治43年発行の陸地測量部編「100万分の1東亜輿地図」（資料番号1680）などである。先記の通り、項目「B－2－2　板本」も参照のこと。

E－3－5　書籍・雑誌

成立が明治以降の書籍・学術雑誌などで、市販されていたものである。資料番号1280「書目」によれば正功の収集文献のなかには洋書があった模様だが、本資料群にはほとんど含まれていない。

E－3－6　写真・絵葉書

これまでの目録には掲載されていなかった資料である。写真の被写体は、棚倉の鎮護神社・宮中祭典・遺跡関係の3つに分かれる。

絵葉書には鎮護神社落成・明治神宮奉賛会設立時の記念葉書、災害記録がある。

E－4　正功没後の動向

大正14年（1925）阿部正功は没した。昭和11年（1936）正功が収集した考古学遺物類は、京都帝国大学文学部考古学教室・東京文理科大学・旧制学習院に寄贈された（資料番号1446）。このうちもっとも多くの遺物（石器・土器類）を受け入れたのは京都帝国大学であった。浜田耕作教授が窓口となり、阿部家と交渉を進めた様子は資料番号329-16・17・20・21（本目録196・197頁に収載）から明らかである。

F　拓本

年代は大項目「A　大名」から「D　華族」までをカバーする。碑文の内容により、中項目を設けた。中項目は、阿部家当主墓碑・戊辰戦争の死者招魂碑・名跡などである。

G　包紙・封筒など

これまでの目録には掲載されていなかった資料である。かつての整理過程で本紙からはずされた包紙・封筒などのうち、原秩序にもどすことができないものである。

H　モノ資料

これまでの目録に掲載されていなかった資料である。容器は受け入れ時に搬入に使用されたものと思われる。

I　他家資料

陸奥国棚倉藩主・華族　阿部家を本来の出所としないと考えられる資料である。天正13年（1585）の豊臣秀吉朱印状（資料番号1081）を含む。

7．関連史料の所在

本資料群と出所を同じくする阿部家資料のうち工芸品・美術品など972点は、昭和63年（1988）4月に、故阿部正友氏から有限会社アベ・コンパウンドに移譲された。のち平成2年にアベ・コンパウンドから白河市に寄託された。これをうけて、平成5年白河市では白河城内勘定所跡地に白河集古苑を建設して、「阿部家文書」の保存・公開を行っている。

8．おもな参考文献（解題記載順）

石井良助「大名の御代替朱印改について」（『牧健二博士米寿記念　日本法制史論集』思文閣出版、1980年）

大野瑞男「解題」（国立史料館叢書1『寛文朱印留』上、東京大学出版会、1980年）

大野瑞男「領知判物・朱印状の古文書学的研究」（史料館『研究紀要』第13号、1981年）

石川道子「関東譜代大名の上方領」（地域史研究『尼崎市立地域研究史料館紀要』第27巻第2号、尼崎市立地域研究史料館、1998年2月）

石川道子「武蔵国忍藩の飛地領陣屋」（地域研究『いたみ』第27号、伊丹市立博物館、1998年3月）

根岸茂夫『近世武家社会の形成と構造』吉川弘文館、2000年

森岡清美『華族社会の「家」戦略』吉川弘文館、2002年

針谷武志「幕末阿部正外履歴についての基礎的検討」（学習院大学『史料館紀要』第11号、2001年3月）

上野秀治「明治期の宗族制と安倍氏」（学習院大学『史料館紀要』第11号、2001年3月）

酒巻芳男『華族制度の研究』霞会館発行、1987年（非売品）

金沢誠・川北洋太郎・湯浅泰雄編『華族』講談社、1968年

加藤仁美「明治期の大名屋敷跡地における住宅地開発」（『1991年度第26回日本都市計画学会学術論文集』）

加藤仁美「大名屋敷跡地における土地経営の変遷」(『1992年度第27回日本都市計画学会学術論文集』)
井上国雄「崖ノ上遺跡の考古学史」(『福島考古』第31号、1990年)
佐々木利和「阿部家文書中のアイヌ絵」(学習院大学『史料館紀要』第10号、1999年3月)

9．利用上の注意

a．資料でマイクロ・フィルムないしカラー・フィルムなどの複製物がある場合は、これを優先的に閲覧に供するものとする。

b．本解題の「3．これまでの整理状況」で述べた第二次整理が進められた時期以降、史料室では、資料の裏打ちとボール紙カバーによる補強などを自前で行っている。たとえば、執務日記の昭和48年6月11日条に「今日より阿部家文書「記料（白河侯御行状)」(一）裏打ちをする」、同年11月15日条に「阿部家文書「記料」(二)」裏打ち作業終了」とある。しかしながら、今日的な目で見るとその処置には不安があるため、今後、専門業者へ委託して、酸性紙を除去するなど、保存環境を整えていきたいと考えている。そのため、時期によっては、機関展示などへの資料貸し出しに、応じられないことがある。

c．本解題の「3．これまでの整理状況」で述べた第三次整理ののち、当館では一部の資料にラベルを貼付した。しかしながら現在では、保存の立場からノリが資料の変質を招くとの指摘がなされている。この状況に鑑み、少量づつ、資料を専門業者に預けて、ラベルの除去作業を委託している。そのため時期によっては、機関展示などへの資料貸し出しに、応じられないことがある。

〈付記〉

・本目録のデータ作成は、当館学芸員丸山美季と特別研究員渋谷葉子・三上淳子が行い、データ整理は冨田ゆり・西村慎太郎・野尻泰弘・花田裕子が行った。目録編成・凡例・解題は丸山・藤實久美子が、付録部は藤實・三上が作成した（敬称略)。
・本目録は、日本私立学校振興・共済事業団による平成11年度学術研究資金交付金による研究課題「旧大名家史料の総合的研究－阿部家史料を中心として－」の成果の一部である。ここに記して感謝申し上げる。
・「阿部家文書」の調査・撮影では白河市歴史民俗資料館（その分館である白河集古苑）に、また本資料の利用については阿部家当主である阿部正靖氏にご高配を賜っております。末筆ながら、この場を借りて深く御礼申し上げます。

凡　例

1．目録の記述項目は、(1) 資料番号、(2) マイクロ等請求番号、(3) 資料名、(4) 年代、(5) 作成→受取、(6) 形態、(7) 数量、(8) 備考、の通りである。ただし例外として、モノ資料についての記述項目は、(1) 資料番号、(2) マイクロ等請求番号、(3) 資料名、(4) 法量、(5) 備考、の通りとした。なお、これについては2に補足事項を記したので、参照していただきたい。

(1) 資料番号

資料番号は、『旧目録』の番号を踏襲し、新たに番号は付け替えなかった。原則として、資料1点につき1番号を与えたが、『旧目録』において1番号しか与えられていないが、複数の資料が含まれている場合などは、枝番号を付した。また、冊子型資料などの丁間に挟み込まれたり、袋綴じの丁内に挿入されている資料についても、枝番号を与えた。ただし、包紙・封筒・袋などで一括されている資料については、包紙・封筒・袋など附属物には枝番号を与えなかった。

なお、例外として、『旧目録』に未収録で今回の目録に初めて収載した資料と容器については、これまで番号が付与されていなかったため、新たに資料番号を与えた。その際、資料番号は、『旧目録』の続き番号とした（資料番号1728～）。

その他、特殊な番号の付け方をしたものについては以下に記しておく。

- 『旧目録』で別番号が付けられているが、包紙・封筒・袋などで一括されたものについては、一括関係を表現するために、最初の資料の前に一行を立て「何番～何番一括」とその情報を入れた。

  例：資料番号29～31（本目録34・35頁参照）
- 『旧目録』では、合綴された資料であっても別番号が付けられ、あたかも独立した資料のように記載されている場合がある。しかしながら、出納および利用上は合綴状況が表現されている必要があるので、最初の資料に記述を代表させ、その資料名欄に、＊を付し、何番から何番までが合綴されたものかを示した（「＊何番～何番」と略記）。また、形態欄に「形態（何番・何番合綴）」と示し、点数1とした。

  例：資料番号98～99（本目録56・57頁参照）
- 『旧目録』においては、ほぼ同一の二組ある資料に1番号しか与えていなかったもので、今回新たに区別するための符号を付けた場合がある。本来ならば、別の新たな番号を付け替えるべきであるが、『旧目録』の番号を生かすという方針から、例えば、資料番号751A～760 A、751B～760B（本目録82～84頁参照）のように、同じ親番号の後にA、Bとそれぞれアルファベットを付して示すようにした。しかも、この資料は、包紙に一括されているにもかかわらず、『旧目録』で別番号が付与されており、一括関係が表現されていなかった。そこで、最初の資料の前に一行を立て「何番～何番一括」とその情報を入れて、一括関係を明確にした。

・資料番号中の丸番号は、綴の中でも内容あるいは形態が違うものが綴られている場合に用いた。その場合、最初の資料の前に一行を立て、「○番〜○番」とし、綴であることを示した。

(2) マイクロ等請求番号

原資料保護のため、当館ではマイクロフィルムないしカラー・フィルムなどの複製物を作り、これを優先的に閲覧に供している。マイクロフィルムがある場合はリール番号、カラーフィルムがあるものはC、モノクロフィルムの場合はMと略して示した。閲覧の際にはこの欄の番号もあわせて資料請求していただきたい。

なお、マイクロフィルムを閲覧の際には、マイクロフィルムに写しこんだターゲット上の資料番号と、本目録の資料番号とにズレがある場合があるので、不明な場合は館員にお問い合わせいただきたい。

(3) 資料名

資料の原表題をとることを原則とした。ただし、原表題だけでは内容が不分明なもの、原表題がないものについては、目録作成者が必要に応じて（　）で補った。資料名欄内の漢字は基本的に常用漢字に直した。

また、資料名欄には、資料に関する注記を＊を付して示した。たとえば、先の資料番号の項で触れたように、包紙・封筒・袋などに複数の資料が含まれている場合には、最初の資料の資料名の欄に＊を付し、「何番〜何番」と記し、一括関係を明確に示した。

(4) 年代

・作成年あるいは記載年代をとり、年号があるものについては干支を省略した。本紙の年月日をとるが、推定できる場合は（　）で補い、包紙・封筒などからの情報は［　］でとった。なお、年月日は算用数字に直したが、元年・晦日・大晦日は原文のままとした。また、正月は1月に、朔日は1日に直した。

・書写資料については、原本の成立年代がわかるものについては、中黒（・）を用いて書写年代と並記した。なお、書写年代が不明な場合は、原本の成立年代のみを記した。

(5) 作成・受取

・作成・受取の関係は、作成→受取と表した。人名・地名に出てくる漢字の内、旧字は基本的に常用漢字に直した。敬称は原文のままとした。花押が書かれている場合は「(花押)」、印が押されている場合は「㊞」、書印の場合は「(書印)」と記した。差出・作成者が複数の場合には、原則として適当と思われる一名をとり、残りの人名を「ほか何名」と記載した。作成・受取とも補える場合は（　）で補い、本紙に盛り込まれていない封筒などの情報は［　］で補った。

・書写資料の場合は、編著者と書写した人名とを中黒（・）を用いて並記した。なお、板本の場合は、編著者と板元とを中黒（・）を用いて並記した。

(6) 形態

・形態は、竪（竪帳）、横（横帳）、綴、折本、巻（軸なし）、軸（巻子）、状、鋪などとした。

・印刷されたものについては、木版・活版などにかかわらず（印刷）と記した。

・本紙に包紙・封筒・袋などが付されている場合は、形態欄には本紙の形態と附属物の形態を並列して表現した。たとえば、状が包紙に入っている場合は、「状・包」のように示した。包紙は「包」、封筒は「封」と省略した。ただし、全体を一括している包紙・封筒・袋などの中に、さらに包紙・封筒・袋などが含まれている場合には、次のように示した。たとえば、全体を一括している包紙などを「一括包」と便宜的に呼び、最初の資料の形態欄の冒頭に載せて一括状態を表すようにした（例：「一括包・状・包」）。

(7) 数量

・数量は、原則として一個体を一点として数えた。ただし、本紙に包紙・封筒・袋などが付されている場合は、総点数２とはせずに、形態欄に準じて数量欄には「１・１」と表した。

・丸番号（１－(1) 既述）は、綴の一部であるため、数量欄は空欄となっている。

(8) 備考

・包紙や袋の上書、貼紙、端裏書、奥書などの補足事項やその他参考になる記事をのせた。

・丁間挟込資料や挿入資料について枝番号を与えた場合は、備考欄にどこに挟み込まれていたかという情報を「何丁～何丁挟込」、またどこに挿入されていたかを「何丁内挿入」というように示した。

・寸法をとった資料については、縦×横（単位センチメートル）で示した。

２．モノ資料の記述項目についての補足事項を以下に示した。

・モノ資料のうちピンバッチ・簞笥金具を除く容器の資料番号は、『旧目録』に未収録の資料の続き番号とした（1792～1822）。なお、現状で、箱に文書資料が入れられ一緒に保管されている場合には、容器に新たな番号を付けることはせずに、文書資料の資料番号と同じものとした。

・資料名については、長持・挟箱・箱など容器の名称を付け、蓋がある箱の場合は蓋の種類を（　）で記した。

・法量については、横幅×奥行き×高さ（単位センチメートル）で示した。

・備考欄には、容器に記されている墨書や貼紙、その他破損状況などを載せた。
塗りの容器については、識別のために黒塗・朱塗などと記入した。

３．目録本文上の表記には、今日ではその使用が不適切だと考えられるものがあるが、歴史的用語としてそのまま掲載した。

A　大　名

A－1　　家

A－1－1　領知判物・朱印・目録など

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
徳川家綱			
16	166／C	武蔵国忍領高辻郡分目録	寛文4年4月1日
1－1	165／C	(徳川家綱領知判物)	寛文4年4月5日
1－2	165／C	目録(領知目録)	寛文4年4月5日
1－3	165／C	(徳川家綱領知判物写)	寛文4年4月5日
1－4	165／C	(徳川家綱領知判物写)	寛文4年4月5日
1－5	165／C	(徳川家綱領知判物写)	寛文4年4月5日
1－6	165／C	目録(領知目録写)	寛文4年4月5日
1－7	165／C	目録(領知目録写)	寛文4年4月5日
2－1	165／C	(徳川家綱領知朱印状)	寛文4年4月5日
2－2	165／C	目録(領知目録)	寛文4年4月5日
2－3	165／C	(徳川家綱領知朱印状写)	寛文4年4月5日
2－4	165／C	(徳川家綱領知朱印状写)	寛文4年4月5日
2－5	165／C	(徳川家綱領知朱印状写)	寛文4年4月5日
2－6	165／C	目録(領知目録写)	寛文4年4月5日
徳川綱吉			
3－1	165／C	(徳川綱吉領知判物)	貞享元年9月21日
3－2	165／C	目録(領知目録)	貞享元年9月21日
3－3	165／C	(徳川綱吉領知判物写)	貞享元年9月21日
3－4	165／C	(徳川綱吉領知判物写)	貞享元年9月21日
3－5	165／C	目録(領知目録写)	貞享元年9月21日

作成→受取	形態	数量	備　考
	状・包	1・1	包紙上書「武蔵国忍領高辻郡分目録」「阿部豊後守」
(徳川家綱花押)→忍侍従(阿部忠秋)とのへ	状・包	1・1	包紙上書「忍侍従とのへ」・包紙貼紙「厳有院様御判物御本書」／46.5×65.5
永井伊賀守尚庸(花押)・小笠原山城守長頼(花押)→阿部豊後守(忠秋)殿	状・包	1・1	包紙上書「領地之目録」・包紙貼紙「寛文四年四月五日忠秋様御拝領」／38.4×288.5
御判→忍侍従(阿部忠秋)とのへ	状	1	端裏貼紙「厳有院様御判物写一」／47.0×65.3
御判→忍侍従(阿部忠秋)とのへ	状・包	1・1	本紙端裏貼紙「厳有院様御判物写一」「当主阿部豊後守」／包紙上書「忍侍従とのへ」・包紙貼紙「厳有院様御判物写一」「当主阿部豊後守」／47.7×64.5
御判→忍侍従(阿部忠秋)とのへ	状	1	端裏貼紙「厳有院様御判物」／46.8×64.5
永井伊賀守尚庸判・小笠原山城守長頼判→阿部豊後守(忠秋)殿	状	1	端裏貼紙「寛文四年四月五日」／36.1×294.3
永井伊賀守(尚庸)・小笠原山城守(長頼)→阿部豊後守(忠秋)殿	状	1	40.7×239.0
(徳川家綱朱印)→阿部播磨守(正能)とのへ	状・包	1・1	包紙上書「阿部播磨守とのへ」・包紙貼紙「厳有院様御朱印御本書二」／46.8×65.5
永井伊賀守尚庸(花押)・小笠原山城守長頼(花押)→阿部播磨守(正能)殿	状・包	1・1	包紙上書「領地之目録」・包紙貼紙「寛文四年四月五日正能様御拝領」／38.4×96.8
御朱印→阿部播磨守(正能)とのへ	状	1	端裏貼紙「厳有院様御朱印写二」／47.0×64.0
御朱印→阿部播磨守(正能)とのへ	状	1	端裏貼紙「厳有院様御朱印写二」「当主阿部豊後守」／46.7×64.5
御朱印→阿部播磨守(正能)とのへ	状・包	1・1	本紙端裏貼紙「厳有院様御朱印写二」／包紙上書「阿部播磨守とのへ」・包紙貼紙「厳有院様御朱印写二」「当主阿部豊後守」／46.7×64.9
永井伊賀守(尚庸)・小笠原山城守(長頼)→阿部播磨守(正能)殿	状・包	1・1	本紙端裏貼紙「寛文四年四月五日」／包紙上書「領地目録写」・包紙貼紙「寛文四年四月五日」／40.7×110.0
(徳川綱吉花押)→忍侍従(阿部正武)とのへ	状・包	1・1	包紙上書「忍侍従とのへ」・包紙貼紙「常憲院様御判物御本書」／46.7×65.0
本多淡路守忠当(花押)・牧野因幡守冨成(花押)→阿部豊後守(正武)殿	状・包	1・1	本紙端裏貼紙「貞享元年九月廿一日正武様御拝領」／包紙上書「領知目録」／87.0×172.0
御判→忍侍従(阿部正武)とのへ	状	1	端裏貼紙「常憲院様御判物写」／46.8×64.4
御判→忍侍従(阿部正武)とのへ	状	1	端裏貼紙「常憲院様御判物写一」／46.8×65.0
本多淡路守(忠当)・牧野因幡守(冨成)→阿部豊後守(正武)殿	状	1	40.6×263.5

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
27	166／C	(摂津国河辺郡の内高1万石知行割)	(貞享3年～)
4－1	165／C	(徳川綱吉領知朱印状)	元禄7年5月25日
4－2	165／C	目録(領知目録)	元禄7年5月25日
4－3	165／C	(徳川綱吉領知朱印状写)	元禄7年5月25日
4－4	165／C	(徳川綱吉領知朱印状写)	元禄7年5月25日
4－5	165／C	(徳川綱吉領知朱印状写)	元禄7年5月25日
4－6	165／C	目録(領知目録写)	元禄7年5月25日
5－1	165／C	(徳川綱吉領知朱印状)	元禄12年2月25日
5－2	165／C	目録(領知目録)	元禄12年2月25日
5－3	165／C	(徳川綱吉領知朱印状写)	元禄12年2月25日
5－4	165／C	目録(領知目録写)	元禄12年2月25日
6－1	165／C	(徳川綱吉領知朱印状)	元禄12年11月6日
6－2	165／C	目録(領知目録)	元禄12年11月6日
6－3	165／C	(徳川綱吉領知朱印状写)	元禄12年11月6日
6－4	165／C	(徳川綱吉領知朱印状写)	元禄12年11月6日
6－5	165／C	目録(領知目録写)	元禄12年11月6日
6－6	165／C	目録(領知目録写)	元禄12年11月6日
徳川家宣			
17	166／C	分知高五千石郷村目録	宝永7年3月11日
18	166／C	分知高五千石郷村目録	宝永7年12月22日
7－1	165／C	(徳川家宣領知判物)	正徳2年4月11日

作成→受取	形態	数量	備　考
	状・包	1・1	包紙上書「知行割」／43.3×57.4
(徳川綱吉朱印)→忍侍従(阿部正武)とのへ	状・包	1・1	包紙上書「忍侍従とのへ」・包紙貼紙「常憲院様御朱印御本書」／46.5×65.7
土屋相模守政直(花押)・戸田山城守忠昌(花押)・大久保加賀守忠朝(花押)→阿部豊後守(正武)殿	状・包	1・1	包紙上書「領知目録」・包紙貼紙「元禄七年五月廿五日正武様御拝領」／46.2×379.4
御朱印→忍侍従(阿部正武)とのへ	状	1	端裏貼紙「常憲院様御朱印」／46.7×64.0
御朱印→忍侍従(阿部正武)とのへ	状	1	端裏貼紙「常憲院様御朱印写」／46.7×64.7
御朱印→忍侍従(阿部正武)とのへ	状・包	1・1	本紙端裏貼紙「常憲院様御朱印写二」「当主阿部豊後守」／包紙上書「忍侍従とのへ」・包紙貼紙「常憲院様御朱印写二」「当主阿部豊後守」／46.7×65.5
土屋相模守(政直)・戸田山城守(忠昌)・大久保加賀守(忠朝)→阿部豊後守(正武)殿	状	1	端裏貼紙「元録七年五月廿五日」／40.5×390.3
(徳川綱吉朱印)→忍侍従(阿部正武)とのへ	状・包	1・1	包紙上書「忍侍従とのへ」・包紙貼紙「常憲院様御朱印御本書」／46.6×66.0
小笠原佐渡守長重(花押)・土屋相模守政直(花押)・戸田山城守忠昌(花押)→阿部豊後守(正武)殿	状・包	1・1	包紙上書「領知目録」・包紙貼紙「元録十二年二月廿五日正武様御拝領」／46.2×370.3
御朱印→忍侍従(阿部正武)とのへ	状	1	端裏貼紙「常憲院様御朱印写」／46.7×64.4
小笠原佐渡守(長重)・土屋相模守(政直)・戸田山城守(忠昌)→阿部豊後守(正武)殿	状	1	端裏書「元禄十二年二月廿五日不及被差出控」／40.6×380.8
(徳川綱吉朱印)→阿部飛騨守(正喬)とのへ	状・包	1・1	包紙上書「阿部飛騨守とのへ」・包紙貼紙「常憲院様御朱印御本書」／46.5×65.8
秋元但馬守喬朝(花押)・小笠原佐渡守長重(花押)・土屋相模守政直(花押)・阿部豊後守正武(花押)→阿部飛騨守(正喬)殿	状・包	1・1	包紙上書「領知目録」・包紙貼紙「元録十二年十一月六日正喬様御拝領」／46.5×230.2
御朱印→阿部飛騨守(正喬)とのへ	状	1	端裏貼紙「常憲院様御朱印」／47.0×65.0
御朱印→阿部飛騨守(正喬)とのへ	状	1	端裏貼紙「常憲院様御朱印写」／46.6×64.5
秋元但馬守(喬朝)・小笠原佐渡守(長重)・土屋相模守(政直)・阿部豊後守(正武)→阿部飛騨守(正喬)殿	状・包	1・1	包紙上書「領知目録写」／貼紙「壱万石之御領知目録写、元禄十二年十一月六日」(剥離)／45.8×256.0
秋元但馬守(喬朝)・小笠原佐渡守(長重)・土屋相模守(政直)・阿部豊後守(正武)→阿部飛騨守(正喬)殿	状	1	端裏書「元禄十二卯年」／40.6×258.1
飛騨守(阿部)正喬(花押墨消)→阿部帯刀(正晴)殿江	状・包	1・1	包紙上書「分地之目録」／38.7×181.2
飛騨守(阿部)正喬(花押)→阿部帯刀(正晴)殿江	状・包	1・1	包紙上書「分地之目録」／38.7×165.7
(徳川家宣花押)→忍侍従(阿部正喬)とのへ	状・包	1・1	包紙上書「忍侍従とのへ」・包紙貼紙「文昭院様御判物御本書」／46.5×65.4

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
7－2	165／C	目録(領知目録)	正徳2年4月11日
7－3	165／C	(徳川家宣領知判物写)	正徳2年4月11日
7－4	165／C	(徳川家宣領知判物写)	正徳2年4月11日
7－5	165／C	目録(領知目録写)	正徳2年4月11日
徳川吉宗			
8－1	165／C	(徳川吉宗領知判物)	享保2年8月11日
8－2	165／C	目録(領知目録)	享保2年8月18日
8－3	165／C	(徳川吉宗領知判物写)	享保2年8月11日
8－4	165／C	(徳川吉宗領知判物写)	享保2年8月11日
8－5	165／C	(徳川吉宗領知判物写)	享保2年8月11日
9－1	165／C	(徳川吉宗領知朱印状)	元文2年10月27日
9－2	165／C	目録(領知目録)	元文2年10月27日
9－3	165／C	(徳川吉宗領知朱印状写)	元文2年10月27日
9－4	165／C	(徳川吉宗領知朱印状写)	元文2年10月27日
9－5	165／C	目録(領知目録写)	元文2年10月27日
9－6	165／C	目録(領知目録写)	元文2年10月27日
徳川家重			
19	166／C	覚(領知目録・郷村帳差出の手目録)	(延享2年)閏12月
1759	168	(包紙)	(延享3年)
10－1	165／C	(徳川家重領知判物)	延享3年10月11日
10－2	165／C	目録(領知目録)	延享3年10月11日
10－3	165／C	(徳川家重領知判物写)	延享3年10月11日

作成→受取	形態	数量	備　考
松平備前守正久(花押)・安藤右京亮重行(花押)→阿部豊後守(正喬)殿	状・包	1・1	包紙上書「領知目録」／46.5×271.8
御判→忍侍従(阿部正喬)とのへ	状	1	端裏貼紙「文昭院様御判物写」／46.7×64.5
御判→忍侍従(阿部正喬)とのへ	状	1	端裏貼紙「文昭院様御判物写」／46.7×65.1
松平備前守正久判・安藤右京亮重行判→阿部豊後守(正喬)殿	状	1	端裏書「正徳二年四月十一日御領知目録写、享保二年二月九日被差出候控」／42.2×353.0
(徳川吉宗花押)→忍侍従(阿部正喬)とのへ	状・包	1・1	包紙上書「忍侍従とのへ」・包紙貼紙「有徳院様御判物御本書」／46.4×65.8
石川近江守総茂(花押)・朽木民部少輔稙元(花押)→阿部豊後守(正喬)殿	状・包	1・1	包紙上書「領知目録」／46.0×338.3
御判→忍侍従(阿部正喬)とのへ	状・包	1・1	本紙端裏貼紙「有徳院様御判物写一」「当主阿部豊後守」／包紙上書「忍侍従とのへ」・包紙貼紙「当主阿部豊後守」／46.8×64.0
御判→忍侍従(阿部正喬)とのへ	状	1	端裏貼紙「有徳院様御判物写」「有徳院様御判物写一」(剥離)／46.6×63.8
御判→忍侍従(阿部正喬)とのへ	状	1	端裏貼紙「有徳院様御判物」／46.6×64.8
(徳川吉宗朱印)→忍侍従(阿部正喬)とのへ	状・包	1・1	包紙上書「忍侍従とのへ」・包紙貼紙「有徳院様御朱印御本書」／46.2×65.4
本多中務大輔忠良(花押)・松平伊豆守信祝(花押)・松平左近将監乗邑(花押)→阿部豊後守(正喬)殿	状・包	1・1	包紙上書「領知目録」・包紙貼紙「元文二年十月廿七日正喬様御拝領」／46.3×337.0
御朱印→忍侍従(阿部正喬)とのへ	状	1	端裏貼紙「有徳院様御朱印」／46.8×64.8
御朱印→忍侍従(阿部正喬)とのへ	状・包	1・1	本紙端裏貼紙「有徳院様御朱印写二」「当主阿部豊後守」／包紙上書「忍侍従とのへ」・包紙貼紙「有徳院様御朱印写二」「当主阿部豊後守」／46.7×63.7
本多中務大輔(忠良)・松平伊豆守(信祝)・松平左近将監(乗邑)→阿部豊後守(正喬)殿	状	1	端裏貼紙「元文二年十月廿七日」／44.0×343.2
本多中務大輔忠良判・松平伊豆守信祝判・松平左近将監乗邑判→阿部豊後守(正喬)殿	状	1	端裏書「延享二乙丑年閏十二月被差出候御領知目録写」・端裏書年記の上貼紙「延享三寅年正月十六日」(剥離)・端裏貼紙「元文二年十月廿七日之写」／43.2×341.2
阿部豊後守(正喬)使者	状	1	
	包	1	上書「御判物四通、御朱印五通、当主阿部豊後守」／阿部豊後守は正喬カ
(徳川家重花押)→忍侍従(阿部正喬)とのへ	状・包	1・1	包紙上書「忍侍従とのへ」・包紙貼紙「惇信院様御判物御本書」／46.2×65.4
本多紀伊守正(珍)(花押)・秋元摂津守涼朝(花押)→阿部豊後守(正喬)殿	状・包	1・1	包紙上書「領知目録」／46.2×377.6
御判→忍侍従(阿部正喬)とのへ	状・包	1・1	本紙端裏貼紙「惇信院様御判物写」「当主阿部豊後守」／包紙上書「忍侍従とのへ」・包紙貼紙「惇信院様御判物写」「当主阿部豊後守」／46.6×64.2

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
10－4	165／C	(徳川家重領知判物写)	延享3年10月11日
10－5	165／C	目録(領知目録写)	延享3年10月11日
10－6	165／C	目録(領知目録写)	延享3年10月11日
徳川家治			
20	166／C	覚(領知目録・郷村帳差出の手目録)	(宝暦10年)12月24日
1023	125	(判物包紙上書寄せ)	(宝暦10年カ)
1752	168	(包紙)	(宝暦11年)
11－1	166／C	(徳川家治領知判物)	宝暦11年10月21日
11－2	166／C	目録(領知目録)	宝暦11年10月21日
11－3	166／C	(徳川家治領知判物写)	宝暦11年10月21日
11－4	166／C	(徳川家治領知判物写)	宝暦11年10月21日
11－5	166／C	目録(領知目録写)	宝暦11年10月21日
11－6	166／C	目録(領知目録写)	宝暦11年10月21日
徳川家斉			
12－1	166／C	(徳川家斉領知判物)	天明8年3月5日
12－2	166／C	目録(領知目録)	天明8年3月5日
12－3	166／C	(徳川家斉領知判物写)	天明8年3月5日
12－4	166／C	目録(領知目録写)	天明8年3月5日
28	53	陸奥国白川郡・石川郡・岩瀬郡・伊達郡・信夫郡、出羽国村山郡之内郷村高帳	文政6年9月
徳川家慶			
21	166／C	(文政6年所替以後新田改出につき届書写)	(天保9年)10月24日
23－1	166／C	目録(村寄目録)	天保9年10月24日
23－2	166／C	目録(村寄目録写)	天保9年月日

作成→受取	形態	数量	備　考
御判→忍侍従(阿部正喬)とのへ	状	1	端裏貼紙「惇信院様御判物写」／46.8×64.3
本多紀伊守正(珍)判・秋元摂津守涼朝判→阿部豊後守(正喬)殿	状	1	端裏貼紙「延享三年十月十一日正喬様御拝領」／43.6×399.1
本多紀伊守正(珍)判・秋元摂津守涼朝判→阿部豊後守(正喬)殿	状	1	端裏貼紙「延享三年十月十一日」／44.0×395.9
阿部飛騨守(正允)使者平田弾右衛門・案内太幡源五左衛門	状	1	
	状	1	
	包	1	上書「御判物写五通、御朱印写五通」「当主阿部飛騨守」／阿部飛騨守は正允カ
(徳川家治花押)→阿部飛騨守(正允)とのへ	状・包	1・1	包紙上書「阿部飛騨守とのへ」・包紙貼紙「浚明院様御判物御本書」／46.5×65.2
戸田采女正氏英(花押)・松平和泉守乗佑(花押)→阿部飛騨守(正允)殿	状・包	1・1	包紙上書「領知目録」・包紙貼紙「宝暦十一年十月廿一日正允様御拝領」／46.8×371.1
御判→阿部飛騨守(正允)とのへ	状・包	1・1	本紙端裏貼紙「浚明院様御判物写」「当主阿部豊後守」／包紙上書「阿部飛騨守とのへ」・包紙貼紙「浚明院様御判物写」「当主阿部豊後守」／46.6.×65.0
御判→阿部飛騨守(正允)とのへ	状	1	端裏貼紙「浚明院様御判物写」「当主阿部弾正」(剥離)／46.0×64.3
戸田采女正氏英判・松平和泉守乗佑判→阿部飛騨守(正允)殿	状・包	1・1	本紙端裏貼紙「宝暦十一年十月廿一日」／包紙上書「領知目録写」「当主阿部飛騨守」／42.8×443.2
戸田采女正氏英判・松平和泉守乗佑判→阿部飛騨守(正允)殿	状・包	1・1	本紙端裏貼紙「宝暦十一十月廿一日」／包紙上書「領知目録写」・包紙貼紙「宝暦十一年十月廿一日」／46.0×543.4
(徳川家斉花押)→阿部豊後守(正識)とのへ	状・包	1・1	包紙上書「阿部豊後守とのへ」・包紙貼紙「大御所様御判物御本書」／46.5×65.4
青山大膳亮幸完(花押)・松平右京亮輝和(花押)→阿部豊後守(正識)殿	状・包	1・1	包紙上書「領知目録」・包紙貼紙「天明八年三月五日正識様御拝領」／46.2×367.1
御判→阿部豊後守(正識)とのへ	状・包	1・1	包紙上書「阿部豊後守とのへ」／56.8×65.6
青山大膳亮幸完・松平右京亮輝和→阿部豊後守(正識)殿	状・包	1・1	本紙端裏貼紙「天明八年三月五日」(剥離)／包紙上書「領知目録写」・包紙貼紙「天明八年三月五日」／38.8×502.6
柴田善之丞印ほか6名→嶋田帯刀殿	竪・箱	1・1	奥書「未九月、嶋田帯刀㊞」→「阿部鉄丸(正権)殿役人中」／箱(本目録384・385頁参照)上書「御領知郷村高帳」・箱貼紙「第五号」
阿部弾正(正備)→本多下総守(康禎)殿・牧野備前守(忠雅)殿	状・包	1・1	包紙上書「阿部弾正」
阿部弾正(正備)(黒印・花押)→本多下総守(康禎)殿・牧野備前守(忠雅)殿	状・包	1・1	包紙上書「村寄目録」「阿部弾正」
阿部弾正(正備)印判・居判→本多下総守(康禎)殿・牧野備前守(忠雅)殿	状	1	「拾万石」、「御本紙与者違ひ有候」とある紙片挟込

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
13－1	166／C	(徳川家慶領知判物)	天保10年3月5日
13－2	166／C	目録(領知目録)	天保10年3月5日
13－3	166／C	(徳川家慶領知判物写)	天保10年3月5日
13－4	166／C	目録(領知目録写)	天保10年3月5日
13－5	166／C	目録(領知目録写)	天保10年3月5日
13－6	166／C	目録(領知目録写)	天保10年3月5日
29～31	袋一括		
29	53	出羽国村山郡、近江国坂田郡・浅井郡之内郷村高帳写	弘化3年6月
30	53	上野国邑楽郡・山田郡・新田郡・勢田郡、出羽国村山郡、河内国丹北郡・八上郡・丹南郡之内郷村高帳写	弘化3年6月
31	53	郷村高帳其外御引渡可被成品ヶ条凡取調書付	午(弘化3年)6月
徳川家定			
24	166／C	覚(判物・朱印状・領知目録の手目録)	(嘉永7年カ)10月3日
22	166／C	覚(天保9年改以後新田改出につき届書写)	(嘉永7年)11月21日
25	166／C	目録(村寄目録)	嘉永7年11月21日
26	166／C	目録(村寄目録雛形)	年号月日
14－1	166／C	(徳川家定領知判物)	安政2年3月5日
14－2	166／C	目録(領知目録)	安政2年3月5日
14－3	166／C	(徳川家定領知判物写)	安政2年3月5日
14－4	166／C	目録(領知目録写)	安政2年3月5日

作成→受取	形態	数量	備　考
(徳川家慶花押)→阿部能登守(正備)とのへ	状・包	1・1	包紙上書「阿部能登守とのへ」・包紙貼紙「正備公御頂戴之慎徳院様御判物御本書此分写アル」／46.0×65.2
牧野備前守忠雅(花押)・本多下総守康禎(花押)→阿部能登守(正備)殿	状・包	1・1	包紙上書「領知目録」・包紙貼紙「天保十年三月五日正備様御拝領」／46.7×280.3
御判→阿部能登守(正備)とのへ	状・包	1・1	本紙端裏貼紙「慎徳院様御判物写」「当主阿部播磨守」／包紙上書「阿部能登守とのへ」・包紙貼紙「慎徳院様御判物写」「当主阿部播磨守」／45.8×64.6
牧野備前守忠雅判・本多下総守康禎判→阿部能登守(正備)殿	状・包	1・1	包紙上書「領知目録」／46.6×279.4
牧野備前守忠雅判・本多下総守康禎判→阿部能登守(正備)殿	状・包	1・1	本紙端裏書「小札、当主阿」／包紙上書「領知目録写」「当主阿部播磨守」／27.6×148.4
牧野備前守忠雅判・本多下総守康禎判→阿部能登守(正備)殿	状・包	1・1	包紙上書「領知目録写」／43.2×232.1
河島才右衛門印ほか4名→石井勝之進殿ほか1名	一括袋・竪	1・1	一括袋上書「御村替ニ付、秋元様上野国邑楽郡・山田郡・新田郡・勢田郡、出羽国村山郡、河内国丹北郡・八上郡・丹南郡之内郷村高帳写壱冊、水野金五郎様出羽国村山郡、近江国坂田郡・浅井郡之内郷村高帳写壱冊、御家出羽国村山郡御上知ニ付郷村高帳其外御引渡可相成ヶ条凡取調書付壱冊、御書物番」・朱書「弘化三丙午年七月三日御代官様方ヨリ御渡有之御役所ニ御預ニ相成」／奥書「午七月、石井勝之進㊞」→「阿部能登守(正備)殿役人中」
河島才右衛門印ほか4名→林部善太左衛門殿ほか1名	竪	1	奥書「午七月、石井勝之進㊞」→「阿部能登守(正備)殿役人中」
石井勝之進手代原与兵衛㊞ほか1名	竪	1	
阿部播磨守(正耆)使者高松左兵衛・案内柴崎津右衛門	状・包	1・1	包紙上書「手目録」「阿部播磨守使者高松左兵衛、案内柴崎津右衛門」
阿部播磨守(正耆)→本多中務大輔(忠民)殿・青山大膳亮(幸哉)殿	状・包	1・1	包紙上書「阿部播磨守」
阿部播磨守(正耆)(黒印・花押)→本多中務大輔(忠民)殿・青山大膳亮(幸哉)殿	状・包	1・1	包紙上書「村寄目録」「阿部播磨守」／44.5×503.7
何之誰印判・居判→本多中務大輔(忠民)殿・青山大膳亮(幸哉)殿	状・包	1・1	包紙上書「村寄目録」「何之誰」／44.4×140.0
(徳川家定花押)→阿部播磨守(正耆)とのへ	状・包	1・1	包紙上書「阿部播磨守とのへ」・包紙貼紙「正耆公御頂戴之御判物御本書此分写アル」／こより札「安政二年」あり／46.0×65.4
青山大膳亮幸哉(花押)・本多中務大輔忠民(花押)→阿部播磨守(正耆)殿	状・包	1・1	包紙上書「領知目録」／46.8×464.8
御判→阿部播磨守(正耆)とのへ	状・包	1・1	包紙上書「阿部播磨守とのへ」・包紙貼紙「安政二年正耆公御頂戴之御判物写」／42.6×65.2
青山大膳亮幸哉判・本多中務大輔忠民判→阿部播磨守(正耆)殿	状・包	1・1	包紙上書「領知目録写」・包紙貼紙「安政二年」／44.6×479.8

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
15－4	166／C	目録(領知目録写)	安政2年3月5日
徳川家茂			
15－1	166／C	(徳川家茂領知判物)	安政7年3月5日
15－2	166／C	目録(領知目録)	安政7年3月5日
15－3	166／C	(徳川家茂領知判物写)	安政7年3月5日
15－5	166／C	目録(領知目録写)	安政7年3月5日
年代不明			
1758	168	(包紙)	
1761	168	(「郷村高辻帳並御條目分入」)	
1775	168	(「御判物・御朱印並領知目録、阿部播磨守」)	

A－1－2　位記・宣旨・口宣案

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
阿部正能宛			
123－1	57／C	(阿部正能叙従五位下位記)	承応元年12月28日
123－2	57／C	口宣案(阿部正能叙従五位下)	承応元年12月28日
123－3	57／C	宣旨(阿部正能任播磨守)	承応元年12月28日
123－4	57／C	口宣案(阿部正能任播磨守)	承応元年12月28日
125－1	57／C	(阿部正能叙従四位下位記)	延宝元年12月28日
125－2	57／C	口宣案(阿部正能叙従四位下)	延宝元年12月28日
阿部正武宛			
124－1	57／C	(阿部正武叙従五位下位記)	寛文3年12月28日
124－2	57／C	宣旨(阿部正武任美作守)	寛文3年12月28日
124－3	57／C	口宣案(阿部正武任美作守)	寛文3年12月28日
126－1	57／C	(阿部正武叙従四位下位記)	延宝9年4月18日
126－2	57／C	口宣案(阿部正武叙従四位下)	延宝9年4月18日

作成→受取	形態	数量	備　考
青山大膳亮幸哉判・本多中務大輔忠民判→阿部播磨守(正耆)殿	状・包	1・1	本紙端裏貼紙「安政七年三月五日正耆様御拝領」／包紙上書「領知目録写」「当主阿部播磨守」／43.6×499.8
(徳川家茂花押)→阿部播磨守(正耆)とのへ	状・包	1・1	包紙上書「阿部播磨守とのへ」・包紙貼紙「正耆公御頂戴之御判物御本書此分写アル」／45.8×65.2
松平大隅守親良(花押)・松平右京亮輝聴(花押)→阿部播磨守(正耆)殿	状・包	1・1	貼紙「当主阿部播磨守」(剥離)／包紙上書「領知目録」／46.7×467.4
御判→阿部播磨守(正耆)とのへ	状・包	1・1	包紙上書「阿部播磨守とのへ」・包紙貼紙「正耆公御頂戴之御判物写」／46.0×64.2
松平大隅守親良判・松平右京亮輝聴判→阿部播磨守(正耆)殿	状・包	1・1	包紙上書「領知目録写」「当主阿部播磨守」／43.4×514.4
	包	1	上書「御判物写、御朱印写」
	状	1	
	状	1	

作成→受取	形態	数量	備　考
→阿部宿祢正能	巻	1	付箋紐付「従五位下阿部正能」／付箋挟込「正能公」
蔵人頭右中弁藤原(清閑寺)熙房→阿部正能	状	1	宿紙／上卿葉室中納言(頼業)
大外記兼掃部頭造酒正直講中原朝臣師定→阿部宿祢正能	状	2	礼紙あり／(上卿)正三位行権中納言藤原朝臣(葉室)頼業
蔵人頭右中弁藤原(清閑寺)熙房→阿部正能	状	1	宿紙／上卿葉室中納言(頼業)
→従五位下阿部朝臣正能	巻	1	
蔵人左少弁藤原(日野西)国豊→従五位下阿部正能	状	1	宿紙／上卿三条大納言(実通)
→阿部朝臣正武	巻	1	付箋挟込「正武公」
大外記兼掃部頭造酒正中原朝臣師定→従五位下阿部朝臣正武	状	2	礼紙あり／(上卿)正三位行権中納言藤原朝臣(今出川)公規
蔵人右少弁藤原(柳原)資廉→阿部正武	状	1	宿紙／上卿今出川中納言(公規)
→従五位下阿部宿祢正武	巻	1	付箋挟込「正能公」
蔵人頭左近衛権中将藤原(松木)宗顕→従五位下阿部正武	状	1	宿紙／上卿葉室大納言(頼孝)

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
127－1	57／C	宣旨(阿部正武任侍従)	天和元年12月11日
127－2	57／C	口宣案(阿部正武任侍従)	天和元年12月11日
阿部正喬宛			
128－1	57／C	(阿部正喬叙従五位下位記)	貞享３年12月26日
128－2	57／C	口宣案(阿部正喬叙従五位下)	貞享３年12月26日
128－3	57／C	宣旨(阿部正喬任出羽守)	貞享３年12月26日
128－4	57／C	口宣案(阿部正喬任出羽守)	貞享３年12月26日
129－1	57／C	(阿部正喬叙従四位下位記)	宝永６年12月15日
129－2	57／C	口宣案(阿部正喬叙従四位下)	宝永６年12月15日
130	57／C	口宣案(阿部正喬任侍従)	正徳元年６月１日
阿部正允宛			
131	57／C	(阿部正尹(允)叙従五位下位記)	享保18年12月18日
阿部正敏宛			
132－1	57／C	(阿部正敏叙従五位下位記)	寛延２年12月18日
132－2	57／C	口宣案(阿部正敏叙従五位下)	寛延２年12月18日
132－3	57／C	宣旨(阿部正敏任能登守)	寛延２年12月18日
132－4	57／C	口宣案(阿部正敏任能登守)	寛延２年12月18日
133－1	58／C	(阿部正敏叙従四位下位記)	天明元年12月16日
133－2	58／C	口宣案(阿部正敏叙従四位下)	天明元年12月16日
阿部正識宛			
134－1	58	(阿部正識叙従五位下位記)	天明２年12月18日
134－2	58／C	口宣案(阿部正識叙従五位下)	天明２年12月18日
134－3	58／C	宣旨(阿部正識任美作守)	天明２年12月18日

作成→受取	形態	数量	備　考
大外記兼掃部頭造酒正直講中原朝臣師庸→従四位下阿部朝臣正武	状	2	礼紙あり／従二位行権大納言藤原朝臣(葉室)頼孝／付箋紐付「正武公」
蔵人頭右近衛権中将藤原(油小路)隆真→従四位下阿部正武朝臣	状	1	宿紙／上卿葉室大納言(頼孝)
→阿部朝臣正喬	巻	1	付箋紐付「正喬公」
蔵人右少弁藤原(烏丸)宣定→阿部正喬	状	1	宿紙／上卿久我大納言(通誠)
大外記兼掃部頭造酒正助教中原朝臣師庸→従五位下阿部朝臣正喬	状	2	礼紙あり／こより付箋挟込「正喬公」／(上卿)従二位行権大納言源朝臣(久我)通誠
蔵人右少弁藤原(烏丸)宣定→阿部正喬	状	1	宿紙／上卿久我大納言(通誠)
→従五位下阿部宿祢正喬	巻	1	こより付箋挟込「正喬公」
蔵人左少弁兼中宮大進藤原(清閑寺)治房→従五位下阿部正喬	状	1	宿紙／上卿徳大寺大納言(公全)
蔵人右中弁藤原(裏松)益光→従四位下阿部正喬朝臣	状	1	宿紙／上卿小川坊城大納言(俊清)
→阿部朝臣正尹(允)	巻	1	端裏に貼紙／こより付箋挟込「正尹公」／付箋貼付「従五位下阿部朝臣正尹、阿部能登守」／端裏貼紙「正允公御本家御相続前ノ御位記也、右者御足軽荻原勘兵衛白川戦争後於同所発見ニ付、重キ御品ノ事ニ付同人父勘右衛門取置キ折リヲ以テ献呈心掛居候処、幸今般出京ニ付父ノ遺志ヲ継キ献上致度旨申出ニ依リ御入納相成ル」
→阿部朝臣正敏	巻	1	付箋挟込(虫損)「阿部能登守」
蔵人頭右近衛権中将藤原(正親町)実連→阿部正敏	状	1	宿紙／上卿柳原大納言(光綱)
大外記兼掃部頭造酒正中原朝臣師允→従五位下阿部朝臣正敏	状	2	礼紙あり／こより付箋挟込「正敏公」／(上卿)従二位行権大納言藤原朝臣(柳原)光綱
蔵人頭右近衛権中将藤原(正親町)実連→従五位下阿部正敏	状	1	宿紙／上卿柳原大納言(光綱)
→従五位下阿部朝臣正敏	状	1	こより付箋挟込「従四位下阿部正敏、阿部能登守」
蔵人頭左近衛権中将藤原(油小路)隆彭→従五位下阿部正敏	状	1	宿紙／上卿大炊御門右大将(家孝)
(破損不開)	巻	1	付箋挟込「正識公」／開披不可
蔵人右中弁兼左衛門権佐藤原(坊城)俊親→阿部正識	状	1	宿紙／上卿烏丸中納言(光祖)
大外記兼掃部頭中原朝臣師資→従五位下阿部朝臣正識	状	1	礼紙なし／こより付箋挟込「正識公」／(上卿)従二位行権中納言藤原朝臣(烏丸)光祖

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
134－4	58／C	口宣案(阿部正識任美作守)	天明2年12月18日
阿部正由宛			
135－1	58／C	(阿部正由叙従五位下位記)	寛政5年12月16日
135－2	58／C	口宣案(阿部正由叙従五位下)	寛政5年12月16日
135－3	58／C	宣旨(阿部正由任播磨守)	寛政5年12月16日
135－4	58／C	口宣案(阿部正由任播磨守)	寛政5年12月16日
136－1	58／C	(阿部正由叙従四位下位記)	享和4年1月23日
136－2	58／C	口宣案(阿部正由叙従四位下)	享和4年1月23日
137	58／C	口宣案(阿部正由任侍従)	文化3年11月27日
阿部正篤宛			
138－1	58／C	(阿部正篤叙従五位下位記)	文政6年12月16日
138－2	58／C	口宣案(阿部正篤叙従五位下)	文政6年12月16日
阿部正瞭宛			
139－1	58／C	(阿部正瞭叙従五位下位記)	天保2年12月16日
139－2	58／C	宣旨(阿部正瞭任能登守)	天保2年12月16日
139－3	58／C	口宣案(阿部正瞭任能登守)	天保2年12月16日
阿部正備宛			
140	58／C	(阿部正備叙従五位下位記)	天保9年12月19日
阿部正耆宛			
141－1	58／C	口宣案(阿部正耆叙従五位下)	嘉永元年12月28日
141－2	58／C	宣旨(阿部正耆任播磨守)	嘉永元年12月28日
141－3	58／C	口宣案(阿部正耆任播磨守)	嘉永元年12月28日
143－1	58／C	(阿部正耆叙従四位下位記)	文久3年12月3日
143－2	58／C	口宣案(阿部正耆叙従四位下)	文久3年12月3日

作成→受取	形態	数量	備　考
蔵人右中弁兼左衛門権佐藤原(坊城)俊親→従五位下阿部正識	状	1	宿紙／上卿烏丸中納言(光祖)
→阿部朝臣正由	巻	1	付箋紐付「従五位下阿部正由、阿部播磨守」
蔵人右中弁兼右衛門権佐藤原(柳原)均光→阿部正由	状	1	宿紙／上卿転法輪中納言(公修)
大外記兼助教中原朝臣師資→従五位下阿部朝臣正由	状	2	礼紙あり／こより付箋「正由公」／(上卿)従二位行権中納言藤原朝臣(転法輪三条)公修
蔵人右中弁兼右衛門権佐藤原(柳原)均光→従五位下阿部正由	状・包	1・1	宿紙／上卿転法輪中納言(公修)
→従五位下阿部宿祢正由	巻	1	
蔵人頭権右中弁藤原(甘露寺)国長→従五位下阿部正由	状	1	宿紙／上卿中山中納言(忠頼)
蔵人左少弁兼中宮大進左衛門権佐藤原(万里小路)建房→従四位下阿部正由朝臣	状	1	宿紙／上卿広幡大納言(前秀)
→阿部朝臣正篤	巻	1	こより付箋挟込「正篤公」
蔵人頭左中弁兼皇太后宮亮藤原(広橋)光成→阿部正篤	状	1	宿紙／上卿広幡大納言(経豊)
→阿部朝臣正瞭	巻	1	付箋糸付「従五位下阿部朝臣正瞭、阿部能登守」
大外記兼掃部頭造酒正助教中原朝臣師徳→従五位下阿部朝臣正瞭	状	2	礼紙あり／付箋糸付「阿部正瞭任能登守、宣旨」／(上卿)正二位行権大納言藤原朝臣(花山院)家厚
蔵人左少弁兼左衛門権佐皇太后宮大進藤原(万里小路)正房→従五位下阿部正瞭	状	1	宿紙／上卿花山院大納言(家厚)
→阿部朝臣正備	巻	1	付箋紐付「正備公」
蔵人右少弁藤原(葉室)長順→阿部正耆	状	1	宿紙／上卿広幡大納言(基豊)
大外記兼掃部頭造酒正中原朝臣師身→従五位下阿部朝臣正耆	状	2	礼紙あり／(上卿)正二位行権大納言源朝臣(広幡)基豊
蔵人右少弁藤原(葉室)長順→従五位下阿部正耆	状	1	宿紙／上卿広幡大納言(基豊)
→従五位下阿部朝臣正耆	巻	1	付箋挟込「正耆公」
蔵人頭右大弁藤原(中御門)経之→従五位下阿部正耆	状	1	宿紙／上卿四辻大納言(公績)

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
143－3	58／C	宣旨(阿部正耆任侍従)	文久3年12月3日
143－4	58／C	口宣案(阿部正耆任侍従)	文久3年12月3日
144－1	58	(阿部正耆叙従四位下位記写)	文久3年12月3日
144－2－1	58	口宣案(写・阿部正耆叙従四位下)　＊144－2－1～2	文久3年12月3日
144－2－2	58	口宣案(写・阿部正耆任侍従)	文久3年12月3日
144－3	58	宣旨(写・阿部正耆任侍従)	文久3年12月3日
阿部正外宛			
142－1	58／C	(阿部正外叙従五位下位記)	安政6年7月1日
142－2－1	58／C	口宣案(阿部正外叙従五位下)　＊142－2－1～2	安政6年7月1日
142－2－2	58／C	口宣案(阿部正外任越前守)	安政6年7月1日
142－3	58／C	宣旨(阿部正外任越前守)	安政6年7月1日
145－1	58／C	(阿部正外叙従四位下位記)	元治元年8月15日
145－2	58／C	口宣案(阿部正外叙従四位下)	元治元年8月15日
146	58／C	口宣案(阿部正外任侍従)	元治元年10月21日
阿部正静宛			
148	58／C	(阿部正静叙従五位下位記)	慶応2年11月30日
その他			
149－1	58／C	(上卿・職事書付)　＊149－1～6	(延宝9年4月18日)
149－2	58／C	(上卿・職事書付)	(天明2年12月18日)
149－4	58／C	(上卿・職事書付)	(寛政5年12月16日)
149－3	58／C	(上卿・職事書付)	(文化3年11月27日)
149－5	58／C	(上卿・職事書付)	(文久3年12月3日)
149－6	58／C	(上卿・職事名前書付)	(元治元年8月15日)
1748－1	168	(包紙)　＊1748－1～2	
1748－2	168	(「金山村鈴木某」)	

作成→受取	形態	数量	備　考
大外記兼助教中原朝臣師身→従四位下阿部朝臣正耆	状	2	礼紙あり／こより付箋挟込「阿部正耆任侍従、宣旨」／(上卿)正二位行権中納言藤原朝臣(醍醐)忠順
蔵人左少弁兼右衛門権佐藤原(坊城)俊政→従四位下阿部正耆朝臣	状	1	宿紙／上卿醍醐中納言(忠順)
→従五位下阿部朝臣正耆	巻	1	付箋紐付「従四位下阿部朝臣正耆、阿部播磨守」／こよりあり
蔵人頭右大弁藤原(中御門)経之→従五位下阿部正耆	一括包・状	1・1	上卿四辻大納言(公績)／包紙にこよりあり
蔵[　]衛門権佐藤原(坊城)俊政→従四位下阿部正耆朝臣	状	1	上卿醍醐中納言(忠順)／こよりあり
大外記兼助教中原朝臣師身→従四位下阿部朝臣正耆	状	1	(上卿)正二位行権中納言藤原朝臣(醍醐)忠順／こよりあり
→阿部朝臣正外	巻	1	こより付箋挟込「正外公」
蔵人頭左大弁藤原(広橋)胤保→阿部正外	一括包・状	1・1	宿紙／上卿坊城中納言(俊克)
蔵人頭左大弁藤原(広橋)胤保→従五位下阿部正外	状	1	宿紙／上卿坊城中納言(俊克)
大外記兼掃部頭造酒正中原朝臣師身→従五位下阿部朝臣正外	状	2	礼紙あり／付箋「阿部正外任越前守、宣旨」／こより付箋挟込「正外公」／(上卿)正二位行権中納言藤原朝臣(坊城)俊克
→従五位下阿部朝臣正外	状	1	紐付付箋「従四位下阿部朝臣正外、阿部豊後守」
蔵人中務少輔藤原(勘解由小路)資生→従五位下阿部正外	状	1	宿紙／上卿飛鳥井中納言(雅典)
蔵人頭権右中弁藤原(甘露寺)勝長→従四位下阿部正外朝臣	状	1	宿紙／上卿飛鳥井中納言(雅典)
→阿部朝臣正静	巻	1	こより付箋挟込「正静公」
	一括包・状・包	1・1・1	包紙上書「口宣之目録」
	状	1	
	状	1	
	状	1	
	状	1	
	状	1	
	包	1	包紙上書「口宣案一枚・位記一巻、阿部豊後守」
	状	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1757	168	(包紙)	

A－1－3　大名誓詞・家格など

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
大名誓詞			
750－1	109／C	(大名誓詞)　＊750－1～2	慶応3年10月19日
750－2	109／C	(大名誓詞)	慶応3年10月19日
家格			
151－1	58	御家格壱(家督)	(天明3年7月)
151－2－1	59	御家格弐(隠居・分知・暇)	(天明3年7月)
151－2－2	59	(「御従弟女近江守様御娘お道様」)	
151－3	59	御家格三(嫡子・嫡孫御目見ほか)	(天明3年7月)
151－4	59	御家格四(叙爵四品)	(天明3年7月)
151－5	59	御家格五(嫡子・養子・縁組願、婚姻・病後御礼、執政・侍従御礼)	(天明3年7月)
151－6	59	御家格六(御朱印・寺社御朱印頂戴、御燈籠献上、足袋願ほか)	(天明3年7月)
献上・拝領など			
206－1	63	御代々御拝領物留帳	享保20年9月
206－2	63	御代々様御拝領物書抜	(寛永11年～天明4年)
1013	125	文化五戊辰年十二月廿一日改之黄金御有高	(文化5年12月21日～天保3年6月29日)
1016	125	(武州東叡山文恭院殿尊前銅燈籠献上目録)	(天保12年閏1月晦日)
1777	168	(包紙)	(天保12年12月8日)
207－1	63	御成之記上(阿部正武代将軍綱吉御成記)	(元禄7～8年・安政3年3月写)
207－2	63	御成之記下(阿部正武代将軍綱吉御成記)	(元禄7～8年・安政3年3月写)
208	63	(元禄8年将軍綱吉御成祝儀振舞献立の図)	
1716	164	(御厨子飾付につき)	

作成→受取	形態	数量	備　考
	包	1	包紙上書「口宣案二枚、宣旨一枚、位記一巻、阿部播磨守」

作成→受取	形態	数量	備　考
阿部美作守(正静花押)→松平伊予守殿ほか5名	一括箱・状・包	1・1・1	一括箱(本目録384・385頁参照)上書・包紙上書「誓詞、阿部美作守」／牛玉宝印使用／「四四」記されている包(虫除けカ)あり
阿部美作守(正静花押)	状・包	1・1	包紙上書「誓詞、阿部美作守」／牛玉宝印使用
	竪	1	綴紐に「壱号、六冊」の付箋あり
	竪	1	
	状	1	151－2－1の34～35丁挟込
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	94丁に「天明三癸卯年七月記畢之」とあり／2～3丁に剥離付箋挟込
石山加右衛門㊞ほか4名	竪	1	
	竪	1	
	横	1	
奥州白川城主従五位下能登守阿部正備	状	2	
	包	1	上書「文恭院様御霊前へ此度御献備銅御燈籠銘文控」
	竪	1	奥書「此御成之記二冊者中田孫太夫勝弥より借請、林十郎左衛門未見ニ為写置候者也、于時安政三丙辰年三月吉日」
	竪	1	
	竪	1	
	状・包	1・1	包紙上書「御厨子餝付」

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
武家諸法度			
894	113	武家諸法度	嘉永７年９月25日
895	113	武家諸法度	安政６年９月25日

A－１－４　藩主条目

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
阿部正武			
833	112	条々(家中条目)	元禄２年６月１日
834	112	条々(倹約条目)	元禄２年６月１日
876	113／C	条々(町方条目)	元禄２年６月１日
840	112	条々(川俣条目)	元禄２年６月１日
843－1	112	定(江戸番之定)	元禄２年６月１日
843－2	112	(江戸番之定条文カ)	
847	112／C	用事申付候時番休日数之定	元禄２年６月１日
851	112／C	所々番之定	元禄２年６月１日
871	112	定(寄場之定)	元禄２年６月１日
880	113／C	定(郡方定)	元禄２年６月１日
858	112／C	覚(御門鑰置所覚書)	元禄２年６月１日
868	112	(二丸屋鋪覚書)	元禄２年６月１日
885	113	覚(武具方覚書)	元禄２年６月１日
852	112	所々番之定	元禄３年11月１日
872	112	定(寄場之定)	元禄３年11月１日
881	113	定(郡方定)	元禄３年11月１日
859	112	覚(御門鑰置所覚書)	元禄３年11月１日
860	112	覚(御門鑰置所覚書)	元禄15年５月28日
阿部正喬			
836	112	条々(家中条目)	正徳３年６月１日

作成→受取	形態	数量	備　考
	状・包	1・1	包紙上書「武家諸法度」／40.8×288.3
	状・包	1・1	包紙上書「武家諸法度」／40.5×284.1

作成→受取	形態	数量	備　考
(花押)(墨で抹消)	巻	1	端裏書「家中条目」／38.7×703.2
(花押)(墨で抹消)	巻	1	端裏書「家中条目」・端裏貼紙「一(抹消)」・「三」／38.8×462.8
(花押)(墨で抹消)	巻	1	端裏書「町方条目」／39.0×274.2
(花押)(墨で抹消)	巻	1	端裏書「川俣条目」／38.9×421.1
	巻	1	端裏書「江戸番之定」／付箋4枚(剥離)／38.7×218.3
	状	1	843－1に挟込
	巻	1	端裏書「番休日数之定」／38.9×136.3
	巻	1	端裏書「所々番之定七」／38.9×925.7
	巻	1	端裏書「寄場之定」／38.9×242.0
	巻	1	端裏書「郡方定」／39.0×365.7
	巻	1	「元禄二年」こよりあり／38.8×96.7
	巻	1	端裏書「二丸屋鋪覚書」／38.8×166.1
	巻・包	1・1	端裏書「武具方覚書」／38.8×151.4
	巻	1	端裏書「所々番之定七」／付箋2枚(剥離)／35.8×803.7
	巻	1	端裏書「寄場之定九」／35.8×231.9
	巻	1	端裏書「郡方定二」／35.8×303.7
	巻	1	端裏書「八」／こよりあり／付箋1枚(剥離)／35.8×96.7
	巻	1	付箋1枚(剥離)／35.6×117.3
(阿部正喬花押)	巻	1	端裏書「家中条目一」／36.1×763.8

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
835	112	条々(倹約条目)	正徳3年6月1日
877	113	条々(町方条目)	正徳3年6月1日
841	112	条々(川俣条目)	正徳3年6月1日
844	112	定(江戸番之定)	正徳3年6月1日
848	112	用事申付候時番休日数之定	正徳3年6月1日
853	112	所々番之定	正徳3年6月1日
861	112	覚(御門鑰置所覚書)	正徳3年6月1日
869	112	(二丸屋鋪覚書)	正徳3年6月1日
890	113	覚(家中条目心得)	巳(正徳3年)6月1日
854	112	所々番之定	享保11年6月1日
862	112	覚(御門鑰置所覚書)	享保11年6月1日
863	112	覚(御門鑰置所覚書写)	享保11年6月1日
855	112	所々番之定	享保16年6月1日
873	112	定(寄場之定)	享保16年6月1日
882	113	定(郡方定)	享保16年6月1日
886	113	覚(武具方覚書)	享保16年6月1日
864	112	覚(御門鑰置所覚書)	享保19年6月1日
阿部正由			
837	112	条々(家中条目)	寛政8年6月1日
878	113	条々(町方条目)	寛政8年6月1日
842	112	条々(川俣条目)	寛政8年6月1日
845	112	定(江戸番之定)	寛政8年6月1日
849	112	用事申付候時番休日数之定	寛政8年6月1日
856	112	所々番之定	寛政8年6月1日
874	113	定(寄場之定)	寛政8年6月1日
883	113	定(郡方定)	寛政8年6月1日

作成→受取	形態	数量	備　考
(阿部正喬花押)	巻	1	端裏書「家中条目三」／36.2×523.1
(阿部正喬花押)	巻	1	端裏書「町方条目末一」／36.1×246.3
(阿部正喬花押)	巻	1	端裏書「川俣条目二」／こよりあり／36.7×407.5
	巻	1	端裏書「江戸番之定四」／こよりあり／36.3×282.5
	巻	1	端裏書「番休日数之定五」／36.2×128.8
	巻	1	端裏書「所々番之定七」／付箋2枚／35.9×811.3
	巻	1	36.2×121.7
	巻	1	端裏書「二丸屋鋪覚書六」／35.8×149.0
	巻	1	端裏書「十」／36.2×58.8
	巻	1	端裏書「所々番之定七」／38.9×751.7
	巻	1	付箋1枚(剥離)／39.1×109.7
	巻	1	28.4×51.4
	巻	1	端裏書「所々番之定七」／36.1×679.0
	巻	1	端裏書「寄場之定九」／36.1×228.3
	巻	1	端裏書「郡方定末二」／こよりあり／36.0×331.2
	巻	1	端裏書「武具方覚書末三」／36.1×112.4
	巻	1	端裏書「御門鑰置所覚書八」／36.7×103.1
(阿部正由花押)	巻	1	端裏書「家中条目一」／36.7×760.2
(阿部正由花押)	巻	1	端裏書「町方条目末一」／36.8×253.0
(阿部正由花押)	巻	1	端裏書「川俣条目二」／こよりあり／36.8×402.3
	巻	1	端裏書「江戸番之定四」／36.8×257.8
	巻	1	端裏書「番休日数之定五」／36.7×162.1
	巻	1	端裏書「□□(虫損)番之定七」／付箋4枚(剥離)／36.7×699.2
	巻	1	端裏書「寄場之定九」／36.6×266.1
	巻	1	端裏書「郡方定末二」／36.8×387.6

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
865	112	覚(御門鑰置所覚書)	寛政8年6月1日
870	112	(二丸屋鋪覚書)	寛政8年6月1日
891	113	覚(家中条目心得)	辰(寛政8年)6月1日
阿部正篤			
838	112	条々(家中条目)	文政8年6月1日
839	112	条々(倹約条目)	文政8年6月1日
879	113	条々(町方条目)	文政8年6月1日
846	112	定(江戸番之定)	文政8年6月1日
850	112	用事申付候時番休日数之定	文政8年6月1日
857	112	所々番之定	文政8年6月1日
875	113	定(寄場之定)	文政8年6月1日
884	113	定(郡方定)	文政8年6月1日
866－1	112	覚(御門鑰置所覚書)	文政8年6月1日
866－2	112	(横町門鑰置場所につき覚書部分カ)	
867	112	(本城屋鋪覚書)	文政8年6月1日
887	113	覚(武具方覚書)	文政8年6月1日
892	113	覚(家中条目心得)	酉(文政8年)6月1日
年代不明			
889	113	覚(家中条目心得)	6月1日
893	113	覚(条目目録)	

A－1－5　家譜・家伝

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
官撰			
67	53	寛永二十年公儀へ御献上之豊後守殿御系図(阿部正勝～忠秋)	(寛永20年)

作成→受取	形態	数量	備　考
	巻	1	端裏書「御門鑰置所覚書八」／付箋24枚(剥離)／36.7×171.3
	巻	1	端裏書「二丸屋鋪覚書六」／こよりあり／36.6×170.0
	状	1	端裏書「十」／36.8×64.2
(阿部正篤花押)	巻・包	1・1	端裏書「家中条目一」／包紙上書「御判、家中条目一」／こよりあり／36.8×739.2
(阿部正篤花押)	巻・包	1・1	端裏書「家中条目弐」／包紙上書「御判、家中条目弐」／「林奉行」付箋1枚(剥離)／36.8×529.1
(阿部正篤花押)	巻・包	1・1	端裏書「町方条目末一」／包紙上書「御判、町方条目末ノ一」／こよりあり／付箋5枚(剥離)／36.8×242.0
	巻・包	1・1	端裏書「江戸番之定三」／包紙上書「江戸番之定三」／こよりあり／37.0×285.8
	巻・包	1・1	端裏書「番休日数之定四」／包紙上書「番休日数之定四」／37.0×162.1
	巻・包	1・1	端裏書「所々番之定六」／包紙上書「所々番之定六」／36.7×654.4
	巻・包	1・1	端裏書「寄場之定八」／包紙上書「寄場之定八」／36.9×290.9
	巻	1	端裏書「郡方定末二」／包紙上書「郡方定末二」／こよりあり／36.9×359.1
	巻・包	1・1	端裏書「御門鑰置所覚書七」／包紙上書「御門鑰置所覚書七」／こよりあり／付箋17枚(剥離)／36.9×163.1
	状	1	866－1に巻き込み
	巻・包	1・1	端裏書「本城屋鋪覚書五」／包紙上書「本城屋鋪覚書五」／付箋1枚(剥離)／36.9×179.3
	巻・包	1・1	端裏書「武具方覚書末三」／包紙上書「武具方覚書末三」／こよりあり／36.9×143.3
	状・包	1・1	端裏書「九」／包紙上書「九」／こよりあり／36.9×81.7
	巻	1	38.7×62.2
	状	1	17.4×39.9

作成→受取	形態	数量	備　考
	竪・包	1・1	包紙上書「寛永二十年公儀江御献上之御系図一冊」

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1017－1	125	旗之紋・幕之紋・家之紋(諸家紋譜取調につき差出書控)	(弘化2年6月)
1017－2－1	125	旗之紋・幕之紋・家之紋(諸家紋譜取調につき差出書控)　＊1017－2－1～3	(弘化2年6月)
1017－2－2	125	旗之紋・幕之紋・家之紋(諸家紋譜取調につき差出書控)	(寛政12年12月)
1017－2－3	125	旗之紋・幕之紋・家之紋(諸家紋譜取調につき差出書控)	弘化2年6月
1788	168	(包紙)	
家伝			
1252	145	詳註古今武家童子訓抜書前編(阿部忠吉酒匂伏兵高名のこと)	(天正18年以降)
66	53	阿部家総括系(山城守入道因獄助～正勝阿部家系図)	(文明年中～慶長5年)
80	54	寛明録(阿部忠秋関係記事書抜)	(寛永元年～明暦3年)
78－1	54	公御徳恕伝記天(阿部忠秋)	(慶長7年～延宝3年)
78－2	54	公御徳恕伝記地(阿部忠秋)	(慶長7年～延宝3年)
78－3	54	公御徳恕伝記人(阿部忠秋)	(慶長7年～延宝3年)
79	54	公御徳恕伝記(阿部忠秋)	(慶長7年～延宝3年)
82	54	仰高録(阿部忠吉・忠秋伝記)	(天正14年～延宝8年)
81－1	54	寛永昇進録上(阿部忠秋伝記)	
81－2	54	寛永昇進録中(阿部忠秋伝記)	
81－3	54	寛永昇進録下(阿部忠秋伝記)	

作成→受取	形態	数量	備　考
阿部能登守(正備)	竪・袋	1・1	袋上書「旗之紋・幕之紋・家之紋、阿部能登守」「弘化二乙巳年四月十八日諸家紋譜取調可申上旨若年寄遠藤但馬守様被仰達候旨御目付桜井庄兵衛様被仰達候付、寛政十二申年御書出之雛形与此度御武器正写之雛形見合取調、同年六月十六日御目付平賀三五郎様江被差出候写、江戸御用部屋控、委細日記有之」とあり
阿部能登守(正備)	一括袋・竪	1・1	一括袋上書「旗之紋、幕之紋、家之紋、阿部能登守」／表紙貼紙「依御達寛政度之以振合二通り御掛御目付平賀三五郎様江差出之、添書無之差出候御形合ニ候由之処諸家様ヨリ些御延引ニ相成候之由ニテ、此度ハ書面相副被差出之、控三通り出来御役所控一、御用部屋一通、白川江一通り今日御差出済ニ付記置、弘化二乙巳年六月十六日被差出、御書物方控」と朱書あり／
阿部播磨守(正由)	竪	1	こより札「寛政十二年十二月中御目付様江此書面之通被差出候付、右御控麻布御蔵ニ有之候処、巳ノ正月廿四日焼失、依而御控無之候間御用部屋ニ其比控有之候由ニ付借用、弘化二年四月廿日此一冊写置もの也、但本紙者袋とじ也、御書物方」
御名	竪	1	表紙に「公辺江今度御書出相成候ニ付而、白川御武器正写ニシテ差越候雛形、弘化二乙巳年六月」とあり
御書物方	包	1	上書「寛政・弘化御紋譜控帳弐冊、御書物方」／阿(部)能登守様宛春木大夫厚光(伊勢御師)書状を転用
	竪	1	
	状	2	貼紙「阿部家総括系」(剥離)
川崎道敏写	竪	1	
	竪	1	「八木氏蔵書之印章」印あり
	竪	1	「八木氏蔵書之印章」印あり
	竪	1	「八木氏蔵書之印章」印あり
	竪	1	
国臣中村良知謹編	竪	1	
	竪	1	「信州高井郡中野・刁・平野屋恒七」印あり
	竪	1	「信州高井郡中野・刁・平野屋恒七」印あり
	竪	1	「信州高井郡中野・刁・平野屋恒七」印あり

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
75～77　箱一括			
75	54	正勝公・正次公・忠吉公御家譜下調	(天文10年～寛永元年)
76	54	忠秋公御譜下調	(慶長7年～延宝3年)
77－1	54	正能公御家伝御下調	(寛永4年～貞享2年)
77－2	54	正能公御伝之内御書物	
69	53	阿部家伝(阿部正勝～正武)	(天文10年～宝永元年)
84	55	正武公御勤内奉記	(慶安2年6月15日～宝永元年9月)
72	53	御家御事跡書抜(阿部忠秋・正武・正喬)	(慶長7年～寛延3年)
85	55	増補従享保十六辛亥年四月二十九日至寛延元戊辰年七月二十九日正喬公御家伝之案	享保16年4月29日～寛延元年7月29日
86	55	正喬様御代御家伝下調	(享保16年4月28日～寛延元年7月29日)
87	55	享保十六年辛亥九月二十六日ヨリ同十九年甲寅十二月二十一日迄正喬公御家伝御下調	享保16年9月26日～同19年12月21日
88	55	従享保七年壬寅三月十一日至安永九年庚子十一月二十四日正允様御家伝之案	享保7年3月11日～安永9年11月24日
89	56	従享保七壬寅年三月十一日至安永九庚子年十一月二十四日正允公御家伝之案	享保7年3月11日～安永9年11月24日
83	54	忠秋公・正能公・正武公・正喬公・正允公御勤御年譜書	(慶長15年～安永9年)
90	56	従享保十七年壬子四月十八日至天明七年丁未四月二日正敏様御家伝之案	享保17年4月18日～天明7年4月2日
91	56	(従享保十七壬子年四月十八日至天明七丁未年四月二日正敏公御家伝之案)	(享保17年4月18日～天明7年4月2日)
92	56	正敏公御勤御年譜書	(寛延2年4月25日～天明4年5月11日)
71	53	御系譜御紀留書	(文化5年4月3日～同7年6月)
96－1	56	阿部氏御系譜略(大織冠鎌足～阿部正瞭)	(～文化10年)
96－2	56	(生没年ほか伺覚)	
1018－1	125	武鑑彫刻之儀ニ付奉窺覚	(文化5年～文政6年)
1018－2	125	(付箋、鞍覆に関する書付)	
1018－3	125	(付箋船印図)	
1253	145	童蒙御家の早学問附録(松林紀兵衛筆記御家乃早学問附録秘巻含む)	(文化5年以降)
93－1	56	正篤公御家譜草案	(享和元年9月3日～天保14年3月17日)

作成→受取	形態	数量	備　考
	一括箱・竪	1・1	一括箱(本目録384・385頁参照)上書「正勝公・正次公・忠吉公御家譜下調一冊、忠秋公御譜下調一冊、正能公御家伝御下調一冊、但御伝之内御書物書付一通」／貼紙5枚(剥離)／18.5×27.5
	竪	1	
	竪	1	
	状	1	
	竪	1	題簽「阿部家伝」(剥離)
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	表紙虫損大
	竪	1	
	竪	1	
	横	1	
	状	1	96－1の23～24丁挟込
(阿部正識～正権)	竪	1	
	状	1	1018－1の2～3丁挟込
	状	1	1018－1の4丁内挿入
	竪	1	前半は阿部正武～正権歴代事績／後半は「御家乃早学問附録秘巻、松林紀兵衛筆記」
秘史監鰯生・臣中村良知撰	竪	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
93－2	56	覚(阿部正篤生年月日ほか伺)	3月
949－1	20	玉埃集一	(安政4年写)
949－2	20	玉埃集二	(安政4年写)
949－3	20	玉埃集三	(安政4年写)
949－4	20	玉埃集四	天保13年9月・(安政4年写)
949－5	20	玉埃集五	嘉永元年4月・(安政4年写)
949－6	20	玉埃集六	安政4年8月写
950	114	(玉埃集一写)	(元和～元禄)
95	56	覚(阿部家・福山阿部家・将軍家の系譜ほか書留)	
112	57	(阿部家歴代当主実名書上)	

A－1－6　内室続書・両敬

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1002－1	123	安政五午年〆諸見出(奥向に関する贈答など留)	(嘉永2年～万延元年)
1002－2	123	(書状、病状を尋ねられたことに対する御礼言上を依頼する旨)	7月28日
98～103	袋一括		
98	56	(聡徳院様御続書)　＊98～99	未(弘化4年)7月25日
99	56	玉仙院様御続書	(嘉永4年)9月
100	57	万延元申年十一月殿様・奥様御続書	万延元年11月
101	57	(大殿様御続書)　＊101～102	元治元年
102	57	大奥様御続書	元治元年11月
103－1	57	慶應二丙寅年六月正静公長吉郎様御続書	慶応2年6月
103－2	57	御近親類書	慶応2年6月25日写
97	56	奥様御続書(成寿院)	

作成→受取	形態	数量	備　考
	状	1	93－1の49丁内挿入
(中田勝弥)	竪	1	
(中田勝弥)	竪	1	
(中田勝弥)	竪	1	
中田勝弥	竪	1	
中田勝弥	竪	1	
(中田勝弥)	竪	1	奥書「右中田勝弥集書蒙命写之、安政四丁巳年八月」、「此玉埃集六冊者中田孫太夫勝弥、ゟ借請、生野郡太夫盈静・林十郎左衛門未見ニ為写置者也、于時安政四丁巳年八月吉日」
	竪	1	
御用部屋江置附・平岩(順内)	横	1	表紙貼紙「御用部屋頭取兼御勝手目付平岩順内調」
	状	1	

作成→受取	形態	数量	備　考
松林控	竪	1	49～50丁、51～52丁、70～71丁にこより挟込
川勝弥右衛門隆英(花押)→駒沢源四郎様・宇野八十郎様	状	1	1002－1の1～2丁挟込
御用部屋	一括袋・竪(98・99合綴)	1・1	一括袋上書「戸籍并御続書、阿部家用所」／表紙上書「弘化四年薩州様江問合候処差越候写、聡徳院様・玉仙院様御続書、御用部屋」／聡徳院は阿部正篤室
御用部屋	竪(98・99合綴)		表紙上書「嘉永四辛亥年九月廿二日花房様書役迄問合之上申越之、玉仙院様御続書、御用部屋」・貼紙「前に同」(剥離)／玉仙院は阿部正定室
御用部屋	竪	1	「殿様」は阿部正耆、「奥様」は正耆室
御用部屋	竪(101・102合綴)	1	表紙上書「元治元子年大殿様・大奥様御続書、御用部屋」／「大殿様」は阿部正外
	竪(101・102合綴)		「大奥様」は阿部正外室
	竪	1	
	竪	1	表紙朱書「慶應二丙寅年六月廿五日御用部屋ゟ借写」
	状	1	端裏書「成寿院様御続書」／貼紙「墨消致置候」(剥離)／成寿院は阿部正瞭室

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
113	57	諸家御続合・伊呂波分御会釈全	

A－1－7　法号留・菩提寺由緒書・霊廟図

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
163	60	(阿部正勝～正敏法号留)	(享和3年以前)
164	60	文政五壬午年二月御法号留(阿部正勝～正敏子)	文政5年2月
165	60	御宮御仏殿番(丸山御宮入用費書上)	文政7年
203－1	63	(御法号留)　＊203－1～16	(慶長5年～文政8年)
203－2	63	(宝珠印護符)	
203－3	63	(阿部家法号繰帳)	(慶長5年～享和3年)
203－4	63	御法号并御別当留(徳川将軍家)	(元和2年～享和3年)
203－5	63	(中風除守)	
203－6	63	東都定刻	
203－7	63	(阿部家法号留)	(天明6年～文化13年)
203－8	63	(蒼海院殿玉龍潜蔵大童子位牌写)	
203－9	63	(目黒不動明王護符)	
203－10	63	(毘沙門天護符)	
203－11	63	(夏雲源清大童子法号書付)	
203－12	63	(泰寿院殿安誉貞相慈念大禅定尼法号書付)	
203－13	169	(摂州東成郡東高津源正寺護符)	
203－14	63	(鞍馬山魔王大僧正護符)	
203－15		(本・西日付表)	
203－16		(折本白紙)	
166	60	天保七丙申年改正御法号留(阿部正勝～正篤)	天保7年9月中旬
73	54	公子名録完(阿部正勝～正由子女法号書上)	天保8年4月
74－1－1	54	三州碧海郡願照寺差出候書面写	(弘化3年)

作成→受取	形態	数量	備　考
	竪	1	

作成→受取	形態	数量	備　考
	状・包	1・1	包紙上書「正識公御直筆御法号留」
	竪	1	
	横	1	
	一括包・折本	1・1	一括包紙上書「御法号」／付箋7枚
	状	1	
	折本	1	紙本に絹本の縁取り
松平周防守ゟ借写阿部播磨守	折本	1	
奥州宮城郡岩切青麻三光宮	状(印刷)・包	1・1	
	竪	1	
	状	1	
	状	1	阿部正備五男
	状(印刷)	1	
	状(印刷)	1	
	状・包	1・1	包紙上書「御法号」／阿部忠秋男
	状・包	1・1	包紙上書「御法号」／阿部正由室多喜
	状(印刷)	1	
	状(印刷)	1	
	モノ	1	象牙製／16.5×4.0
	折本	1	
御用部屋	竪	1	奥書「天保七丙申年九月中旬飯嶋又右衛門納之」
御書物番控	竪	1	奥書「天保八年歳次丁酉夏四月撰、御書物番控」
	竪	1	表紙貼紙「弘化三丙午年閏五月三日、浅草新寺願照寺旅宿・行安寺」／「白川家臣関氏蔵書」印／74－1～10は阿部家菩提寺願照寺一件関連書類

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
74－1－2	54	(願照寺一向宗の由書付)	
74－1－3	54	(書状、安否尋ね)	巳(弘化2年)12月18日
74－2	54	安倍・安部、井上略系譜(範重～信盛)	
74－3	54	安倍・安部、井上略系譜(範重～信盛)	
74－4	54	安倍・安部、井上略系譜(範重～信盛)	
74－5	54	阿部家略譜	乙巳(弘化2年)9月
74－6	54	阿部家略譜	乙巳(弘化2年)9月
74－7－1	54	阿部家略譜	乙巳(弘化2年)9月・(弘化3年閏5月写)
74－7－2	54	(加藤延之進尾州藩家中にて諸藩系譜に詳しき仁の由書付)	
74－8－1	54	参州碧海郡古針村御城跡御石碑図・当時境内御廟松并御石碑図・御代々様御霊牌御法号写	弘化3年
74－8－2	54	(五郎左衛門と阿部富三郎に関する覚書)	
74－9	54	六月十三日服部半之丞達候覚(願照寺にある位牌・墓所は当家とは無縁につき出入無用の旨)	(弘化3年)
74－10	54	(差出図面など間違いにつき当屋敷へ立入無用の旨達し)	(弘化3年)
170－1	61	西福寺表門向御廟所(絵図)　＊170－1～13	嘉永5年10月写
170－2	61	浅草西福寺本堂脇(廟所絵図)	嘉永5年10月写
170－3	61	西福寺本堂裏御廟所(絵図)	嘉永5年10月写
170－4	61	浅草西福寺地内本堂裏(廟所絵図)	嘉永5年10月写
170－5	61	深川霊岸寺御廟所図	嘉永5年10月写
170－6	61	深川浄心寺御廟所図	嘉永5年10月写
170－7	61	深川浄心寺御廟所図	嘉永5年10月写
170－8	61	(浅草寿松院・麻布妙善寺・浅草海禅寺廟所図)	嘉永5年10月写
170－9	61	下谷泰宗寺御廟所之図	嘉永5年10月写
170－10	61	(西福寺廟所図)	嘉永5年10月写
170－11	61	(本門寺廟所図)	嘉永5年10月写

作成→受取	形態	数量	備　考
	状	2	74－1－1の4丁内挿入
[三州長瀬]願照寺専楽(花押)→[江戸山下御屋敷阿部能登守様御内]関四郎兵衛様	状・包	1・1	74－1－1の8～9丁挟込
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	「白川家臣関氏蔵書」印
加藤延之進藤景之	竪	1	
加藤延之進藤景之	竪	1	
加藤延之進藤景之・関盛勝控	竪	1	「白川家臣関氏蔵書」印／74－7－2と同内容の貼紙あり
	状	1	74－7－1の2～3丁挟込
願照寺	竪	1	「白川家臣関氏蔵書」印あり
	状	1	74－8－1の3～4丁挟込
	竪	1	表紙朱書「弘化三年阿部伊勢守様之願照寺江御達候写」
	竪	1	表紙朱書「弘化三年阿部伊勢守様之願照寺江御達候写」
御勝手目付控	一括袋・鋪	1・1	一括袋上書「東光山西福寺・長栄山本門寺・道本山霊岸寺・法苑山浄心寺・大雄山海禅寺・法輪山泰宗寺・不老山寿松院・日通山妙善寺・大法山本伝寺、以上九箇寺御廟所之縮図、御勝手目附控」・一括袋裏書「于時嘉永五壬子稔冬十月下澣模写之畢」／27.5×40.6
御勝手目付控	鋪	1	27.4×39.4
御勝手目付控	鋪	1	27.6×40.5
御勝手目付控	鋪	1	27.6×39.5
御勝手目付控	鋪	1	27.5×39.6
御勝手目付控	鋪	1	「此一枚不用候得共見合ニ可取置事」とあり／27.4×39.7
御勝手目付控	鋪	1	26.9×38.7
御勝手目付控	鋪	1	27.5×39.4
御勝手目付控	鋪	1	27.5×39.6
御勝手目付控	鋪	1	27.5×39.6
御勝手目付控	鋪	1	貼紙による加筆あり／41.2×40.2

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
170－12	61	本伝寺御宝塔全図	
170－13	61	(大塚本伝寺帰寂柳花妙心童女墓碑図)	
49－1	C	(日光空煙様御廟絵図)　＊49－1～3	
49－2	C	陸奥国白川城絵図	
49－3	C	白川御本丸御住居(絵図)	
171	61	西福寺由緒	
172	61	西福寺譜	

A－1－8　伝授書・免許状

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1155	138	兵法雄鑑巻第四十一	寛永21年3月
1773	168	(包紙)	
1690－1	163	弧背真術乾巻　＊1690－1～2	(寛政4年閏2月28日)
1690－2	163	弧背真術坤巻	寛政4年閏2月28日
1177－1	139	筆使並点画口伝書	天保4年4月
1177－2	139	(楽団舞踏の図)	
1178	139	(松花堂流書道点画秘伝書)	天保4年6月
1171	139	(千家末葉千分流生花名許状)	天保5年9月日
1172	139	(千家末葉千分流生花軒号許状)	天保7年3月日
1173－1	139	(千家末葉千分流生花伝進表の巻)	天保7年11月
1173－2	139	裏伝(千家末葉千分流生花伝進裏の巻)	天保8年1月
1174	139	(千家末葉千分流生花宗号許状)	天保8年2月
1156	138	武衛流鉄炮薬法之巻	天保8年6月
1175	139	千家末葉千分流秘伝	天保9年1月

作成→受取	形態	数量	備　考
	状	1	
	状	1	阿部忠秋女
	一括袋・鋪・袋	1・1・1	一括袋上書「日光空煙様(阿部忠秋)御廟絵図壱枚、白川御城内外絵図壱枚、同御本丸御住居絵図壱枚、忍御城内絵図壱枚、附羽州高擶村古舘麁絵図壱枚、是者可成不用」・一括袋裏書「御用部屋」／彩色／袋上書「日光空煙様御廟絵図」／59.0×57.0
	鋪	1	彩色／130.5×104.5
	鋪	1	彩色／161.5×115
	竪	1	
	竪	1	

作成→受取	形態	数量	備　考
北条新蔵氏長(花押)㊞㊞	巻・包	1・1	包紙上書「軍書」／18.0×202.4
	包	1	上書「忠秋公御伝書、北条流軍書、壱巻」
(関新助藤原隆和ほか4名)	一括箱・巻	1・1	一括箱(本目録384・385頁参照)上書「乾坤之巻二軸」・箱紐に「正由様御伝書」とあるこよりあり／端裏貼紙「乾之巻」
関新助藤原孝和ほか4名	巻	1	端裏貼紙「坤之巻㊞」
す藤はく(白)鴎(花押)㊞(朱印)	竪	1	
	状	1	彩色／1177－1の1～2丁挟込
す藤はく(白)鴎(花押)㊞(朱印)	巻	1	
柳掌軒千分宗孚㊞㊞	状・包	1・1	包紙上書「進上、千家末葉千分流生花御名目録」
柳掌軒千分宗孚㊞㊞	状・包	1・1	包紙上書「進上、千家末葉千分流生花御軒号目録」
柳掌軒千分宗孚㊞㊞→柳奏君	巻・包	1・1	包紙上書「進上、千家末葉千分流表之巻」
柳掌軒千分宗孚㊞㊞→柳奏軒君	巻・包	1・1	包紙上書「進上、千家末葉千分流裏之巻」
柳掌軒千分宗孚㊞㊞	状・包	1・1	包紙上書「進上、千家末葉千分流生花御宗号」
岩崎平右衛門㊞(花押)→阿部杢三郎(正定)様	巻・包	1・1	包紙上書「武衛流目録一巻、天保八丁酉年六月吉日、正定」／こよりあり／18.1×206.0
柳掌軒千分宗孚㊞㊞→柳奏軒宗照君	巻・包	1・1	包紙上書「千家末葉流千分流切紙伝四箇条」

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1176	139	系図巻	天保９年２月
1157－1	138	心形刀流目録許　＊1157－1～2	天保９年９月
1157－2	138	心形刀流諸目録	天保９年９月
1158	138	信直流目録一巻	天保９年12月
1159	138	日置流道雪派六十五箇条頭書	天保10年12月
1160	139	穴沢流薙刀中伝目録之巻	天保11年１月
1161	139	大坪本流常馭策手綱目録	天保12年９月21日
1162	139	(矢羽秘伝書)	天保12年初冬
1163	139	中島流炮術目録	天保13年10月
1164	139	中島流頬付免許	天保14年３月
1165	139	美人草(弓術秘伝書)	弘化３年１月25日
1197	142	和歌会作法伝	天正２年１月日・弘化４年11月写
1166－1	139	(日置流免状)　＊1166－1～2	弘化５年１月25日
1166－2	139	系伝(日置流)	弘化５年１月25日
1167	139	日置流中学集免状口添	弘化５年１月25日
1199	142	(歌道作法書)	嘉永６年11月24日
1169－1	139	御大鼓之作法　＊1169－1～2	
1169－2	139	武器大概	乙酉６月
1168－1	139	無辺無極流	
1168－2	139	無辺無極流	
1698	164	(学問・武芸など心得書付)	

A－１－９　落款押印集

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
157	59	蔵六集第二(落款押印集)	

作成→受取	形態	数量	備　考
柳掌軒千分宗孚㊞㊞→千分柳奏軒宗照君	巻・包	1・1	包紙上書「進上、千家末葉千分流系図巻」
高陳㊞(花押)→阿部杢三郎(正定)殿	一括包・巻	1・1	一括包紙上書「心形刀流目録二巻、天保九戊戌九月吉日、正定」／こよりあり／題簽剥離／405.5×18.0
高陳㊞(花押)→阿部杢三郎(正定)殿	巻	1	題簽剥離／339.8×18.0
坂部量兵衛宗邦㊞(花押)→阿部杢三郎(正定)殿	巻・包	1・1	包紙上書「信直流目録一巻、天保九戊戌年十二月吉日、正定」／題簽剥離／18.4×393.6
団誉十郎㊞(花押)→阿部杢三郎(正定)殿	巻・包	1・1	包紙上書「日置流道雪派目録一巻、天保十己亥年十二月吉日、正定」／こよりあり／18.0×202.0
忠栄㊞(花押)→阿部杢三郎(正定)殿	巻・包	1・1	包紙上書「穴沢流目録一巻、天保十一庚子年正月十五日、正定」／こよりあり／19.6×195.0
大武藤助(花押)㊞→阿部杢三郎(正定)殿	巻・包	1・1	包紙上書「大坪本流目録一巻、天保十二辛丑年九月(廿)一日、正定」／18.0×643.0
団誉十郎㊞(花押)→阿部杢三郎(正定)殿	竪	1	
浅羽隼人㊞(花押)→阿部杢三郎(正定)殿	巻	1	
浅羽隼人㊞(花押)→阿部杢三郎(正定)殿	巻・包	1・1	包紙上書「中島流免許一巻、天保十四癸卯年三月十五日、正定」／題簽剥離
柘植長三郎平盈郷㊞(花押)→阿部杢三郎(正定)殿	巻・包	1・1	包紙上書「日置流美人草目録一巻、弘化三丙午年正月廿五日、正定」
明霞主人	竪	1	
柘植長三郎平盈郷(花押)→阿部誠一郎(正定)殿	一括包・巻	1・1	一括包紙上書「日置流免状一巻系伝一巻、弘化五戊申正月廿五日、正定」／こよりあり／題簽剥離
柘植長三郎平盈郷㊞(花押)→阿部誠一郎(正定)殿	巻	1	日置弾正正次～16代柘植長三郎盈郷
柘植長三郎平盈郷(花押)→阿部誠一郎(正定)殿	巻・包	1・1	包紙上書「日置流中学集免状口添一巻、弘化五戊申正月廿五日、正定」／こよりあり
有住鐐助勝統(花押)	巻	1	
	一括包・状	1・1	包紙上書「御貝大鼓御作法并口伝書、懐古堂蔵」
松宮左次馬	状	1	
	折本	1	
	折本	1	
	状・包	1・1	包紙上書「心得之書付」

作成→受取	形態	数量	備　考
	竪	1	「游芸館蔵」用箋

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
158	59	雑佩第一(落款押印集)	
159	60	御印章全(落款押印集)	
361	69	(諸印形留記)	

A－1－10　和歌・漢詩・俳句

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1187－1	142	御道の記(阿部正由上坂記)	文化元年5月2日～16日
1187－2	142	御道の記(さつきの道くさ)	文化元年5月6日～27日
1187－3	142	難波御道のき(きさらき道草ほか)	文化3年2月13日～11月
1187－4	142	京都御道の記	文化4年3月～10月6日
1187－5	142	京都御道のき(花の道しるへほか)	文化5年3月15日～4月9日
1190	142	七夕七首	文政9年8月4日写
1192	142	兼題当座和歌	(文政9年8月15日)
1194	142	多爾御久宇津志(阿部正由二十三回忌追福和歌集)	文政13年10月
1201	142	文久三亥年初春詩題下書	文久3年
1179	139	(書跡、太相国宝六旬賀ほか)	
1205	143	戌霜降月ゟ丁子印様御兼題・御当座(和歌)	
1206	143	(漢詩、野調三首)	
1207－1	143	(漢詩、三首)　＊1207－1～2	
1207－2	143	(漢詩、三首)	
1208	143	(漢詩、野調三首)	
1209	143	(漢詩、三首)	
1210	143	(和歌、正功君の御代に)	(巳乃新正)
1211	143	(漢詩、野調三首)	
1212	143	(漢詩、二首)	
1213	143	(漢詩、三首)	
1214	143	(漢詩、三首)	

作成→受取	形態	数量	備　考
	竪	1	「游芸館蔵」用箋
	竪	1	
	状	1	

作成→受取	形態	数量	備　考
(阿部多喜女)	竪	1	阿部多喜女は正由室
阿部多喜女	竪	1	17～18丁に紙片挟込
阿部多喜女	竪	1	「弥生の道の記」「やよひの道くさ」「卯月の道のき」「後の葉月道記」「霜の総手」を含む
阿部多喜女	竪	1	「千くさの寄」「秋の山辺」「紅葉の明雨」を含む
阿部多喜女	竪	1	「宇治の道しるへ」を含む
御詠(阿部正篤)・矢野貞右衛門重遠ほか10名	竪	1	
(阿部)正篤ほか	竪	1	
(阿部)正篤ほか	竪	1	
	状・包	1・1	22～23丁下敷挟込
暁松堂鈍寿㊞㊞	巻	1	
	竪	1	阿部正篤・聡子の歌など
比原直拝草	状・包	1・1	包紙上書「賜題野調三首、比原源助」／冬日看梅・冬夜泊舟・雪中作
乗附倬再拝具稿	一括包・状	1・1	一括包紙上書「賜題三首、乗附荘蔵」／梅雨・漁邨即事・田園雑興
田村延世拝具	状	1	梅雨・漁邨即事・田園雑興
佐坂通同拝草	状・包	1・1	包紙上書「賜題野調三首、佐坂河二郎」／冬日見梅・冬夜泊舟・雪中作
前田矜再拝	状・包	1・1	包紙上書「賜題三首、前田熊十郎」／梅雨・漁邨即事・田園雑興
秋風拝㊞㊞	状・包	1・1	包紙上書「韶光、野吟、秋風拝上」
乗附倬拝草	状・包	1・1	包紙上書「賜題野調三首、乗附荘蔵」／冬日見梅・冬夜泊舟・雪中作
比原直拝草	状・包	1・1	包紙上書「賜題二首、比原源助」／初夏田家・聞子規
乗附倬拝稿	状・包	2・1	包紙上書「賜題、乗附荘蔵」／初冬雑題・冬暖・冬夜旅思
片岡直保拝草	状・包	1・1	包紙上書「野詩、片岡健蔵」／元旦・春夜月・山居

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1215－1	143	(和歌、若竹の･･･)　＊1215－1～17	
1215－2	143	(和歌、天地と･･･)	
1215－3	143	(和歌、よとみなく･･･)	
1215－4	143	(俳句、きさらきや･･･)	
1215－5	143	(和歌、動きなき･･･)	
1215－6	143	(和歌、色かゑぬ･･･)	
1215－7	143	(和歌、つくは山･･･)	
1215－8	143	(和歌、二柱神の･･･)	
1215－9	143	(和歌一部、うれしさの･･･)	
1215－10	143	(和歌、嬉しさと･･･)	
1215－11	143	(和歌、かりそめに･･･)	
1215－12	143	(和歌、舞うたふ･･･)	
1215－13	143	(俳句、花に香と･･･)	
1215－14	143	(和歌、枝かはす･･･)	
1215－15	143	(和歌、雪の色も･･･)	
1215－16	143	(和歌、したゝめる･･･)	
1215－17	143	(和歌、うれしさの･･･)	
1216－1	143	(雅楽演舞囃子方書上)　＊1216－1～3	
1216－2	143	(和歌、寄松祝)	
1216－3	143	(和歌、立さわく･･･)	
1217	143	(和歌、むらの名の･･･)	
1218	143	(歌稿、歌題初紅葉など)	
1294－1	147	草稿(漢詩、題春雪ほか)	
1294－2	147	草稿(漢詩、題梅ほか)	
1294－3	147	草稿(漢詩、題春暁聞鶯ほか)	
1294－4	147	草稿(漢詩、題立秋ほか)	

作成→受取	形態	数量	備　考
斎	一括包・状	2・3	一括外側包紙上書「正瞭公御書」・一括内側包紙上書「御ことほき、正順上」／状の内2枚は白紙
(阿部)正順	状	1	阿部正順は正能の次男正方を祖とする旗本阿部家の8代目当主
(阿部)正順	状	1	
斎	状	1	
信徳	状	1	
信徳	状	1	
(阿部)正順	状	1	
(阿部)正順	状	1	
	状	1	
	状	1	
(阿部)正順	状	1	
	状	1	
守松	状	1	
秀真	状	1	
斎	状	1	
(阿部)正順	状	1	
信徳	状	1	
	一括包・状	1・1	一括包紙上書「偃歌」
(阿部)正備	状	1	
省私堂	状	1	
省私堂	状	1	
	状	1	
	竪	1	
	竪	1	末尾に「門田隣敬批、丁未元夕」と朱書あり
	竪	1	末尾に「門田再拝敬閲」と朱書あり
	竪	1	末尾に「六月十九日門田隣拝閲」と朱書あり

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1294－5	147	(詩稿、題春夜読書ほか)	
1294－6	147	詩稿(題新年作ほか)	
1294－7	147	草稿(題元日ほか)	
1294－8	147	詩稿(題立秋ほか)	
1294－9	147	詩稿(賜題初夏田家・聞子規)	

A－1－11　同姓阿部家

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1010	125	正春様より正盛様へ被進候御書付之写	(寛文12年3月15日)
94	56	系譜(旗本阿部志摩守家正明～正章)	寛政11年12月
32	C	上総御知行所絵図	宝暦5年11月・文化10年12月写
209	63	(阿部正定・およふ・須田感承・阿部正外・長三郎宛阿部正蔵遺言)	嘉永元年
213	63	(書状、またの来訪を楽しみにしている旨)	(嘉永2年以前)
211	63	(書状、年始祝詞)	1月8日
212	63	(書状、年賀返礼)	1月28日
210	63	(書状、今日大坂蔵屋敷着につき)	5月5日
68	53	(福山阿部家正宣～正粹系図)	

A－2　藩　庁

A－2－1　分限帳

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1050	35	忠秋様御代慶安年中分限帳写	
1051	36／C	(分限帳)	(文化頃)
1052	37／C	(分限帳)	嘉永2年10月8日

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	末尾に「門田隣拝批」と朱書あり
	竪	1	

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
阿部伊予守正春(花押)→阿部対馬守(正邦)様	竪	1	表紙の正春名の上に「御陳代伊予守様当時阿部駿河守様御元祖」、正盛(正邦)名の上に「御五代目長生院様御事」の付箋貼付
西丸御小性組番頭阿部志摩守(正章)	竪	1	阿部志摩守家は阿部正能二男正明を祖とする家
	鋪・袋	1・1	彩色／袋上書「宝暦五年亥十一月上総御知行所絵図」・袋裏書「此絵図面者上総国大多喜中多喜之唱糺之節、阿部彵十郎様ゟ御知行所絵図御借受有之候處、文化十癸酉年十二月御返却ニ付写置もの也」／56.5×121.0
遠江守阿部正蔵㊞	竪	1	
なほ→よし三郎(阿部正耆)様人々御中江	状・封	1・1	よし(義)三郎は阿部正耆、阿部正粹二男、なほは阿部正寧室カ
阿部運之助(正粹)→阿部対馬守(正寧)様参人々御中	状	1	阿部正寧は福山藩主
阿部運之助正粹→阿部対馬守(正寧)様	状	1	
阿部対馬守正寧(花押)→兄上(阿部正粹)様人々御中	状	1	
	状・袋	1・1	袋上書「御系図」

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
江戸御用部屋	竪	1	
	折本	1	折本に短冊貼付／Cは一部のみ
能見小平知実	折本	1	折本に短冊貼付／Cは一部のみ

A－2－2　備立書

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1073	130	覚(備立目録)	(享保8年)
1170－1	139	軍役巻全　＊1170－1～3	(寛延3年以前)
1170－2	139	兵道記問	
1170－3	139	兵道記答	
1278－1	146	(阿部正喬自筆書物目録)　＊1278－1～2	(寛延3年以前)
1278－2	146	(阿部正喬自筆書物目録)	(寛延3年以前)
805－1	111	安永五申年四月日光御社参ニ付正敏公忍御在城御行列	安永5年4月
805－2	111	(侍分坊主・足軽小頭ほか人数書上)	
1078－1	C	(旗本雁行備立絵図)　＊1078－1～4	(安政3年9月27日)
1078－2	C	(旗本雁行備立絵図)	(安政3年9月27日)
1078－3	C	(先備円形備立絵図)	(安政3年9月27日)
1078－4	C	(後備常蛇備立絵図)	(安政3年9月27日)
1074	C	(陣押之図)	
1075－1	50	先陣行軍図　＊1075－1～5	
1075－2	50	二陣行軍図	
1075－3	50	旗本行軍図	
1075－4	50	小荷駄備行軍図	
1075－5	50	卜備行軍図	
1076	C	小屋取絵図	
1077	C	(備立絵図)	
1079－1	C	先陣(備立図)	
1079－2	C	二陣(備立図)	
1079－3	C	旗本備(備立図)	

作成→受取	形態	数量	備　考
	状・包	1・1	包紙上書「享保八年御備立目録」
	一括包・一括袋・竪	1・1・1	一括包紙上書「軍書三冊、猥披見無用、上ル、矢田源之丞」／一括袋上書「軍役之巻一冊、兵道記二冊」
	竪	1	
	竪	1	
	一括包・状	1・1	一括包紙上書「正喬公御筆御書物御目録二通」
	状	1	
	横	1	
	状	1	805－1の7～8丁挟込
	一括袋・鋪	1・1	一括袋上書「備立絵図五枚」／彩色／234.2×215.0
	鋪	1	彩色／183.8×174.2
	鋪	1	彩色／157.5×126.6
	鋪	1	彩色／160.2×138.2
	箱・鋪・袋	1・1・1	彩色／箱（本目録384・385頁参照）上書「御知行高五万石御備立」「ノ印七番物」、付箋「第七号甲」、袋上書「御知行高五万石御陣押之図、壱枚」／53.0×232.2
	一括袋・折本	1・1	一括袋上書「行軍之図五冊」／18.0×648.0
	折本	1	18.0×504.0
	鋪	1	18.0×2106.0
	鋪	1	18.0×1458.0
	鋪	1	18.0×540.0
	鋪・袋	1・1	彩色／袋上書「小屋取絵図」／238.5×235.5
	鋪・袋	1・1	彩色／126.1×316.0
	鋪	1	彩色／135.0×78.1
	鋪	1	彩色／135.0×78.1
	鋪	1	彩色／199.1×115.8

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1079－4	C	小荷駄備(備立図)	
1079－5	C	卜備(備立図)	

A－2－3　忍領・同飛地

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1009	125	(武州大里郡熊谷高城神社棟札書写)	(寛文11年10月吉祥日)
1020	125	覚(忍藩領分米金銀永納高書上)	(元文2年～文政6年)
33	C	秩父御領分絵図	明和7年8月写
1011－1	125	明和八卯年摂州御物成指引御勘定帳	明和8年
1011－2	125	(「右同断」)	
1012	125	千歳鷹得物覚(在城中惣獲物数書上)	寛政8年9月1日～11月21日)
1019	125	領分所々巡見覚(忍領内)	(寛政8年9月10日～10月9日)
1021	125	辰納戸入用帳	(寛政8年)
1063	129	忍江戸名前覚帳	(寛政8年)
1064	129	盆暮被下物覚	(寛政8年)
45－1	C	(忍城内外絵図)　＊45－1～2	(寛政8年～同10年)
45－2	C	武州埼玉郡忍城内外全図	(安政頃)

A－2－4　白河領・同飛地

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
46	C	奥州白川城内外絵図	(文政6年)
52	53	従文政九戌年十月至文政十一子年七月白川御城石垣破損所御修補御願一件	文政9年10月～同11年7月
1744	168	(袋)	(天保3年)
48	C	陸奥国白川城絵図(櫓ならびに石垣破損につき修補願絵図)	天保10年8月24日

作成→受取	形態	数量	備　考
	鋪	1	彩色／227.7×78.0
	鋪	1	彩色／135.2×78.5

作成→受取	形態	数量	備　考
	状	1	
	状・包	1・1	包紙上書「御領分米金銀永納高」
	鋪	1	「秩父於御陳屋写之、明和七庚寅年仲秋中八日、志行(書印)」とあり／43.0×62.0
	竪	1	51～52丁に紙片挟込
	状	1	1011－1の71～72丁挟込
	竪	1	罫紙下敷１枚あり
	竪	1	６丁内罫紙下敷挿入
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	一括袋・鋪	1・1	一括袋上書「忍御城内外絵図并書類」／彩色／裏に付箋「寛政八年ゟ後、寛政十年前」・貼紙「忍御城内」／81.0×90.5
	鋪	1	彩色／85.5×92.5

作成→受取	形態	数量	備　考
	鋪・袋	1・1	彩色／袋上書「文政年中忍ヨリ御所替之節白川藩松平家ヨリ引継相成候奥州白川御城内外絵図、但侍屋敷地割并ニ住居人姓名記入」／217.0×176.3
御書物番控㊞	竪	1	
御書物方控	袋	1	袋上書「天保三年、一、白川御城横町口御門出火之節焼失ニ付御普請御願絵図一枚、一、右御願済御奉書一通、右御願ゟ御願済迄一件帳、半紙帳一冊、御書物方控」、貼紙「七番長持物」、貼紙と袋上書「元帳ノ印」／資料番号55の袋カ
阿部能登守(正備)印判・居判	鋪	1	彩色／付箋15枚貼付／73.3×107.3

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1760	168	(袋)	天保10年8月
53～59	袋一括		
53	53／C	陸奥国白川城絵図(石垣破損につき修復願絵図)	文政11年7月22日
54	C	陸奥国白川城絵図(石垣破損につき修復願絵図)	文政11年7月日
55	C	陸奥国白川城絵図(平門・塀焼失につき修復願絵図)	天保3年3月
56	C	陸奥国白川城絵図(櫓ならびに石垣破損につき修補願絵図)	天保10年8月24日
57	C	陸奥国白川城絵図(櫓ならびに石垣破損につき修補願絵図)	天保10年月
58	C	陸奥国白川城絵図(櫓破損につき修補願絵図)	弘化3年
59	C	陸奥国白川城絵図(櫓破損につき修補願絵図)	弘化4年
60	C	(陸奥国白川城櫓・石垣破損につき修補願絵図)	嘉永2年
35	C	白川領郡村縮図	(嘉永4年写カ)
50	C	白川城内外絵図	(嘉永4年5月写)

作成 → 受取	形態	数量	備　考
	袋	1	袋上書「天保十亥年八月、一、白川御城御修補御願立ニ付御伺下絵図一枚、一、同御願絵図御本書同、同御願済御奉書一通、一、右御願立ゟ御願済迄一件帳一冊」、付箋「七番長持物」、貼紙と袋上書「元帳ノ印」／資料番号48・56・57の袋カ
阿部飛騨守(正篤)(書印)・(花押)	一括袋・鋪・袋	1・1・1	一括袋上書「文政十一子年、一、白川御城御破損所出来御修補御願ニ付御用番様江御内伺之絵図弐枚、一、同断御願絵図御控壱枚、一、右御願済御奉書一通、一、右御願ゟ御願済迄一件一冊」・一括袋貼紙「元帳ノ印、七番長持物」・一括袋裏書「御書物方」／彩色／袋上書「陸奥国白川城絵図、阿部飛騨守」・袋紐に「御書物方、文政十一年」こより結びつけあり／74.7×99.9
阿部飛騨守(正篤)印判	鋪・袋	1・1	彩色／袋上書「陸奥国白川城絵図、阿部飛騨守」・袋貼紙「此通可被調候」・袋紐に「御書物方、文政十一年」のこより結びつけあり／74.7×100.5
阿部能登守(正瞭)印判・居判	鋪・袋	1・1	彩色／袋上書「陸奥国白川城絵図、阿部能登守」・袋貼紙「此通可被調候」・袋紐に「天保三年、御書物方」のこより結びつけあり／73.7×103.2
阿部能登守(正備)㊞(花押)	鋪・袋	1・1	彩色／袋上書「陸奥国白川城絵図、八月十八日阿部能登守」・袋貼紙「此通可被調候」・袋紐に「御書物番、天保十、八月十八日御用番水野様江出シ、同月廿二日御付札済御渡也、御本書之事」のこより結びつけあり／73.9×104.4
阿部能登守(正備)印判・居判	鋪・袋	1・1	彩色／袋上書「陸奥国白川城絵図、阿部能登守」／73.9×104.0
阿部能登守(正備)印判・居判	鋪・袋	1・1	彩色／袋上書「陸奥国白川城絵図、阿部能登守」・袋紐に「弘化三年此図不宜不用、白川ゟ相廻候図」のこより結びつけあり／73.6×105.6
阿部能登守(正備)印判・居判	鋪・袋	1・1	彩色／袋上書「陸奥国白川城絵図、阿部能登守」・袋紐に「弘化四年白川ゟ廻候図、此通御願書ニ相用候節可用候也、三月十四日御渡ニ相成」のこより結びつけあり／90.2×76.6
阿部播磨守(正耆)印判・居判	鋪・袋	1・1	彩色／袋上書「陸奥国白川城櫓石垣破損絵図、阿部播磨守」・袋紐に「嘉永二年十一月廿二日東尾半蔵ゟ渡」のこより結びつけあり／81.3×90.9
	鋪	1	彩色／表・裏表紙付／「嘉永四辛亥歳夏六月十九日借佐坂氏所蔵模写之、諸里数謬者不正之、江陽感古堂蔵」とあり／54.3×57.9
	鋪・袋	1・1	彩色／「白川城内外絵図、八木橋氏」とあり／袋上書「嘉永辛亥仲夏写之、奥白川城内外絵図・武蔵国忍城中全図」・袋裏書「八木橋守近蔵」／56.7×80.2

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1014	125	(年貢皆済総高覚)	(文政5年・安政4年)
37－1	C	(播州加東・美嚢郡分領図)　＊37－1～7	(安政2年～同4年)
37－2	C	(播州加東・美嚢郡分領図)	(弘化3年以降)
37－3	C	伊達信夫両郡絵図	
37－4	C	(遠州郡分図)	(弘化3年以降)
37－5	C	(遠州豊田・山名・麁玉・引佐郡分領図)	(安政7年以降)
37－6	C	(羽州村山郡分領図)	文政6年10月
37－7－1	C	(羽州山野辺陣屋図)　＊37－7－1～3	(文政6年以降)
37－7－2	C	(長屋間取図)	
37－7－3	C	羽州御陣屋絵図(山野辺陣屋)	
414－1	70	御道具下調	(慶応元年以降)
414－2	70	(牡丹蝶ほか道具書上)	
414－3	70	(硯箱道具書上)	
1286	146	(阿部正敏公ほか家督一件書上など帳物目録)	(慶応3年以降)
34－1	C	(奥州白川城絵図)　＊34－1～6	
34－2	C	(奥州白川城絵図)	
34－3	C	奥州白川御領分之絵図	寛保2年・慶応4年6月写
34－4	C	棚倉領之図	
34－5	C	(奥州棚倉藩分領図)	
34－6	C	(奥州棚倉藩分領図)	
47	C	(奥州白川城絵図)	
51	C	白河旧家中屋敷・町中見取略図	
61	53	(白川城廓石垣破損場所覚書)	

作成→受取	形態	数量	備　考
	状	1	
	一括袋・鋪	1・1	一括袋上書「播州御分領ノ図二、伊達信夫両郡内御分領ノ図一、遠州御分領ノ図一、羽州御分領ノ図一、山野辺御陣屋絵図一」／彩色／68.9×60.5
	鋪	1	彩色／67.9×59.6
	鋪	1	彩色／裏貼紙「伊達信夫両郡」「保原」／81.0×120.0
	鋪	1	彩色／83.5×122.3
	鋪	1	彩色／40.1×54.4
羽州村山郡五ヶ村惣代高擂村名主煩ニ付代願人今之助ほか2名	鋪	1	彩色／添書剥離／弘化3年の加筆あり／60.4×54.3
	一括包・鋪	1・1	一括包紙上書「羽州山野辺村御陣屋絵図写壱枚、御書物番」／56.7×77.7
	鋪	1	18.0×20.3
	鋪	1	彩色／34.6×43.7
	竪	1	年代推定は紙背による
	状	1	414－1の3～4丁挟込／紙背に「覚」あり
	状	1	414－1の4～5丁挟込
	竪	1	
	一括袋・鋪	1・1	一括袋上書「白川城絵図二、白川御領分ノ図一、棚倉領ノ図三」／彩色／76.1×107.3
	鋪	1	彩色／75.5×92.1
	鋪	1	彩色／「寛保二壬戌夏三分訳改正」「慶応戊辰年六月二十有二日写之」とあり／55.1×51.6
	鋪	1	彩色／68.6×38.5
	鋪	1	38.0×72.2
	鋪	1	彩色／貼紙「熊坂越還六月廿四日官軍進入ノ道」／68.2×38.0
	鋪・袋	1・1	彩色／袋上書「陸奥国白川城絵図」／75.5×108.0
	鋪	1	彩色／表・裏表紙付／52.0×73.2
	状	1	

A－2－5　幕府役人

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
832－1	111	(阿部正武・正喬・正允・正由・正瞭・正備・正耆奏者番・寺社奉行・京都所司代・大坂城代任免年月書上)	
832－2	111	(延宝～安政の年号別年数書上)	
阿部正由			
808－1	111	(書状、徳川家慶の西丸移徙後誕生日祝儀問合につき返書)　＊808－1～2	(寛政９年)５月13日
808－2	111	寛政六寅年若君様初而之御誕生日御祝儀	(寛政６年)５月
775－1	109	享和二壬戌年三月申合書(青山大膳寺社奉行就任により五人株になるにつき持場分け)＊775－1～4	(享和２年３月)
775－2	109／C	持場色分絵図(四人株)	
775－3	109／C	持場絵図(五人株)	
775－4	109／C	増上寺(絵図)	
1080	C	大坂両御陣之図	(文化元年写)
1695	164	(松平伯耆守調べ摂州兵庫高田屋九兵衛分限書上)	３月
803	C	川除并堰御普請仕立道具絵図面	
1774	168	(「正由公大坂御城代御勤役中、御一名物」)	
阿部正瞭			
804－1	111	天徳寺差出候知恩院御門跡参向之節上使手続書写　＊804－1～2	(天保９年)３月
804－2	111	知恩院御門跡御着ニ付上使之席図	
阿部正耆			
810－1	111	嘉永三庚戌年十月晦日琉球人名書(琉球使節名前書上)	嘉永３年10月晦日
810－2	111	嘉永三庚戌年十月晦日琉球人名書(琉球使節名前書上)	嘉永３年10月晦日
阿部正外			
749	109／C	(老中就任誓詞)	元治元年６月
777	110	御朱印渡候頭書	(元治元年11月２日～22日)
778	110	奥出頭書(奥へ提出の書類留)	(元治元年７月17日～慶応元年５月２日)
779	110	御仕置伺頭書(仕置伺の提出書類留)	(11月１日～28日)

作成→受取	形態	数量	備　考
	状	1	
	状	1	鉛筆書
酒井修理大夫(忠貫)→阿(部)播磨守(正由)様	一括包・状	1・1	一括包紙上書「阿部播磨守様、酒井修理大夫」
	状	1	
阿部播磨守(正由)	一括袋・折本	1・1	一括袋上書「享和二壬戌年三月、申合書付并持場絵図、阿部播磨守」
	鋪	1	彩色／32.2×44.1
阿部播磨守(正由)	鋪	1	彩色／27.3×37.6
	鋪	1	彩色／27.5×38.7
	鋪・包	1・1	包紙上書「大坂両御陣之図」・包紙貼紙「編年集成入」・包紙裏書「文化元甲子年夏於難波写之」／113.7×105.3
	状	1	
土井大炊頭留、松平周防守ゟ借写、阿部播磨守(正由カ)	折本	1	彩色
	状	1	
天徳寺	一括包・状	1・1	一括包紙上書「知恩院御門跡御着ニ付上使之節手続書・同席図」
	鋪	1	題箋・付箋剥離
	状	1	末尾に「右九十九人」とあり
	状	1	
阿部豊後守正外(花押)	状・包	1	包紙上書「誓紙、阿部豊後守」／牛玉宝印使用
	折本・袋	1・1	末尾に大目付など名前書上あり
	折本・袋	1・1	
	折本・袋	1・1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
780	110	頭書(4月3日仕置伺の提出書類留)	丑(慶応元年)4月3日
781	110	頭書(4月12日奥へ提出の書類留)	丑(慶応元年)4月12日
782	110	頭書(4月14日奥へ提出の書類留)	乙丑(慶応元年)4月14日
783	110	頭書(5月2日奥へ提出の書類留)	丑(慶応元年)5月2日
147	58	(阿部正外官位召上謹慎命令書写)	慶応元年10月1日
751A～760A　(月次御礼留写包紙一括)			
751A	109	文政六癸未年二月十五日月次四品以下一同御礼有之節之留	
752A	109	文政十二己丑年十二月廿八日月次御礼其外御礼衆有之御白書院御勝手言上被勤候節之周防殿日記書抜	
753A	109	天保六乙未年四月朔日月次其外御礼有之御黒書院御襖相勤候節日記書抜	
754A	109	天保八丁酉年四月十五日月次御礼其外御礼衆有之当日御祝儀西丸江御使相勤且御勝手言上相兼候節之留	
755A	109	天保十一庚子年四月十五日月次御礼其外御礼有之御黒書院御白書院両所御襖并御勝手言上相勤候節留	
756A	109	天保十一庚子年五月朔日月次其外御礼有之表御勝手御礼無之節中務殿日記書抜	
757A	109	天保十一庚子年十一月十五日月並御礼其外御礼衆有之間部巌次郎初而御目見之節日記書抜	
758A	109	天保十二辛丑年正月十五日月次御礼有之御三家方不残御不参之節日記書抜	
759A	109	天保十二辛丑年十月朔日月次御礼其外四品以下一統御礼有之御黒書院御白書院御襖被相勤候節之日記書抜	
760A	109	天保十二辛丑年十二月十五日月次御礼其外御礼有之女房奉書助備中殿被取扱自分侍従之御礼申上候節之日記書抜	
751B～760B　(月次御礼留写包紙一括)			
751B	109	文政六癸未年二月十五日月次四品以下一同御礼有之節之留	
752B	109	文政十二己丑年十二月廿八日月次御礼其外御礼衆有之御白書院御勝手言上被勤候節之周防殿日記書抜	
753B	109	天保六乙未年四月朔日月次其外御礼有之御黒書院御襖相勤候節日記書抜	
754B	109	天保八丁酉年四月十五日月次御礼其外御礼衆有之当日御祝儀西丸江御使相勤且御勝手言上相兼候節之留	
755B	109	天保十一庚子年四月十五日月次御礼其外御礼有之御黒書院御白書院両所御襖并御勝手言上相勤候節留	

作成 → 受取	形態	数量	備　考
金助	状	1	
幸次郎	状	1	
幸次郎	状	1	
飛騨守	状	1	
阿部豊後守(正外)	状	1	
和泉殿留、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	一括包・折本	1・1	一括包紙上書「月次」／表紙貼紙「御黒書院御襖」(剥離)
大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
和泉殿留、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
備後殿留、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
大炊殿留、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
月番中務殿留、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	表紙貼紙「御黒書院・御白書院御襖御勝手言上」(剥離)
大炊殿留、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	表紙貼紙「御黒書院御襖」
月番大炊殿留、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
大炊殿留、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
月番信濃殿留、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
和泉殿留、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	一括包・折本	1・1	一括包紙上書「月次」
大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
和泉殿留、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
備後殿留、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	表紙貼紙「御黒書院・御白書院御襖御勝手言上」
大炊殿留、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
756B	109	天保十一庚子年五月朔日月次其外御礼有之表御勝手御礼無之節中務殿日記書抜	
757B	109	天保十一庚子年十一月十五日月並御礼其外御礼衆有之間部巌次郎初而御目見之節日記書抜	
758B	109	天保十二辛丑年正月十五日月次御礼有之御三家方不残御不参之節日記書抜	
759B	109	天保十二辛丑年十月朔日月次御礼其外四品以下一統御礼有之御黒書院御白書院御襖被相勤候節之日記書抜	
760B	109	天保十二辛丑年十二月十五日月次御礼其外御礼有之女房奉書助備中殿被取扱自分侍従之御礼申上候節之日記書抜	
761A～764A　（殿中先立日記書抜包紙一括）			
761A	109	天保十己亥年四月廿日東叡山大猷院様御霊前御参詣備後殿日記書抜・天保十四癸卯年四月廿九日芝安国殿并有章院様御霊前御参詣信濃殿日記書抜	
762A	109	天保十五甲辰年六月十二日伊勢殿日記書抜（芝御成殿中先立）	
763A	109	天保十五甲辰年六月晦日伊勢殿日記書抜（紅葉山御成殿中先立）	
764A	109	弘化二巳年三月十日紅葉山惣御霊屋御参詣之節御成御先立書抜	
761B～764B　（殿中先立日記書抜包紙一括）			
761B	109	天保十己亥年四月廿日東叡山大猷院様御霊前御参詣備後殿日記書抜・天保十四癸卯年四月廿九日芝安国殿并有章院様御霊前御参詣信濃殿日記書抜	
762B	109	天保十五甲辰年六月十二日伊勢殿日記書抜（芝御成殿中先立）	
763B	109	天保十五甲辰年六月晦日伊勢殿日記書抜（紅葉山御成殿中先立）	
764B	109	弘化二巳年三月十日紅葉山惣御霊屋御参詣之節御城御先立書抜	
765A・766A　（御凶事出仕日記書抜包紙一括）			
765A	109	寛政五癸丑年七月朔日孝順院様御出棺後御機嫌伺出仕有之月次出御無之出仕之面々謁候節日記書抜	
766A	109	天保十四癸卯年正月十五日泰明院様御新葬御法事初日ニ付伺御機嫌出仕有之節日記書抜	
765B・766B　（御凶事出仕日記書抜包紙一括）			
765B	109	寛政五癸丑年七月朔日孝順院様御出棺後御機嫌伺出仕有之月次出御無之出仕之面々謁候節日記書抜	
766B	109	天保十四癸卯年正月十五日泰明院様御新葬御法事初日ニ付伺御機嫌出仕有之節日記書抜	
767A	109	享和三癸亥年七月十四日紅葉山惣御霊屋御参詣御先江罷越候留	
767B	109	享和三癸亥年七月十四日紅葉山惣御霊屋御参詣御先江罷越候留	

作成 → 受取	形態	数量	備　考
月番中務殿留、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
大炊殿留、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
月番大炊殿留、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
大炊殿留、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
月番信濃殿留、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
備後殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	一括包・折本	1・1	一括包紙上書「殿中御先立」
備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
下野殿留、備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
備後殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	一括包・折本	1・1	一括包紙上書「殿中御先立」
備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
下野殿留、備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
戸田采女殿留、大炊殿写、備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	一括包・折本	1・1	一括包紙上書「御凶事出仕」
大炊殿留、備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
戸田采女殿留、大炊殿写、備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	一括包・折本	1・1	一括包紙上書「御凶事出仕」
大炊殿留、備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
備前殿留借写、豊後守(阿部正外)	折本・包	1・1	包紙上書「享和三癸亥年七月十四日紅葉山惣御霊屋御参詣御先江罷越候留、備前殿留借写、豊後守」
備前殿留借写、豊後守(阿部正外)	折本・包	1・1	包紙上書「享和三癸亥年七月十四日紅葉山惣御霊屋御参詣御先江罷越候留、備前殿留借写、豊後守」

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
768	109	文化四丁卯年二月廿七日・廿八日聖護院御門跡到着ニ付上使之節之留	
769A	109	天保十一子年九月廿四日備後殿増上寺有章院様惇信院様御霊屋御廟向御用掛被仰付有之節日記書抜	
769B	109	天保十一子年九月廿四日備後殿増上寺有章院様惇信院様御霊屋御廟向御用掛被仰付有之節日記書抜	
770A～774A　（日光御門跡日記書抜包紙一括）			
770A	109	寛政三辛亥年九月三日日光准后御登山前御対顔被遣物有之節日記書抜	
771A	109	文化十三丙申年九月廿七日御転任御兼任相済候御祝儀御能就被仰出候日光御門跡増上寺始登城御饗応有之候節之留	
772A	109	文政十一戊子年十二月廿日日光新宮御登山前御対顔被遣物茂有之節日記書抜	
773A	109	天保八丁酉年二月朔日伊勢日光御名代帰高家召出日光久能御礼巻数御鏡御頂戴且日光准后新宮年頭御対顔一山之御礼有之候節日記書抜	
774A	109	天保八丁酉年十二月廿日日光新宮御登山前御対顔之節日記書抜	
770B～774B　（日光御門跡日記書抜包紙一括）			
770B	109	寛政三辛亥年九月三日日光准后御登山前御対顔被遣物有之節日記書抜	
771B	109	文化十三丙申年九月廿七日御転任御兼任相済候御祝儀御能就被仰付候日光御門跡増上寺始登城御饗応有之候節之留	
772B	109	文政十一戊子年十二月廿日日光新宮御登山前御対顔被遣物茂有之節日記書抜	
773B	109	天保八丁酉年二月朔日伊勢日光御名代帰高家召出日光久能御礼巻数御鏡御頂戴且日光准后新宮年頭御対顔一山御礼有之候節日記書抜	
774B	109	天保八丁酉年十二月廿日日光新宮御登山前御対顔之節日記書抜	
776A	110	評定所出座之儀ニ付廻書付等写（宝暦６年～天保２年）	
776B	110	評定所出座之儀ニ付廻書付等写（宝暦６年～天保２年）	
784A	110	天保十五年甲辰五月伊勢殿日記書抜	
784B	110	天保十五年甲辰五月伊勢殿日記書抜	
785A	110	寛政六寅年申合之上極ル火事番之覚	
785B	110	寛政六寅年申合之上極ル火事番之覚	

作成→受取	形態	数量	備　考
伊豆殿留、越前殿写、松前伊豆殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
大炊殿留、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本・包	1・1	包紙上書「天保十一子年九月廿四日備後殿増上寺有章院様惇信院様御霊屋御廟向御用掛被仰付有之節日記書抜、大炊殿留、従備前殿借写、豊後守」
大炊殿留、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本・包	1・1	包紙上書「天保十一子年九月廿四日備後殿増上寺有章院様惇信院様御霊屋御廟向御用掛被仰付有之節日記書抜、大炊殿留、従備前殿借写、豊後守」
伊豆殿留、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	一括包・折本	1・1	一括包紙上書「日光御門跡」
下野殿留、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
月番周防殿留、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
越前殿留、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
備後殿留、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
伊豆殿留、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	一括包・折本	1	一括包紙上書「日光御門跡」
下野殿留、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
月番周防殿留、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
越前殿留、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
備後殿留、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
和泉殿留、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本・包	1・1	包紙上書「評定所出座之儀ニ付廻書付等写、豊後守」
和泉殿留、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本・包	1・1	包紙上書「評定所出座之儀ニ付廻書付等写、豊後守」
備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本・包	1・1	包紙上書「天保十五年甲辰五月伊勢殿日記書抜、備前殿ゟ借写、豊後守」
備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本・包	1・1	包紙上書「天保十五年甲辰五月伊勢殿日記書抜、備前殿ゟ借写、豊後守」
出羽殿留、伯耆殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本・包	1・1	包紙上書「寛政六寅年申合之上極ル火事番之覚、出羽殿留、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守」
出羽殿留、伯耆殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本・包	1・1	包紙上書「寛政六寅年申合之上極ル火事番之覚、出羽殿留、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守」

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
786－1	110	天保五甲午年正月元日之留　＊786－1～7	
786－2	110	天保五甲午年正月二日之留	
786－3	110	天保五甲午年正月三日之留	
786－4	110	天保五甲午年正月三日夕之留	
786－5	110	天保五甲午年正月六日之留	
786－6	110	天保五甲午年正月七日之留	
786－7	110	天保五甲午年正月十一日之留	
787A	110	文久三癸亥年九月廿三日御役儀之御礼申上候日記書抜	
787B	110	文久三癸亥年九月廿三日御役儀之御礼申上候日記書抜	
788A～798A　（御留守居・御三卿方家老引渡留包紙一括）			
788A	110	安永六酉年正月十二日一橋家老引渡之留	
789A－1	110	寛政六甲寅年九月十二日清水殿家老山村信濃守跡有田播磨守被仰付為引渡御屋形江罷越候留　＊789A－1～2	
789A－2	110	御引渡之節絵図留	
789A－3	110	寛政六甲寅年九月十二日清水殿家老有田播磨守被仰付為引渡御屋形江罷越候節之次第書写	
790A	110	享和元酉年三月廿日民部卿殿家老久田縫殿頭跡江横田十郎兵衛被仰付為引渡民部卿殿亨江相越候届	
791A	110	文化三丙寅年正月十五日月次其外御礼有之且民部殿家老被仰付候付為引渡右御館江罷越候留	
792A－1	110	文化五戊辰年二月十二日民部卿殿家老仙石治兵衛為引渡相越候節之留	
792A－2	110	民部卿家御引渡之節絵図	
793A	110	文化六己巳年四月廿九日御留守居佐野豊前守為引渡両御広敷江罷出候節之留	
794A	110	文化八辛未年五月九日民部卿殿家老被仰付候付為引渡相越候節之留	
795A	110	文化十四丁丑年正月廿日右衛門督殿御家老被仰付候付自分為引渡相越候節之留	

作成 → 受取	形態	数量	備　考
非番和泉殿留、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	一括包・折本	1・1	一括包紙上書「天保五甲午年非番正月元日ゟ十一日迄之留、和泉殿留、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守」
非番和泉殿留、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
非番和泉殿留、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
非番和泉殿留、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
非番和泉殿留、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
非番和泉殿留、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
非番和泉殿留、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
備前殿留借写、豊後守(阿部正外)	折本・包	1・1	包紙上書「文久三癸亥年九月廿三日御役儀之御礼申上候日記書抜、備前殿留借写、豊後守」
備前殿留借写、豊後守(阿部正外)	折本・包	1・1	包紙上書「文久三癸亥年九月廿三日御役儀之御礼申上候日記書抜、備前殿留借写、豊後守」
伊豆殿留、采女殿写、下野殿写、出羽殿写、和泉殿写、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	一括包・折本	1・1	一括包紙上書「御留守居御三卿方家老引渡之留十四折、内絵図二枚、備前殿ゟ借写、豊前守」
対馬殿留、采女殿写、下野殿写、出羽殿写、和泉殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本・帯封	1・1	789A－1～2は帯封一括
(対馬殿留、采女殿写、下野殿写、出羽殿写、和泉殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外))	状	1	
対馬殿留、采女殿写、下野殿写、出羽殿写、和泉殿写、備後殿写、大炊殿写、備前殿ヨリ借写、豊後守	折本	1	
対馬殿留、采女殿写、下野殿写、出羽殿写、和泉殿写、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
備前殿留、下野殿写、出羽殿写、和泉殿写、備後殿写、大炊殿写、備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
下野殿留、出羽殿写、和泉殿写、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
(下野殿留、出羽殿写、和泉殿写、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外))	状	1	
下野殿留、出羽殿写、和泉殿写、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
大炊殿留、備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
大炊殿留、備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
796A	110	文政九丙戌年正月廿三日兵部卿殿家老溝口筑前守為引渡御館江相越候節之留	
797A	110	文政十一戊子年八月廿八日御留守居石川主水正為引渡両御広敷江罷出候節之留	
798A	110	文政十一戊子年九月朔日卯七刻蝕御三家御両卿方御不参月次其外御礼衆有之節之留	
788B～798B　（御留守居・御三卿方家老引渡留包紙一括）			
788B	110	安永六酉年正月十二日一橋家老引渡之留	
789B－1	110	寛政六甲寅年九月十二日清水殿家老山村信濃守跡有田播磨守被仰付為引渡御屋形江罷越候留　＊789B－1～2	
789B－2	110	御引渡之節絵図留	
789B－3	110	寛政六甲寅年九月十二日清水殿家老有田播磨守被仰付為引渡御屋形江罷越候節之次第書写	
790B	110	享和元酉年三月廿日民部卿殿家老久田縫殿頭跡江横田十郎兵衛被仰付為引渡民部卿殿亭江相越候留	
791B	110	文化三丙寅年正月十五日月次其外御礼有之且民部殿家老被仰付候付為引渡右御館江罷越候留	
792B－1	110	文化五戊辰年二月十二日民部卿殿家老仙石治兵衛為引渡相越候節之留　＊792B－1～2	
792B－2	110	民部卿家御引渡之節絵図	
793B	110	文化六己巳年四月廿九日御留守居佐野豊前守為引渡両御広敷江罷越候節之留	
796B	110	文政九丙戌年正月廿三日兵部卿殿家老溝口筑前守為引渡御館江相越候節之留	
797B	110	文政十一戊子年八月廿八日御留守居石川主水正為引渡両御広敷江罷出候節之留	
798B	110	文政十一戊子年御三家御両卿方御不参月次其外御礼衆有之節之留	
799A～801A　（所司代江御口上被仰含之節并御暇之日記書抜包紙一括）			
799A	111	天保八丁酉年六月十一日同列引渡無之所司代計御暇之節日記書抜	
800A	111	天保八丁酉年六月十三日於御座間所司代召出御口上被仰含之節非番和泉殿日記書抜	
801A	111	天保十一子年二月廿一日所司代牧野備前守江御口上被仰含召出有之候節日記書抜	
799B～801B　（所司代江御口上被仰含之節并御暇之日記書抜包紙一括）			

作成→受取	形態	数量	備　考
和泉殿留、備後殿写、大炊殿写、備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
和泉殿留、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
出羽殿留、周防殿写、越前殿写、和泉殿写、備後殿写、大炊殿写、備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
伊豆殿留、采女殿写、下野殿写、出羽殿写、和泉殿写、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	一括包・折本	1・1	一括包紙上書「御留守居御三卿方家老引渡之留十四折、内絵図二枚、備前殿ゟ借写、豊後守」
対馬殿留、采女殿写、下野殿写、出羽殿写、和泉殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本・帯封	1・1	789B－1～2は帯封一括
(対馬殿留、采女殿写、下野殿写、出羽殿写、和泉殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外))	折本	1	
対馬殿留、采女殿写、下野殿写、出羽殿写、和泉殿写、備後殿写、大炊殿写、備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
対馬殿留、采女殿写、下野殿写、出羽殿写、和泉殿写、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
備前殿留、下野殿写、出羽殿写、和泉殿写、備後殿写、大炊殿写、備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
下野殿留、出羽殿写、和泉殿写、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本・帯封	1・1	792B－1～2は帯封一括
(下野殿留、出羽殿写、和泉殿写、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外))	状	1	
下野殿留、出羽殿写、和泉殿写、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
和泉殿留、備後殿写、大炊殿写、備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
和泉殿留、備後殿写、大炊殿写、従備前殿借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
出羽殿留、周防殿写、越前殿写、和泉殿写、備後殿写、大炊殿写、備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
和泉殿留、大炊殿写、備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	一括包・折本	1・1	一括包紙上書「所司代江御口上被仰含之節并御暇之日記書抜三折、豊後守」
和泉殿留、大炊殿写、備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
大炊殿留、備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
799B	111	天保八丁酉年六月十一日同列引渡無之所司代計御暇之節日記書抜	
800B	111	天保八丁酉年六月十三日於御座間所司代召出御口上被仰含之節非番和泉殿日記書抜	
801B	111	天保十一子年二月廿一日所司代牧野備前守江御口上被仰含召出有之候節日記書抜	
802A	111	天保十四卯年閏九月朝鮮人来聘御用被仰付候節之月番留・文化三寅年四月御勝手御入用掛且朝鮮人来聘御用被仰付候節之月番留	
802B	111	天保十四卯年閏九月朝鮮人来聘御用被仰付候節之月番留・文化三寅年四月御勝手御入用掛且朝鮮人来聘御用被仰付候節之月番留	

A－2－6　海防図など－白河領・同飛地－

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1031－1	127	(異国船海岸手当命じられるにつき文政度書付写) ＊1031－1～2	天保13年
1031－2	C	(奥州海岸絵図控)	(天保14年1月)
1032	127	天保十四卯年異国船海岸手当被仰出候付伺書案	天保14年
1034－1	127	異国船渡来之節人数差出之儀御達書(写) ＊1034－1～2	(天保15年12月・嘉永3年2月写)
1034－2－1	C	(奥州磐城郡・磐前郡・猶葉郡海岸絵図) ＊1034－2－1～2	
1034－2－2	C	(奥州磐城郡・磐前郡・猶葉郡海岸絵図)	

作成 → 受取	形態	数量	備　考
和泉殿留、大炊殿写、備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	一括包・折本	1・1	一括包紙上書「所司代江御口上被仰含之節并御暇之日記書抜三折、豊後守」
和泉殿留、大炊殿写、備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
大炊殿留、備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本	1	
信濃殿留、下野殿留、備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本・包	1・1	包紙上書「天保十四卯年閏九月朝鮮人来聘御用被仰付候節之月番留、信濃殿留・文化三寅年四月御勝手御入用掛且朝鮮人来聘御用被仰付候節之月番留、下野殿留、備前殿ゟ借写、豊後守」
信濃殿留、下野殿留、備前殿ゟ借写、豊後守(阿部正外)	折本・包	1・1	包紙上書「天保十四卯年閏九月朝鮮人来聘御用被仰付候節之月番留、信濃殿留・文化三寅年四月御勝手御入用掛且朝鮮人来聘御用被仰付候節之月番留、下野殿留、備前殿ゟ借写、豊後守」

作成 → 受取	形態	数量	備　考
山下阿部	一括袋・竪	1・1	一括袋上書「文政七申年中、一、奥州小名浜江異国船渡来之節固人数差出候様被仰出候御書付三通写、但内壱通名前書、一、右ニ付伺書三通写、一、小名浜迄白川ゟ之里数糺書面壱通写、一、奥州海岸絵図壱枚、阿部能登守」、朱書「天保十四年正月廿七日土井大炊頭様江被差出之」／表紙「文政七申年中、一、奥州小名浜江異国船渡来之節固人数差出候様被仰出候御書付三通写、但内一通名前書、一、右ニ付伺書三通写、一、小名浜迄白川ゟ之里数糺書面壱通写、阿部能登守(正備)」
	鋪	1	彩色／裏書「一、天保十四卯年正月廿七日土井大炊頭様江被差出候節之控、一、同十五年八月日御用番水野越前守様江被指出候節も此通ニ而裏打之美濃ニ出来被指出候事、但掛紙之分ブッケ書ニ出来之事、折方手本折」／57.3×219.5
山下阿部	竪	1	表紙朱書「此御書面ハ袋入ニあらす、袋物江差添被指出之」
	一括袋・竪	1・1	一括袋上書「嘉永三年二月被差出候節之袋者美濃紙」(朱書)、「御料所陸奥国磐城郡・磐前郡・猶葉郡海岸江異国船渡来之節在所白川表ゟ差出候人数武器等伺書并増人数伺済書面并絵図面壱枚、阿部播磨守(正耆)家来加藤瀬左衛門」、一括袋貼紙「御料所磐城郡・磐前郡・猶葉郡海岸へ異国船渡来之節白川ゟ御人数被召出候武器等伺書并増人数伺済書面壱括絵図面共、嘉永三年二月」
	一括袋・鋪	1・1	一括袋上書「奥州海岸絵図壱枚」／彩色／25.7×65.9
	鋪	1	彩色／27.2×65.9

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1743	168	(袋)	(嘉永3年2月3日以降)
1755	168	(袋)	(嘉永3年2月3日以降)
806	111	伊勢守殿御口達振(開国条約関係触写)	(安政2年カ)
807	111	(馬揃上覧ならびに鎌倉遠馬につき阿部伊勢守仰渡書)	(安政2年2月20日～3月19日)
809	111	廻状(阿部伊勢守よりの三ヶ国条約三冊および口上振など回覧につき)	(安政2年カ)8月13日
1033	127	御固御人数内試之覚	4月11日
1035－1	C	遠州海岸絵図(江戸～遠州)　＊1035－1～3	
1035－2	C	遠州御領分海岸絵図(天龍川河口付近)	
1035－3	C	(遠州領分天龍川河口付近海岸絵図)	
1036	C	(奥州磐城郡・磐前郡・猶葉郡海岸絵図)	

A－2－7　棚倉領

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
62－1－1	53	(書状、城受け取り済みにつき)　＊62－1～9・62－1－1～4	(慶応3年)1月28日
62－1－2	53	(書状、郷村引き渡し済みにつき)	(慶応3年)1月28日
62－1－3	53	(城より退散の道筋につき書付)	(慶応3年)1月
62－1－4	53	覚(町方・郷村諸書付帳面引き渡しにつき)	(慶応3年)1月28日

作成 → 受取	形態	数量	備　考
御書物方控	袋	1	上書「嘉永三戌年二月三日、御掛御目付田中勘左衛門様江被差出候写、且又一躰ハ昨酉年十二月可被差出候処、取調間ニ合兼候付、戌二月三日被差出候、右ニ付御留守居ゟ相願御小人目付江掛合候上酉十二月被差出候振リニ相成申候」、「(前欠)異国船渡来之節遠江国豊田郡・山名郡之内領分海岸附村々防禦手当人数武器等御届書面并絵図面壱枚一袋、同、一、御料所陸奥国磐城郡・磐前郡・楢葉郡海岸江異国船渡来之節在所白川表ゟ差出候人数武器等伺書并増人数伺済書面并絵図面壱枚一袋、同、一、異国船近海江渡来之節臨時警固防禦等被仰付候者其節差出候人数武器書一袋、同、一、右書類并絵図面被差出候添書面写一冊、御書物方控」
阿部播磨守(正耆)家来加藤瀬左衛門	袋	1	上書「異国船近海江渡来之節臨時警固防禦等被仰付候者其節差出候人数武器書」、「嘉永三年二月三日被差出候写、一躰去酉年十二月可被差出候処、取調出来兼候付、二月三日ニ被差出候へ共、酉十二月被差出候ふりニ相成申候」、「被差出候節之袋者美濃紙」(朱書)
(阿部正弘)	状・包	1・1	包紙上書「伊勢守殿御口達振、御書」／『幕末御触書集成』第5巻6135号(三)触と同内容
(阿部正弘)	竪	1	
阿部播磨守(正耆)→太田摂津守様ほか10名	状・包	1・1	包紙上書「廻状、阿部播磨守(正耆)」
	横・袋	1・1	袋上書「御固御人数内試之覚」
	一括袋・鋪	1・1	一括袋上書「被差出候節之袋者美濃紙」(朱書)、「異国船渡来之節遠江国豊田郡・山名郡之内領分海岸附村々防禦手当人数武器等御届書面并絵図面壱枚、御書物方控、阿部播磨守(正耆)」／彩色／43.0×31.3
	鋪	1	彩色／64.3×111.3
	鋪	1	彩色／49.0×131.6
	鋪	1	彩色／65.9×229.7

作成 → 受取	形態	数量	備　考
印東少右衛門氏承(花押)ほか1名→柴崎津右衛門様・御書物番中様	一括袋・一括包・状	1・1・1	一括袋上書「棚倉城御受取之節諸絵図入」／一括包紙上書「書付、小池幸三郎」
印東少右衛門ほか1名→柴崎津右衛門様・御書物番中様	状	1	
	状	1	
小池幸三郎	状	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
62－2	C	御本使御旅館絵図	
62－3	C	御副使御旅館絵図	
62－4	C	御着之節御道筋絵図(上使小出織部・川副鉦五郎)	
62－5	C	双方人数立場絵図(追手門から本丸まで)	
62－6－1	C	棚倉城請取渡当日御着座之間并出役之図 ＊62－6－1～2	
62－6－2	C	棚倉城請取渡当日御着座之間并出役之図	
62－7	C	棚倉御城御引渡御当日図(御書院から御広間まで)	
62－8	C	棚倉御城御引渡御当日図(追手門から本丸まで人数立場絵図)	
62－9	C	御内見分之節御道筋絵図(新町上使旅宿から城内まで)	
38	C	(陸奥国棚倉藩領村絵図綴)	
39	C	(陸奥国棚倉藩領村絵図綴)	
40	C	(陸奥国棚倉藩領村絵図綴)	
41	C	(陸奥国棚倉藩領村絵図綴)	
42	C	(陸奥国棚倉藩領村絵図綴)	

作成→受取	形態	数量	備　考
	鋪・包	1・1	彩色／包紙上書「御本使御旅館絵図」／38.5×71.5
	鋪・包	1・1	彩色／包紙上書「御副使御旅館絵図」／36.7×52.9
	鋪・包	1・1	彩色／包紙上書「御着之節御道筋絵図」／64.0×108.5
	鋪・包	1・1	彩色／包紙上書「双方人数立場絵図」／64.6×85.6
	一括包・鋪	1・1	一括包紙上書「棚倉城請取渡当日御着座之間并出役之図」／63.5×86.5
	鋪	1	題簽「棚倉城請取渡当日御着座之間并出役之図」(剥離)／54.8×91.2
	鋪・包	1・1	包紙上書「棚倉城請取渡当日御着座之間并出役之図」／32.2×43.9
	鋪	1	31.9×42.6
	鋪・包	1・1	彩色／包紙上書「御内見分之節御道筋絵図」／64.0×86.8
	綴	1 (34枚)	彩色／裏に村名貼紙あり／下西郷邑、山玉村、下瀧村、上瀧村、入下村、上山田村、上遠野郷大平村、下根本村、上根本村、深山田邑、下山田邑、小山田村、上遠野村、根岸村、石住村、旅人邑、四沢村、窪田村、大高村、添野村、黒田村、窪田郷大平村、九面村、関田邑、三沢村、瀬戸村、白米村、小川村、貝泊邑・戸草村、酒井邑、新田村、植田村、荷路夫村、高蔵邑／27.7～37.5×55.5～75.0
	綴	1 (17枚)	彩色／裏に村名貼紙あり／小爪邑、戸中村、漆草村、強梨村、山際村、冨岡村、大梅村、福岡邑、上手沢村、祖父岡村、塚原村、北山本村、中山本村、下山本村、流村、双野平村、堀越村／27.8～38.0×55.8～74.5
	綴	1 (10枚)	彩色／裏に村名貼紙あり／祝部内村、瀬ヶ野村、金沢内村、天王内村、逆川村、小菅生村、桧木村、上台村、寺山村、八槻村／27.8～38.5×36.4～73.5
	綴	1 (22枚)	彩色／裏に村名貼紙あり／上石井村、中石井村、下石井村、戸塚村、東舘村・山野井村、金沢村、小田川村、宝坂村、高野谷地村、大拱村、上関河内村、下関河内村、高野村、山下村、真木野村、内川村、茗荷村、真名畑村、関岡村上下、植田村、伊香村、台宿村／27.3～37.4×37.3～98.3
	綴	1 (18枚)	彩色／裏に村名貼紙あり／下松川村、上松川村、竹貫村、鎌田村、真坂村、渡瀬村、富田村、赤坂中野村、石神村、西野村、塚本村、玉野村、一色村、福井村、堤村、板橋邑、花園村、仁公儀村／27.9～37.0×37.2～81.4

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
43	C	(陸奥国棚倉藩領村絵図綴)	
44	C	(陸奥国棚倉藩分領図)	
1039－1	C	奥州南部領ノ図　＊1039－1～5	
1039－2	C	出羽国之図	
1039－3	C	白川棚倉附近地図	
1039－4	C	(白川以北仙台迄街道略図)	
1039－5	C	棚倉絵図	
1742	168	(袋)	

A－2－8　江戸屋敷図・御用部屋日記

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
江戸屋敷図			
64	C	(麻布屋敷絵図)	(文化2年8月)
63	C	(山下門内上屋敷絵図)	
65－1	C	本所小名木川抱屋敷(八右衛門新田抱屋敷)　＊65－1～2	
65－2	C	(下谷池ノ端仲丁屋敷絵図)	

作成 → 受取	形態	数量	備　考
	綴	1 (25枚)	彩色／裏に村名貼紙あり／上渋井村、塙村・下渋井村、竹之内村、板庭村、川上・川下村、大畑村、大蕨村、前田村、木之反村、湯波村、干泥村、片貝村、那倉村、田代村、山形村、湯舟村、田野作村、両中塚村、常世中野村、常世北野村、西河内村、関口村、東河内村、岡田村、山田村／27.9～37.1×37.3～82.2
	鋪	1	彩色／36.0×54.0
	一括袋・鋪	1・1	一括袋上書「一、奥州南部領之図一、一、出羽国之図一、一、白川棚倉附近地図、戊辰ノ役藩兵使用之原図一、一、白川以北仙台、白川以北会津ヲ経テ米沢・山形・仙台街道略図、但戊辰役ノ際使用一、一、棚倉絵図一」／36.3×51.5
	鋪	1	38.3×52.8
	鋪	1	彩色／朱書「局外不出、軍自差添」／54.6×48.8
	鋪	1	49.6×32.6
	鋪	1	彩色／67.7×38.1
御留守居	袋	1	上書「棚倉城之図・諸請絵図入、御留守居」

作成 → 受取	形態	数量	備　考
	鋪	1	彩色／表・裏表紙木製漆塗、上書「麻布御屋鋪絵図」(漆文字)／「是迄之絵図面悉大破ニ相成、其上所々古来之形チニ狂ヒ候間、此度御用人正田吉右衛門殿江伺之上当時之形チニ出来候、文化二乙丑年八月此絵図ニ改之」とあり、安政4年・万延元年加筆／204.3×174.5
	鋪・袋	1・1	彩色／袋上書「山下御門内御上屋敷堀田相模守様ゟ請取之惣絵図壱枚、安政三丙辰八月廿八日河田磯右衛門ヨリ大切ニ預置候様頭取江渡ス、御用部屋」・袋裏書「此絵図御書物番御用部屋ニモ無之、御作事ニ有之、依而者御作事江者写ニして為預置、此図者御用部屋ニ可預置、御作事ニ写置候様御作事方浜路仙助江申達置候得共、震災後取込ニ付、追而写置候様可仕旨申聞候」／91.5×152.5
	一括袋・鋪	1・1	一括袋上書「本所小名川御屋敷図・下谷池ノ端仲丁御屋敷図」／40.1×63.5
	鋪	1	彩色／「下谷池ノ端仲丁御屋敷(元加藤織次郎)、明治二年下賜」とあり／68.1×56.9

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
御用部屋日記			
952	114	元治二乙丑年従正月日記	元治２年１月１日～24日
953－1	114	慶応元年丑正月日記	慶応元年１月１日～晦日
953－2	114	(「慶應元年丑年全十三冊」)	
954	114	慶応元年丑二月日記	慶応元年２月１日～29日
955	115	慶応元年丑三月日記	慶応元年３月１日～29日
956	115	慶応元年丑四月日記	慶応元年４月１日～晦日
957	115	慶応元年丑五月日記	慶応元年５月１日～29日
958	115	慶応元年丑閏五月日記	慶応元年閏５月１日～晦日
959	115	慶応元年丑六月日記	慶応元年６月１日～29日
960	115	慶応元年丑七月日記	慶応元年７月１日～晦日
961	115	慶応元年丑八月日記	慶応元年８月１日～晦日
962	115	慶応元年丑九月日記	慶応元年９月１日～29日
963	116	慶応元年丑十月日記	慶応元年10月１日～晦日
964	116	慶応元年丑十一月日記	慶応元年11月１日～晦日
965	116	慶応元年丑十二月日記	慶応元年12月１日～29日
966	116	慶応二年寅正月日記	慶応２年１月１日～晦日
967	116	慶応二年寅三月日記	慶応２年３月１日～晦日
968	116	慶応二年寅四月日記	慶応２年４月１日～29日
969	116	慶応二年寅五月日記	慶応２年５月１日～29日
970	116	慶応二年寅六月日記	慶応２年６月１日～29日
971	116	慶応二年七月日記	慶応２年７月１日～晦日
972	116	慶応三年卯正月日記	慶応３年１月１日～29日
973	117	慶応三年卯二月日記	慶応３年２月１日～晦日
974	117	慶応三年卯三月日記	慶応３年３月１日～29日
975	117	慶応三年卯四月日記	慶応３年４月１日～晦日

作成→受取	形態	数量	備　考
奥頭取	竪	1	
御用部屋	竪	1	
	状	1	953－1より剥離カ
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
976	117	慶応三年卯六月日記	慶応3年6月1日～29日
977	117	慶応三年卯八月日記	慶応3年8月1日～晦日
978	117	慶応三年卯十月日記	慶応3年10月1日～晦日
979	117	慶応三年卯十一月日記	慶応3年11月1日～晦日
981－1	118	明治元年辰正月日記	明治元年1月1日～29日
981－2	118	(「明治元辰年九冊」)	
982	118	明治元年辰二月日記	明治元年2月1日～晦日
980	118	慶応四戊辰年従三月上京中日記	慶応4年3月5日～6月24日
983	118	明治元年辰四月日記	明治元年4月1日～29日
984	118	明治元年辰閏四月日記	明治元年閏4月1日～29日
985	118	明治元年辰六月日記	明治元年6月1日～29日
986	118	辰七月日記	辰(明治元年)7月1日～29日
987	118	明治元年辰九月日記	明治元年9月1日～29日
988	119	明治元年辰十月日記	明治元年10月1日～29日
989	119	明治元年辰十二月日記	明治元年12月1日～29日
990	119	明治二年巳正月日記	明治2年1月1日～晦日
991	119	明治二年巳二月日記	明治2年2月1日～晦日
992	119	明治二年巳三月日記	明治2年3月1日～晦日
993	120	明治二年巳五月日記	明治2年5月1日～29日

作成→受取	形態	数量	備　　考
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
	状	1	981－1の8～9丁挟込
御用部屋	竪	1	
棚倉旅寓	竪	1	96～97丁内に罫紙下敷1枚挟込
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	
御用部屋	竪	1	

B　書籍・絵図類

B－1　書籍

B－1－1　成寿院写本

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1138	136	沢庵和尚百首和歌	(元和6年)
1134	135	寛永御上洛ノ記	(寛永3年6月)
1145	137	明暦大火むさしあふみ	万治4年3月
1146－1	137	むさしあふみ一	(万治4年)
1146－2	137	むさしあふみ二	(万治4年)
1146－3	137	むさしあふみ三	(万治4年)
1146－4	137	むさしあふみ四	(万治4年)
1146－5	137	むさしあふみ五	(万治4年)
1146－6	137	むさしあふみ六	(万治4年)
1233	143	修学院御幸宸記抜萃	(享保9年9月～同16年10月)
1149	137	根南志久佐上下	宝暦13年9月
1234	143	竹恵撮記巻三	(文化11年)
1139	136	文政七・八・九年修学院御幸御会和歌	(文政7年～同9年)
1148	137	知恩院宮尊超親王吹上乃記	(天保14年9月)
1152－1	138	海外新話一	(嘉永2年)
1152－2	138	海外新話二	(嘉永2年)
1150	138	千代田物語・成寿院様御筆(千代田問答)	(嘉永6年)
1153	138	乗馬上覧姓名(幕末風聞・落首ほか書留)	(天保6年～安政4年)
1200－1	142	御城芝ニ而御追善御集御歌上(芳樹院三回忌)	(万延元年8月20日)
1200－2	142	御城芝ニ而御追善御集御歌下(順聖院三回忌)	(万延元年7月20日)
1141－1	136	歌誂百人選五十吟上	
1141－2	136	歌誂百人選五十吟下	
1141－3	136	雲居海寿著歌誂百人選五十吟之内(季吟抜書)	(明治19年5月31日写)

作成 → 受取	形態	数量	備　考
成寿院写	竪	1	別題「沢庵百首」／末尾に「成寿院様御筆」とあり
成寿院写	竪	1	天保14年日光参詣登山の記事あり／末尾に「成寿院様御筆」とあり／表紙付箋「寛永御上洛ノ記」(朱書)
(浅井了意著)・成寿院写	竪	1	「寺町二条下ル町中村五兵衛開板」／末尾に「成寿院様御筆」とあり
浅井了意著・成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
(浅井了意著)・成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
(浅井了意著)・成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
(浅井了意著)・成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
(浅井了意著)・成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
(浅井了意著)・成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
	状	1	
天竺浪人(平賀源内著)・成寿院写	竪	1	明和5年の序・跋／末尾に「成寿院様御筆」とあり
赤城山人	竪	1	涙襟集・横川勘平之状・東銘・晋子書牘
成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
(鳥有生著)・成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
(鳥有生著)・成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
	竪	1	
	竪	1	22～23丁に罫紙下敷1枚挟込
雲居海寿著・成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
雲居海寿著・成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
	竪	1	末尾に「明治十九年初夏五月三十一日夜写終」とあり

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1727	164	阿蘭陀人女房日本婦人の文	子１月13日
1131	135	東照神君御教命	
1132	135	東照宮様御文写	
1133	135	東照宮御章写	
1135	136	両院御百首并菅家御詠集	
1136	136	土御門院・順徳院御製百首、付雅章卿	
1137－1	136	源三位頼政家集上	
1137－2	136	源三位頼政家集下	
1140	136	近世奇人伝詠歌書抜	
1142	136	和歌三鳥秘伝巻	
1143	136	百首蜀山人自筆狂歌写	
1144－1	136	慶安大平記壱	
1144－2	136	慶安大平記二	
1144－3	136	慶安大平記三	
1144－4	136	慶安大平記四	
1144－5	136	慶安大平記五	
1147	137	白川夜語(話)	
1151	138	よせかき(随筆など書抜)	
1154－①～②	138	(色紙ちらしかた・ちらし書百人一首)	
1154－①	138	色紙ちらしかた	
1154－②	138	ちらし書百人一首	
1181	140	最明寺殿教訓百首	
1182	140	奥州勿来関和歌集	
1183	140	大江元就詠草全	
1184	140	新後明題抄各詠独詠和歌集	

作成 → 受取	形態	数量	備　考
成寿院写	横	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
成寿院写	状	1	「成寿院様御筆」とあり
成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
(成寿院写)	竪	1	
成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり／両院は土御門院と順徳院
成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
成寿院写	竪	1	伴蒿蹊「近世奇人伝」より書抜／末尾に「成寿院様御筆」とあり
皇太后宮大夫中納言(藤原)俊成・京極少将藤原勝俊朝臣・成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
蜀山人(大田南畝著)・成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
(成寿院写)	竪	1	
(成寿院写)	竪	1	
(成寿院写)	竪	1	
成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
成寿院写	竪	1	末尾に「成寿院様御筆」とあり
成寿院写	竪	1	別題「雨窓閑話」／末尾に「成寿院様御筆」とあり／1～2丁に銀杏の葉挟込
成寿院写	竪	1	「尾甲越本朝三国志評径」・「天下泰平風の薬妙ふり出し」・「江戸名所地名所交」・「山海名産図会」・「落穂雑談一言某」などより書抜／末尾に「成寿院様御筆」とあり
成寿院写	綴	1	
世尊寺行君口伝・成寿院写	竪		「染庭集ノ第一いろは伝授」を付す
成寿院写	竪		飛鳥井雅章本／末尾に「成寿院様御筆」とあり
	竪	1	
	横	1	
(毛利元就著)	竪	1	別題「春霞集」／末尾に「于時元亀第三暦仲呂吉辰、懸車老翁特進実澄」とあり
	竪	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1185	140	与勢宇多	

B－1－2　写本

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
将軍家関係			
1248－1	145	御物語御遺訓集天	(文化6年3月写カ)
1248－2	145	御物語御遺訓集地	文化6年3月写
1249	145	松平御啓運記全	
1246	145	東照宮御遺訓	
1247	145	東照宮御遺訓附録	
1697	164	朝日廼免久美	
117	57	吉宗公御由緒	
114	57	貴重瞭略(徳川家康～家祥略譜一覧)	
武家系図			
118	57	由緒書(岩松家)	寛政9年
119	57	吉田公御系図(松平信綱～信順)	
武家規式			
155－1	59	柳営年表秘録上	(慶長5年～延宝8年)
155－2	59	柳営年表秘略中	(天和元年～延享2年)
155－3	59	柳営年表秘略下	(延享3年～寛政12年)
155－4	59	柳営年表続篇	(寛政13年～文政5年)
153	59	武器大概・具足著初式	享和3年10月写
154	59	柳営事略完	文化丁丑(14年)
152	59	年序式目附録全(写)	
156－1	59	要匡(筐)弁志(武家官位昇進次第ほか) ＊156－1～3	
156－2	59	要匡(筐)弁志(束帯・衣冠・直垂ほか)	

作成→受取	形態	数量	備　考
	竪	1	

作成→受取	形態	数量	備　考
	竪	1	家康遺訓
	竪	1	家康遺訓
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	鋪	1	
岩松兵部㊞ほか1名	竪	1	「阿部」印
	状・包	1・1	包紙上書「正瞭公御筆歟不相分、吉田公御系図」／包紙に「阿部用所」印・本紙に「阿部氏印」印あり
	竪	1	序に「堤本一名慶政私記、上中下三冊也」とあり
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	凡例に「文化丁丑季冬念六日、横須賀押合三好俊平選」とあり
	竪	1	奥書「享和三癸亥年十月日、従松宮氏借写」
城北隠士著	横・包	1・1	原著序年紀「文化丁丑季冬、城北隠士㊞」／包紙上書「柳営事略」
	竪	1	
	一括帙・竪	1・1	
	竪	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
156－3	59	要匡(筐)弁志(年中行事)	
1235－1	144	(武家称号い～す・武者名寄い～か)	
1235－2	144	(武者名寄よ～て)	
1235－3	144	(武者名寄あ～す・家号読習未勘・附近代武家名数・同名名寄)	
朝廷関係			
1224	143	姓名鈔完	天保13年3月写
120	57	元治元年十一月改雲井	元治元年11月改
121	57	元治元年十一月改補略	元治元年11月改
1225－1	143	葬喪記巻第一	(丙午年9月19日写カ)
1225－2	143	葬喪記巻第一	(丙午年9月19日写カ)
1271	146	中山夢物かたり	
和歌書			
1186－1	140	名所草木考序目録　＊1186－1～21	延享4年3月
1186－2	140	名所草木考草之部一	
1186－3	140	名所草木考草之部二	
1186－4	140	名所草木考草之部三	
1186－5	140	名所草木考草之部四	
1186－6	140	名所草木考草之部五	
1186－7	140	名所草木考草之部六	
1186－8	140	名所草木考草之部七	
1186－9	140	名所草木考草之部八	
1186－10	141	名所草木考草之部九	
1186－11	141	名所草木考草之部十	
1186－12	141	名所草木考木之部一	
1186－13	141	名所草木考木之部二	
1186－14	141	名所草木考木之部三	

作成→受取	形態	数量	備　考
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
明霞主人誌	竪	1	
	横	1	
	横	1	
	竪	1	永長2年7月26日万寿允常書写本
	竪	1	永長2年7月26日万寿允常書写本
	竪	1	
	一括箱・竪	1・1	一括箱(本目録384・385頁参照)上書「上、草木考」／箱横貼紙「二十五」
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1186－15	141	名所草木考木之部四	
1186－16	141	名所草木考木之部五	
1186－17	141	名所草木考木之部六	
1186－18	141	名所草木考木之部七	
1186－19	141	名所草木考木之部八	
1186－20	141	名所草木考木之部九	
1186－21	141	名所草木考木之部十	
1188	142	若草(内藤正範歌集)	文化4年
1691	164	水上征房ゟ川村都愛江送文	文政8年8月
1189	142	御幸の御詠写之(於修学院)	(文政9年3月23日)
1193－1	142	文政十一子年三月廿日御当代御台様御製・二条左大臣様御息女乗蓮院様御製・贈内大臣様御一周忌御手向御歌	文政11年3月20日
1193－2	142	文政十一子年三月廿日御当代御台様御製・二条左大臣様御息女乗蓮院様御製・贈内大臣様御一周忌御手向御歌	文政11年3月20日
1696	164	湯治の記	(天保6年8月～11月)
1198－1	142	公方様御耳順之御賀鶴契千年之御製(徳川家慶六十賀和歌集)	(嘉永5年2月15日)
1198－2	142	(「喜」)	
1196－1	142	天保十三年拝賀(琉球国正使浦添王子朝憙拝賀の節詠歌)　＊1196－1～5	12月8日
1196－2	142	難題和歌五首	
1196－3	142	(詠歌、歌題牡丹ほか)	
1196－4	142	(詠歌、なほあさけれと)	
1196－5	142	(詠歌、かかる谷ふところに)	
1180	140	定家卿自歌合	
1191	142	七夕七首の寄	
1203	142	江戸名所図絵和歌書抜	
1204	143	賀歌(島津家関係)	

作成→受取	形態	数量	備　考
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
内藤外記正弘(花押)	竪	1	末尾に「内藤家蔵文化四丁卯歳李春上木」とあり
七十四翁征房	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
連田信成写	竪・包	1・1	包紙上書「御台様御製乗蓮院様御歌」
(島津斉宣)	竪	1	島津斉宣は聡徳院父
	竪	1	
	状	1	1198－1の89丁挟込
肥後守平景揃	一括包・状	1・1	
徹	状	1	
	状	1	
	状	1	
	状	1	
	竪	1	「家隆卿百番歌合」「清少納言集」「紫式部集」を含む
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
物語			
1241－1	144	(伊勢物語天福本写本)	(寛文11年写)
1241－2	144	虫除星除金花散(防虫剤袋)	
1243	144	女郎花物語全	(貞享２年写カ)
1240	144	竹取物語縁起	
1242	144	拙藁(読徒然草節四など)	
1721－1	164	(物語写、前欠)	
1721－2	164	(物語写)	
日記・実録			
1030－1	127	寛明日紀五冊・壱・六(巻１～６)	(寛永元年１月～同８年５月)
1030－2	127	寛明日紀、七・拾四(巻７～14)	(寛永８年５月～同９年12月)
1030－3	127	寛明日紀、拾五・廿壱(巻15～21)	(寛永10年１月～同18年12月)
1030－4	127	寛明日紀、廿弐・卅壱(巻22～31)	(寛永19年１月～正保４年12月)
1030－5	127	寛明日紀、卅二・四拾五(巻32～45)	(慶安元年１月～承応元年４月)
1026	126	白川侯謹言録	天明３年12月・天保６年３月写
1027	126	白川家政録	天明３年12月
1028－1	126	記料・白川侯御行状一(松平定信伝記)	天保６年５月
1028－2	126	記料・白川侯御行状二(松平定信伝記)	(天保６年５月)
1028－3	126	記料三(松平定信伝記)	(天保６年５月)
1028－4	126	記料四(松平定信伝記)	(天保６年５月)
1028－5	126	記料六(松平定信伝記)	(天保６年５月)
1028－6	126	記料七(松平定信伝記)	(天保６年５月)
1028－7	126	記料八(松平定信伝記)	(天保６年５月)
1028－8	126	記料九(松平定信伝記)	(天保６年５月)
1028－9	127	記料十(松平定信伝記)	(天保６年５月)

作成→受取	形態	数量	備　考
藤原季有(花押)	竪	1	奥書「這伊勢物語一帖以天福本被逐書写者歟甘露寺家庶業長朝臣筆翰分明也、予一覧之序加奥書畢、寛文第十一天初秋仲旬、藤原季有(花押)」
神奈川青木町小橋屋伝右エ門	袋	1	
佐藤直方写	竪	1	
	竪	1	
筑井清	竪	1	
	状	1	書出し「(前欠)かし式部大輔左大弁…」
	状	1	書出し「いと深き山道のほとたへかたく…」
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
(松平定信)	竪	1	「阿部氏円山書庫之印」あり
(松平定信)	竪	1	「阿部氏円山書庫之印」あり
田内親輔	竪	1	誕生～世子時代(宝暦8年～天明3年)／「阿部氏円山書庫之印」「福山文庫」印あり
(田内親輔)	竪	1	初政～老中就任まで(天明3年～同7年)／「阿部氏円山書庫之印」「福山文庫」印あり
(田内親輔)	竪	1	天明の大飢饉期(天明3年～同7年)／「阿部氏円山書庫之印」「福山文庫」印あり
(田内親輔)	竪	1	文武引立～立教館草創(寛政3年～文化6年)／「阿部氏円山書庫之印」「福山文庫」印あり
(田内親輔)	竪	1	老中退職～隠居まで(寛政5年～文化9年)／「阿部氏円山書庫之印」「福山文庫」印あり
(田内親輔)	竪	1	老中退職～隠居まで(寛政5年～文化9年)／「阿部氏円山書庫之印」「福山文庫」印あり
(田内親輔)	竪	1	老中退職～隠居まで(寛政5年～文化9年)／「阿部氏円山書庫之印」「福山文庫」印あり
(田内親輔)	竪	1	老中退職～隠居まで(寛政5年～文化9年)／「阿部氏円山書庫之印」「福山文庫」印あり
(田内親輔)	竪	1	隠居時代(文化9年～文政12年)／「阿部氏円山書庫之印」「福山文庫」印あり

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1028－10	127	記料十一(松平定信伝記)	(天保6年5月)
1028－11	127	記料十二(松平定信伝記)	(天保6年5月)
1038－1	128	嘉永年録(中村為弥ロシヤ人ト応接・長崎奉行水野筑後守エキリ人ト応接・英吉利約文)	
1038－2	128	嘉永年録(全粤義挙檄文・漢英和約、附劉氏節略・鴉片始末・海防策)	
1038－3	128	嘉永年録(海防彙議補抄録)	
1038－4	128	嘉永年録(探辺聊報・伝信書全)	
1038－5	128	嘉永年録(海防彙議鈔録・野叟独語)	
1038－6	128	嘉永年録(諸家海防策并意見書ほか)	
1038－7	128	嘉永年録(日本与ロシヤ条約ノ漢文・同和解二通ほか)	
1038－8	128	嘉永年録(制虜時宜・海野半平浦賀一件聞書)	
1038－9	128	嘉永年録(文化元魯西亜使節船一件略記ほか)	
1038－10	128	嘉永年録(魯西亜所出漢文書簡・同和解ほか)	
1038－11	128	嘉永年録(亜米利加ト応接論談并約定・附政府問詰及答書)	
1038－12	128	嘉永年録(佐久間修理其外之もの共御咎申渡書ほか)	
教訓書			
1261	145	茶菓詩初編	(天保4年3月)
1195	142	めくみの露、一名みそのゝ露(吹上苑砲術上覧記)	天保12年8月
1262	146	酒呑嗜草	天保15年6月
1263	146	霊亀物語全	嘉永5年9月
1693	164	斉家治国	安政2年12月
1255	145	桜井之書	建武2年10月・慶応4年10月写
1256	145	文林摘葉	(寛政12年刊)・明治2年写
1251	145	一休課法語全	

作成→受取	形態	数量	備　考
(田内親輔)	竪	1	隠居時代(文化9年～文政12年)／「阿部氏円山書庫之印」「福山文庫」印あり
(田内親輔)	竪	1	隠居時代～逝去まで(文化9年～文政12年)／「阿部氏円山書庫之印」「福山文庫」印あり
	竪	1	「長崎奉行水野築㈜後守エキリ人ト応接」末尾に「安政二年乙卯十月上旬或人之秘蔵本ヲ借得テ写畢」とあり／「柏堂蔵書」印あり
	竪	1	「柏堂」印あり
	竪	1	「柏堂蔵書」印あり
	竪	1	「探辺聊報」末尾に「安政三丙辰晩春写于望湖楼窓下、柏堂主人㊞」とあり／「柏堂図書之印」あり
	竪	1	「柏堂」印あり
	竪	1	「三奉行両御目付并井戸評議」末尾に「安政二卯年仲秋八月写」とあり／「柏堂蔵書」「柏堂図書之印」印あり
	竪	1	「柏堂蔵書」印あり
	竪	1	「制虜時宜」末尾に「安政三年夏五月」とあり／「柏堂蔵書」印あり
	竪	1	「同国摂政江ノ御書并御別副カピタン江御諭書」末尾に「癸丑十月十四日写終」とあり(朱書)／「柏堂蔵書」印あり
	竪	1	「同和解」末尾に「癸丑十一月廿七日写終」、「英吉利ヨリノ呈書」末尾に「安政二年卯八月写」とあり／「柏堂蔵書」印あり
	竪	1	奥書「于時安政二稔乙卯仲夏筆記於望湖楼之」／「柏堂蔵書」印あり
	竪	1	「長崎奉行手附〆差出候書付写」末尾に「嘉永七年甲寅正月九日夜燈下写終」とあり／「柏堂蔵書」印あり
方外道人	竪	1	
伊賀守源(新見)正路	竪	1	
麻布山人酒楽亭盃之数重	竪	1	末尾に「真田一雄所持」とあり
務川又兵衛	竪	1	1丁表に「下書」とあり
	竪	1	
河内判官(楠木)正成判(書判)→楠勝五郎殿・阿部正脩㊞写	竪	1	
玉峰田為郎子翼輯・水竹軒主㊞写	竪	1	
	竪	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1254－1	145	童蒙先習	
1254－2	145	啓蒙篇	
1270	146	四十二物あらそひ	
1276	146	女消息往来	
1277	146	(道徳教諭書)	
遊芸			
1274	146	(能・仕舞・舞囃子稽古目録)	文化2年改・天保5年
1264	146	安政の狂歌	安政5年9月上旬写
1272	146	年浮瀬恋の宮戸川	
1273	146	(謡、羽衣・杜若・小塩)	
漢籍			
1288	146	論語一(天下変之一写)	
1289	146	唐詩解(七言絶句一)	
1290	146	唐詩解七言絶句(二)	
1291	146	(唐詩解七言絶句三)	
1292	146	杜工部七言律詩分類	
1293	146	清新詩題巻上・下	
1296－1－1	147	周礼巻第一	
1296－1－2	147	周礼巻第一	
1296－2	147	周礼巻第二	
1296－3	147	周礼巻第三	
1296－4	147	周礼巻第四	
1296－5	147	周礼巻第五	
1296－6	147	周礼巻第六	
1296－7	147	周礼巻第七	
1296－8	147	周礼巻第八	

作成→受取	形態	数量	備　考
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	折本	1	
	竪	1	
	折本	1	
	竪	1	付箋1枚(剥離)
	竪	1	冒頭に「当ル丑十二月顔見世狂言大切ニ相勤申候、以上」とあり
	横	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	状	12	
	竪	1	
詩仏老人・菊厓散人編、東潭逸士校訂	竪	1	
鄭氏註	竪	1	「学問所改」印あり
鄭司(ヵ)注	竪	1	
鄭氏註	竪	1	付箋1枚(剥離)
鄭氏註	竪	1	付箋1枚(剥離)
鄭氏註	竪	1	2丁目落丁
鄭氏註	竪	1	
鄭氏註	竪	1	
鄭氏註	竪	1	
鄭氏註	竪	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1296－9	147	周礼巻第九	
1296－10	147	周礼巻第十	
1296－11	147	周礼巻第十一	
1296－12	147	周礼巻第十二	

B－1－3　板本

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1300	148	神田御上水源井之頭弁財天略縁記	寛永15年3月刊
1297－1	148	文家必用上	正徳5年9月序・正徳6年2月刊
1297－2	148	(書状、暑中見舞)	8月3日
1297－3	148	文家必用下	正徳5年9月序・正徳6年2月刊
160	60	捃印補正(巻之一日本)	享和2年3月
161	60	捃印補正(巻之二漢土)	享和2年3月
162	60	捃印補遺	文化7年5月
1070－1	130	新版改正文化武鑑御大名衆巻之一　＊1070－1～5	(文化10年)
1070－2	169	第14回国民体育大会記念バス一区乗車券	昭和34年
1070－3	130	新版改正文化武鑑御大名衆巻之二	(文化10年)
1070－4	130	新版改正文化武鑑御役人衆巻之三	文化10年
1070－5	130	新板改正文政武鑑西御丸附巻之四	(文政3年)
115－1	57	御系譜略(徳川家康～家慶将軍家系図)	(文政9年以降)
115－2	57	御系譜略(徳川家康～家慶将軍家系図)	(文政10年以降)
1791	168	(包紙)	
116	57	千年山御伝略完(家斉・家慶子女略譜)	
1071	130	(袖玉武鑑)	天保10年
1298	148	早引節用	天保14年序・天保15年
1301	148	自在天神地名録(諸所天満宮九百五十年忌開帳独案内)	嘉永5年春新版

作成→受取	形態	数量	備　考
鄭氏註	竪	1	
鄭氏註	竪	1	
鄭氏註	竪	1	
鄭氏註	竪	1	

作成→受取	形態	数量	備　考
武州多東郡牟礼邑井之頭弁財天別当明静大盛坊	竪(印刷)	1	
摂州後学人見友竹編輯・浪速門人松村蘭渓校正、書林大坂村上清三郎・江戸升屋五郎右衛門	竪(印刷)	1	
阿部正迪→阿従五位様	状・包	1・1	1297－1の31～32丁に挟込
摂州後学人見友竹編輯・浪速門人松村蘭渓校正、書林大坂村上清三郎・江戸升屋五郎右衛門	竪(印刷)	1	
石隠著	横(印刷)	1	
石隠著・心斎橋筋順慶町柏原屋清右衛門ほか1名	横(印刷)	1	
石隠著・浪華心斎橋通北久太郎町河内屋喜兵衛ほか3名	横(印刷)	1	自叙「文化庚午二月石隠老人総題」
(須原屋茂兵衛)	一括包・竪(印刷)	1・1	一括包紙上書「新版改正文化武鑑」
東京都交通局	状(印刷)	1	1070－1の阿部家の項に挟込
(須原屋茂兵衛)	竪(印刷)	1	
日本橋通一町目江府書林千鍾房須原屋茂兵衛蔵版	竪(印刷)	1	
(須原屋茂兵衛)	竪(印刷)	1	
	折本(印刷)	1	文政9年1月12日生まれ・家慶女咸姫まで
	折本(印刷)・包	1・1	文政10年10月2日生まれ・家斉女泰姫まで
	包	1	包紙上書「公儀御系譜略」／115－1・2の包紙カ
	横(印刷)	1	14～15丁に「份三百艶入銀壹朱」とある紙片挟込／39～40丁に紅葉の葉挟込
東都日本橋南壱町目須原屋茂兵衛板	横(印刷)	1	
静軒良・馬喰町四丁目菊屋幸三郎・東都書林福井町山崎屋清七	横(印刷)	1	
菊栄堂版	状(印刷)	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1072	130	袖玉武鑑全(諸家英名録)	元治元年
1299	148	五性花押入名乗字引全(袖珍事典)	嘉永2年刊・明治2年再版
1275	146	仁鳳舞(投扇興仕方・点数図)	
1308	149	武蔵野話(名所図会)	
1309	149	国字痘疹戒草下(痘科弁要十巻追刻・痘中痘後食物禁好)	
1688	C	(山田長政戦船絵)	
1768	168	(包紙)	

B－2　絵図類

B－2－1　写本

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
江戸			
1656	160／C	武蔵国全図	(文政11年写)
817	111／C	御本丸全図(江戸城表向絵図)	
824	111／C	増上寺絵図	
816	111／C	(江戸城表・中奥向絵図)	(天保7年～同9年)
818－1	111／C	紅葉山御宮御霊屋惣絵図　＊818－1～5	
818－2	111／C	増上寺絵図	
818－3	111／C	東叡山絵図	
818－4	111／C	山王絵図	
818－5	111／C	氷川絵図	
上方			
813－1	111／C	禁裏絵図乾　＊813－1～4	
813－2	111／C	禁裏絵図坤	
813－3	111／C	禁裏絵図巽	
813－4	111／C	禁裏絵図艮	

作成 → 受取	形態	数量	備　考
東都日本橋南壱町目須原屋茂兵衛板	横(印刷)	1	裏表紙「元治元年甲子神無月末の一日、奥しら川下部屋用」とあり
高井蘭山輯、東京書肆須原屋茂兵衛ほか13名	横(印刷)	1	
	折本(印刷)・包	1・1	包紙上書(印刷)「仁凪舞」
	竪(印刷)	1	
書肆東都日本橋通本石町十軒店西側西村源六ほか３名	竪(印刷)	1	
	状(印刷)	1	56.2×73.5
	包	1	包紙上書「伊勢平蔵貞丈先生著述、貞丈雑記、東都書林文溪堂発行㊞」

作成 → 受取	形態	数量	備　考
更科舎主人写	鋪	1	彩色／「文政十有一暦孟夏上旬、為小柴姓研斎秘持索得是写之蔵之者、更科舎主人㊞」とあり／158.2×164.4
阿部播磨守(正由カ)	鋪	1	彩色／145.2 × 111.2
阿部播磨守(正由カ)	鋪・包	1・1	包紙上書「増上寺絵図、松平周防守ゟ借写、阿部播磨守」／彩色／90.1×188.0
	鋪・包	1・1	彩色／包紙上書「殿中絵図・奥表御間詰所天井襖画工銘附」／41.5×28.9／阿部正瞭所用カ
	一括袋・鋪	1・1	一括袋上書「五箇所絵図五枚」／彩色／43.2×30.3
	鋪	1	彩色／43.3×30.3
	鋪	1	彩色／43.3×30.5
	鋪	1	彩色／43.3×30.5
	鋪	1	彩色／43.3×30.5
	一括包・鋪	1・1	一括包紙上書「禁裏絵図」／彩色／38.9×55.7
	鋪	1	彩色／38.7×55.7
	鋪	1	彩色／39.0×55.7
	鋪	1	彩色／38.7×55.3

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
814－1	111／C	（仙洞御所内進路絵図）	
814－2	111／C	（仙洞御所仮屋などの図）	
815－1	111／C	准后御殿絵図　＊815－1～2	
815－2	111／C	里御殿絵図	
819－1	111／C	（堀川御屋敷絵図）　＊819－1～3	
819－2	111／C	（御上屋敷絵図）	
819－3	111／C	（千本御屋敷絵図）	
825	111／C	報恩寺略図	
830	111／C	大坂町絵図	
831	111／C	泉州堺之図	
820～822　袋一括			
820	111／C	（大阪農人橋筋御城代御中屋敷絵図）	
821	111／C	（安治川木津川埋立地図）	
822	111／C	波速附近略図	
826～829　袋一括			
826－1	111／C	洛中洛外町々小名大成京細見絵図	元治元年10月
826－2	C	洛中洛外町々小名大成京細見絵図	元治元年冬
827	111／C	（洛中細図）	
828	111／C	鹿飛絵図	
829	111／C	笠置山絵図	
その他			
1659	160／C	改正陸奥磐城四郡疆界路程全図	文政11年・嘉永２年10月写
823－1	111／C	出雲大社宮中之図　＊823－1～2	
823－2	111／C	大社境外末社之図	
1672	160／C	信濃国更科郡川中嶋合戦之図	

作成→受取	形態	数量	備　考
	鋪	1	貼紙1枚(剥離)／33.0×47.6
	鋪	1	紙継剥離甚大／55.5×97.5
	一括包・鋪	1・1	一括包紙上書「准后御殿・里御殿絵図」／彩色／38.9×56.0
	鋪	1	彩色／28.1×38.8
	一括袋・鋪	1・1	一括袋上書「文化度京都三御屋敷絵図」／彩色／66.0×71.7
	鋪	1	彩色／懸紙あり／88.5×113.5
	鋪	1	彩色／117.4×66.0
	鋪	1	58.5×49.3
	鋪・包	1・1	彩色／包紙上書「大阪町絵図」／259.7×235.6
	鋪	1	彩色／75.4×129.3
	一括袋・鋪	1・1	一括袋上書「大阪農人橋御屋敷図一、安治川木津川埋立地図一、波速附近略図一」／48.0×122.4
	鋪	1	彩色／42.2×29.9
	鋪	1	彩色／45.8×44.0
皇都平安舎	一括袋・鋪(印刷)	1・1	一括袋上書「洛中洛外町々小名大成京細見絵図二葉、洛中細図壱葉、鹿飛絵図壱葉、笠置絵図壱葉」／彩色／89.7×60.3
皇都書林竹原好兵衛版元	鋪(印刷)	1	彩色／89.4×59.2
	鋪	1	彩色／53.4×73.8
	鋪	1	彩色／51.3×38.2
	鋪	1	彩色／38.0×52.5
宮崎勝也写	鋪	1	彩色／65.3×96.8
阿部播磨守(正由カ)	一括包・鋪	1・1	一括包紙上書「出雲大社宮中并末社絵図・阿部播磨守」／彩色／90.1×188.0
阿部播磨守(正由カ)	鋪	1	彩色／90.1×188.0
	鋪	1	彩色／91.8×155.3

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1673	160	(川中島合戦など記事ならびに陣立図)	
1674	160／C	(駿府城下絵図)	
1700	164	(飯坂周辺兵士配置略図)	

B－2－2　板本

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
全図			
1666	160／C	唐土歴代州郡沿革地図	(寛政元年3月)
1660－1	160	国郡建置本朝往古沿革図説乾	文政6年刊
1660－2	160	万世泰平本朝往古沿革図説坤	文化12年刊
1661	160／C	改正日本輿地路程全図・増修定本新分郡界	安永10年2月原刻・天保11年3月刻
1662	160／C	大日本海陸全図完	嘉永7年
1663－1	160	銅鐫大日本国細図東国之部上　＊1663－1～2	(元治2年刻成)
1663－2	160	銅鐫大日本国細図西国之部下	文久3年5月官許・元治2年刻成
1667	160／C	改正地球万国全図	
江戸			
1654	160／C	分間江戸大絵図完	弘化3年改
1653－1	160	東都麻布之絵図　＊1653－1～31	嘉永4年新鐫・文久元年改正
1653－2	160	大名小路神田橋内内桜田之図	嘉永2年3月・文久元年改正
1653－3	160	増補改正麹町永田町外桜田絵図	嘉永3年新刻・万延元年改正
1653－4	160	増補改正千駄ヶ谷鮫ヶ橋四ッ谷絵図	嘉永3年新鐫・万延元年改正
1653－5	160	本所深川絵図	安政5年改正
1653－6	160	改正新刻今戸箕輪浅草絵図	嘉永6年新鐫
1653－7	160	内藤新宿千駄ヶ谷辺図	文久2年改正再板

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
	折本	1	彩色／前・後欠／17.3×9.3
	状	1	彩色／紙継剥離により２分割、城下東部のみ／40.6×62.6
	状	1	30.0×38.5

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
水戸立原万書(長久保赤水)	折本(印刷)	1	彩色
檜山義慎	折本(印刷)	1	彩色／31.1×21.9
(檜山義慎著カ)・神田鍛治町二丁目北島長四郎	折本(印刷)	1	彩色／31.1×22.1
常州水戸長玄珠子王父(長久保赤水)製・東都書林須原茂兵衛ほか５名	鋪(印刷)	1	彩色／86.5×131.0
江都整軒玄魚図書・東都書肆大伝馬町丁子屋平兵衛ほか１名	鋪(印刷)	1	彩色／73.1×99.9
玄々堂緑山著述銅鐫	一括箱・折本(印刷)	1・1	一括箱(本目録384・385頁参照)貼紙「官許銅鐫大日本国細図懐用全二帖」／「菊亭殿御蔵版」
玄々堂緑山著述銅鐫・書房京東洞院三条上ル村上勘兵衛ほか21名	折本(印刷)	1	
常陽水府赤水長玄珠(長久保赤水)述・東都浪速浅野弥兵衛	鋪(印刷)	1	彩色／93.6×165.9
図工金丸彦五郎影直・書林江戸日本橋南壱丁目須原屋茂兵衛蔵版	鋪(印刷)	1	彩色／165.2×196.4
戸松昌訓図之・板元尾張屋清七	一括箱・鋪(印刷)	1・1	一括箱(本目録384・385頁参照)蓋に「御江戸切絵図二十八冊」と書かれた布貼付・箱蓋裏に「惣絵図〆弐十九全」貼紙あり／彩色／表紙題箋「麻布絵図全」／49.5×53.9
景山致恭識・板元江戸麹町六丁目尾張屋清七	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「御江戸大名小路絵図」／表紙題箋「外桜田永田町絵図全」／「弾正台」「副島」「徳大寺殿」「元禄十三庚辰年阿部飛騨守邸、明治十七年」の付箋貼付あり／49.9×53.8
景山致恭図之・麹町六丁目尾張屋清七板	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「外桜田永田町絵図全」／「民部省」の付箋貼付あり／49.4×53.7
戸松昌訓訂正・金鱗堂尾張屋清七板	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「四ツ谷絵図全」／49.4×54.8
戸松昌訓図之・板元麹町六丁目尾張屋清七	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「深川絵図全」／74.0×53.5
戸松昌訓著・板元麹町六丁目尾張屋清七	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「今戸箕輪浅草絵図全」／49.4×54.2
東都麹町六丁目金鱗堂尾張屋清七板	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「内藤新宿千駄ヶ谷絵図全」／49.5×53.6

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1653－8	160	増補改正飯田町駿河台小川町絵図	嘉永2年新刻・安政7年改
1653－9	160	目黒白金図	嘉永7年新刻・安政4年改正
1653－10	160	芝三田二本榎高輪辺絵図	安政4年・文久元年改正
1653－11	160	（江戸切絵図目録）	
1653－12	160	芝三田二本榎高輪辺絵図	安政4年・文久元年改正
1653－13	160	小石川谷中本郷絵図	万延2年改正
1653－14	160	安政新刻隅田川向嶋絵図	安政3年新刻
1653－15	160	染井王子巣鴨辺絵図	嘉永7年新刻
1653－16	160	嘉永新鐫雑司ヶ谷音羽絵図	安政4年新鐫
1653－17	160	嘉永新鐫本所絵図	安政2年改正
1653－18	160	根岸谷中日暮里豊島辺図	安政3年新刻
1653－19	160	東都下谷絵図	嘉永4年新鐫・安政4年改
1653－20	160	市ヶ谷牛込絵図	嘉永4年新鐫・安政4年改
1653－21	160	増補改正芝口南西久保愛宕下之図	万延2年改正新鐫
1653－22	160	日本橋北内神田両国浜町明細絵図	嘉永3年新刻・安政6年再板
1653－23	160	安政再版㈦東都番町大絵図	嘉永3年新刻・安政5年再板・文久元年正
1653－24	160	増補改正今井谷六本木赤坂絵図	万延2年改正
1653－25	160	東都青山絵図	嘉永6年新刻・安政4年改
1653－26	160	牛込市谷大久保絵図	嘉永7年新鐫・安政4年改
1653－27	160	東都駒込辺絵図	嘉永7年新刻・安政4年改
1653－28	160	礫川牛込小日向絵図	嘉永5年新刻・万延元年改正
1653－29	160	東都小石川絵図	嘉永7年・安政4年改
1653－30	160	東都浅草絵図	文久元年改正
1653－31	160	築地八町堀日本橋南絵図	万延元年改正

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
板元江戸麹町六丁目尾張屋清七	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「駿河台小川町絵図全」／「徳川新三位」「福羽五位」の付箋貼付あり／76.2×36.5
戸松昌訓著之・板元麹町六丁目尾張屋清七	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「目黒白金辺図全」／49.4×53.6
景山致恭著之・麹町六丁目尾張屋清七板	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「芝高輪辺絵図全」／1653－12と同一物／36.1×73.8
	状	1	阿部正功の筆カ／1653－11～20まで一括箱2段目入り
景山致恭著之・麹町六丁目尾張屋清七板	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「芝高輪辺絵図」／1653－10と同一物／36.1×73.8
戸松昌訓図之・板元麹町六丁目尾張屋清七	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「本郷湯島絵図全」／49.0×53.5
景山致恭著・板元麹町六丁目尾張屋清七	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「隅田川向島絵図全」／49.0×54.0
戸松昌訓図之・麹町六丁目尾張屋清七板	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「巣鴨絵図全」／49.2×54.1
戸松昌訓正訂・板元麹町六丁目金鱗堂尾張屋清七	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「音羽絵図全」／49.3×53.8
戸松昌訓著之・板元江戸麹町六丁目尾張屋清七	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「本所絵図全」／73.9×54.3
景山致恭著・板元江戸麹町六丁目尾張屋清七	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「根岸谷中辺絵図全」／49.4×53.1
戸松昌訓著之・板元江戸麹町六丁目尾張屋清七	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「下谷絵図全」／49.4×89.7
板元江戸麹町六丁目尾張屋清七	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「市ヶ谷牛込絵図全」／49.4×53.5
景山致恭図之・板元麹町六丁目尾張屋清七	鋪(印刷)	1	彩色／1653－21～31まで一括箱3段目入り／表紙題箋「芝愛宕下絵図全」／49.3×52.4
福住清志知図之・江戸麹町六丁目金鱗堂尾張屋清七板	鋪(印刷)	1	彩色／「延宝九辛酉歳上屋敷、享保四年住ス、阿部豊後守、明治十七ゟ二百〇四年前ナリ」の付箋貼付あり／表紙題箋「日本橋北神田浜町絵図全」／64.9×72.4
景山致恭著・江戸麹町六丁目金鱗堂尾張屋清七板	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「御江戸番町絵図全」／49.7×72.4
景山致恭図之・麹町六丁目金鱗堂尾張屋清七板	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「赤坂絵図全」／49.3×53.7
麹町六丁目金鱗堂尾張屋清七板	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「青山渋谷絵図全」／49.4×53.7
板元江戸麹町六丁目金鱗堂尾張屋清七	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「大久保絵図全」／49.5×53.8
麹町六丁目尾張屋清七板	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「駒込絵図全」／48.9×53.8
戸松昌訓図著・板元麹町六丁目金鱗堂尾張屋清七	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「小日向絵図全」／36.1×72.5
戸松昌訓著・麹町六丁目金鱗堂尾張屋清七板	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「小石川絵図全」／49.5×53.6
井上能知図之・板元江戸麹町六丁目尾張屋清七	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「浅草御蔵前辺図全」／49.4×54.1
景山致恭編之・板元麹町六丁目尾張屋清七	鋪(印刷)	1	彩色／表紙題箋「築地八丁堀日本橋南絵図全」／「此辺町家」の付箋貼付あり／49.0×53.0

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1655	160／C	慶応改正東京大絵図	元禄9年旧板・文政5年補改・天保14年再板・慶応3年改正
その他			
1671	160／C	日光御山之絵図	
1658	160／C	出羽奥州大増補道中独案内図	
1657	160／C	相模国全図	

B－3　扇面ほか

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1717	164	（肖像画）	
1718	164	（書画、花）	
1719－1	164	（扇面紙、夫婦岩図）　＊1719－1～4	
1719－2	164	（扇面紙、瓜に鈴虫図）	
1719－3	164	（扇面紙、菊図）	
1719－4	164	（扇面紙、鳥図）	
1720	164	（俳句、茶にくらす・・・）	

作成 → 受取	形態	数量	備　考
高井蘭山図之・御書物師横山町壱丁目角出雲寺萬次郎・書林芝神明前尚古堂岡田屋嘉七	鋪(印刷)	1	121.4×133.4
御絵図所植村弥平	鋪(印刷)・包	1・2	彩色／包紙上書「日光山絵図」・「御免日光御絵図」(彩色・印刷)／32.4×44.2
書林羽州山形十日町北條忠兵衛梓㊞	鋪(印刷)	1	30.3×101.2
高柴三雄誌・角丸屋甚助・三田屋喜八	鋪(印刷)	1	彩色／37.3×51.4

作成 → 受取	形態	数量	備　考
林信徴賛	巻	1	㊞あり／38.3×104.3
六十九翁秋風㊞(秋翁)・画西溟小史㊞	状	1	29.5×42.2
七十三翁相覧㊞	一括包・状	1・1	一括包紙上書「扇めん紙」
七十三翁相覧㊞	状	1	
洞谷春良画	状	1	
洞谷春良画	状	1	
	状	1	

C　知藩事

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1042	129	(阿部正備建言書)	己巳(明治2年)5月
150	58／C	(阿部正功棚倉藩知事任命書)	明治2年6月
994	120	明治二年巳六月日記	明治2年6月1日～晦日
995	120	明治二年巳七月日記	明治2年7月1日～29日
998	121	明治二己巳年従七月至十二月同三庚午年日記	明治2年7月7日～12月晦日
996	120	明治二年巳十一月日記	明治2年11月1日～晦日
997	120	明治二年巳十二月日記	明治2年12月1日～晦日
999	121	明治三庚午年閏十月ヨリ日記	明治3年閏10月1日～12月27日
1000	122	明治四辛未年正月日記	明治4年1月1日～12月晦日
1053	38	(分限帳)	(明治3年頃)
1054	38	(棚倉藩庁役人および阿部家内勤者書上帳)	(明治2年～同4年)
1055－1	129	(藩士先祖書・親類書、い)	
1055－2	129	(藩士先祖書・親類書、いは)	
1055－3	129	(藩士先祖書・親類書、はにほと)	
1055－4	129	(藩士先祖書・親類書、とちを)	
1055－5	129	(藩士先祖書・親類書、を)	
1055－6	129	(藩士先祖書・親類書、をわか)	
1055－7	129	(藩士先祖書・親類書、かよ)	
1055－8	129	(藩士先祖書・親類書、よた)	
1055－9	129	(藩士先祖書・親類書、たそつ)	
1055－10	129	(藩士先祖書・親類書、つねな)	
1055－11	129	(藩士先祖書・親類書、なむ)	
1055－12	129	(藩士先祖書・親類書、うのく)	
1055－13	129	(藩士先祖書・親類書、くや)	

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
前能登守藤原正備	状・包	1・1	包紙上書「正備様御筆写共二」
㊞(太政官印)	状・包	1・2	外包紙上書「明治二己巳八月廿五日御渡、棚倉藩知事被為蒙仰候御書付、版籍御奉還被聞食候旨之御書付」／内包紙上書「阿部基之助」／阿部基之助は正功
政務局	竪	1	
政務局	竪	1	
政務局	竪	1	表紙に「御届御願留用記」とあり
政務局	竪	1	
政務局	竪	1	
政務局	竪	1	
政務局	竪	1	
	竪	1	列帖装に短冊貼付
	竪	1	列帖装に短冊貼付
	竪	1	列帖装／石崎～
	竪	1	列帖装／伊藤～
	竪	1	列帖装／萩原～
	竪	1	列帖装／冨澤～
	竪	1	列帖装／隠田～
	竪	1	列帖装／荻原～
	竪	1	列帖装／加藤～
	竪	1	列帖装／吉羽～
	竪	1	列帖装／高木～
	竪	1	列帖装／津久井～
	竪	1	列帖装／奈須～
	竪	1	列帖装／宇津木～
	竪	1	列帖装／栗原～

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1055－14	129	（藩士先祖書・親類書、やまふ）	
1055－15	129	（藩士先祖書・親類書、ふこ）	
1055－16	129	（藩士先祖書・親類書、こえあ）	
1055－17	129	（藩士先祖書・親類書、きゆみ）	
1055－18	129	（藩士先祖書・親類書、しひも）	
1055－19	129	（藩士先祖書・親類書、もせす）	
1055－20	129	（藩士先祖書・親類書、す）	
1055－21	129	（藩士先祖書・親類書、附録い～す）	
1787	168	（「政務局」）	

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
	竪	1	列帖装／矢代～
	竪	1	列帖装／藤野～
	竪	1	列帖装／小林～
	竪	1	列帖装／喜多川～
	竪	1	列帖装／柴崎～
	竪	1	列帖装／森元～
	竪	1	列帖装／砂賀～
	竪	1	列帖装／印東～
	状	1	

D　華　族

D－1　家

D－1－1　婚礼・誕生祝ほか

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
177－①～⑧	61	(道縁組および再縁につき留帳綴)	(明治５年～同13年)
177－①	61	於道様御式書	(明治５年)
177－②	61	於道様御里披御祝式	(明治５年)
177－③	61	明治五壬申年十一月於道様御婚礼ニ付入費	明治５年11月
177－④	61	明治十三年十二月於道様御再縁組一件	明治13年12月
177－⑤	61	明治五申とし十月御婚姻ニ付御預金請払帳	(明治５年10月～12月)
177－⑥	61	於道様御道具帳	
177－⑦	61	御道具類覚帳	
177－⑧	61	御召御出来覚帳	
178	61	明治八年四月廿三日於婦美様御縁組入費留簿	明治８年４月23日
179	61	明治九年十一月ゟ於多様・土方雄志様へ御縁組一件帳	(明治９年11月～12月)
180	61	明治九年十一月於多様御縁組金円請払簿	(明治９年11月～12月)
181	61	(多・土方雄志縁組通知につき回章)	(明治９年)12月２日
182	61	於多様御縁組御仕度下調帳	(明治９年)
183－①～⑩	61	(杰および道縁組関係書類綴)	
183－①	61	(杰・内藤政養縁組一件留書)	(明治10年10月～12月)
183－②	61	於杰様御縁付之節御到来品	(明治10年)
183－③	61	明治十年十月ヨリ於杰様御縁組金円受払簿	(明治10年10月～12月)
183－④	61	明治十四年一月吉辰於道様御縁組ニ付御到来物記	明治14年１月吉辰
183－⑤	61	御双方様御申合控(結納式につき)	(明治５年)
183－⑥	61	御長棹入記	
183－⑦	61	於道様御行列帳	(明治５年)
183－⑧	61	(結納当日阿部家方順番)	(明治５年)

作成→受取	形態	数量	備　　考
	綴	1	道は阿部正備長女、松平(西條)頼英と結婚、後に下総国猿島郡仁連町鈴木五右衛門に再縁
	竪		
	竪		
	竪		
	竪		
さゝ印御附	横		
西井控	横		
	横		
	横		
	竪	1	婦美は阿部正備二女、元越後国蒲原郡寺社村在住小菅義美と結婚
	竪	1	多は阿部正備五女、土方雄志と結婚
	竪	1	
従五位阿部正功様御家扶→島津忠義様御家扶中様ほか4名御家扶中様	状	1	
	横	1	
	綴	1	
	竪		杰は阿部正備六女、内藤政養と結婚
	竪		
	竪		
	横		
	横		
	横		
	横		
	状		

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
183－⑨	61	御縁組万端御打合之手控(杰・内藤政養縁談)	(明治10年10月)
183－⑩	61	明治十年十月於杰様御縁組ニ付御買上物	明治10年10月
184	61	(杰と内藤政養の縁組相談につき回章)	(明治)第10年12月5日
185－1	61	覚(大村純顕様ほかよりの道への餞別反物・帯地・樽代・肴料)	
185－2－①～②	61	(勝縁組一件諸入用関係綴)	
185－2－①	61	明治十一年一月於勝様御縁組一件御入用諸払	(明治11年11月27日～12月24日)
185－2－②	61	明治十年十二月ヨリ於勝様御縁組入費記	明治10年12月(～同11年2月)
185－2－②－1	61	(書状、勝縁談相手調査報告)	12月11日
355	69	(書状、葆真娘勝縁談のための調査依頼につき返書)	(明治10年カ)12月9日
186	61	(勝縁組入費・正静死去入費・西福寺廟所大工払など書上)	(明治11年～同15年)
187	61	明治十三年十二月ヨリ十四年ニ亘ル於道様御再縁諸御入用	(明治14年1月7日～16日)
188	61	明治十八年一月於幸様御縁組ニ付御小買物控	明治18年1月(2月4日～3月1日)
189－1	62	明治十八年七月ヨリ同十九年三月ニ至ル奥様御縁組一件	(明治18年7月5日～同19年3月)
189－2	62	記(箪笥・長持ほか御道具受取依頼)	(明治19年)2月4日
189－3	62	(献立表)	
190	62	明治十八年八月ヨリ同十九年四月ニ至ル奥様御引移ニ付金員受払簿(阿部正功夫人照子嫁入時)	(明治18年8月～同19年4月)
191－1	62	御打合書第一(阿部正功・照子結納につき)	明治18年8月
191－2	62	御打合書第一(阿部正功・照子結納につき)	明治18年8月
192－1	62	御入輿御打合壱	明治18年11月
192－2	62	御入輿御打合弐	明治18年11月
193－1	62	御婚儀御式書控(阿部正功婚礼)	(明治18年)
193－2	62	正功様御婚儀御式取調草稿	(明治18年)
193－3	62	御婚儀御式書座礼(阿部正功婚礼)	(明治18年)
193－4	62	御婚儀御式書立礼(阿部正功婚礼)	(明治18年)
194	62	十九年十一月十九日御出産ニ付御悦人名帳(阿部正功長女令子誕生につき)	(明治)19年11月19日

作成→受取	形態	数量	備　　考
	横		貼紙剥離11枚あり
	横		
阿部正功→阿部正恒殿ほか3名	状	1	
	状	1	
	綴	1	勝は阿部正外長女で阿部正備養女、埼玉県四條村飯島義一と結婚
	竪		
	竪		
井上清一→尾城満彦様	状	1	185－2－②の8～9丁挟込
[埼玉県官舎ヨリ]井上清一→[麻布箪笥町拾四番地ニテ]室田秀雄様	状・封	1・1	葆真は阿部正外
	竪	1	
	竪	1	
宇津木朝省ほか1名→	横	1	幸は阿部正備三女、大久保忠礼と結婚
	竪	1	
滋賀重身→恒屋盛庸殿	状	1	189－1の83～84丁挟込
	状	1	189－1の83～84丁挟込
	竪	1	
阿部正功様家扶	横	1	
	横	1	191－1の下書カ
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
有住斎	竪	1	
有住斎㊞	竪	1	
有住斎㊞	竪	1	
御用所	横	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
196－1－1	62	(名刺、深川区亀住町6番地鈴木宗徳) ＊196－1～7・＊196－1－1～13	
196－1－2	62	(名刺、宇野秀包)	
196－1－3	62	(名刺、海軍少佐従六位勲五等岩崎達人)	
196－1－4	62	(名刺、麻布区霞町2番地新井通孝)	
196－1－5	62	(名刺、藤江敬造)	
196－1－6	62	(名刺、小倉頼保)	
196－1－7	62	(名刺、鷹司家荻原安貞)	
196－1－8	62	(名刺、公爵島津忠義内武田信直)	
196－1－9	62	(名刺、小寺直挙)	
196－1－10	62	(書状、正淳出生祝)	(明治29年)3月30日
196－1－11	62	(書状、正淳出生祝)	(明治)29年3月31日
196－1－12	62	(葉書、正淳出生祝)	明治29年3月29日
196－1－13	62	(目録、鯉魚)	
196－2－1	62	(吉田久左衛門・牧村俣平より2円差上) ＊196－2－1～18	
196－2－2	62	(秋山信郎・平田文左衛門より生鮑差上)	
196－2－3	62	(名刺、室田魁)	
196－2－4	62	(目録、奉祝鯉魚御幟一旗)	
196－2－5	62	(秋元龍珠・中島久より1円50銭差上)	
196－2－6	62	(川澄次孝・仁平将胤・江森保命・矢島親氏・吉田信徳・秋元いく名前書上)	
196－2－7	62	(平田文左衛門・八木隠居ほか21名祝儀者名前書)	
196－2－8	62	記(男子出生通知宛所ほか書上)	
196－2－9	62	(書状、正淳出生祝として鶏卵1箱呈進の旨)	(明治29年)4月22日
196－2－10	62	(名刺、会計検査院部長正四位勲三等安川繁成)	
196－2－11	62	(大工・左官・石工ほか出入職人祝儀差上名前カ)	
196－2－12	62	(人名別正淳祝贈物書上)	

作成→受取	形態	数量	備　考
	一括袋・一括袋・状(印刷)	1・1・1	一括袋上書「明治廿九年三月廿七日正淳様御誕生一件諸書類入、阿部家用所」／一括袋上書「明治廿九年三月若様御誕生御悦名紙入、阿部家御用所」／正淳は阿部正功長男
	状(印刷)	1	
	状(印刷)	1	
	状(印刷)	1	
	状(印刷)	1	「候㈜西園寺公望執事」と書込あり
	状(印刷)	1	「住友内」と書込あり
	状(印刷)	1	
	状(印刷)	1	
	状	1	
[磐城白河桜町] 中村醉墨→[東京麻布霞町壱番地] 御家扶恒屋盛庸様	状・封	1・1	
横川時次→恒屋様	状	1	
阿部寿→麻布区麻布霞町壱番地阿部正功様、執事御中	状	1	
高橋直衛ほか2名	状	1	
	一括袋・状	1・1	一括袋上書「廿九年三月奥様御安産被遊若様御誕生ニ付御歓罷出候并御祝差上候名前帳四通入、阿部家用所」
	状	1	
	状(印刷)	1	
新島一郎ほか9名	状	1	
	状	1	
	状	1	
	状	1	
	状	1	
安藤直行ほか2名→[麻布区霞町一番地] 阿部正功殿	状・封	1・1	
	状	1	
	状・包	1・1	包紙上書「上、出入中」
	状	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
196－2－13	62	(名刺、深川区清住町一番地井上清一)	明治29年3月
196－2－14	62	記(赤飯折詰・塩包納め)	(明治29年)4月25日
196－2－15	62	(葉書、御祝酒恵贈の礼)	(明治29年)5月5日
196－2－16	62	(書状案文、正淳様御宮参につき赤飯・内祝差上披露方願)	
196－2－17	62	(人名別正淳出生祝贈物書上)	
196－2－18	62	(阿部資満ほかよりの正淳出生祝植物名書上)	
196－3	62	若様御初節句ニ付御祝差上候名前記	(明治29年4月24日～5月4日)
196－4	62	若様御宮参御祝御配り物控	(明治29年4月)
196－5	62	明治廿九年三月廿七日若様御出産ニ付諸費請払控	明治29年3月27日(28日～5月5日)
196－6	62	明治廿九年三月廿七日照子様御安産ニ付御歓人名記	明治29年3月27日(28日～4月4日)
196－7	62	明治二十九年三月照子様御安産ニ付御悦差上候人名簿	明治29年3月(28日～4月14日)
298	66	明治卅五年四月廿日福井県転任費用見積概算	明治35年4月20日
517－1	80	四拾三年七月九日ヨリ大久保病院諸費控(令子入院諸入費)	(明治)43年7月1日～9月30日
517－2	80	(法事関係諸事書上)	
517－3	80	(飯膳献立配膳図)	
518－1	80	明治四十三年七月十日ヨリ御買物控(令子入院につき)	明治43年7月10日～大正2年10月10日
518－2	80	証(新聞代1か月分金18銭9厘受取)	明治43年月日
200	63	(書状、松平親徳・阿部淑子結婚披露宴招待状)	明治44年11月
205	63	(書状、直子本家福山阿部家へ輿入れにつき祝)	(明治44年)12月吉日
521－①～②	81	(福山阿部正直へ直子縁談整うにつき関係書綴)	(明治40年～同44年)
521－①	81	直子駒込邸へ滞留ニ付キ臨時買入品覚	(明治40年～同44年)
521－②	81	吉事覚帳	
371	69	記(阿部田鶴雄家族書上)	

D－1－2　法事・菩提寺

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
214	63	写経之縁由(聡徳院殿大乗経典寄付につき)	明治2年仲秋35日

作成→受取	形態	数量	備　考
	状(印刷)	1	
壺屋→阿部様御用	状	1	
青山秋山信郎→麻布霞町阿部正功様御家扶御中	状	1	
→内藤弥三郎様御家扶御中、土方雄志様御家扶御中、安藤信方様御家扶御中	状	1	
	状	1	
	状	1	
阿部家用所	横	1	
阿部家用所	横	1	
阿部家用所	横	1	
阿部家用所	横	1	
阿部家御用所	横	1	
福井市日ノ出下町県立農学校阿部資満	竪	1	
	横	1	
	状	1	鉛筆書
	状	1	
病院ニ於テ植村・外池控	横	1	
四谷区麹屋横丁豊多摩郡中野町諸新聞配達所萬勢舎㊞→阿部様	状(印刷)	1	518－1の2～3丁挟込
子爵松平親信・伯爵阿部正恒→[麻布区霞町一] 子爵阿部正功殿・同照子殿	状・封	1・1	
ろく→御上様	状・封	1・1	直子は阿部正功四女、福山阿部正直夫人
	綴	1	
	横		
	横		
	状	1	

作成→受取	形態	数量	備　考
菊野→円林寺第十八世大阿闍梨考全江	状	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
174－1	61	覚(丸山祠堂正勤向きなどにつき)	午(明治３年)２月
174－2	61	(備物の図)	
174－3	61	(銀高書上)	
174－4	61	(諸色・炭代書上)	
175	61	明治三庚午年二月改之丸山御宮御仏殿御品々覚	明治３年２月
176－1	61	明治三庚午年閏十月丸山祠堂私記	(明治３年閏10月～12月)
176－2	61	(弁天祭礼日書上ほか)	
173	61	阿部家社稷(丸山祠堂関係記録)	(明治10年以降)
246	65	(当山秋葉大権現縁起下案ならびに添削覚写)	明治19年10月４日
167	60	御法号留(阿部正勝～正外ほか)	(慶長５年～明治20年)
202	63	御寺々御法号留	(慶長５年～明治25年)
195－1	62	明治廿六年十二月補正御法事見出	(慶長５年～明治32年)
195－2	62	(天保３年香含院一周忌・香奠など書上)	
197	62	(阿部正勝三百年忌法事記録)	(明治33年４月９日～13日)
204	63	(京都西陣小川通報恩寺境内墓地略図・報恩寺本堂にて仏式三百年法会につき僧侶・阿部家家族着席位置略図)	(明治33年カ)
198－1	62	(阿部正淳死去前後記録)	(明治38年６月～７月)
198－2	62	(「令子様正淳様ニ于之御書類」)	
310－1	67	(霊巌寺・本門寺被葬者法号覚)　＊310－1～4	(明治39年カ)
310－2	67	(本門寺廟所略図)	(明治39年カ)
310－3	67	(本門寺廟所略図)	(明治39年カ)
310－4－1	67	(書状、本門寺位牌焼失再納につき祖先甲斐家旧記問合返答)　＊310－4－1～3	[明治39年]７月31日
310－4－2	67	(書状、三位様・奥様暑中見舞)	丙午(明治39年)７月30日
310－4－3	67	(甲斐家祖先円行院妙性由緒につき甲斐外記旧記取調書)	(明治39年７月31日)
199	63	明治卅九年十二月調御年回操御法事御執行御仕向	明治39年12月調

作成→受取	形態	数量	備　考
祠堂正	竪	1	
	状	1	174－1の3～4丁挟込
	状	1	174－1の3～4丁挟込
	状	1	174－1の3～4丁挟込
丸山祠堂正	竪	1	
小寺(安蔵)	横	1	
	状	1	176－1の10～11丁挟込
	竪	1	
池之端七軒町慶安寺住職吉崎孝念(書印)→阿部殿家令御中	竪	1	慶安寺秋葉大権現は阿部忠秋発願建立
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	状	1	195－1の23～24丁挟込／香含院は阿部正瞭母
	竪	1	
	状	1	阿部正勝三百年忌のものカ／24.5×33.0
	横	1	
	状	1	
	一括袋・状	1・1	一括袋上書「明治卅九年七月調、深川霊巌寺・池上本門寺、右類焼之節御位牌焼失後両寺江御納無之ニ付取調書類入、本年十二月ニ至り御新調可相納筈并申斐問合之返書類入」
	状	1	
	状	1	
[福島県岩瀬郡桙衝村大字矢田野字西町弐百五拾番地]甲斐清朗→[東京市麻布区麻布霞町壱番地]阿[部]正功様御家扶御中	一括封・状	1・1	
甲斐清朗→阿(部)正功様御家扶御中	状	1	
	竪	1	
	竪	1	大正6・7年、昭和6年の貼紙あり

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
201－1－①～⑦	63	(令子様葬儀一件綴)　＊201－1～3	
201－1－①	63	回章(阿部令子葬儀につき一件書類)	(大正10年6月24日～8月8日)
201－1－②	63	(葬送行列書上)	
201－1－③	63	弔問者控	(大正10年6月24日～30日)
201－1－④	63	御通夜(通夜来訪者名簿)	(大正10年6月24日～25日)
201－1－⑤	63	大正十年六月廿六日会葬者人名帳	大正10年6月26日
201－1－⑥	63	(品物個数書上)	
201－1－⑦	63	(回章、故令子通夜につき麁飯差し上げたき旨)	大正10年6月28日
201－2	63	(書状、令子死去につきお悔やみ)	(大正10年)9月10日
201－3	63	(香奠包カ、職工人名書上)	
168－1	60	御法号留(雲上・公儀・御三家方・阿部家ほか)	(天文18年～昭和15年)
168－2	60	委任状(浅草海禅寺墓地にある所有墳墓の発掘改葬の件を住職へ委任の旨)	昭和2年月日
168－3	60	(阿部忠秋祖母ほか十一人命日書付)	
168－4	60	(本門寺墓所および上り段修理完了図)	大正10年7月29日
168－5	60	(阿部正瞭女鋼子法号英雲院書付)	
168－6	60	(阿部正備三男資満法号浄光院書付)	(大正9年4月2日)
168－7	60	(阿部正功法号昭徳院書付)	
168－8	60	(阿部正功長女令子法号覚誓院書付)	(大正10年6月24日)
168－9	60	(阿部正健法号良恭院法事につき書付)	
168－10	60	(秋月種徳室高照院二十五回忌)	(文化7年)
168－11	60	(阿部正直室成姫荷香院略譜)	
168－12	60	(御花供養の二十八霊位書上)	大正14年12月
168－13	60	(阿部忠秋室賢心宗貞禅定尼命日書付)	
169－1	61	堂上方・公義并御三家方・御手前并御末家方・御同姓方・御由緒之御方御法名留	(天正17年～昭和15年)
169－2	61	(阿部正外ほか16名法号書上)	

作成→受取	形態	数量	備　考
	一括袋・綴	1・1	一括袋上書「大正十年六月廿四日、故令子様御逝去御葬儀一件書入」
阿部家	竪		「阿部用所」印あり
	横		
阿部家	横		
	横		
阿部家	横		
	状		
阿部家々扶→岩崎達人様ほか10名	状		
[福島県東白川郡高城村] 保義会一同[代表者村田利義]→[東京市麻布区霞町一番地] 阿部子爵閣下御内外池六弥様	状・封	1・1	封筒付札「御披露ノ後御挨拶済、九月十三日」
(大惣ほか14名)	状・包	1・1	包紙上書「一御仏前殿、出入中」
	竪	1	
	状(印刷)	1	168－1の1～2丁挟込
	状	1	168－1の26～27丁挟込
	状	1	168－1の26～27丁挟込
	状	1	168－1の42～43丁挟込
	状	1	168－1の44～45丁挟込
	状	1	168－1の49～50丁挟込
	状	1	168－1の49～50丁挟込
	状	1	168－1の63～64丁挟込
	状	1	168－1の94～95丁挟込
	竪	1	
真行院㊞(松岳)→阿部家御中	竪	1	光厳院(正澄)～雲光院(正権母)
	状	1	阿部忠秋室は稲葉道通女／ペン書有り
	竪	1	「阿部用所」印
	状	1	169－1の48～49丁挟込

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
169－3	61	(阿部正迪姉鈺溟入院ほか3名戒名書上)	
169－4	61	(阿部政吉本了院法号書付)	
169－5	61	(徳川家慶養女線姫線教院ほか4名法号書上)	
169－6	61	(阿部正弘男男健好相院ほか17名法号書上)	

D－2　家記・旧藩史編纂

D－2－1　明治家譜

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
70－1	53	阿部家譜(阿部正勝～正功)	(明治20年以降)
70－2	53	(阿部正功子女書上)	(明治期)
104	57	明治九年六月調会館江御差出候御親族書控	明治9年6月・明治20年
253	65	履歴書(阿部正功履歴書控)	明治22年3月1日

D－2－2　公余録・公余附録ほか

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
公余録			
896	10	公余録一	(元和2年～元禄16年)
897	10	公余録二	(宝永元年～享保12年)
898	10	公余録三	(享保13年～寛延3年)
899	10	公余録四	(宝暦元年～寛政5年)
900	11	公余録五	(寛政6年～文政2年)
901	11	公余録六	(文政3年～天保5年)
902	11	公余録七	(天保6年～安政6年)
903	11	公余録八	(万延元年～慶応2年)
公余附録			
904－1－1	11	公余附録一(御系譜細訂)	
904－1－2	11	(阿部播磨守正耆縁女秀姫法名など書上)	(嘉永4年8月3日)

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
	状	1	169－1の49～50丁挟込
	状	1	169－1の49～50丁挟込
	状	1	169－1の58～59丁挟込
	状	1	169－1の58～59丁挟込

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
	竪	1	
	状	1	70－1の17～18丁挟込
式部華族阿部正功→督部長岩倉具視殿	竪	1	「明治二十年一月宮内省戸籍写」ほか綴込あり
麻布区麻布霞町一番地東京府華族正五位子爵阿部正功	竪	1	「明治二十二年三月一日岡新七郎迄出ス」とあり

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
川澄次是	竪	1	
川澄次是	竪	1	
川澄次是	竪	1	
川澄次是	竪	1	
川澄次是	竪	1	
川澄次是	竪	1	
川澄次是	竪	1	
川澄次是	竪	1	
川澄次是	竪	1	
	状	1	904－1－1の94～95丁挟込

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
904－1－3	11	(養浩ほか没年月日・法号など書上)	(明治5年～同7年)
904－1－4	11	(三郎など系図)	
904－2	12	公余附録二(御系図附録、年表、御法号、御歴代御判、徳大寺家・近衛家由緒、正由公堂上方御続書附録、桜町院御宸筆)	
904－3	12	公余附録三(御家格附録、武鑑、御持鑓)	
904－4	12	公余附録四(御武器、御備立、御軍役之定・附赤上勘左衛門墓碣、丸山御廟、日光山御廟、西福寺御廟、梶左兵衛佐様御事、古江戸絵図、麻布屋敷絵図、忍御城絵図、御条目附録、御下知状・附足軽条目)	
904－5	12	公余附録五(御家中古親類書、岩松万次郎様御由緒・附御数寄屋坊主鈴木春波由緒・御献上御盃台・高城明神・諏訪明神御建立・附録・御茶壷取扱御朱印寺社江御渡・附絵図、御番所通船印鑑)	
904－6	12	公余附録六(白河江御所替諸記、白河城絵図・附御本城道場御門鐘銘訴状箱、御旧領御新領御物成差引、学館略図・附録、御城下街道御城内外侍屋敷町並・附囲穀蔵・納米札・銀札・御用部屋・御作事・印鑑、念彼権現御建立・附鹿島宮御奉燈、正功公御名目録・附御宮参御供立御幟、火用・大手御勤之節御武器行列、御旅御武器、平日御出御用具・附録、平用着具・附船印、御在城諸記、年中行事)	
904－7	12	公余附録七(正勝公・忠吉公・忠秋公・御伝附録、御別業之記・附碑文御詠歌、正定公江御父遠江守様ヨリ御教諭之御書、正権公御葬式諸記、正耆公御参内御行列附録、口碑ニ残リシ藩士、御村替諸記・附雑記、江戸御屋敷震災、仙石讃岐守様御家来渡辺要人御貰請・附河瀬弥八郎別部屋入一件、御役振合、白川常宣寺御位牌所エ御納打敷)	
904－8	12	公余附録八(御家中諸士由緒抜書)	
904－9	13	公余附録九(国朝旧章録、諸家深秘録、松平越中守定信公思召書、本朝名臣言行録、駿台雑話、世免天話草、明良洪範、御自録、伝聞記)	
904－10	13	公余附録十(阿部伊予守様御家之記)	
904－11	13	公余附録十一(徳川家御治世御触達并被仰出)	
904－12	13	公余附録十二(徳川家御治世御触達・附雑録)	
川澄次是写本			
944	18	(御武器家之書留)	(天明年間)
1265	146	淡雅雑著上冊保福秘訣	安政6年
1266	146	淡雅雑著附録淡雅行実	安政6年

作成→受取	形態	数量	備　考
	状	1	904－1－1の113～114丁挟込
	状	1	904－1－1の114～115丁挟込
川澄次是	竪	1	
川澄次是	竪	1	
川澄次是	竪	1	
川澄次是	竪	1	
川澄次是	竪	1	
川澄次是	竪	1	
川澄次是	竪	1	
川澄次是	竪	1	
川澄次是	竪	1	
川澄次是	竪	1	
川澄次是筆記	竪	1	「御武具蔵ノ部」こより札あり
淡雅大橋知良・(川澄次是写)	竪	1	底本は「蘊真堂蔵梓」板本
菊地教中・(川澄次是写)	竪	1	底本は「蘊真堂蔵梓」板本

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1267	146	淡雅雑著下冊富貴自在	嘉永元年(序)
1245－1	144	宗統復古志(巻上)	(宝暦10年・慶応2年8月写)
1245－2	144	宗統復古志(巻下)	(宝暦10年・慶応2年8月写)
1025－1	125	白雀録一	宝永6年・(慶応2年10月写)
1025－2	125	白雀録二	(宝永6年・慶応2年10月写)
1025－3	125	白雀録三	(宝永6年)・慶応2年10月写
1250	145	座右箴	丁丑5月9日・慶応2年10月写
1544－1	155／C	(提燈・羽織・陣笠図)	
1544－2	155／C	(提燈・羽織図)	
1544－3	155	(提燈・羽織図)	
1544－4	155	(提燈・羽織図)	
951	114	道是覚書(阿部正勝・忠吉・忠秋期)	

D－2－3　旧藩事蹟考草按・温古録

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
旧藩事蹟考草按			
106	57	天保二辛卯年ヨリ明治四辛未年ニ至ル事蹟考草按原本(控)	明治34年4月
107	57	天保二年ヨリ明治四年マデ事蹟考草按(控)	明治34年4月
108	57	事蹟考附録草按・安川繁成事蹟(控)	明治34年4月
温古録			
909－1	14	温古録一	
909－2	14	(「御家記」)	
909－3	14	(「御家記」)	
909－4	14	(恭寿院から阿部正権への直書写)	
909－5	14	(阿部正喬寺社奉行勤役中上書写)	午(年)9月10日
910－1	14	温古録二	
910－2	14	(「其申立ノ役場ノ部へ編入」)	

作成→受取	形態	数量	備　考
淡雅大橋知良・(川澄次是写)	竪	1	底本は「蘊真堂蔵梓」板本
(鷹峯宗珊・川澄次是写)	竪	1	㊞(阿部氏印)／55～56丁紙片挟込
鷹峯宗珊・川澄次是印写	竪	1	㊞(阿部氏印)
(三宅尚斎重固・川澄次是写)	竪	1	
(三宅尚斎重固・川澄次是写)	竪	1	「白雀続録・(墓図)・尚斎先生行状抄略・附録」を付す
三宅尚斎重固・川澄次是写	竪	1	
三宅重固編・川澄次是写	竪	1	「此書三宅儀左衛門重固所献正喬君」とあり
	状	1	彩色／29.5×42.0
	状	1	彩色／1544－2～4は同図／29.5×42.0
	状	1	彩色／1544－2～4は同図／29.5×42.0
	状	1	彩色／1544－2～4は同図／29.5×42.0
石岡十右衛門(道是)・(川澄次是写)	竪	1	

作成→受取	形態	数量	備　考
(阿部正功)	竪	1	表紙に「校合査定ノ上ハ書式・文体・字句ヲ可成的一定シ浄書スベシ」とあり・朱書「明治三十四年四月四日史談会へ提出控」
阿部正功	竪	1	表紙朱書「控、明治卅四年四月史談会へ提出」
阿部正功	竪	1	表紙朱書「控、明治卅四年四月史談会へ提出」
	竪	1	
	状	1	909－1の14～15丁挟込
	状	1	909－1の26～27丁挟込
	状	1	909－1の52～53丁挟込
矢田源之丞(義継)	状	1	909－1の56～57丁挟込
	竪	1	
	状	1	910－1の109～110丁挟込

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
910－3	14	(「御勘定所部歟」)	
911	15	温古録三	
912	15	温古録四	
913	15	自天保二辛卯年二月至文久二壬戌年十二月温古録五	(天保2年2月～文久2年12月)
914	15	自文久三癸亥年正月至慶応二丙寅年六月温古録六	(文久3年1月～慶応2年6月)
915	15	従慶応二丙寅年六月至明治元戊辰年十二月温古録七	(慶応2年6月～明治元年12月)
916	15	自明治元戊辰年十二月至同二己巳年五月温古録八	(明治元年12月～同2年5月)
917	16	自明治二己巳年六月至同年十二月温古録九	(明治2年6月～12月)
918	16	自明治三庚午年正月至同四辛未年十二月温古録十	(明治3年1月～同4年12月)

D－2－4　16代阿部正外履歴取調

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1694	164	(将軍上洛につき供奉の記事など阿部正外履歴書付)	(元治元年7月～慶応元年10月)
812	111	(阿部正外京師警衛月日別記録)	(元治元年7月13日～慶応2年9月26日)
221	64	(阿部正外民籍編入の経緯書上)	(明治9年)
811	111	(元治元年12月10日～慶応2年1月10日まで京師猿ヶ辻警衛ならびに慶応3年3月15日～7月まで日ノ御門警衛人数書上)	明治10年8月
1750	168	(袋)	明治22年4月6日記
302－1－1	66	(阿部正外履歴)	(明治28年カ)
302－1－2	66	(開港勅許問題につき覚書)	(明治28年カ)
302－2	66	(阿部正外履歴)	(明治28年)
302－3	66	(阿部正外履歴)	(明治28年)
302－4	66	(阿部正外履歴)	(明治28年)
302－5	66	(阿部正外履歴)	(明治28年)
302－6	66	(阿部正外履歴)	(明治28年)
302－7－①～⑤	66	(阿部正外履歴関係書類綴)	(明治28年カ)
302－7－①	66	(阿部正外履歴)	(明治28年カ)

作成→受取	形態	数量	備　考
	状	1	910－1の182～183丁挟込
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	

作成→受取	形態	数量	備　考
	状	1	
	竪	1	
	状	1	前欠
阿部正功	竪	1	
安川正五位	袋	1	袋上書「正外奉碑文之材料、明治廿二年四月六日記、安川正五位」
	竪	1	
	状	1	302－1－1の4～5丁挟込／赤ペン書
	竪	1	朱書訂正あり
	竪	1	朱書訂正あり
	竪	1	朱書訂正あり
	竪	1	朱書訂正あり
	竪	1	朱書訂正あり
	綴	1	
	竪		

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
302－7－②	66	(慶応2年6月19日阿部正外隠居蟄居所替申し渡し)	(明治28年カ)
302－7－③	66	(柳営補任記事書抜につき)	(明治28年カ)1月27日
302－7－④	66	(慶応元年10月朔日阿部正外老中罷免記事書抜)	(明治28年カ)
302－7－⑤	66	(元治元年7月から慶応元年正月までの阿部正外履歴)	(明治28年カ)
302－8	66	(阿部正外履歴下書書類)	(明治28年カ)
265	65	明治二十八年二月臨時御取調書類元帳	明治28年2月
268	65	(書状、阿部正外公官位復旧願書草案訂正浄書の上提出願)	(明治28年カ)10月2日
269－1	65	口上(阿部正外上京度数につき報告書)	(明治28年カ)10月7日
269－2	65	(長谷川久三郎一件・玉木半蔵一件ほかの覚書)	
273	66	(明治29年12月史談会月番幹事割)	(明治29年)1月11日
274	66	(書状、訪問の日程問い合わせにつき)	[明治29年]1月16日
275	66	(書状、阿部正外官位復旧手続につき)	(明治)29年6月26日
276	66	(書状、阿部正外復位願差出例につき答書)	(明治29年)6月26日
270	65	履歴(元従四位下侍従豊後守故阿部正外)	(明治35年)
1279	146	記(参考のため蔵書差し上げにつき目録)	明治35年10月
300	66	史談速記録第百二十一輯(阿部正外官位復旧願につき川勝隆儀演説掲載)	明治35年12月19日
301	66	阿部正外官位復旧哀願書(川勝隆儀より願出につき詮議に預りたき旨写)	明治35年12月26日
272－1－①～⑧	65	(阿部正外官位復旧歎願関係書類綴)　＊272－1～8	
272－1－①	65	阿部家御家扶恒屋盛庸書留(阿部正外官位復旧哀願書差出につき)	
272－1－②	65	官位復旧哀願書(阿部正外履歴付)	明治28年12月
272－1－③	65	官位復旧哀願之件	明治35年10月18日
272－1－④	65	官位復旧之儀ニ付再願(阿部正外履歴付)	明治35年10月15日
272－1－⑤	65	履歴(阿部正外)	(明治35年10月15日)
272－1－⑥	65	(松前崇広官位復旧歎願書写)	明治7年5月
272－1－⑦	65	故阿部正外位階復旧之儀哀願書	大正12年7月
272－1－⑧	65	哀願書署名人	大正12年7月17日

作成→受取	形態	数量	備　考
	状		
小邨一→恒屋盛庸君	状		
	状		
	状		
	状	7	
	竪	1	
[川勝]隆儀→恒屋(盛庸)様	状・封	1・1	
川勝(隆儀)→恒屋(盛庸)様侍史	状	1	
	状	1	
史談会幹事→村上光雄ほか12名	状	1	
[下谷区上野桜木町弐番地]山中笑→[麻布区霞町一番地]阿部正功様侍史	状・封	1・1	
[会計検査院ニ於テ安川]繁成→[阿部家ニ於テ]恒屋盛庸殿	状・封	1・1	
[内閣多田]好問→[会計検査院]安川大人	状・封	1・1	
	竪	1	朱書訂正あり
川勝隆儀㊞	竪	1	
史談会㊞	竪(印刷)	1	表紙墨書「正外公官位復旧御願ニ付川勝隆儀演説」
史談会長由利公正(書印)→内閣総理大臣宛	状	1	川勝㊞あり
	一括袋・綴	1・1	
	状		朱書「当初提出ノ分」
子爵阿部正功	竪		
史談会員子爵阿部正功偏緝人川勝隆義→史談会長子爵由利公正殿	状		朱書「明治三十五年提出の分」
正四位子爵阿部正功ほか1名→宮内大臣田中光顕殿	竪		
	竪		272－1－⑤・⑥同じ綴
	竪		明治7年5月22日「参考書」の朱書あり
福島県東白川郡棚倉町吉田信徳ほか158名	竪(印刷)		
福島県東白川郡棚倉町吉田信徳ほか82名→宮内大臣宛	竪(印刷)		

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
272－2－①～⑦	65	(阿部正外官位復旧歎願関係書類綴)	
272－2－①	65	阿部家御家扶恒屋盛庸書留(阿部正外官位復旧哀願書差出につき)	
272－2－②	65	官位復旧哀願書(阿部正外履歴付)	明治28年12月
272－2－③	65	官位復旧哀願書(阿部正外履歴付)	明治28年12月
272－2－④	65	官位復旧哀願之件	明治35年10月18日
272－2－⑤	65	官位復旧之儀ニ付再願(阿部正外履歴付)	明治35年10月15日
272－2－⑥	65	松前崇広官位復旧歎願書写	明治７年５月22日
272－2－⑦	65	故阿部正外位階復旧之儀哀願	大正12年月日
272－3－①～②	65	(阿部正外官位復旧歎願関係書類綴)	
272－3－①	65	官位復旧哀願書(下書)	(明治28年)
272－3－①－1	65	(履歴下書訂正の上宇野へ伺う旨書付)	(明治28年)
272－3－①－2	65	(履歴下書加筆文書付)	(明治28年)
272－3－②	65	(阿部正外履歴下書)	(明治28年)
272－4－1	65	官位復旧哀願書(阿部正外履歴付)	明治28年12月
272－4－2	65	(阿部正外履歴に関する書付)	
272－5	65	官位復旧哀願書(阿部正外履歴付)	明治28年12月
272－6	65	官位復旧哀願之件	明治35年10月18日
272－7	65	官位復旧之義ニ付再願	明治35年10月日
272－8	65	(封筒)	
271－1	65	官位復旧歎願(阿部正外)	
271－2	65	官位復旧歎願(阿部正外)	
271－3	65	(旧藩事蹟取調事務所演説原稿)	
271－4	65	(旧藩事蹟取調事務所演説原稿)	
1037	127	(阿部正外履歴部分)	
1746	168	(封筒)	

作成→受取	形態	数量	備　考
	綴	1	
	状		朱書「当初提出ノ分」
阿部正功	竪		272－2－①・②同じ綴
阿部正功	竪		
史談会員子爵阿部正功偏緝人川勝隆義→史談会長子爵由利公正殿	状		朱書「明治三十五年提出の分」／272－2－④～⑥同じ綴
正四位子爵阿部正功ほか1名→宮内大臣子爵田中光顕殿	竪		
	竪		朱書「参考書」
	竪		
	綴	1	
	竪		「会計検査院」赤色罫紙／朱印「近藤」
	状	1	272－3－①の1～2丁挟込／朱書
	状	1	272－3－①の1～2丁挟込
	竪		「会計検査院」赤色罫紙／朱印「近藤」
子爵阿部正功	竪	1	
	状	1	272－4－1の1丁内挿入／「阿部正功」の印あり
子爵阿部正功	竪	1	
史談会員子爵阿部正功編緝人川勝隆義印(書印)→史談会長子爵由利公正殿	状	1	
正四位子爵阿部正功ほか1名→宮内大臣子爵田中光顕殿	竪	1	
	封	1	上書「故阿部正外位階復旧御哀願書」
	状	3	
	竪	1	
阿部正功家扶恒屋盛庸謹述	状	1	
阿部正功家扶恒屋盛庸謹述	状	1	
	状	1	兵庫開港問題交渉経緯部分
安川繁成→内閣ニ於テ田中会計検査院長殿親展	封	1	異筆にて宛名の「殿」抹消し「下り」と加筆、また差出に「殿」を付し「上り」とあり、異筆にて裏書「正外殿履歴書、学校、二十一年一月十六日家扶ヨリ差出ス」とあり／こよりあり

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1747	168	(封筒)	
1749	168	(阿部正外履歴部分)	

D－2－5　編纂資料など

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
936	18	封土ノ部、高松重巽ゟ借用書類内原本青表紙旧忍御領分埼玉・大里・足立三郡石高社寺人別	(享保12年・文政2年写)
1015	125	白川江御所替之節上使方江御馳走請負覚	(文政6年5月～9月)
942	18	家中役順ノ部、御役順	(天保3年)
1692	164	弘化二乙巳年徳川鎰丸様江松平越前守様より被進候御状(写)	弘化2年7月14日
945－1	19	正備公御縁組一件壱、公辺向	(天保14年12月21日～弘化2年4月1日)
945－2	19	正備公御縁組一件弐、御内向御内約被仰込ゟ御結納前日迄	(天保14年12月6日～天保15年2月1日)
945－3	19	正備公御縁組一件三、御内向御結納被遣ゟ御引移前日迄	(天保15年2月2日～20日)
945－4	19	正備公御縁組一件四、御内向御引移ゟ聡徳院様初而御対顔迄	(天保15年2月21日～28日)
945－5	19	正備公御縁組一件五、御内向御婚姻整ゟ御舅入迄	(天保15年3月18日～弘化2年7月2日)
940	18	(城地之部・家事公務之部・家事定例之部・国事之部書抜)	(天保2年6月～弘化3年2月)
946－1	19	嘉永元戊申年正備公御隠居・正定公御家督一件帳書抜表向	(嘉永元年4月26日～6月3日)
946－2	19	嘉永元戊申年正備公御隠居・正定公御家督一件御内向	(嘉永元年4月～6月11日)
1001－1	123	御者頭手控天(火之元改・捕手方・用番・足軽共取扱文格勤方)	(享保～安政)
1001－2	123	御者頭手控地(用番・雑之部・火消番・小頭共取扱新格勤方)	(寛政～安政)
923	16	用部屋ノ部、弘化二乙巳年ゟ安政三辰年十月ニ至ル御家被仰出留	(弘化2年1月～安政3年10月)
929	17	布達之部、天和三年十月廿日ゟ元禄三年八月十八日迄・嘉永七年正月八日ゟ安政三年六月四日迄、公儀被仰出留	(天和3年～元禄3年・嘉永7年～安政3年)
1236	144	徳川十五代史之内自天保二年二月二十七日至文久元年十二月十九日抜萃	(天保2年2月27日～文久元年12月19日)
1006	124	秋山氏手控写(御勝手郷中御用掛関係留)	(文政6年～天保11年)
1004	124	(御勝手郷中御用掛手控書抜)	(弘化5年～嘉永5年)
1005	124	秋山惣右衛門御勝手掛中手控書抜	(嘉永7年～文久2年)
1007	124	(秋山氏手控部類分け)	

作成→受取	形態	数量	備　考
	封・包	1・1	封筒上書「正外殿履歴材料」、計算を記した朱書あり
	状	1	前後欠

作成→受取	形態	数量	備　考
(高松重巽控)	竪	1	
	竪	1	
高松手控ノ内写	竪	1	
松平越前守慶永(花押)→徳川鎰丸様	竪	1	鎰丸は松平慶永弟、徳川慶臧
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
渡辺控写	竪	1	
渡辺控写	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	秋山惣右衛門は御勝手郷中御用掛→家老勝手掛／1004・1005と同筆
	竪	1	1005・1006と同筆
	竪	1	1004・1006と同筆
	竪	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
931	17	(定例之部書抜)	(天保3年2月～文久2年6月)
947	19	元治元甲子年二月ゟ正耆公御病気ニ付正外公急御相続御願出ゟ御願済当御屋敷江御引移迄之表向御次第書抜	(元治元年2月～4月)
927	16	(役々勤方之部書抜)	(元治元年6月18日)
924	16	(用部屋郷中之部書抜)	(天保2年12月～慶応元年12月)
1040	128	(進発につき人数調ほか)	(元治元年12月～慶応元年8月20日)
937	18	封土之部、慶応元年五ヶ所御領分村高并免合控	(慶応元年)
905－1	13	(公余録一見出)	(元和2年～元禄16年)
905－2	13	(公余録二見出)	(宝永元年～享保12年)
905－3	13	(公余録三見出)	(享保13年～寛延3年)
905－4	13	(公余録四見出)	(宝暦元年～寛政5年)
905－5	13	(公余録五見出)	(寛政6年～文政2年)
905－6	13	(公余録六見出)	(文政3年～天保5年)
905－7	14	(公余録七見出)	(天保6年～安政6年)
905－8	14	(公余録八見出)	(万延元年～慶応2年)
906	14	(公余附録見出)	
907	14	弘化三丙午年ゟ慶応二丙寅年迄公余録之内書抜	(弘化3年～慶応2年)
908	14	弘化三丙午年ゟ慶応二丙寅年迄徳川家御治世御触達及ヒ雑録公余附録之内書抜	(弘化3年～慶応2年)
1008	125	慶応二丙寅年三月村社喜兵衛座傍手控(勘定方関係留書)	(慶応2年3月)
948－1	19	慶応二丙寅年正静公御叙爵	(慶応2年11月19日～同3年5月)
948－2	19	正静公御叙爵一件御内向	(慶応2年11月19日～同3年2月15日)
1003－1	124	御勘定奉行手控乾	(天明～慶応)
1003－2	124	御勘定奉行手控坤	(宝永～明治)
1046	129	(奥羽列藩同盟議決書)	(明治元年)
1048	129	風聞書(鳥羽伏見戦争模様)	(明治元年1月)
932	17	(温古録五御隠居御家督之部書抜)	(天保2年11月～明治元年12月)
922	16	(用部屋之部書抜)	(天保9年～明治2年)

作成→受取	形態	数量	備　考
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
冨沢控	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	村社喜兵衛は勘定奉行
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	表紙に「十九印、壱冊」とあり
	竪	1	
	竪	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
935	18	(封土之部書抜)	(弘化2年11月～明治2年5月)
1047	129	雑事(長薩肥土四藩上表・函館報知書)	(明治2年1月23日～6月1日)
938	18	(封土分領之部書抜)	(明治元年1月～同2年12月)
1049－1	129	国家記事(横井小楠暗殺・英国王子参内など)	(明治2年1月～同3年2月)
1049－2	129	(元治元年頃関白・老中など実名書上)	
930	17	(詔勅之部、附勅答附随之御達書抜)	(文久2年12月～明治4年9月)
1056	129	延享三年総御組々之者名前付(写)	延享3年・嘉永5年7月写・(明治4年9月カ)
1057	129	安政三丙辰年正月白川足軽調(写)	安政3年・(明治4年9月カ)
1060	129	士族卒禄高調帳(写)	辛未(明治4年)9月
1058	129	参考書第壱号・第弐号・第参号説明(記載人名につき)	
1043	129	(棚倉藩庁記録)	(明治2年7月～同4年10月)
920	16	弘化三丙午年ゟ慶応三丁卯年迄温公録其他ゟ之内書抜乾	(弘化3年～慶応3年)
1041	129	明治元戊辰年ヨリ同四年辛未マテ(温公録其他よりの内書抜)坤	明治元年正月8日～同4年12月晦日
921	16	(温古録一～四部類分け)	
919－1	16	(温古録五～十見出)	(天保2年～明治4年)
919－2	16	(温古録見出ごと出来分書上)	
928－1	16	公辺布達ノ部一	(天保7年9月～文久3年11月)
928－2	17	公辺布達ノ部二	(文久3年12月～明治元年2月)
928－3	17	公辺布達ノ部三	(明治元年10月～同3年12月)
928－4	17	公辺布達之続第四冊被仰出	(明治4年2月～12月)
941	18	(家事雑之部書抜)	(天保3年閏11月～明治4年12月)
943－①～②	18	(諸事書抜綴)	
943－①	18	(書込記事留)	(天保2年～明治4年)
943－②	18	(諸綴込一冊、見出シ)	(天保2年2月～明治5年12月)
1045	129	(明治2年～同7年阿部家動向書上)	(明治2年6月～同7年11月)

作成→受取	形態	数量	備　考
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	状	1	
	竪	1	
	竪	1	表紙朱書「参考書第一号写」「副」
	竪	1	表紙朱書「参考書第二号写」「正」／「延享三年調忍足軽小頭并足軽」を付す
棚倉県	竪	1	表紙朱書「第三号」
	竪	1	1056・1057・1060と関係あり
	竪	1	
門叶(直太郎)	竪	1	
門叶(直太郎)	竪	1	
	竪	1	
	綴	1	
	状	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	綴	1	
	竪		「此一綴者一冊与成ス可キモノニ非ス、所々ゟ書抜其部類江可書込処、追々紙数相嵩候ニ付先ツ綴置モノ也、但書込済ハ其印附可申事」「右夫々書込済」とあり
	竪		
	竪	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1044	129	(慶応4年3月旧藩家来江戸高輪辺御固所通行および白川へ所替歎願書写)	(明治11年8月～9月)
228	65	口達之覚(地誌編修上参考のため旧藩賜邸の変遷取調につき)	明治12年5月14日
105	57	済墨紀事全	明治17年3月10日写
341	69	(書状、維新史料編纂の参考として阿部正静謹慎御免・戊辰戦争に関する史料貸与依頼)	大正11年3月27日
109	57	(阿部家御家禄封土・阿部家御系統ほか)	
110	57	略伝(阿部正澄・正能)	
111	57	(阿部正由略年譜)	
368－1	69	(戊辰戦争参戦経緯記事)　＊368－1～9紐一括	
368－2	69	(戊辰戦争参戦経緯記事)	
368－3	69	(藩砲術師範吉田国之進筆記の経緯)	
368－4	69	(藩砲術師範吉田国之進筆記の経緯)	
368－5	69	(奥羽同盟成立の経緯)	
368－6	69	別書(奥羽同盟成立の経緯)	
368－7	69	別書(奥羽同盟成立の経緯)	
368－8	69	(戊辰戦争参戦経緯筆記目録)	
368－9	69	(戊辰戦争参戦経緯記事)	
369	69	(阿部正外・正静履歴)	
370	69	(幕末兵庫応接の件など聞き合わせ書上)	
925	16	(用部屋雑之部御文格書抜)	
926	16	(用部屋之部家中達書抜)	
933	17	封土ノ部村鑑	
934	18	封土ノ部内演説(天保3年石高書上)	
939	18	(封土雑之部書抜)	
1022	125	(高松重巽より借用書類など書上)	
1284	146	新規出来目録(温古録10冊ほか書上)	
1766	168	記(書類名・数量書上)	

作成→受取	形態	数量	備　考
	竪	1	
東京府記録掛→阿部正功令扶中	竪	1	
	竪	1	奥書「右本朝虞初新誌処掲於山沢家写之、時明治十七年三月十日也」
[東京市麹町区三年町] 維新史料編纂事務局長柴田駒三郎㊞→[麻布区霞町一番地] 子爵阿部正功殿執事御中	状・封	1・1	「維新史料編纂会」名入罫紙
	竪	1	
	竪	1	
	状	1	
	竪	1	一括紐の紙片に墨書「戊辰戦役関係書類、但吉田国之進ヨリ問合」とあり
	竪	1	綴紐欠
	状	1	
	状	1	
	状	1	
	状	1	
	状	1	
	状	1	
	状	1	
	竪	1	
	状	1	
	竪	1	「原本公余附録四ノ内、用部屋雑ノ部」のこより札あり
渡辺控	竪	1	後半に史談会関係の書入れあり
高松重巽控	竪	1	
高松重巽控	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	青色罫紙

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1784	168	(「御朱印」)	

D－3　華族社会

D－3－1　華族会館

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1104	133	(華族関係布達など抄録)	(明治２年～同10年)
1088	131	(告諭、修身書頒賜につき)	明治15年12月
1105	133	草稿全(華族破産救助・風習改良策につき意見書)	明治16年10月
1106	133	草稿(華族会館運営につき意見書)	明治17年８月19日
1108	133	皇室典範	明治22年２月11日
1109－1	133	(松平武修宅開会時演説草稿)　＊1109－1～3	明治24年11月８日
1109－2	133	躬行会細則	明治24年５月
1109－3	133	談話部会場順序	
1110－1	133	華族列伝国乃礎上編　＊1110－1～5	明治26年10月９日発行
1110－2	133	中編正誤表	
1110－3	133	下編正誤表	
1110－4	133	華族列伝国乃礎中編	明治25年10月24日出版
1110－5	133	華族列伝国乃礎下編	明治26年６月15日発行
1111	134	明治二十六年紀元二千五百五十三年十二月三十一日調皇室略牒	明治27年２月26日発行
1112	134	明治二十九年紀元二千五百五十六年六月三十日調皇室略牒	明治29年９月28日発行
1114－1	135	明治三十年自一月至宮内省華族会館附十五銀行諸達留	(明治30年１月～大正14年４月)
1114－2	135	(書状、貴族院子爵議員補欠選挙通知状)	明治33年５月22日
1114－3	135	(子爵議員補欠選挙費用出金願)	明治33年５月22日
1114－4	135	(葉書、ペリー来朝について桜井省三演説案内通知)	明治32年10月21日
1114－5	135	(葉書、日清戦争傷病兵慰問使派遣通知)	明治33年９月７日
1114－6	135	(子爵会事務委員改選につき通知)　＊1114－6～8	明治31年４月21日
1114－7	135	(投票用紙)	

作成→受取	形態	数量	備　考
	状	1	「阿部」青色罫紙

作成→受取	形態	数量	備　考
	竪	1	
宮内卿徳大寺実則	状(印刷)	1	
臣(阿部)正功	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
	竪(印刷)	1	
躬行会員	一括封・竪	1・1	一括封筒上書「窮㈜行会会員証、阿部正功」
躬行会㊞	状	1	
	状	1	
麹町区下六番町四十八番地発行所華族列伝国乃礎編輯所	一括帙・竪(印刷)	1・1	
	状(印刷)	1	1110－1の裏表紙に挟込
	状(印刷)	1	1110－1の裏表紙に挟込
東京市麹町区飯田町五丁目卅番地華族列伝国乃礎発行所㊞	竪(印刷)	1	
東京市麹町区下六番町四十八番へ移転華族列伝国乃礎編輯所㊞	竪(印刷)	1	
華族会館	横(印刷)	1	
華族会館	横(印刷)	1	
阿部家用所	竪	1	
子爵選挙管理者子爵野村靖→子爵殿	状(印刷)	1	1114－1の21～22丁挟込
子爵選挙管理者子爵野村靖	状(印刷)	1	1114－1の21～22丁挟込
華族会館→麻布霞町一阿部正功様	状	1	1114－1の44～45丁挟込
華族会館長公爵徳川家達→麻布霞町一阿部正功殿	状	1	1114－1の88～89丁挟込
[東京麹町区内山下町華族会館]子爵会事務委員→[麻布区霞町一阿部正功殿]	一括封・状(印刷)	1・1	
	状(印刷)	12	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1114－8	135	(書状、子爵会定会案内)	明治31年4月21日
1115	135	(家禄・賞典禄処分法抄録)	明治30年10月29日
1117	135	明治三十二年紀元二千五百五十九年十二月三十一日調皇室略牒	明治33年5月5日発行
1123－1	135	(華族勅語)　＊1123－1～2	明治43年8月31日
1123－2	135	(華族勅語送り状)	明治43年9月
1101	132	土地所有之権	
1127	135	(殯宮祗候者心得ならびに付図)	
1128	135	大喪儀参列諸員心得	

D－3－2　宗族

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
222－1	64	宗族条約写	明治10年月
222－2	64	(書状、借用の宗族条約・宗族匡救条例返上)	6月1日
224－①～③	64	(宗族関係書類綴)	(明治10年～同11年)
224－①	64	宗族条約写	明治10年月
224－②	64	宗族匡救条例	
224－③	64	族中予備金契約書	明治11年月日
225－1	64	家則概略	明治11年
225－2	64	概略(家則)	明治11年
299	66	安藤信守殿積立金割戻一件書	(明治35年6月7日～23日)
306	67	家範認許願(写)	明治37年
311	67	(書状、相談したき儀あるにつき入来願)	[明治39年]12月13日
312	67	(書状、安藤信守君家政補助のため同族積金より100円送付につき)	明治40年2月7日
331	69	(書状、不幸見舞)	[大正3年]8月26日
356	69	(書状、宗族会合当邸にて開催につき案内)	

作成→受取	形態	数量	備　考
子爵会事務委員	状(印刷)	1	
	竪	1	
華族会館	横(印刷)	1	
	一括筒・状(印刷)	1・1	
華族会館幹事	状(印刷)	1	
	竪	1	
	綴	1	
	竪(印刷)	1	

作成→受取	形態	数量	備　考
位氏名印、七家連署	竪	1	
阿部正桓家扶→阿部正功様御家扶	状	1	
	綴	1	
位氏名印連署	竪		
	竪		
族長阿部正桓(書印)、幹事秋田映李ほか5名	竪		
戸主阿部正功、後見人阿部正桓、親戚阿部潜	竪	1	
阿部正功、後見阿部正桓、親族阿部潜	竪	1	
	竪	1	
従三位伯爵阿部正桓→宮内大臣子爵田中光顕殿	竪	1	福山阿部家家範写
[本郷区駒込西片町十] 阿部正桓→[麻布区霞町一番地] 阿部正功殿	状・封	1・1	
[本郷区駒込西片町一〇] 阿部正桓→[麻布区霞町壱番地] 阿部正功殿	状・封	1・1	
[駿州興津町] 阿部正桓→[東京麻布霞丁壱番地] 阿部正功殿	状・封	1・1	
[本郷区駒込西片町十番地] 阿部正桓→[麻布区霞町一番地] 阿部正功殿	状・封	1・1	

D－3－3　貴族院

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
314	67	(書状、子爵議員選挙管理者補欠選挙につき谷干城への投票依頼書)	(明治42年) 2 月 6 日
1124	135	明治四十四年九月八日調貴族院子爵議員補欠選挙人名簿	明治44年 9 月 8 日調
1125－1	135	貴族院議員当選人名　＊1125－1～2	明治44年10月28日
1125－2	135	(貴族院議員当選人報告通知)	明治44年10月28日

D－3－4　学習院

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1107	133	(学習院再築経費負担方法につき意見書)	明治19年 4 月
234	65	考科表(阿部田鶴雄学習院中等学科六年級の考科表写)	(明治23年)
1116	135	自明治三十二年九月至明治三十三年七月第十五学年生徒成績表	明治32年 9 月～同33年 7 月
1120	135	自明治三十五年九月至明治三十六年七月学習院初等学科学生学年成績表	明治35年 9 月～同36年 7 月
1121	135	自明治三十六年九月至明治三十七年七月学習院初等学科学生学年成績表	明治36年 9 月～同37年 7 月
1129	135	(授業時間割)	

D－3－5　第十五国立銀行・日本鉄道

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
279－1	66	明治廿九年九月社立十五銀行規則・日本鉄道規則	明治29年 9 月(～同32年 8 月)
279－2	66	(葉書、株主臨時総会において取締役に松方巌当選の旨)	明治31年 7 月
279－3	66	(株主定時総会開催通知)	明治33年 6 月26日
279－4－①～②	66	(日本鉄道株式会社割賦金関係書類綴)	
279－4－①	66	(明治30年前年度割賦金支払および総会議決に関する通知)	明治30年 8 月 7 日
279－4－②	66	(割賦金受取書記名調印雛形)	明治30年 8 月
279－5	66	(明治33年上半季配当金預金振替願および預金申込書)	明治33年 6 月26日
279－6	66	(葉書、支店日本橋新乗物町開業につき定款追加の旨通知)	明治32年12月13日
280－①～②	66	(十五銀行負債償却関係書類綴)	

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
[本郷駒込西片町十] 阿部正桓→[麻布区霞町一] 阿部正功殿	状・封	1・1	
[宮内省宗秩寮→麻布区霞町一子爵阿部正功殿]	横(印刷)・封	1・1	
子爵選挙管理者子爵清浦奎吾→子爵選挙人子爵 [阿部正功] 殿	一括封・状(印刷)	1・1	
子爵選挙管理者子爵清浦奎吾→子爵選挙人子爵殿	状(印刷)	1	

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
第四類秋田映季・安藤直行・阿部正功→浅野長動(勲)殿	竪	1	
	状	1	阿部田鶴雄は阿部正功の大叔父
華族女学校	竪(印刷)	1	
	竪(印刷)	1	
	竪(印刷)	1	
	状	1	

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
阿部家御用所	竪	1	35～36丁にしおり挟込
東京市京橋区木挽町七丁目株式会社十五銀行→麻布区霞町一阿部正功殿	状(印刷)	1	279－1の31～32丁挟込
[東京市京橋区木挽町七丁目六番地] 株式会社十五銀行取締役頭取園田孝吉→[麻布区霞町一阿部正功殿]	状(印刷)・封	1・1	279－1の80～81丁挟込
	綴	1	279－1の80～81丁挟込
日本鉄道株式会社	竪(印刷)		
日本鉄道株式会社→阿部正功殿	状		
株式会社十五銀行	状(印刷)	1	279－1の80～81丁挟込
東京市京橋区木挽町七丁目六番地株式会社十五銀行→麻布区霞町一番地阿部正功殿	状(印刷)	1	279－1の81丁内挿入
	綴	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
280－①	66	世襲財産記入取消願(国立銀行処分法により株式会社十五銀行として営業継続により株券引換受けたきにつき)	明治30年5月
280－②	66	財産目録(株式会社十五銀行株式・資金・割賦金)	
315	67	(日本鉄道株式会社残余財産分散に伴う領収書関係綴)	(明治42年5月)
748	109	(阿部正基親族・十五銀行株数・負債高に関する分債など書上)	
1130	135	(十五銀行への応募高・株数旧高・姓名書上)	

D－3－6　寄付・救恤

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
220	64	(開成所究理分析所建築受負金下げ渡し願書留)	(明治1年～同8年)
1085	131	支那救恤録	(明治11年3月～8月)
1086－1	131	清国饑死救恤醵金姓名録(1改ム)	(明治11年以降カ)
1086－2	131	(清国饑死救恤醵金姓名録2改ム)	(明治11年以降カ)
1086－3	131	(清国饑死救恤醵金姓名録3改ム)	(明治11年以降カ)
1086－4	131	売薬営業人世一名ヨリ金二百円捐助ノ姓名	(明治11年以降カ)
1086－5	131	(清国饑死救恤醵金姓名録4改ム)	(明治11年以降カ)
1086－6	131	(清国饑死救恤醵金姓名録5改ム)	(明治11年以降カ)
1087	131	華族ノ部、清国饑民救恤醵金姓名録	(明治11年以降カ)
233	65	(皇居造営につき槻樹献納願書)	明治16年11月日
263	65	日本体育会会員徽章贈呈証状(特別賛助会員たるを証し)	明治27年3月3日
1092	132	(陸軍恤兵部設置につき献金・寄贈品取扱手続定・陸軍省告示第八号写・陸軍恤兵部任命者および献品者氏名)	(明治27年7月18日～31日)
1093	132	(軍事公債価格・応募日限などにつき大蔵省告示第40号など写)	明治27年11月22日
1094	132	軍事公債条例附記事	明治27年
1096	132	帝国軍備一覧(日清戦争時)	(明治27年～同28年)
1095－1	132	(日清戦没死傷者数・分捕品など書上)	(明治28年以降カ)
1095－2	132	(日清戦没死傷者数・分捕品など書上)	(明治28年以降カ)

作成→受取	形態	数量	備　考
従四位子爵阿部正功ほか3名→宮内大臣伯爵土方久元殿	状		
	竪		
	綴	1	
	綴	1	阿部正基は旧佐貫藩阿部家
	竪	1	「明治十二年一月廿一日死亡」の付箋あり

作成→受取	形態	数量	備　考
	竪	1	開成所究理分析所は旧幕府において慶応3年に取立、明治元年に朝廷に引渡
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	状	1	1086－3の1～2丁挟込
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
福島県磐城国東白川郡寺山村字鶴崎六番地士族野中親寛→宮内卿徳大寺実則殿閣下	竪	1	
日本体育会副会長従三位勲二等子爵海江田信義㊞→子爵阿部正功君	状・包	1・1	包紙上書「日本体育会会員徽章贈呈証状」
	竪	1	
大蔵大臣渡辺国武	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	状	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1095－3	132	(日清戦没死傷者数・分捕品など書上)	(明治28年以降カ)
286	66	謝状(和気会へ金２円寄付につき)	明治31年８月25日
1122	135	東北三県凶作救恤ニ付華族有志義捐金高姓名録	明治39年月日
325	67	感謝状(桜田神社修繕改築への寄付金15円につき)	大正元年９月22日
328	67	(済生会への寄付金50円につき感謝状)	大正２年８月10日
1710－1	164	明治神宮奉建概要	(大正４年カ)
1710－2	164	明治神宮境内樹木進献取扱方	
332	69	(東京市麻布幼稚園建築費として金25円寄付につき感謝状)	大正４年２月17日
333	69	(麻布六本木警察署建築費として金50円寄付につき感謝状)	大正５年５月27日
335	69	(大正６年10月の風水害の際東京府ほか四県罹災窮民救恤のため50円寄付金につき感謝状)	大正７年12月１日
336	69	(帝国水難救済会へ金３円寄付につき感謝状)	大正７年12月10日
337	69	(書状、連合国軍隊慰問協賛会へ金30円寄付につき感謝状)	大正７年12月21日
338	69	(大正７年８月即位礼記念福島県育英資金として金100円寄付につき感謝状)	大正８年２月20日
339	69	(大正７年10月米価騰貴の際救済のため金100円寄付につき感謝状)	大正８年９月10日
340－1	69	(書状、平和記念東京博覧会協賛会寄付金受取につき礼)　＊340－1～2	大正11年３月８日
340－2	69	領収証(寄付金50円)	大正11年３月７日
342	69	(帝国軍人後援会へ金30円寄付につき感謝状)	大正11年12月19日
343	69	(日本赤十字社へ寄付30円につき感謝状)	大正12年２月15日
344	69	謝状(帝国在郷軍人会麻布区分会へ援助につき会杯を贈る旨)	大正12年11月９日
345	69	(日本赤十字社へ寄付100円につき感謝状)	大正14年６月29日
357	69	(学校へ樹木寄付につき尋書)	

作成→受取	形態	数量	備　考
	状	1	鉛筆書、裏に軍艦名書上あり
和気会長正三位鷹司熙通㊞→子爵阿部正功殿	状(印刷)・筒	1・1	筒上書「和気会長謝状」
有志者子爵阿部正功ほか6名→華族会館長公爵徳川家達殿	竪	1	
桜田神社㊞→子爵阿部正功殿	状(印刷)	1	
恩賜財団済生会会長正二位大勲位功三級公爵桂太郎㊞→[麻布区霞町一]子爵阿部正功殿	状(印刷)・封	1・1	
	竪(印刷)	1	
	竪(印刷)	1	1710－1の6～7丁挟込
東京府知事従四位勲三等久保田政周㊞→正三位子爵阿部正功	状(印刷)	1	
東京府知事従四位勲三等法学博士井上友一㊞→正三位子爵阿部正功	状(印刷)	1	
東京府知事正四位勲二等法学博士井上友一㊞→[霞町一]正三位子爵阿部正功	状(印刷)・封	1・1	
帝国水難救済会会長伯爵吉井幸蔵㊞→[麻布区霞町一]阿部正功氏	状(印刷)・封	1・2	印の滲みを押さえる紙あり
連合国軍隊慰問協賛会総裁公爵徳川家達ほか2名→[麻布区霞町一番地]子爵阿部正功殿	状(印刷)・封	1・1	
賞勲局総裁正四位勲二等伯爵児玉秀雄㊞→[霞町一番地]正三位子爵阿部正功	状(印刷)・封	1・1	
東京府知事正三位勲二等阿部浩㊞→[霞町一]正三位子爵阿部正功	状(印刷)・封	1・1	
[上野公園桜ヶ岡]平和記念東京博覧会協賛会会長子爵渋沢栄一㊞ほか2名→[麻布区霞町一]阿部正功殿	一括封・状(印刷)	1・1	
平和記念東京博覧会協賛会会長子爵渋沢栄一㊞→阿部正功殿	状(印刷)	1	
帝国軍人後援会総裁大勲位功二級貞愛親王㊞→子爵阿部正功殿	状(印刷)	1	
日本赤十字社社長平山成信㊞→子爵阿部正功氏	状(印刷)	2	2枚の内1枚は白紙
帝国在郷軍人会会長元帥陸軍大将正二位勲一等功一級子爵川村景明㊞→子爵阿部正功殿	状(印刷)	1	
日本赤十字社社長男爵平山成信㊞→阿部正功氏	状(印刷)	1	
	状	1	

D－4　家　政

D－4－1　家憲など

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
232	65	(書状、家政向改革のため安川繁成へ総裁依頼の件など)	(明治)16年1月28日
235	65	(家扶恒屋盛庸の家扶解任選挙召集願)	明治17年8月10日
236	65	(家扶恒屋盛庸喚問願)	明治17年8月10日
237	65	壮年輩意見書写(家扶恒屋盛庸職務上問題あるにつき)	明治17年8月15日
238	65	書状(家扶恒屋解任寛恕されたき旨)	(明治17年)8月29日
239	65	書状(家扶解任一件につき建言書)	明治17年9月11日
240－1	65	(書状、敬義会発足の旨)　＊240－1～2	明治17年12月16日
240－2	65	(家扶解任一件につき小宅・小池ほか10余名御家出入差止願)	明治17年12月16日
241	65	(財政上の件など家政につき質問および恒屋答弁書)	(明治17年)
243	65	明治十八年十一月御門番心得控	明治18年11月
244	65	明治十八年十一月御家扶・御家従心得控	明治18年11月
1024	125	年中行事	(明治31年～同34年)
373	69	(奉公人とく住所・生年月日など覚)	
374	69	(奉公人ひさ住所・生年月日など覚)	
412	70	(二階へ通すべき友人名前書上)	
413	70	年賀廻礼日割	

D－4－2　家扶日記・書類綴

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
563－1	83	明治三庚午年従正月至六月日記	明治3年1月28日～6月25日
563－2	83	(「内田九一写真」)	
564－1	84	明治三庚午年従七月至十二月日記	明治3年7月1日～12月29日
564－2	84	(「録制ノ儀三雲達」)	
564－3	84	覚(服部家家族身上書上ほか)	
565	84	明治四辛未年従正月至十二月日記	明治4年1月1日～12月晦日

作成→受取	形態	数量	備　考
吉田久左衛門ほか1名→阿(部)正功様	状・封	1・1	
旧臣柿沼量弘㊞ほか7名→阿部正功殿閣下	竪	1	
柿沼量弘㊞ほか7名→議員御中	状	1	
	竪	1	
平田文左衛門㊞→上(阿部正功)	状	1	
大池定庸㊞ほか11名→従五位阿部正功様侍史	状	3	
[白河町]敬議会会長平田雨郭[文左衛門]㊞ほか7名→[東京]従五位阿部正功殿	一括封・状	1・1	
伴九兵衛㊞ほか23名→阿部正功殿閣下	状	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	状	1	
	状	1	
	状	1	
	状	1	

作成→受取	形態	数量	備　考
参政八木・西村持	竪	1	表紙朱書「御家内御見合ニも可相成依而御用所納之」・「三冊之内」
	状	1	563－1の166～167丁挟込
幹事関・西村持	竪	1	表紙朱書「御家内御見合ニも可相成因而御用所江納之」「三冊之内」
	状	1	564－1の105丁内挿入
	状	1	564－1の126～127丁挟込
御家扶幹事	竪	1	表紙朱書「御家内御見合ニも可相成、因而御用所江納之」・「三冊之内」

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
566－①～②	84	(明治４年日記綴)	(明治４年１月１日～12月晦日)
566－①	84	明治四辛未年正月ヨリ日誌	明治４年１月～５月18日
566－②	84	明治四辛未年従五月至十二月日記	明治４年５月28日～12月晦日
567	85	明治五壬申年従正月至十二月日記	明治５年１月１日～７月28日
568－1	85	明治六年第一月ゟ同十二月迄言継	明治６年１月17日～12月31日
568－2	85	おぼへ(棚倉まで手紙1通代金600文受取)	２月１日
568－3	85	(境内1000坪無税など書上)	
569	85	明治七甲戌年従一月至十二月言継	明治７年１月１日～12月26日
219	63	(養父阿部正静白河郡伊野上村蓮家寺へ墓参り許可願)	明治７年６月14日
570	86	明治八年日記	明治８年２月４日～12月31日
571－1	86	明治九年一月ヨリ日記	明治９年１月～12月31日
571－2	86	借用申金子之事(写)	天保12年12月
571－3	86	(「丸ヤ下宿」)	
571－4	86	(「親類問合ノ件」)	
571－5	86	(「丸ヤ下宿」)	
571－6	86	(「九月三十日家令扶従免ス」)	(明治９年) ９月30日
572－1	87	(明治十年日記)	明治10年１月11日～12月31日
572－2	87	(「箕作入塾」)	
226－1	64	明治十一年一月ヨリ御願・御窺・御届控	(明治11年～同44年)
226－2	64	不参御届(歳末につき参朝して御祝詞申し上げるところ所労のため不参の届下書)	明治
226－3	64	(後見人の儀御家様にてお認め下さるよう願)	12月８日
226－4	64	(警視第三方面二分署へ御附の旨)	
226－5	64	戸籍写(麻布区麻布霞町1番地華族阿部正功・家族分)	
226－6	64	(阿部正功長女令子入学猶予願下書)	(明治26年)
226－7	64	(旧卒士族席編入願総人名76名より石川要助・鈴木永久除名の旨書付)	(明治)28年11月
226－8	64	麻布区代用私立小暮尋常高等小学校改築寄附金募集趣意書	明治38年４月

作成→受取	形態	数量	備　考
御家扶	綴	1	
御家扶	竪		566－①の31～32丁「小治郎・甚太郎」名前訂正の付箋あり
御家扶	竪		566－②の15～16丁「御次男」と訂正の付箋あり
御用所	竪	1	74丁内に「棚倉藩」罫紙下敷挿入
御家扶・御家従	竪	1	
六本木長門屋政吉㊞→上	状	1	568－1の5丁内挿入
	状	1	568－1の53丁内挿入
御家扶・御家従	竪	1	
第八大区小一区華族従五位阿部正功㊞→東京府知事大久保一翁殿	状	1	許可の旨奥朱書・押印(「東京庁」印)あり
阿部家	竪	1	
阿部家	竪	1	255丁内に下敷1枚挿入
阿部能登守内大前是助ほか5名→福原四郎右衛門殿	状	1	571－1の14～15丁挟込
	状	1	571－1の50～51丁挟込
	状	1	571－1の138～139丁挟込
	状	1	571－1の147～148丁挟込
	状	1	571－1の249～250丁挟込
	竪	1	
	状	1	572－1の147～148丁挟込
阿部家家扶	竪	1	99～100丁に「阿部家用箋」(白紙)挟込
従四位子爵阿部正功→式部職長三宮義胤殿	状	1	226－1の1～2丁挟込
阿部正功様家扶	状	1	226－1の43～44丁挟込
	状	1	226－1の43～44丁挟込
	状	1	226－1の139～140丁挟込
(阿部正功)	状	1	226－1の164～165丁挟込
	状	1	226－1の216～217丁挟込
小暮小学校前校主小暮寅三郎、同現校長小暮定吉	状(印刷)	1	226－1の244～245丁挟込

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
226－9	64	(名刺、麻布区代用私立小暮小学校設立者兼校長小暮定吉)	
226－10	64	(「幼稚園入園願ノ件」)	
226－11	64	入学証書(福島県石城郡磐崎村大字下湯長谷字梅房一番地華族内藤正潔妻董子入学につき身元引受の旨)	明治34年10月1日
226－12	64	在学証書(福島県石城郡磐崎村大字下湯長谷字梅房一番地華族内藤正潔妻董子入学につき身元引受の旨)	明治35年1月24日
226－13	64	婚姻願(静岡県駿東郡沼津町士族阿部正勝姉たつ・阿部資満婚姻につき)	明治35年2月22日
226－14－①～⑤	64	(内藤董子女子裁縫専門学校欠席届写綴)	(明治35年9月～同37年10月22日)
226－14－①	64	帰省療養届(内藤董子脚気症発病につき30日帰省の旨)	明治36年4月15日
226－14－②	64	欠席届(病気全快せずなお2週間欠席の旨)	明治37年10月22日
226－14－③	64	欠席届(父内藤政養看護につき10月1日より21日まで3週間欠席の旨)	明治35年9月30日
226－14－④	64	欠席届(脚気病気全快せず9月10日より30日まで3週間欠席の旨)	明治37年9月7日
226－14－⑤	64	欠席届(病気全快せず9月10日まで欠席の旨)	明治35年8月24日
226－15	64	(書状、寄宿料金5円ほか納付されたき旨)	明治37年9月
226－16	64	退校届(華族土方雄志四男雄銓実父奉職地出発につき退校の旨)	明治35年9月19日
226－17	64	退校届(華族土方雄志二女鈔子深川区西大工町土方久徴方へ寄留につき)	明治36年2月9日
226－18	64	(内藤董子様寄留届委細御日記にある旨書付)	3月25日
226－19	64	(華族阿部正功戸籍謄本写)	明治38年9月1日
226－20	64	(「麻布仲ノ町六番地佐川庄弥」)	
573－1	87	明治十一年一月ヨリ日記	明治11年1月3日～12月31日
573－2	87	記(焼失見舞いとして金2円納め)	(明治)11年2月7日
573－3	87	(家計向都合により家内勤務雇を免じる旨)	
573－4	87	(17日に貸下金残金を渡す旨)	明治11年12月13日
574－1	87	明治十二年第一月ヨリ日記	明治12年1月(1日～12月31日)
574－2	87	(「龍土町廿六番地川名鉄五郎父川名仙右衛門」)	
227	65	青山神祭地御墓所新キ石代工手間御内談書	卯(明治)12年1月24日

作成→受取	形態	数量	備　考
	状(印刷)	1	226－1の248～249丁挟込／226－7の中に折込
	状	1	226－1の295～296丁挟込
東京府麻布区麻布霞町一番地保証人華族阿部正功→女子裁縫伝習所御中	状	1	226－1の311～312丁挟込
東京市麻布区麻布霞町一番地恒屋盛庸→女子裁縫専門学校御中	状	1	226－1の318～319丁挟込／雛形に加筆
正四位子爵阿部正功㊞ほか2名→宮内大臣子爵田中光顕殿	状・封	1・1	226－1の324～325丁挟込／封筒上書「爵位局→阿部正功」／聞届の旨奥書「明治25年3月5日、宮内大臣子爵田中光顕㊞」
	綴	1	226－1の336～337丁挟込
東京市麻布区霞町一番地保証人恒屋盛庸→女子裁縫専門学校御中	状		
内藤董子ほか1名→女子裁縫専門学校御中	状		朱書「十月三十日郵送」
内藤董子ほか1名→女子裁縫専門学校御中	状		
石城郡磐崎村大字下湯長谷内藤董子ほか1名→女子裁縫専門学校御中	状		
磐城国石城郡磐崎村内藤董子ほか1名→女子裁縫専門学校御中	状		朱書「八月廿六日郵送ス」
私立女子裁縫専門学校→内藤董子殿保証人恒屋盛庸殿	状	1	226－1の336～337丁挟込
麻布霞町一番地差配人鈴木重勝→麻布尋常高等小学校御中	状	1	226－1の336～337丁挟込
麻布区麻布霞町一番地差配人鈴木重勝→麻布尋常高等小学校御中	状	1	226－1の350～351丁挟込
	状	1	226－1の368～369丁挟込
東京市麻布区戸籍吏小浦錘三郎印	竪	1	226－1の396～397丁挟込
	状	1	226－1の396～397丁挟込
霞町阿部家	竪	1	
泰宗寺世話人川島又七㊞ほか1名→阿部様御使御中	状	1	573－1の39～40丁挟込
	状	1	573－1の108～109丁挟込
部長局第二課→阿部正功殿后見阿部正桓殿	状(印刷)	1	573－1の147～148丁挟込
阿部	竪	1	
	状	1	574－1の46～47丁挟込
浅草区改メリ南冨坂丁拾五番地石工真間田佐兵衛㊞→阿部様会計御役人衆中様	竪	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
575	87	明治十三年一月ヨリ日記	明治13年１月１日～12月31日
576	88	明治十四年第一月ヨリ日記	明治14年１月１日～12月28日
577	88	明治十五年第一月ヨリ日記	明治15年１月１日～12月28日
578－1	88	明治十六年一月日記	明治16年１月１日～12月31日
578－2	88	証(金30円預かりにつき)	明治16年１月19日
579－1	88	明治十七年一月日記	明治17年１月(1日～12月31日)
579－2	88	(名刺、赤坂区氷川町４番地神山誠)	
580－1	89	明治十八年第一月日記	明治18年１月１日～12月31日
580－2	169	(名刺、金浩然)	
580－3	89	記(水薬代金80銭受取)	７月16日
580－4	89	記(水薬・丸薬ほか代金２円14銭受取)	７月16日
580－5	89	記(肴料金1円受取)	７月16日
580－6	89	(棚倉へ移住したきにつき拝借長屋差し上げの儀猶予願)	(明治)18年１月31日
580－7	89	(棚倉へ移住したきにつき拝借長屋差し上げの義猶予願)	(明治)18年３月27日
580－8	89	移転御届(武州児玉郡本庄宿第158番へ寄留につき)	明治18年12月
581－1	89	明治十九年一月日記	明治19年１月１日～12月23日
581－2	89	地先下水石垣修繕願	明治21年10月
581－3	89	(華族世襲財産につき親族会議員連署承諾の旨)	(明治19年７月26日)
581－4	89	(書状下書、阿部正功様奥方様懐妊を知らせる旨)	(明治19年８月12日)
581－5	89	(阿部令子七夜内祝献立書付)	(明治19年11月25日)
581－6	89	御七夜御内祝(出席者名書付)	(明治19年11月25日)
582－1	90	明治廿年一月ヨリ日記	明治20年１月１日～12月30日
582－2	90	(永井直諒など人名書上)	
582－3	90	委任状(建物売渡登記につき)	明治22年10月日
582－4	90	盗難御訴(盗賊忍入につき)	明治20年６月26日

作成→受取	形態	数量	備　考
阿部家	竪	1	
阿部用所	竪	1	
	竪	1	
霞町阿部家	竪	1	
鉱業会社会計方㊞→森順三郎殿	状	1	578－1の7～8丁挟込
霞丁阿部	竪	1	
	状	1	580－1の160～161丁挟込
阿部家	竪	1	
	状	1	580－1の2丁内挿入
㊞(東京第二大区小二区・芝愛宕下町三丁目二番地・隈川出張所薬局)→恒屋様	状	1	580－1の34～35丁挟込
㊞(東京第二大区小二区・芝愛宕下町三丁目二番地・隈川出張所薬局)→阿部様内御家扶御中	状	1	580－1の34～35丁挟込
㊞(東京第二大区小二区・芝愛宕下町三丁目二番地・隈川出張所薬局)→阿部様家扶御中	状	1	580－1の34～35丁挟込
池田衛→御家内御中	状	1	580－1の77丁内挿入
池田衛ほか1名	状	1	580－1の77丁内挿入
柿沼量徳㊞→御用所御中	状	1	580－1の206丁内挿入
阿部家	竪	1	
右差配人森順三郎	状	1	581－1の114丁内挿入
	状	1	581－1の136丁内挿入
→徳大寺様ほか4名	状	1	581－1の147丁内挿入
	状	1	581－1の223～224丁挟込
	状	1	581－1の223～224丁挟込
	竪	1	
	状	1	582－1の41～42丁挟込
麻布区麻布霞町壱番地士族安藤いく	状	1	582－1の65～66丁挟込
麻布区麻布霞町壱番地華族子爵阿部正功→麻布警察署御中	状	1	582－1の65～66丁挟込

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
582－5	90	(当町水道にいたずらせぬよう説諭されたき旨など書付)	
582－6	90	(高野山蓮花院より差出書類につき)	(明治20年8月30日)
583－1	90	明治廿一年日記	明治21年1月1日～12月31日
583－2	90	(「金子惣兵衛」)	
584－1	90	明治廿二年一月ヨリ日記	明治22年1月1日～12月31日
584－2	90	(名刺、愛宕郡八瀬村川上岩治郎)	
584－3	90	新開畑地(坪数改め図)	
585－1	91	明治廿三年一月ヨリ日記	明治23年1月1日～12月31日
585－2	91	(書状、麻布協会臨時会開催後に麻布区会議事堂へ参会願)	明治23年2月9日
585－3	91	(名刺、福島県岩瀬郡式内桙衝神社祠官室田賢一)	
585－4	91	(「慶永命志」)	
586	91	明治廿四年一月ヨリ日記	明治24年1月1日～12月31日
587－1	91	明治廿五年一月ヨリ日記	明治25年1月1日～12月31日
587－2	91	(阿部正功二女保子逝去につき誕生日・死亡日書上)	
587－3	91	(書状、阿部正功二女保子死去につき上申依頼)	
587－4	91	(福山様など華族名字書上)	
588－1	91	明治廿六年一月ヨリ日記	明治26年1月1日～12月31日
588－2	91	(名刺、矢部重高)	
588－3	91	官報抄録(写)	明治26年10月6日
259	65	伝云(宝洲老師碑文造建につき碑文中に載せる阿部正由の履歴など伺い)	明治26年9月28日
589－1	92	明治二十七年一月ヨリ日記	明治27年1月1日～12月31日
589－2	92	梵光山円林寺江御納候御軸二幅(書上)	
590	92	明治廿八年一月ヨリ日記	明治28年1月1日～12月31日
591－1	92	明治廿九年日記	明治29年1月1日～12月31日
591－2	92	(「本郷区台町十六番地福嶋館野本謙吉」)	

作成→受取	形態	数量	備　　考
	状	1	582－1の87～88丁挟込
	状	1	582－1の150丁内挿入
阿部家	竪	1	
	状	1	583－1の28～29丁挟込
阿部家	竪	1	
	状	1	584－1の65～66丁挟込
	状	1	584－1の104～105丁挟込
阿部家	竪	1	
麻布協会々長子爵山尾庸三→霞ノ一阿部正功殿	状(印刷)	1	585－1の36～37丁挟込
	状	1	585－1の54～55丁挟込
	状	1	585－1の112～113丁挟込
阿部家	竪	1	
阿部家	竪	1	
	状	1	587－1の4～5丁挟込
阿部正功様御家扶	状	1	587－1の66～67丁挟込
	状	1	587－1の66～67丁挟込
霞町阿部家	竪	1	
	状	1	588－1の36～37丁挟込
宮内大臣子爵土方久元	状	1	588－1の85丁内挿入
埼玉県武州賀美郡賀美村大字金久保公爵三条家開基陽雲寺住職右宝洲老師法孫惣代武田正樹㊞→[東京府麻布霞町一番地]子爵阿部殿御執事御中	竪・封	1・1	
霞町阿部家	竪	1	
円林寺廃寺ニ相成候迄之住職林寛柔ほか1名	状	1	589－1の14丁内挿入
阿部家	竪	1	
阿部家用所	竪	1	
	状	1	591－1の91丁内挿入

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
591－3	92	宮内省領収証(不参届一)	明治29年11月11日
591－4	92	(株主印鑑簿改正につき印鑑紙送付書)	明治29年12月 4 日
592－1	93	明治三十年自一月日記	明治30年 1 月 1 日～12月31日
592－2	93	(収納米管理人名書上)	
281	66	寄留御届(陸軍予備歩兵上等兵阿部三郎を阿部正功方へ)	明治30年12月 7 日
593	93	明治三十一年一月日記	明治31年 1 月 1 日～12月31日
594	94	明治卅弐年自一月至十二月日記	明治32年 1 月 1 日～12月31日
595－1	94	明治三十三年自一月至日記	明治33年 1 月 1 日～12月31日
595－2	94	(霞町 1 ～ 2 番地に通ずる道路など30日間牛馬通行禁制の件許可)	明治33年 2 月 5 日
595－3	94	入学延期願(父土方雄志台湾在勤中につき雄銑学習院入学の件)	明治33年12月25日
595－4	94	覚(鶴の子餅14折納品書)	(明治33年)10月12日
595－5	94	(30日間牛馬荷車通行止の件追願許可証)	明治33年 3 月10日
595－6	94	牛馬荷車止追願	明治33年 3 月10日
291	66	牛乳搾取営業継続願(控)	明治33年 2 月日
596－1	95	明治三十四年自一月至十二月日記	明治34年 1 月 1 日～12月31日
596－2	95	御積書(土管見積)	(明治)34年 5 月25日
596－3	95	孤児救済の趣旨	明治34年月日
596－4	95	(恒屋・有田と交際せざるにつき書状披見無用の旨)	
596－5	95	(東京地学協会会費取立方につき)	明治34年 8 月25日
596－6	95	(麹町区富士見町 5 丁目11番地多忠兼長女包につき)	
597－1	95	明治三十五年自一月日記	明治35年 1 月 1 日～12月31日
597－2	95	記(新潟県中頸城郡上吉川村11番地吉田久平三女さと女中雇用につき)	
597－3	95	(阿部資満婚姻につき大村様ほかへ祝儀進物書上)	(明治35年 4 月26日)

作成→受取	形態	数量	備　考
㊞(式部職)	状	1	591－1の160～161丁挟込
第十五国立銀行	状(印刷)	1	591－1の175丁内挿入
阿部家用所	竪	1	
	状	1	
千葉県上総国夷隅郡東海村大字釈迦谷五百八十八番地平民亡政吉養子陸軍予備歩兵上等兵戸主阿部三郎㊞ほか1名→麻布聯隊区司令官宮原正人殿	状	1	
阿部家用所	竪	1	
阿部家御用所	竪	1	
阿部家用所	竪	1	
麻布警察署長警視徳尾政均㊞→麻布区霞町壱番地安㈜部家々従森順三郎	状	1	595－1の30丁内挿入
正四位子爵高木正善(書印)→宮内大臣子爵田中光顕殿	状	1	595－1の166丁内挿入／奥書「宮内大臣子爵田中光顕(印)」
壺や→霞町阿部様	状	1	595－1の248丁内挿入
麻布警察署長警視徳尾政均㊞→霞町一番地安㈜部家森順三郎	状	1	595－1の278丁内挿入
麻布区麻布霞町壱番地子爵阿部正功代家従森順三郎㊞→麻布警察所長徳尾政均殿	状	1	595－1の278丁内挿入
譲渡人麻布区霞町五番地平民・牛乳搾取営業中西清一印(書印)・譲受人同所同番地寄留和歌山県士族・木村勤一郎印(書印)・右地主阿部正功代理家扶恒屋盛庸→警視総監大浦兼武殿	状	1	
阿部家用所	竪	1	
土管タタキ商蛯江与吉→阿部邸執事御中様	状	1	596－1の128丁内挿入
東京市芝区新桜田町十九番地孤児同情会事務所→霞一子爵阿部令夫人	状(印刷)	1	596－1の144丁内挿入
阿部家家従→阿部家言㈜殿	状	1	596－1の151丁内挿入
東京地学協会→子爵阿部正功殿	状(印刷)	1	596－1の181丁内挿入
	状	1	596－1の260丁内挿入
阿部家用所	竪	1	
	状	1	597－1の60丁内挿入
	状	1	597－1の85丁内挿入

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
597－4	95	(麻布区麻布霞町26番地の3階造西洋館など建物の名義変更につき)	明治35年７月日
597－5	95	(茨城県筑波郡大和田柏村75番地寺田文次二女さよ女中雇用につき)	
597－6	95	(道路使用願許可)	明治35年11月５日
597－7	95	(名刺、麻布区飯倉片町６番地子爵相良頼紹家扶神瀬惟心)	
597－8	95	(墨西哥駐剳弁理公使杉村虎一履歴書)	
597－9	95	(府下荏原郡駒沢村字深沢1364番地谷岡清一妹みち女中雇用につき)	
598－1	96	明治三十六年一月ヨリ日記	明治36年１月１日～12月31日
598－2	96	(神奈川県中郡豊田村字本郷小宮豊次郎三女はな女中雇用につき)	
598－3	96	(宛名札)	
598－4	96	記(阿部多子病中見舞品贈り主書上)	
598－5	96	(葉書、宗族積立金の件順達書につき)	(明治36年)９月29日
598－6	96	(日本百科全書送付断りにつき)	(明治36年10月14日)
598－7	96	記(千葉県安房郡江見村45番地谷伝蔵五女谷わき女中雇用ほか４名書付)	
598－8	96	(葉書、臨時総会・懇親会開催見合わせにつき)	明治36年11月22日
598－9	96	(葉書、秋季懇親会開会日時通知)	(明治36年)11月29日
598－10	96	(名刺、福島県東白川郡近津村安部啓)	
598－11	96	(名刺、本所区若宮町38番地共済慈善会委員箕浦清四郎)	
499－①～④	78	要書(書類綴)	
499－①	78	(明治37年～同40年地代金収入予算・過不足表ほか)	(明治37年～同40年)
499－②	78	(宗族ほか住所書上)	
499－③	78	(地租・所得)	
499－④	78	(浄相院様・智福院様御配り物入費概算)	(９月７日～８日)
599－1	96	明治三十七年日記	明治37年１月１日～12月31日
599－2	96	御請書(阿部久孝病気により金10円下付されたことにつき)	明治37年１月12日
599－3	96	口上(書状、のぶ子女子出産につき祝)	(明治37年)

作成→受取	形態	数量	備　考
在日本クリスチャン宣教師社団事務所麻布区麻布霞町貳拾六番地右社団理事E.K.McCord→地主阿部成㈲功殿	状	1	597－1の147丁内挿入
	状	1	597－1の157丁内挿入
麻布警察署長井上角八郎㊞→麻布区霞町一番地阿部正功	状	1	597－1の214丁内挿入
	状(印刷)	1	597－1の243丁内挿入
	状	1	597－1の243丁内挿入
	状	1	597－1の243丁内挿入
阿部家用所	竪	1	
	状	1	598－1の18丁内挿入
酒井正純ほか1名→阿部正功殿御家令扶中様	状	1	598－1の51～52丁挟込
	状	1	598－1の52丁内挿入
本郷区駒込西片丁十番地阿部正恒様家扶→麻布区霞町壱番地阿部正功様御家扶御中	状	1	598－1の106～107丁挟込
執事→東京市下谷区西町壱番地壬寅社御中	状	1	598－1の242丁内挿入
	状	1	598－1の251丁内挿入
子爵会事務委員→麻布区霞町一阿部正功殿	状(印刷)	1	598－1の263丁内挿入
子爵会事務委員→麻布区霞町一阿部正功殿	状(印刷)	1	598－1の266丁内挿入
	状	1	598－1の269丁内挿入
	状	1	598－1の269丁内挿入
三沢	綴	1	
	竪		
	竪		
	状		
	状		
阿部家用所	竪	1	
親族川勝隆儀㊞→阿部家御家扶御中	状	1	599－1の12丁内挿入
(阿部)照子→(内藤)ひで子様御許へ	状	1	599－1の43丁内挿入

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
599－4	96	(葉書、故秋月種樹の建碑のための捐金送付願)	明治37年12月22日
599－5－①～②	96	(家屋売買関係綴)	明治37年３月29日
599－5－①	96	家屋売買届	明治37年３月29日
599－5－②	96	家屋納税管理人届	明治37年３月29日
599－6	96	(吉田善方霞町差配人幹事に雇われるにつき)	明治37年４月19日
599－7	96	(恒屋盛庸病気により御役御免につき)	(明治37年７)月(26)日
599－8	96	電報送達紙(中院氏到着につき)	(明治37年)９月15日
599－9	96	(下水の蓋改造のため道路使用許可証)	明治37年11月16日
599－10	96	(封筒)	
600－1	97	明治三十八年日記	明治38年１月１日～12月31日
600－2	97	(阿部要子・阿部直子華族女学校卒業証書写)	
600－3	97	(家禄賞典禄処分法に基づく家禄不足額に対する公債証書追賜願は不採用の旨写)	明治38年10月16日
601－1	97	明治三十九年自一月至日記	明治39年１月１日～12月31日
601－2	97	(明治38年４月８日施行の貴族院子爵議員補闕選挙に関する費用徴収につき)	明治39年１月10日
601－3	97	証(地上権設定契約書規定により金2000円預り置く旨)	明治39年４月５日
601－4	97	(千葉県安房郡西崎村篠崎700番地士族池田昇妹千代女中雇用につき)	
601－5	97	口上書(窪田文三と加藤悦子結婚につき披露宴招待状)	明治39年12月
602－1	98	明治四十年一月ヨリ日記	明治40年１月１日～12月31日
602－2	98	(麻布区役所より国庫債券応募額・軍資金献納額調べにつき返答写)	(明治40年５月８日～９日)
602－3	98	(書状、養嗣子直翠離縁につき通知)	明治40年３月１日
602－4	98	(書状、東京勧業博覧会協賛会への寄付につき礼)	明治40年３月６日
602－5	98	(名刺、小菅美義)	
602－6	98	第三種所得金額決定通知書(明治39年分金9127円57銭)	明治39年８月８日
602－7	98	第三種所得金額決定通知書(明治40年分金10791円)	明治40年８月10日
602－8	98	(書状、阿部寿養母死去につき通知および香奠借用願)	(明治40年)９月８日

作成→受取	形態	数量	備　考
東京都麻布区本村町百八番地東久世通禧ほか1名→麻布区霞町一阿部正功殿	状(印刷)	1	599－1の67～68丁挟込
	綴	1	599－1の91丁内挿入
売主麻布区麻布霞町壱番地華族阿部正功ほか1名→麻布区長長岡往来殿	竪		
麹町区内幸町六番地下浦義就ほか1名→麻布区長長岡往来殿	状		
恒屋盛庸	状	1	599－1の107丁内挿入
牧村俣平→中村直敬殿	状	1	599－1の175～176丁挿入
スミトモ→カスミテウアヘケカフ	状	1	599－1の219丁内挿入
麻布警察署長警視井上角八郎㊞→麻布区霞町壱番地鈴木重勝	状	1	599－1の266丁内挿入
徳大寺実則→麻布区霞町一阿部正功殿	封	1	599－1の281～282丁挟込
阿部家用所	竪	1	
	状	1	600－1の150丁内挿入
大蔵大臣男爵曽称荒助→平田重譲外四百十六名総代横川時次外一名	状	1	600－1の263～264丁挟込
阿部家用所	竪	1	
子爵選挙管理者子爵青木周蔵	状(印刷)	1	601－1の19丁内挿入
東京市麻布区霞町壱番地阿部正功代理三沢辰成→麻布区宮村町七拾一番地小川一真殿	状	1	601－1の77丁内挿入
	状	1	601－1の140～141丁内挿入
加藤泰秋ほか1名→阿部正功殿・同令夫人	状	1	601－1の281丁内挿入
阿部家用所	竪	1	
家扶三沢辰成	状	1	602－1の41～42丁挟込
子爵永井直諒→子爵阿部正功殿	状	1	602－1の49丁内挿入
東京勧業博覧会協賛会副会長中野武営ほか2名→阿部正功殿	状(印刷)	1	602－1の58丁内挿入
	状(印刷)	1	「敦賀町字大島宮崎相吉方へ御尋願上候」と鉛筆書あり／602－1の73丁内挿入
幸橋税務署長税務官島田文次郎㊞→阿部正功殿	状(印刷)	1	602－1の215丁内挿入
幸橋税務署長税務官島田文次郎㊞→阿部正功殿	状(印刷)	1	602－1の215丁内挿入
[本郷区西片町壱番地阿部寿方]宮地長→[市内麻布区霞町壱番地]阿部正功様御家扶御中	状・封	1・1	602－1の232丁内挿入

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
602－9	98	民有道路地先下水改造ニ付道路使用願(麻布区霞町18番地内)	明治40年11月(14)日
602－10	98	(霞町6・18番地内軒下下水改造工事のため道路使用許可の旨)	明治40年12月14日
602－11	98	(願出の下水吐口設置につき)	明治40年12月24日
603－1	98	明治四十一年一月ヨリ日記	明治41年1月1日～12月31日
603－2	98	記(明治40年度第4期所得税ほか金225円39銭書上)	
603－3	98	(亀井様より御肴など来たる旨書付)	10月29日
604－1	99	明治四十二年一月ヨリ日記	明治42年1月1日～12月31日
604－2	99	(埼玉県北葛飾郡西関宿中田徳蔵の長女よね女中雇用につき)	
604－3	99	通知書(明治42年分第三種所得決定金額12644円)	明治42年8月9日
604－4	99	(陸地測量部麻布区内測量中邸内立入につき)	明治42年12月
605－1	99	明治四十三年第一月起日記	明治43年1月1日～12月31日
605－2	99	報告(明治42年1月1日現在徳川家保管高決算報告)	明治43年1月
605－3	99	(腸チフス予防として阿部家所有地内井戸に喞筒設置につき書付)	
605－4	99	(書状、幽蘭様への御機嫌伺を風邪により阿部正功延期の旨)	10月27日
605－5	99	(「諸事止」と書かれた麻布警察署用箋)	
316－1	67	明治四十三年四月東京棚倉往復書	明治43年4月(～大正2年3月24日)
316－2	67	(書状、阿部正外の勅勘赦免官位復旧の請願につき)	大正1年9月24日
606－1	100	明治四十四年自一月至十二月日記	明治44年1月1日～12月31日
606－2	100	二月五日日誌材料(八木重威が麻布官有下水工事の件につき市会議員塚田幸三郎宅訪問の旨)	
606－3	100	御届書(兄外池信和死去につき忌服届)	(明治)44年9月15日
607	100	明治四十五年一月ヨリ至十二月日記	明治45年1月1日～12月31日
608	100	大正二年一月ヨリ至十二月日記	大正2年1月1日～12月31日
329－1	68	大正十四年十月緊要書類	(大正2年4月～)
329－2	68	(殿様閲覧後岩崎相談役同意の上芝区愛宕町幸橋税務署長宛書留を発送した旨)	大正14年12月27日
329－3	68	(日本銀行株券2万2千円を加える旨)	
329－4	68	阿部家所有地ニ関スル相続届申告価格調査表写	(昭和)7年9月13日

作成→受取	形態	数量	備　考
右地主阿部正功代理差配人鈴木重勝→麻布警察署御中	状	1	602－1の313丁内挿入
麻布警察署長警視矢野元三郎㊞→麻布区霞町一番鈴木重勝	状	1	602－1の314丁内挿入
東京市参事会東京市長尾崎行雄㊞→阿部正功代理麻布区麻布霞町壱番地鈴木重勝	状	1	602－1の328丁内挿入
阿部家用所	竪	1	
	状	1	603－1の80丁内挿入
	状	1	603－1の124～125丁挟込
阿部家用所	竪	1	
	状	1	604－1の45丁内挿入
幸橋税務署長税務官佐川貞一郎㊞→阿部正功殿	状(印刷)	1	604－1の132丁内挿入
東京市麻布区役所㊞→霞町阿部邸殿	状(印刷)	1	604－1の179丁内挿入
阿部家用所	竪	1	
[下谷区上野桜木町貳番地] 酬恩義会[事務局]→[麻布区霞町壱阿部正功殿]	状(印刷)・包	1・1	605－1の41丁内挿入
	状	1	605－1の91丁内挿入
阿部正功様家扶→阿部正桓様御家扶中様	状	1	605－1の186丁内挿入
警視庁	状	1	605－1の207丁内挿入
阿部家々扶	竪	1	
東白川郡旧藩士総代吉田国之進ほか3名→阿部家御家扶八木重威殿	状・封	1・1	316－1の133丁内挿入
阿部家用所	竪	1	
	状	1	606－1の20丁内挿入
植村助三郎㊞→阿部家御用所御中	状	1	606－1の107丁内挿入
阿部家用所	竪	1	
阿部家用所	竪	1	
麻布霞町阿部家	竪	1	
	状	1	329－1の106～107丁挟込／赤ペン書
	状	1	329－1の106～107丁挟込／黒ペン書
	状	1	329－1の171～172丁挟込

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
329－5－①～④	68	(公衆電話設置関係書類綴)	(昭和３年12月)
329－5－①	68	(公衆電話所設置の件につき回答の旨)	昭和３年12月26日
329－5－②	68	(葉書、公衆電話新設に対する土地使用無償貸与方の件回答督促)	(昭和３年)12月18日
329－5－③	68	(公衆電話所設置に対する土地使用無償貸与承諾願)	昭和３年12月７日
329－5－④	68	(公衆電話設置場所略図)	
329－6－1	68	(阿部正一戸籍謄本)　＊329－6－1～2	昭和４年９月13日
329－6－2	68	(阿部満戸籍謄本)	昭和４年９月13日
329－7－1	68	(阿部正一家族満分家願認許証)　＊329－7－1～2	昭和４年７月12日
329－7－2	68	(戸主阿部たつ戸籍謄本)	昭和３年６月29日
329－8	68	分家届(本家阿部正一家より阿部満分家届)	昭和４年９月10日
329－9	68	分家届(本家阿部正一家より阿部満分家届)	昭和４年９月10日
329－10	68	旧棚倉藩士(東京及附近在住)住所名簿	昭和６年12月調
329－11	68	(収入金額調査書写)	昭和７年４月日
329－12	68	従五位・正五位・子爵御襲爵年月日(阿部正友・正一・正寛・正功の場合)	
329－13	68	(書状、退職につき慰労金200円受領した旨)	(昭和７年)４月12日
329－14	68	証(再建特別寄付第１回納入金100円受取につき)	昭和７年12月31日
329－15	68	仮証(第2回建築寄付金100円受取につき)	昭和８年８月23日
329－16	68	寄附申込書(目録の物品を京都帝国大学文学部考古学研究資料として)	昭和11年月日
329－17	68	(故阿部正功蒐集考古学資料寄贈手続につき京都帝国大学教授浜田耕作氏への委任状)	
329－18	68	口上控(後禅光院殿五十回忌法要執行ににつき知らせ)	
329－19	68	口上控(後禅光院殿五十回忌法要執行につき知らせおよび参拝有無通知いただきたい旨)	
329－20－1	68	(書状、浜田先生へ寄贈手続委任状の書式例を送付する旨)　＊329－20－1～3	(昭和11年)７月30日
329－20－2	68	寄附申込書(雛形)	年月日
329－20－3	68	(浜田耕作氏へ手続委任状雛形)	
329－21	68	(書状、寄贈の考古学資料の整理終了により正式手続のため別記文面の書類送付願)	(昭和11年)７月30日

作成→受取	形態	数量	備　考
	綴	1	
阿部正一→東京逓信局御中	状		329－1の217～218丁挟込
東京逓信局規画課→麻布区霞町一番地子爵阿部正寛殿	状		329－1の217～218丁挟込
東京逓信局㊞→子爵阿部正寛殿	状(印刷)		329－1の217～218丁挟込
	状		329－1の217～218丁挟込
東京市麻布区長塩川正蔵㊞	一括封・竪	1・1	一括封筒上書「戸籍謄本二通」／329－1の220～221丁挟込
東京市麻布区長塩川正蔵㊞	状	1	329－1の220～221丁挟込
[宮内省宗秩寮] 宮内大臣一木喜徳郎㊞→[麻布区霞町一] 子爵阿部正一未成年ニ付親権者阿部要子	一括封・状	1・1	329－1の220～221丁挟込
横浜市中区長佐藤重次郎㊞	状	1	329－1の220～221丁挟込
届出人阿部満㊞→東京市麻布区長塩川正蔵殿	竪(印刷)	1	329－1の220～221丁挟込
届出人阿部満㊞→東京市麻布区長塩川正蔵殿	竪(印刷)	1	329－1の220～221丁挟込
	状(印刷)	1	329－1の250～251丁挟込
幸橋税務署→麻布区霞町一番地阿部正一殿	状	1	329－1の289～290丁挟込／昭和7年5月14日の回答書込
	状	1	329－1の294～295丁挟込
[福島県棚倉町] 加藤昌寿→[東京市麻布区霞町一阿部様御家内] 牧村省一様	状・封	1・1	329－1の298～299丁挟込
東光山松平西福寺㊞→阿部子爵家御中	状	1	329－1の299～300丁挟込
松平西福寺㊞→阿部子爵家殿	状	1	329－1の300～301丁挟込
東京市麻布区霞一番地子爵阿部正友→京都帝国大学総長松井元與殿	状	1	329－1の307～308丁挟込
東京市麻布区霞町一番地子爵阿部正友	状	1	329－1の307～308丁挟込
公爵徳大寺公弘使	状・封	1・1	329－1の307～308丁挟込
公爵徳大寺公弘使	状・封	1・1	329－1の307～308丁挟込
[京都帝国大学文学部考古学教室] 末永雅雄→[東京市麻布区霞町一番地] 阿部[子爵] 家執事御中	一括封・状	1・1	329－1の307～308丁挟込
東京市麻布区霞町一番地子爵阿部正友→京都帝国大学総長松井元與殿	状	1	329－1の307～308丁挟込／329－16と同文
東京市麻布区霞町一番地子爵阿部正友	状	1	329－1の307～308丁挟込／329－17と同文
[京都帝国大学文学部考古学研究室] 末永雅雄→[東京市麻布区霞町一番地] 阿部[子爵] 家執事御中	状・封	1・1	329－1の307～308丁挟込

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
329－22	68	(書状、鎮護神社移転のため金250円寄進を願う旨)	昭和6年12月10日
329－23	68	趣意書(後援会費につき)	昭和14年8月
329－24	68	(神武天皇即位2600年記念として御紋附木盃下賜のため当寮へ使者を差し出されたき旨通知)	昭和15年6月14日
329－25	68	(神武天皇即位2600年記念として御紋附木盃下賜される旨通知)	昭和15年2月11日
329－26	68	回答(氏名・陸海軍階級など書上)	昭和17年2月21日
329－27	68	(帝国水難救済会主旨説明)	昭和17年4月22日
329－28	68	帝国水難救済会戦時の責務(敵飛行機・潜水艦早期発見する旨)	
329－29	68	(帝国水難救済救難施設の拡充整備のため援助願)	
329－30	68	領収証(東京市管理貴墓地金属回収工事料金13円53銭)	昭和17年7月日
329－31	68	(貴家墓所における金属供出に関し政府基準による買上代金57円36銭送付につき)	昭和17年9月日
329－32	68	払出通知票(金57円36銭現金払)	
329－33	68	特別回収買上伝票(門扉ほか70円89銭)	昭和17年7月10日
329－34	68	(書状、正道妻伊津子男子分娩につき正紘と命名した旨)	昭和17年12月9日
329－35	68	(名刺、浦和市岸町5－37渡邊秀雄)	(昭和17年9月25日)
329－36	68	照会要項(忍町誌編纂につき教育・産業・文化・政治・藩政)	(昭和17年9月25日)
329－37	68	臨時ボーナス計算書(未記入)	昭和15年上半期
609－1	101	大正三年自一月至十二月日記	大正3年1月1日～12月31日
609－2	101	(名刺、東京市神田区和泉町1番地共同治療院外事主任阿部正勝)	
609－3	169	(持参の者へ預品渡しを乞う旨)	(大正3年7月6日)
609－4	101	(類焼・半焼罹災者への見舞金受領証)	(大正3年7月26日)
610－1	101	大正四年自一月至十二月日記	大正4年1月1日～12月31日
610－2	101	(封筒)	
610－3	101	総計支出(診察・薬代金ほか)	
611	102	大正五年自一月至十二月日記	大正5年1月1日～12月31日

作成→受取	形態	数量	備　考
福島県東白川郡棚倉町長・宗田利助→[東京市麻布区霞町一番地]阿部家執事御中	状・封	1・1	329－1の311～312丁挟込
六本木警防後援会々長中御門常恭ほか24名→[麻布区霞町一番地阿部正友殿]	状・封	1・1	329－1の409丁内挿入
[宮内省]宗秩寮㊞→[麻布区霞町一]子爵阿部正友殿	状(印刷)・封	1・1	329－1の416～417丁挟込
宮内大臣松平恒雄㊞→[麻布区霞町一]子爵阿部正友殿	状(印刷)・封	1・1	329－1の417～418丁挟込
東京市麻布区霞町一番地正五位子爵阿部正友	状	1	329－1の469～470丁挟込
帝国水難救済会会長伯爵松平頼壽ほか2名→阿部正友殿	状(印刷)	1	329－1の484～485丁挟込
	状(印刷)	1	329－1の484～485丁挟込
深川区佐賀町帝国水難救済会	状(印刷)	1	329－1の484～485丁挟込
東京土木建築工業組合㊞→阿部正友殿	状(印刷)	1	329－1の491～492丁挟込
財団法人戦時物資活用協会東京出張所→阿部正友殿	状(印刷)	1	329－1の491～492丁挟込
麹町区丸ノ内三ノ一東京府庁構内財団法人戦時物資活用協会東京府出張所→麻布区霞町一阿部正友殿	状(印刷)	1	329－1の491～492丁挟込
財団法人戦時物資活用協会→麻布区霞町一阿部正友殿	状(印刷)	1	329－1の491～492丁挟込
[本郷区駒込西片町十番地]阿部正直→[麻布区霞町一番地]子爵阿部正友殿	状・封	1・1	329－1の495～496丁挟込
	状	1	「忍町長高城駿氏照会、忍町誌編纂主任」と鉛筆書あり／329－1の523～524丁挟込／329－34・35ピン一括
	状	1	329－1の523～524内挟込／329－34・35ピン一括
	状(印刷)	1	329－1の563～564丁挟込
阿部家用所	竪	1	
	状(印刷)	1	609－1の129丁内挿入
(阿部正勝)→事務所御中	状	1	609－1の129丁内挿入
吉田せん㊞ほか4名	状	1	609－1の153丁内挿入
阿部家用所	竪	1	
	封	1	封筒上書「貞観政要」・「一、印鑑証書四枚壱円弐拾銭、一、戸籍抄本四枚六拾銭計壱円八拾銭二拾銭余り」／610－1の86～87丁挟込
	綴	1	610－1の179丁内挿入
阿部家用所	竪	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
612－1	102	大正六年自一月至十二月日記	大正 6 年 1 月 1 日～12月31 日
612－2	102	(鹿児島孤児院住所書付)	(大正 6 年 5 月15日)
613－1	102	大正七年自一月至十二月日記	大正 7 年 1 月 1 日～12月31 日
613－2	102	(古川・西村両医師への受診料書付)	
614－1	102	大正八年自一月至十二月日記	大正 8 年 1 月 1 日～12月31 日
614－2	169	(「甫」)	大正 8 年10月21日
615	103	大正九年自一月至十二月日記	大正 9 年 1 月 1 日～12月31 日
616	103	大正十年自一月至十二月日記	大正10年 1 月 1 日～12月31日
617	103	大正十一年自一月至十二月日記	大正11年 1 月 1 日～12月31日
618－1	103	大正十二年自一月至十二月日記	大正12年 1 月 1 日～12月31日
618－2	103	(書状写、秋葉神社へ伝阿部忠秋の刀剣奉納年月日尋ねにつき返書)	(大正12年) 2 月18日
619－1	104	大正十三年自一月至十二月日記	大正13年 1 月 1 日～12月31日
619－2	104	(「トアリ」)	
619－3	104	記(関東大震災による時事新報焼失分を阿部正功寄贈につき礼)	大正13年 7 月10日記
620	104	大正十四年自一月至十二月日記	大正14年 1 月 1 日～12月31日
621－1	104	大正十五年自一月至十二月日記	大正15年 1 月 1 日～12月31日
621－2	104	(子爵加藤泰秋訃報)	大正15年 6 月19日
1822	169	(古川・西村両医師の診察回数書付)	

D－4－3　会計方出納簿など

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
552	83	明治三庚午年従十月御手許御分量金銀請払下帳	明治 3 年10月～同 4 年 5 月
419－①～②	70	(月給滞り金調綴)	
419－①	70	月給滞り金調	(明治 6 年～同 9 年)
419－②	70	(月給受取高および分量金より下され分取調覚)	明治 9 年10月
420	70	(一般経費予算控)	(明治 7 年～同 8 年カ)
421	70	一歳経費預算	明治 9 年10月21日

作成→受取	形態	数量	備　考
阿部家用所	竪	1	
	状	1	612－1の43丁内挿入
阿部家用所	竪	1	
	状	1	613－1の52丁内挿入
阿部家用所	竪	1	
	状	1	614－1の105～106丁挟込
阿部家用所	竪	1	
阿部家用所	竪	1	
阿部家用所	竪	1	
阿部家用所	竪	1	
(→松平頼平)	状	1	618－1の20丁内挿入
阿部家用所	竪	1	
	状	1	619－1の73～74丁挟込
時事新報社図書係	状(印刷)	1	619－1の103丁内挿入
阿部家用所	竪	1	
阿部家	竪	1	表紙に「昭和元年ト改元、十二月二十五日」とあり／91～92丁・95～96丁にしおりあり
加藤泰通ほか6名	状(印刷)	1	621－1の43丁内挿入
	状	1	鉛筆書

作成→受取	形態	数量	備　考
年番	横	1	
	綴	1	
	竪		
高木	横		
	竪	1	
第二部阿部正功㊞ほか1名→上杉茂憲殿	竪	1	表紙に「第二部長㊞」とあり

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
422	70	明治九年丙子十月改金円出納元簿	明治９年10月（～同10年12月）
423	70	明治九年丙子十月改金円受払簿	明治９年10月（～12月31日）
425	70	明乳㈦十年丑第一月金円出納帳	明治10年１月
426	70	一歳経費預算書式（雛型）	（明治10年）
554	83	明治十年二月ヨリ月賦納金請取通	明治10年１月31日～同15年12月30日
555	83	明治十年二月ヨリ月賦御返金請取帳	明治10年２月１日～同12年12月25日
427	70	明治十一年戊寅一月金円出納元簿	明治11年１月（～11月）
556	83	明治十一年一月ヨリ正外様御分量通	明治11年１月～同15年12月
428	70	明治十一年五月ヨリ同年十二月迄予算	（明治11年５月～12月）
557	83	明治十一年五月十四ヨリ千二百五十円年賦返金領収簿	明治11年５月14日～同14年７月４日
558	83	十一年八月〆資満様御雑用通帳	（明治）11年８月～同16年
429	70	明治十二年一月ヨリ金円出納元簿	明治12年１月（～12月）
430	70	明治十三年一月金円出納元簿	明治13年１月（～12月）
431	71	明治十三年分費用予算	（明治13年）
432	71	明治十三年分一歳経費予算	（明治13年）
433	71	明治十四年一月ヨリ金円出納元簿	明治14年１月（～12月）
559	83	明治十六年二月ヨリ丸山様拝借金通帳	明治14年７月４日～同24年12月28日
434	71	明治十五年一月金円出納元簿	明治15年１月（～12月）
435－1	71	明治十五年十二月廿二日金銀出納簿	明治15年12月22日（～同17年８月15日）
435－2	71	（103円58銭２厘ほか金銭書上）	
435－3	71	（御手元御雑用金１円ほか金銭書上）	（明治17年１月10日～22日）
436－1	71	阿部家明治十六年支収予算調	（明治）16年１月
436－2	71	阿部家明治十六年支収予算調	（明治）16年１月
437	71	明治十六年一月家税受払簿	明治16年１月（～同17年７月９日）
438－1	71	明治十六年三月ヨリ別途金円受払帳（別途収入・家税収入口書上）	明治16年３月（～同23年２月７日）
438－2	71	記（明治19年度前半期宅地租ほか税金50円43銭書上）	

作成→受取	形態	数量	備　考
阿部正功㊞ほか1名	竪	1	
阿部正功㊞ほか1名	竪	1	
阿部会計方	竪	1	
	竪	1	
阿部家々扶→大村様御家扶御中	横	1	
丸山阿部家扶㊞	横	1	
阿部	竪	1	
霞町詰所	横	1	
阿部正功	竪	1	
駒込阿部家扶	横	1	
霞丁家扶	横	1	
霞町会計方	竪	1	
霞町会計	竪	1	
	竪	1	
霞町会計	竪	1	表紙「明治十一年分」を「十三」と朱書で訂正
霞町会計方	竪	1	
霞丁会計方	横	1	
霞町会計方	竪	1	
阿部家会計掛	竪	1	
	状	1	435－1の32～33丁挟込
	状	1	435－1の67～68丁挟込
	竪	1	「工部省」名入罫紙
	竪	1	「工部省」名入罫紙
阿部家会計	竪	1	一部綴じ破損
阿部家会計方	竪	1	
	状	1	438－1の23～24丁挟込

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
438－3	71	(霞町宅地租ほか租税書上)	(明治13年～同17年)
560	83	明治十六年七月ヨリ田鶴様御分量通簿	明治16年8月4日～同24年2月2日
439－①～⑤	71	(出納台帳ほか綴)	
439－①	71	(別途収入・別途支出箇目書上)	
439－②	71	明治十七年一月ゟ同十二月迄予算ヶ目(収入・支出)	(明治17年1月～12月)
439－③	71	出納台帳	(明治16年1月)
439－④	71	別途金請払帳	(明治16年1月)
439－⑤	71	出納金種類別口取帳	(明治16年1月)
440	71	(明治14年中借用金返済予定書上)	(明治16年～同23年)
441	71	明治十七年予算調、外明治十六年十二月諸払予調	明治17年
446	72	(小売茶代受取ほか受払書上)	(明治17年3月～9月)
561	83	明治十七年三月廿四日よりおかゑどの下宿賄料請取帳	明治17年3月24日～9月27日
442	71	明治十七年七月中収入支出表	明治17年8月
443－1	71	(支出内訳書上)	(明治17年8月～同18年)
443－2	71	(合金917円余の支出内訳書上)	
444－1	71	明治十七年八月ヨリ十八年・十九年・廿年金円受払下帳	(明治17年8月～同20年)
444－2	71	(「十五円恒屋」)	
444－3	71	(食パン3銭5厘ほか出金書上)	
444－4	71	記(残り分金6円65銭受取)	5月21日
444－5	71	記(おかえどの下宿料納めにつき)	(明治)17年9月26日
444－6	71	(相談金の件につき覚書)	
445	72	明治十七年十二月ヨリ御座敷新建ニ付金円請払	明治17年12月(～同18年5月31日)
447－1	72	廻金覚帳(棚倉からの廻金ほか)	(明治18年9月～大正13年)
447－2	72	(丸山日雇植木屋賃金高ほか書上)	(明治42年～同43年)
447－3	72	(探求費・照子転地療養につき大磯旅費ほか支出書上)	
447－4	72	(小舟の図ほか)	

作成→受取	形態	数量	備　考
	状	1	438－1の25～26丁挟込
霞町会計方	横	1	
	綴	1	
	状		
	竪		
阿部家会計方	竪		
阿部家会計方	竪		
	竪		
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
中田㊞→御家内御家扶御中	横	1	
阿部家会計方	竪	1	
	竪	1	
	状	1	443－1の 6 ～ 7 丁挟込
御家扶	竪	1	
	状	1	444－1の46～47丁挟込
	状	1	444－1の46～47丁挟込
建熊㊞(鈴木)→上	状	1	444－1の56～57丁挟込
中田	状	1	444－1の56～57丁挟込
	状	1	444－1の103～104丁挟込
	竪	1	
	横	1	
	状	1	447－1の 2 ～ 3 丁挟込
	状	1	447－1の 7 ～ 8 丁挟込
	状	1	447－1の15～16丁挟込

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
447－5	72	(上野発白河着および白河発棚倉着の時刻ほか書上)	
447－6	72	記(三方桐重箪笥一個代金23円受取)	大正8年8月21日
248	65	明治二十年六月白河・棚倉ニテ献金人名(阿部正功の白河・南湖・棚倉旅行の経費)	明治20年6月
249	65	明治二十年六月六日御出起福島縣白河・棚倉江御下向ニ付諸入費請払調	明治2(0)年6月17日
448	72	二十一年下半季収入表	(明治)21年
449	72	(明治21年度金銭出納調)	(明治21年)
450	72	明治二十一年・同廿二年一月ヨリ金円受払下調	(明治21年1月2日～同22年12月31日)
451	72	廿一年度出納調	(明治)21年
562	83	明治二十二年四月ヨリ長様御分量通簿	明治22年3月～同24年3月
452	72	明治廿二年七月十八日御出発富士山御登ニ付御旅費請払調	(明治)22年7月29日
453	72	明治廿二年十二月ヨリ手許金員受払	(明治22年12月17日～同24年12月)
454	72	廿二年収入支出	(明治22年)
455	72	(明治22年収入支出)	(明治22年)
456	72	(年別金員納調)	(明治22年～同25年)
457	72	(年別金員納調)	(明治22年～同26年)
458	72	(年別収入金・支出金・摘要表)	(明治22年～同26年)
459－1	72	明治廿三年一月ヨリ廿四年十二月ニ至金円収支簿控	明治23年1月～同24年12月
459－2	72	(不明納金127円余書上)	
459－3	72	(調査済年月日ほか書上)	(明治24年)
459－4	72	(小計272円余書上)	(明治23年12月)
459－5	72	(5月地家代書上)	
460	72	明治二十三年予算	(明治23年)
461	72	雑ノ部金員受払	明治23年1月12日～同37年2月15日
462	73	明治廿三年一月ヨリ地代家賃受払手控	明治23年1月～同34年12月31日
463	73	明治廿五年一月ヨリ同年十二月マテ金銭収支下調	明治25年1月～12月
464	73	明治廿五年度予算	(明治25年)

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
	状	1	447－1の24～25丁挟込
霞町壱番地柴田吉五郎㊞→阿部家様	状	1	447－1の24～25丁挟込
	竪	1	
森順三郎	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
御家扶	竪	1	
	竪	1	
霞町会計方	横	1	
御供御家扶森順三郎	横	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	状	1	459－1の14～15丁挟込
	状	1	459－1の56～57丁挟込
	状	1	459－1の63～64丁挟込
	状	1	459－1の100～101丁挟込
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
霞町家扶	堅	1	
	堅	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
465	73	(年度別収支勘定調)	(明治25年～同29年)
466	73	明治廿六年一月ヨリ十二月ニ至金銭収支下調	明治26年1月1日～12月31日
467	73	明治廿六年六月ヨリ同年十一月マテ予算	明治26年6月～11月
470	73	明治廿七年一月ヨリ金員出納受払	明治27年1月1日～12月31日
471	73	明治廿七年度予算	(明治27年)
472	73	(明治二十七年度収支勘定調)	明治27年2月12日～12月
473	73	明治廿八年一月ヨリ金員出納仮受払簿	明治28年1月1日～12月31日
474	74	廿八年度予算	(明治28年)
475	74	明治廿九年一月ヨリ十二月ニ至金銭出納仮受払簿	明治29年1月1日～12月31日
476	74	廿九年度予算控	(明治29年)
478	75	明治卅年一月ヨリ十二月ニ至金員受払仮帳	明治30年1月3日～12月31日
479－1	75	明治三十年六月ヨリ会計下調帳	明治30年6月(～大正14年)
479－2	75	(砂利代内金代金書上)	
479－3	75	(大正10年～同12年分金銭書上)	
479－4	75	(大正10年口～同12年口金銭書上)	
479－5	75	(大正10年～同12年金銭書上)	
479－6	75	(大正11年6月～同12年4月土蔵修繕費書上)	
479－7	75	(明治41年～大正5年7月金銭書上)	
480	75	明治三十年酉ノ七月万之通(石油・味噌・塩など購入につき)	明治30年7月(～8月29日)
482	75	卅年度予算	(明治30年度)
483	75	明治卅一年一月ヨリ金員受払仮帳	明治31年1月2日(～12月31日)
484－1	76	明治卅二年一月ヨリ金員受払帳控	明治32年1月1日～12月31日
484－2	76	卅二年度収入概略	(明治32年度)
485	76	(白河・棚倉下向諸入費書上)	明治32年3月11日
487	76	明治卅三年一月ヨリ金員受払簿	明治33年1月9日～12月31日

作成→受取	形態	数量	備　考
	竪	1	
霞町家扶	竪	1	30～31丁に付箋朱書「二百六十二銭」(剥離)挟込あり
	竪	1	
霞町家扶	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	天保2年～文久3年までの阿部家事歴の確認事項の書上帳を利用
阿部家々扶	竪	1	付箋剥離あり
	竪	1	
阿部家々扶	竪	1	
	竪	1	
阿部家々扶	竪	1	
	横	1	
	状	1	479－1の4丁内挿入
	状	1	479－1の47～48丁挟込
	状	1	479－1の47～48丁挟込
	状	1	479－1の47～48丁挟込
	状	1	479－1の47～48丁挟込
	状	1	479－1の61丁内挿入
大黒屋(原)長蔵→阿部様	横	1	
阿部家控	竪	1	
霞町家扶	竪	1	
	竪	1	69～70丁に「十五」と書かれた付箋挟込
	竪	1	
	竪	1	表紙墨書「明治三十二年三月十一日御出立、奥筋江御下向、西白河郡白河、石川郡龍崎ヲ経、西白河郡須乗村・関平村・深仁井田村・釜子村ゟ東白川郡棚倉江御下向之節御入費」
家扶控	竪	1	59～60丁、71～72丁、74～75丁にこより挟込

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
488	76	積り書(家根風損場所修繕・瓦・釘代など資材代金書上)	明治33年10月３日
489	76	明治卅四年一月ヨリ金員受払簿控	明治34年１月１日～12月31日
490	77	明治卅五年一月ヨリ金員受払簿控	明治35年１月２日～12月31日
492	77	明治卅五年一月ヨリ地代家賃収支簿	明治35年１月～同37年１月
491－1	77	(会計下調帳)	(明治35年～同44年)
491－2	77	(鉛筆書による計算式)	
493－1	77	明治三十六年一月ヨリ金員受払簿控	明治36年１月２日～12月31日
493－2	77	(金銭書上)	
494－1	77	明治卅七年１月ヨリ金員請払簿弐冊ノ内壱	明治37年１月２日～６月28日
494－2	77	(100円の100分の１ほか割合書上)	
495	77	明治卅七年従七月金員受払簿弐冊ノ内弐	明治37年７月９日～12月31日
496－1	78	三拾七年七月ヨリ会計別帳	明治37年７月３日～大正14年
496－2	78	(鉛筆・墨書による計算式)	
496－3	78	(計算式・金銭書上)	
496－4	78	(計算式・金銭書上)	
496－5	78	(「正基返金此帳へ記入の事」)	
496－6	78	(大正四年七月廿四日納宅地組ほか金1218円62銭書上)	大正４年７月24日
497	78	三拾七年上半期支払別	(明治)37年
498	78	三拾七年下半期支出下調	(明治37年～同38年)
504－①～②	78	(明治37年～同39年予算関係書類綴)	
504－①	78	記(地代・雑収入より予算支出高など差引勘定)	(明治37年～同39年)
504－②	78	三十九年度ニ係ル予算下調	(明治39年)
500	78	明治卅八年一月ヨリ金員受払簿	明治38年１月１日～12月31日
501	78	三拾八年支出下調	(明治)38年
502	78	明治三十九年従一月金員受払簿	明治39年１月１日～12月31日
503	78	三十九年自一月至六月諸経費調	(明治39年１月～６月)

作成→受取	形態	数量	備　考
芝新門前町拾三番地市川啓三郎㊞→阿部様御中	竪	1	
家扶	竪	1	
家扶	竪	1	表紙朱書「出納簿ニ照合了」
	竪	1	
	横	1	
	状	1	491－1の 8 丁内挿入
家扶	竪	1	表紙朱書「金員出納簿ニ実㈜合了」
	状	1	493－1の 2 丁内挿入
家扶	竪	1	「弐冊ノ内壱」は朱書
	状	1	494－1の57丁内挿入
家扶	竪	1	「弐冊ノ内弐」は朱書／表紙朱書「出納簿ニ照合了㊞完了」
	横	1	
	状	1	496－1の 9 丁内挿入
	状	1	496－1の12丁内挿入
	状	1	496－1の13丁内挿入
	状	1	496－1の65丁内挿入
	状	1	496－1の89丁内挿入
	竪	1	
	竪	1	
	綴	1	
	状		
	竪		
家扶	竪	1	
	竪	1	
家扶	竪	1	表紙朱書「照合入算精査了」
	竪	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
505	79	明治四十年自一月至七月金員受払簿	明治40年1月1日～7月31日
506	79	明治四十年八月ヨリ金員受払簿	明治40年8月14日～12月31日
507	79	明治四十一年従一月至十二月金員受払簿	明治41年1月1日～12月31日
511	79	明治四十二年従一月至十二月金員受払簿	明治42年1月1日～12月31日
514	80	明治四十三年従一月至十二月金員受払簿	明治43年1月1日～12月31日
519	80	(金銭受払簿)	(明治43年～大正13年)
520	81	明治四十四年従一月至十二月金員受払簿	明治44年1月1日～12月31日
522	81	大正弐年上半期支出下調	(大正2年～同4年)
523	81	大正三年明細調	大正3年
524	81	大正四年明細調	大正4年
546～551	封筒一括		
546	82	慶応三卯年三月仕送金借用証文(文政6年以来の借用分を今度棚倉へ所替えにつき年500両ずつ返済の旨)	慶応3年3月
547－①～④	82	(仕送金借用証文関係綴)	
547－①	82	慶応三卯年三月仕送金借用証文(写)	慶応3年3月
547－②	82	(常松次郎右衛門ほか宛仕送り継続願写留)	(文政11年～天保3年)
547－③	82	(財政整理案・家永続生計方法などにつき)	明治37年9月22日
547－④	82	(岩瀬郡鏡石村住常松次郎太郎身上書)	
548	82	借用申金子之事(金5000両)	慶応4年4月
549－1	82	(常松家計補助金受取証綴)	(明治37年11月28日～大正4年6月22日)
549－2	82	(名刺、福島県岩代国須賀川町市原又次郎)	
550	83	(書状、市原又次郎と阿部家に関することにつき相談したく面会日時問合せ)	大正4年6月15日
551	83	契約書(家計補助金として金1200円受取につき維新前用立金証書類返納する旨)	大正4年6月22日
525	81	大正六年一月起需品費支出簿	大正6年1月7日～昭和2年3月3日
527	82	大正六年一月起地代金送付簿	大正6年1月13日～昭和2年2月3日

作成→受取	形態	数量	備　考
家扶	竪	1	
阿部家家扶	竪	1	
阿部家々扶	竪	1	
阿部家々扶	竪	1	
阿部家々扶	竪	1	綴じ紐破損
	横	1	罫紙下敷1枚あり
阿部家々扶	竪	1	186～187丁に白紙挟込
	横	1	
	横	1	
	横	1	
阿部美作守内勘定頭取江森仁兵衛㊞ほか5名→市原朔助殿ほか1名	一括封・竪	1・1	奥書「用人田村五郎右衛門㊞ほか1名」／一括封筒上書「大正四年六月廿三日、市原又次郎ヨリ納附古証文并ニ常松次郎太郎へ御救助請取証書」
	綴	1	
阿部美作守内勘定頭取江森仁兵衛印ほか5名→市原朔助殿ほか1名	竪		奥書「用人田村五郎右衛門印ほか1名」
	竪		
福島県岩代国岩瀬郡鏡石村大字鏡田常松次郎太郎㊞→子爵阿部正功殿閣下	竪		
	状		
阿部美作守内勘定頭取江森仁兵衛㊞ほか6名→市原朔助殿ほか1名	状・包	1・1	奥書「用人田村五郎右衛門㊞ほか1名」／包紙上書「証文一通」
(福島県岩瀬郡鏡石村字鏡田常松次郎太郎代人赤坂区青山高樹町三番地山川修蔵㊞→阿部御家扶御中)	綴	1	
	状	1	549－1の2～3丁挟込
本郷区湯島新花町六番地弁護士太田熊蔵㊞→阿部家御家扶恒屋斎殿	状	1	
岩代国岩瀬郡須賀川町市原又次郎㊞ほか2名→阿部正功殿御家扶恒屋齊殿、御同家御相談役川勝隆儀殿	竪	1	
阿部家差配所	横	1	
阿部家差配所	横	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
526	81	大正六年明細調	大正６年
528	82	大正七年明細調	大正７年
529	82	大正八年明細調	大正８年
530	82	大正十四年自一月至九月小買物帳	大正14年１月１日～９月30日
532	82	子三月当座金銭出入帳	子年３月31日～５月14日
366	69	(家具・調理器具・消耗品など新調品・代金書上)	(２月７日～５月18日)
531	82	記(小岩３つほか代金10銭４厘受取)	３月５日
533	82	記(糸取車台ほか94銭余書上)	４月
535－①～③	82	(白河・棚倉下向旅費書上書類綴)	
535－①	82	白河棚倉江御下向ニ付御用意御品諸御入費	(５月26日～６月１日)
535－②	82	東京ゟ白河迄御旅費	(６月２日)
535－③	82	(白河御滞在中御入費・白河より棚倉まで旅費・勿来より上野まで御旅費)	(６月２日～13日)
367－1	69	(６月５～６日親族・徳大寺ら公家・旧大名などへの贈物渡覚)	
367－2	69	(金銭書入表)	
416	70	(薪受取規則、当十年仕入薪、受負人借用則)	
539	82	(借用金・帽子など諸品支払金書上)	
540	82	(平常・営繕・教育・交際費・地所関係諸費など部門別支出項目書上)	
541	82	御学術之部(女衆衣類書上代内訳書上)	
544	82	日光旅費出払覚	
545	82	辰印御払物(長グツほか諸道具代金・香奠など支払いにつき)	
1769	168	(封筒)	

D－４－４　領収証書

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
424－①～⑧	70	(借用証書・利子受取書綴)	
424－①	70	御借用金証書控并利子調	(明治９年11月～同13年４月)
424－②	70	証(用立金利子97円90銭受取)	12月26日

作成→受取	形態	数量	備　考
	横	1	
	横	1	31丁内に下敷1枚挿入
	横	1	
用所㊞	横	1	68～69丁鉛筆書付附箋(剥離)一枚挟込
松林預り	竪	1	
	横	1	
大森茶碗屋㊞→上	状	1	
	状	1	
	綴	1	
	竪		
	状		
	竪		
	綴	1	
	状	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	状	1	
	竪	1	
阿部渡	封	1	上書「開化起原史百三拾ノ代、金三円〇九銭、但写字料阿部渡」、裏朱書「秘」

作成→受取	形態	数量	備　考
	綴	1	
	竪		
平岡組㊞(平岡組印章)→阿部正功様御使御中	状		

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
424－③	70	記(日歩利金72円78銭余受取)	5月15日
424－④	70	記(利子金3円63銭受取)	(明治)10年12月
424－⑤	70	(平岡分利子見積り金より差引勘定)	
424－⑥	70	記(用立金利子金12円受取)	(明治)11年5月15日
424－⑦	70	請取証(用立分金70円受取)	5月16日
424－⑧	70	(借金証文カ)(不開)	
553－①～⑦	83	(阿部・大村家受取証綴)	
553－①	83	記(阿部田鶴雄様御分量金20円受取)	(明治)14年12月29日
553－②	83	記(阿部田鶴雄様御分量金24円受取)	(明治15年)6月30日
553－③	83	記(阿部田鶴雄様御分量金30円預る旨)	(明治)13年10月24日
553－④	83	記(金19円預りおよび受取証差し上げる旨)	1月6日
553－⑤	83	(大村様月賦ほか金95円書上)	(8月～12月)
553－⑥	83	(阿部田鶴雄様御小遣として金28円受取)	(明治)14年7月10日
553－⑦	83	記(阿部田鶴雄様御雑用として金6円受取)	明治13年12月28日
231	65	未納地租金年賦延納証書	明治15年月日
469－①～③	73	(領収書綴)	(明治27年1月14日)
469－①	73	記(下駄1足代金4銭5厘受取)	(明治27年)1月14日
469－②	73	記(ガンヅキ1足ほか代金16銭5厘受取)	午(明治27年)1月14日
469－③	73	記(わらくつ10足代ほか58銭1厘受取)	(明治)27年1月14日
468	73	記(尾花帽子・履物ほか代金1円9銭1厘支払覚)	明治27年1月15日
297	66	(雑地租納付通知書)	明治34年9月23日
477－1	74	領収証書(明治41年第6期分田租26銭) ＊477－1～60	明治(42)年月日
477－2	74	(明治37年度後期分府税地租割ほか納税領収証書綴)	(明治37年度)
477－3	74	(明治37年度前期分府税地租割ほか領収証書綴)	(明治37年5月19日)
477－4	74	(明治37年度前期分納税領収証書・賦課令状綴)	(明治37年度)
477－5	74	領収証書(明治35年度後期分府税自用人力車税二人乗一輛雑種税2円50銭ほか)	明治35年月日

作成→受取	形態	数量	備　考
平岡準蔵㊞→阿部様	状		
平岡組㊞(土岐)→阿部様御家令中様	状		
	状		
岡田㊞(東京店岡田印)→霞町様	状		
松林重弘㊞(松林)→尾城様	状		
	状		
	綴・袋	1・1	袋上書「明治十年一月ヨリ阿大両家受取証、阿部会計」
大村家会計方㊞	状		
大村家会計方㊞→阿部様会計御中	状		
大村様家扶代中村元二郎(花押)→阿部様御使迄	状		
大村家中村元二郎(花押)→阿部様宇都木様	状		
	状		
大村様会計方㊞→阿部様御家扶御中	状		
大村家佐藤甚兵衛㊞→阿部様御家扶中様	状		
麻布区麻部霞町壱番地阿部正功㊞→東京府知事松田道之殿	竪	1	奥書「前書の通り相違なき旨、東京府麻布区長前田利充㊞」
	綴	1	
下駄屋正治㊞→永原様	状		
丸岡や店㊞→上様	状		
三谷七三郎㊞→永原和三郎様	状		
山形県西田川郡鶴岡町宝町永原和三郎㊞→関盛善殿	状	1	
東京市麻布区役所㊞→霞一九ノ一阿部正功殿	状(印刷)	1	
東京市麻布区長徳尾政均㊞→麻布区霞一阿部正功	一括袋・状	1・1	一括袋上書「納税証書、御家扶」・「御留守中来翰其他書類入」(抹消)／こより3本あり
(東京府本金庫麻布支金庫・麻布区市税金取扱所㊞→阿部正功)	綴	1(6枚)	
(東京府本金庫麻布支金庫・麻布区市税金取扱所㊞→阿部正功)	綴	1(6枚)	
(東京市麻布区長長岡往来㊞→麻布区霞六ノ外二〇阿部正功ほか)	綴	1(6枚)	
東京府本金庫麻布支金庫・麻布区市税金取扱所㊞→霞ノ一阿部正功	状	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
477－6	74	(明治39年度第34期分市税ほか納税領収証書綴)	(明治40年)
477－7	74	(明治42年度市街宅地租ほか納税領収証書綴)	(明治42年度)
477－8	74	(明治39年度前期分府税一人乗・二人乗自用人力車雑種税領収証書綴)	(明治39年度)
477－9	74	(明治41年度市街宅地租ほか納税領収証書綴)	(明治41年度)
477－10	74	(明治41年度専用栓水料ほか納税領収証書綴)	(明治41年度)
477－11	74	(明治41年度追加府税家屋税ほか納税領収証書綴)	(明治41年度)
477－12	74	(明治41年度所得税ほか納税領収証書綴)	(明治41年度)
477－13	74	(明治41年度府税家屋税ほか納税領収証書綴)	(明治41年度)
477－14	74	(明治41年度府税地租割ほか納税領収証書綴)	(明治41年度)
477－15	74	(明治41年度田租納税領収証書綴)	(明治41年度)
477－16	74	領収証書(明治39年度府税家屋税追加15銭)	明治(39)年月日
477－17	74	領収証書(明治39年度府税家屋税追加6銭)	明治(39)年月日
477－18	74	(明治39年度所得税ほか納税領収証書綴)	(明治39年度)
477－19	74	(明治39年度雑地租ほか納税領収証書綴)	(明治39年度)
477－20	74	(明治39年度府税地租割ほか納税領収証書綴)	(明治39年度)
477－21	74	(明治39年度家屋税納税領収証書綴)	(明治39年度)
477－22	74	(明治39年度府税家屋税ほか納税領収証書綴)	(明治39年度)
477－23	74	(明治40年度府税地租割ほか納税領収証書綴)	(明治40年度)
477－24	74	(明治40年度雑種税ほか納税領収証書綴)	(明治40年度)
477－25	74	(明治40年度府税地租割ほか納税領収証書綴)	(明治40年度)
477－26	74	(明治40年度市街宅地租ほか納税領収証書綴)	(明治40年度)
477－27	74	(明治40年度所得税ほか納税領収証書綴)	(明治40年度)
477－28	74	(明治42年度府税・市税・特別税納税領収証書綴)	(明治42年度)
477－29	74	(明治42年度府税・市税・区費納税領収証書綴)	(明治42年度)
477－30	74	(明治42年度府税・市税・区費納税領収証書綴)	(明治42年度)

作成→受取	形態	数量	備　考
東京市麻布区長㊞→麻布区麻布霞町一阿部資満	綴	1(4枚)	
東京市麻布区長徳尾政均㊞→霞一阿部正功	綴	1(7枚)	
東京府本金庫麻布支金庫・東京市麻布区派出市金庫㊞→霞一阿部正功	綴	1(2枚)	
東京市麻布区長徳尾政均㊞→霞一阿部正功	綴	1(4枚)	
(東京市麻布区長㊞ほか→麻布区霞町一番地鈴木重勝ほか)	綴	1(5枚)	
(東京府本金庫麻布支金庫㊞→麻布区麻布霞町一阿部正功)	綴	1(9枚)	
東京市麻布区長徳尾政均㊞→麻布区霞一阿部正功	綴	1(8枚)	
(東京府本金庫麻布支金庫・東京市麻布区派出市金庫㊞→麻布霞町五阿部正功ほか)	綴	1(8枚)	
東京府本金庫麻布支金庫・東京市麻布区派出市金庫→霞一阿部正功	綴	1(6枚)	
東京市麻布区長徳尾政均㊞→麻布区霞一阿部正功	綴	1(4枚)	
東京府本金庫麻布支金庫㊞→麻布霞町五外池六弥	状	1	
東京府本金庫麻布支金庫㊞→麻布霞町一鈴木重勝	状	1	
東京市麻布区長徳尾政均㊞→麻布区麻布霞町一阿部正功	綴	1 (10枚)	
東京市麻布区長徳尾政均㊞→麻布区霞一阿部正功	綴	1(7枚)	
東京府本金庫麻布支金庫・東京市麻布区派出市金庫㊞→霞一阿部正功	綴	1 (10枚)	
東京府本金庫麻布支金庫・東京市麻布区派出市金庫㊞→麻布霞町一ノ一阿部正功	綴	1(8枚)	
(東京府本金庫麻布支金庫㊞→麻布霞町一ノ一鈴木重勝ほか)	綴	1(9枚)	
東京府本金庫麻布支金庫・東京市麻布区派出市金庫㊞→霞一阿部正功	綴	1 (10枚)	
(東京府本金庫麻布支金庫・東京市麻布区派出市金庫㊞→霞ノ一阿部正功ほか)	綴	1 (11枚)	
(東京府本金庫麻布支金庫・東京市麻布区派出市金庫㊞→阿部正功)	綴	1(9枚)	
東京市麻布区長徳尾政均㊞→麻布区霞一阿部正功	綴	1(7枚)	
(東京市麻布区長徳尾政均㊞ほか→麻布区麻布霞町一阿部正功ほか)	綴	1(8枚)	
東京府本金庫麻布支金庫・東京市麻布区派出市金庫㊞→霞一阿部正功	綴	1(6枚)	
東京府本金庫麻布支金庫・東京市麻布区派出市金庫㊞→霞一阿部正功	綴	1(2枚)	
東京府本金庫麻布支金庫・東京市麻布区派出市金庫㊞→霞一ノ一阿部正功	綴	1(6枚)	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
477－31	74	(明治43年度府税地租納税領収証書綴)	(明治43年度)
477－32	74	(明治42年度所得税納税領収証書綴)	(明治42年度)
477－33	74	(明治42年度市水道栓使用料ほか領収証書綴)	(明治42年度)
477－34	74	領収証書(明治41年度配水工費1円45銭)	(明治42年1月25日)
477－35	74	(明治43年度府税・市税・区費納税領収証書綴)	(明治43年度)
477－36	74	(明治43年度府税・市税ほか納税領収証書綴)	(明治43年度)
477－37	74	(明治43年度市街宅地租ほか納税領収証書綴)	(明治43年度)
477－38	74	(明治43年度府税・市税・区費納税領収証書綴)	(明治43年度)
477－39	74	(明治43年度所得税納税領収証書綴)	(明治43年度)
477－40	74	(明治42年第3期分・明治43年第5期分田租納税領収証書綴)	(明治42年度～同43年度)
477－41	74	(明治42年度府税・市費・区費納税領収証書綴)	(明治42年度)
477－42	74	(明治35年度市街宅地租ほか納税領収証書綴)	(明治35年度)
477－43	74	領収証書(明治36年度後期分府税地租割54銭ほか)	(明治36年11月2日)
477－44	74	領収証書(明治36年度後期分府税一人乗自用人力車雑種税1円50銭ほか)	(明治36年11月2日)
477－45	74	領収証書(明治36年度後期分府税二人乗自用人力車雑種税2円50銭ほか)	(明治36年11月2日)
477－46	74	領収証書(明治36年度後期分府税地租割31円52銭ほか)	(明治36年11月2日)
477－47	74	領収証書(明治34年度諸証明及閲覧手数料20銭)	(明治36年7月7日)
477－48	74	賦課令状(明治36年度市税所得税附加6銭ほか)	明治36年7月25日
477－49	74	賦課令状(明治36年度前期分市税所得税附加27円31銭ほか)	明治36年9月8日
477－50	74	(明治36年度市街宅地租ほか納税領収証書綴)	(明治36年度)
477－51	74	(明治29年度雑地租ほか納税領収証書綴)	(明治29年度)
477－52	74	(明治30年市街宅地租ほか納税領収証書綴)	(明治30年度)
477－53	74	(明治32年納税領収証書ほか綴)	(明治32年度)
477－54	74	(明治34年度市街宅地租ほか納税領収証書綴)	(明治34年度)
477－55	74	(明治33年度納税領収証書・賦課令状綴)	(明治33年度)
477－56	74	(中川弥三郎府税家屋税ほか納税領収証書綴)	(明治32年～同36年度)

作成→受取	形態	数量	備　考
東京府本金庫麻布支金庫㊞→霞一阿部正功	綴	1(3枚)	
東京市麻布区長徳尾政均㊞→麻布霞町一阿部正功	綴	1(4枚)	
東京市麻布区長㊞→麻布区霞町一番地鈴木重勝	綴	1(2枚)	
東京市麻布区長㊞→霞町壱鈴木重勝	状	1	
東京府本金庫麻布支金庫・東京市麻布区派出市金庫㊞→麻布霞町一阿部正功	綴	1(4枚)	
東京府本金庫麻布支金庫・東京市麻布区派出市金庫㊞→霞一阿部正功	綴	1(6枚)	
東京市麻布区収入役若松卯吉㊞→霞一阿部正功	綴	1(4枚)	
東京府本金庫麻布支金庫・東京市麻布区派出市金庫㊞→霞一阿部正功	綴	1(4枚)	
東京市麻布区収入役若松卯吉㊞→麻布霞町一阿部正功	綴	1(4枚)	
東京市麻布区収入役若松卯吉㊞→霞一阿部正功	綴	1(2枚)	
東京府本金庫麻布支金庫・東京市麻布区派出市金庫㊞→麻布霞町一阿部正功	綴	1(5枚)	
(東京市麻布区長長岡往来㊞ほか→麻布区霞六ノ二ノ外二〇阿部正功ほか)	綴	1 (25枚)	
東京府本金庫麻布支金庫・麻布区市税金取扱所㊞→霞一九ノ一阿部正功	状	1	
東京府本金庫麻布支金庫・麻布区市税金取扱所㊞→霞一阿部正功	状	1	
東京府本金庫麻布支金庫・麻布区市税金取扱所㊞→霞一阿部正功	状	1	
東京府本金庫麻布支金庫・麻布区市税金取扱所㊞→霞六ノ二外二〇阿部正功	状	1	
東京市麻布区長長岡往来㊞→阿部正功	状	1	
東京市麻布区長長岡往来㊞→麻布区霞一阿部正功	状	1	「明治三十六年九月廿九日領収」印あり
東京市麻布区長長岡往来㊞→麻布区麻布霞町一阿部正功	状	1	
(東京市麻布区長長岡往来㊞ほか→麻布区霞六ノ二外廿阿部正功ほか)	綴	1 (18枚)	
(東京市麻布区長村木義方㊞→麻布区麻布霞町一九ノ一阿部正功ほか)	綴	1(9枚)	
(東京市麻布区長村木義方㊞ほか→麻布区麻布霞町一ノ三ノ外廿阿部正功ほか)	綴	1(7枚)	
東京市麻布区長長岡往来㊞→麻布区麻布霞町六阿部正功	綴	1 (28枚)	
(東京市麻布区長長岡往来㊞ほか→麻布区麻布霞六ノ二外二〇阿部正功ほか)	綴	1 (27枚)	
(東京市麻布区長長岡往来㊞ほか→麻布区霞六弐弐阿部正功)	綴	1 (32枚)	
(東京市麻布区長長岡往来㊞ほか→麻布区麻布霞町六中川弥三郎)	綴	1 (15枚)	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
477－57	74	(明治33年度後半年分上水井水料3円10銭納付すべき旨)	明治33年10月12日
477－58	74	領収証書(明治43年度後期分専用栓使用料2円50銭ほか)	(明治43年11月22日)
477－59	74	領収証書(明治42年第6期分田租26銭)	(明治43年5月24日)
477－60	74	領収証書(明治43年度前期分専用栓使用料2円50銭ほか)	明治年月日
481－1	75	明治卅年十月十日ヨリ新築諸費下調　＊481－1～7	明治30年10月10日～
481－2－①～⑫	75	(新築請負書類・領収書類綴)	(明治30年10月～12月)
481－2－①	75	証(新築請負代金などより差引代金28円79銭余受取)	明治30年12月31日
481－2－①－1	75	記(コールタ塗代ほか代金1円64銭受取)	12月31日
481－2－②	75	記(新キ葺ほか代金39円97銭受取)	明治30年12月31日
481－2－③	75	御請書(御邸内古家建直し瓦葺請負につき)	明治30年10月16日
481－2－④	75	記(材木代金・大工手間賃31円15銭書上)	(明治30年12月31日)
481－2－⑤	75	(材木代金・大工手間賃41円4銭書上)	11月9日
481－2－⑥	75	記(材木代金・大工手間賃7円24銭書上)	11月9日
481－2－⑦	75	木材仕様書	明治30年第7月11日
481－2－⑧	75	新築御請負之外臨時入費調	明治30年12月
481－2－⑨	75	記(雨戸18枚ほか諸代金29円49銭受取)	11月30日
481－2－⑩	75	記(かな物手間ほか諸代金5円40銭受取)	12月9日
481－2－⑪	75	記(備後表など畳代金52円23銭6厘受取)	12月31日
481－2－⑫	75	記(中障子ほか諸代金27円85銭受取)	(明治)30年12月24日
481－3	75	御下ヶ金之部(新築費用支払書上)	(明治30年10月16日～12月14日)
481－4－①～⑦	75	(人足代・手間代・瓦代など諸代金受取帳綴)	(明治30年)
481－4－①	75	記(古家根板12把代金36銭受取)	
481－4－②	75	記(建具・雨戸代金10円受取)	11月2日
481－4－③	75	証(長家取崩人足など人足賃6円97銭余受取)	(明治)30年10月14日
481－4－④	75	証(地形定用人足賃など11円2銭余受取)	(明治)30年10月31日
481－4－⑤	75	記(建築用人足賃勘定)	

作成→受取	形態	数量	備　考
東京市麻布区長長岡往来㊞→麻布区霞ノ一阿部正功	状	1	
東京市麻布区収入役㊞→麻布区霞町一番地阿部正功	状	1	
東京市麻布区長徳尾政均㊞→霞一阿部正功	状	1	
東京市麻布区収入役㊞→麻布区霞町一番地鈴木重勝	状	1	
御家扶	一括袋・竪	1・1	一括袋上書「明治卅年十月着手、同十二月落成、御子様御部屋新築工事積書并ニ諸請取書入、御用所」
	綴	1	
大惣事定倉知太郎㊞	状		
桜田町五十六太田竹二郎㊞→上	状	1	481－2－①～⑫の1～2丁挟込
大惣→阿部会計御中	状		
大惣→阿部家会計御中	竪		奥書「明治30年12月31日請負代金受取」
大工惣吉	状		
大工惣吉→阿部家御中様	状		奥書「明治30年12月31日に請負代金受取」
大工惣吉→阿部家御中様	状		奥書「明治30年12月31日に請負代金受取」
大惣→阿部様御会計御中	竪		
大惣→阿部会計御中	竪		
澤㊞→上	状		
澤㊞→上	状		
畳屋仙太郎㊞→阿部様御役人中	状		
加藤信平㊞→阿部様御役所中	状		
	竪	1	
	綴	1	
→上様	状		
澤常三郎㊞→上	状		
内野重次郎㊞→阿部家事務所会計課御中	状		
麻布区霞町二内野重次郎㊞→阿部家事務所会計課御中	状		
	状		

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
481－4－⑥	75	記(御住居御家根葺手間賃ほか60円83銭受取)	明治30年11月14日
481－4－⑦	75	記(瓦葺人足賃など19円7銭余受取)	明治30年10月14日
481－5	75	明治卅年十月十六日建築金請取渡控	明治30年10月16日(～11月23日)
481－6	75	証(請負金内借70円受取)	明治30年10月16日
486	76	証(白ツナヌキほか諸品代1円65銭受取)	(明治)32年11月3日
534	82	覚(品物代金66銭余受取)	5月6日
536	82	証(人足賃25銭請取)	6月30日
542	82	記(絵紙6枚代ほか代金50銭書上)	
543	82	記(白河・棚倉下向費用ほか書上)	
1751	168	(封筒)	

D－4－5　書状・覚書

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
264	65	(書状、拝借の分割地図返上忘れにつき)	甲午(明治27年)5月21日
267	65	(葉書、旧棚倉藩の大砲につき回答書)	[明治28年]6月24日
285	66	(書状、来栖長文娘ハン暇下されたこと承知および23日出京につき)	[明治31年]5月19日
1778	168	(葉書、伊豆伊東町の土地分譲につき)	昭和13年11月
418	70	御献立	4月20日
348	69	(書状、幕末阿部家の動向尋ねにつき答書)	7月16日
350	69	(書状、松野一書差上の件につき相談のため来てくれるよう依頼承知につき)	9月2日
351	69	(書状、外国人巡回の際の目途上申書送付などにつき)	9月10日
352	69	(書状、仙台での学業の模様報告)	9月20日
372	69	(書状、とく奉公差出につき挨拶)	9月24日
364	69	(書状、借用物の礼ならびに室田殿と相談されたき旨)	
365－1	69	(家業服寸法書上)	
365－2	69	(前垂寸法書上)	

作成→受取	形態	数量	備　考
芝三田小山町壱番地市川啓三郎㊞→阿部様御役人中様	竪		
芝三田小山町壱番地市川啓三郎㊞→阿部様御役人中様	竪		
阿部家御用所	横	1	表紙朱書「写済不用、参考ニ入置」
大惣㊞→阿部家会計御中	状	1	481－6の綴紐部分に挟込
田村卯三郎㊞→安㈜部様	状	1	
玉木屋市五郎㊞→上	状	1	
霞町壱番地田中崎次郎㊞→上	状	1	
	状	1	
	状	1	
	封	1	袋上書「二十一年二月分、支払請取書」

作成→受取	形態	数量	備　考
[本郷区本郷四丁目廿九番地石橋清次郎方] 田中正太郎→[麻布区霞町一番地] 阿部正功様侍史御中	状・封	1・1	
須賀川内藤欣吉→東京麻布霞町壱番地恒屋盛庸殿	状	1	
[東白川郡棚倉町] 牧村俣平→[東京麻布霞町壱番地] 恒屋盛庸様	状・封	1・1	
渋谷区大和田町壱番地東京横浜電鉄株式会社田園都市課、伊豆町岡字水落分譲地内同伊東出張所	状	1	裏書「雑、御記入モノ」
かぎや→上	状	1	
海上秀進→恒屋(盛庸)様	状・封	1・1	
葆真[阿部正外]→(阿部)正功君侍史中	状・封	1・1	
吉田美誠→阿部様御侍夫御中	状	1	
西村長→恒屋盛庸様	状	1	
辻清八→阿部御殿様	状	1	
ふみ→恒屋(盛庸)様	状	1	
	状	1	
	状	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1770	168	(封筒)	
1779	168	(入寄留届など書付下書)	
1783	168	(差配人名森順三郎など書付部分)	

D－4－6　不動産経営－麻布霞町－

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
地券			
252－1	65	地券(麻布霞町2番地市街宅地、2976坪4合5勺) ＊252－1～20	明治22年2月5日
252－2	65	地券(麻布霞町1番地第3号市街宅地、712坪5合5勺)	明治21年7月31日
252－3	65	地券(麻布霞町3番地山林、7反8畝25歩)	明治21年7月31日
252－4	65	地券(麻布霞町4番地市街宅地、2061坪7合7勺)	明治22年2月5日
252－5	65	地券(麻布霞町5番地市街宅地、1343坪8合7勺)	明治22年2月5日
252－6	65	地券(麻布霞町6番地第1号市街宅地、3203坪9合2勺)	明治22年2月5日
252－7	65	地券(麻布霞町6番地第2号市街宅地、1495坪7合2勺)	明治22年2月5日
252－8	65	地券(麻布霞町7番地市街宅地、1139坪2合4勺)	明治21年7月31日
252－9	65	地券(麻布霞町8番地市街宅地、1730坪2合)	明治21年7月31日
252－10	65	地券(麻布霞町9番地市街宅地、1993坪4合7勺)	明治21年7月31日
252－11	65	地券(麻布霞町10番地市街宅地、1663坪2合)	明治22年2月5日
252－12	65	地券(麻布霞町11番地第1号山林、2町2反8畝15歩)	明治21年7月31日
252－13	65	地券(麻布霞町11番地第2号市街宅地、155坪2合88勺)	明治21年7月31日
252－14	65	地券(麻布霞町12番地墓地、254坪)	明治21年7月31日
252－15	65	地券(麻布霞町13番地市街宅地、2501坪5合)	明治21年7月31日
252－16	65	地券(麻布霞町14番地市街宅地、2714坪7合5勺)	明治22年2月5日
252－17	65	地券(麻布霞町15番地市街宅地、4295坪4合8勺)	明治21年7月31日
252－18	65	地券(麻布霞町16番地市街宅地、401坪4合6勺)	明治21年7月31日
252－19	65	地券(麻布霞町17番地市街宅地、370坪8合8勺)	明治21年7月31日

作成→受取	形態	数量	備　考
野田町上花輪村大塚□三郎方、同賀世→東京麻布区飯倉弐丁目八番地ニテ安川繁成様方阿部正外様	封	1	
	状	2	2枚の内1枚は白紙
	状	1	

作成→受取	形態	数量	備　考
東京府㊞・主事東京府麻布区長太田卓之㊞→持主阿部正功	一括包・状	1・1	一括包紙上書「麻布区麻布霞町地券」
東京府㊞・主事東京府麻布区長太田卓之㊞→持主阿部正功	状	1	
東京府㊞・主事東京府麻布区長太田卓之㊞→持主阿部正功	状	1	
東京府㊞・主事東京府麻布区長太田卓之㊞→持主阿部正功	状	1	
東京府㊞・主事東京府麻布区長太田卓之㊞→持主阿部正功	状	1	
東京府㊞・主事東京府麻布区長太田卓之㊞→持主阿部正功	状	1	
東京府㊞・主事東京府麻布区長太田卓之㊞→持主阿部正功	状	1	
東京府㊞・主事東京府麻布区長太田卓之㊞→持主阿部正功	状	1	
東京府㊞・主事東京府麻布区長太田卓之㊞→持主阿部正功	状	1	
東京府㊞・主事東京府麻布区長太田卓之㊞→持主阿部正功	状	1	
東京府㊞・主事東京府麻布区長太田卓之㊞→持主阿部正功	状	1	
東京府㊞・主事東京府麻布区長太田卓之㊞→持主阿部正功	状	1	
東京府㊞・主事東京府麻布区長太田卓之㊞→持主阿部正功	状	1	
東京府㊞・主事東京府麻布区長太田卓之㊞→持主阿部正功	状	1	
東京府㊞・主事東京府麻布区長太田卓之㊞→持主阿部正功	状	1	
東京府㊞・主事東京府麻布区長太田卓之㊞→持主阿部正功	状	1	
東京府㊞・主事東京府麻布区長太田卓之㊞→持主阿部正功	状	1	
東京府㊞・主事東京府麻布区長太田卓之㊞→持主阿部正功	状	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
252－20	65	地券(麻布霞町18番地市街宅地、1421坪２合６勺)	明治22年２月５日
土地整備			
247	65	従明治十九年借地要記(麻布霞町道路開設・地借の件)	(明治19年５月～同21年10月)
251	65	地目変換届(麻布霞町邸所有地)	明治20年12月
250	65	地所誤謬訂正願(麻布霞町１番地第１号～18番地25筆の地所につき図面通り訂正願写)	明治20年12月28日
257－1	65	(麻布霞町所有地内民有道開設願書控)	明治25年３月31日
257－2	65	(地借人別地坪・地代金書上)	
257－3	65	(道路開設関係書類)	
257－4	65	(地所・地代金覚書)	
229－1	65	(東京府記録商達により調べた霞町邸地総坪数書上ほか)	(明治42年)
229－2	65	(道路地買上覚)	(明治28年10月～12月)
229－3	65	(屋敷敷地内絵図)	
296	66	(麻布霞町邸内堀井戸請負書)	(明治)34年８月
307－1	67	諸工事雑記(道路・井戸・下水につき調および修繕・改修)	(明治37年～同41年)
307－2	67	(道路使用・下水・井戸・砂利代金ほか書上)	(明治39年～同40年)
308	67	(青山墓地へ囲障設置許可書)	明治38年７月７日
309	67	記(青山公葬地より麻布材木町へ道路開設のための買上地価につき)	(明治38年)
392	69	阿部家所有地番地坪数調	明治41年７月写
508－①～⑤	79	(下水用石材見積り書類綴)	(明治41年)
508－①	79	記(滝ノ沢・花崗板石代金122円書上)	明治41年６月
508－②	79	御積書(下水管石材代30銭ほか書上)	明治41年４月
508－③	79	御下水用石材見積り書	明治41年３月23日
508－④	79	御請書(本口７寸３千本ほか石材を納める旨)	明治41年３月28日
508－⑤	79	御下水用石材積り書	明治41年３月23日
509－①～⑩	79	(領収書綴)	(明治41年)
509－①	79	請取書(川砂代金10円45銭受取)	明治41年10月14日

作成→受取	形態	数量	備　考
東京府㊞・主事東京府麻布区長太田卓之㊞→持主阿部正功	状	1	
	竪	1	下敷あり
	竪	1	
華族子爵阿部正功(書印)→東京府知事男爵高崎五六殿	竪	1	奥印「東京府麻布区長太田卓之印」／7～8丁に罫紙挟込
阿部正功→東京府知事富田鐵之助殿	竪	1	
	竪	1	末尾に「霞町地所沿革調」(下案)あり
	綴	1	
	状	1	鉛筆書
	竪	1	
	状	1	229－1の2～3丁挟込
	状	1	229－1の3～4丁挟込
麻布区霞町弐番地内野重次郎㊞→阿部家事務所会計御中	状	1	
	竪	1	
	状	1	307－1の1～2丁挟込
東京市赤坂区長近藤政利㊞→麻布区麻布霞町壱番地華族阿部正功	状	1	
	状	1	
地所差配所	竪	1	
	綴	1	
進藤長右衛門→阿部家御役所御中	状		
石工進藤長右衛門㊞(麻布霞町十八番地)→阿部家御役所様	状		
霞町石工進藤長右衛門㊞→阿部様御役所御中様	状		
進藤長右衛門㊞→阿部家御役所御中	状		
霞町石工進藤長右衛門㊞→阿部様御役所御中様	状		
	綴	1	
河田周次郎㊞ほか1名→阿部様御中	状		

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
509－②	79	記(川砂運送馬車11台分受取)	(８月28日～31日)
509－③	79	証(セメント代30円受取)	明治41年10月31日
509－④	79	記(差引金114円44銭受取)	明治41年11月12日
509－⑤	79	仮証(下水縁石据付手間代金内渡金60円受取)	11月14日
509－⑥	79	仮り記(品代金内金200円受取)	(明治)41年10月29日
509－⑦	79	証(花崗石中切板石代金19円87銭余受取)	明治41年11月30日
509－⑧	79	証(セメント代20円受取)	明治41年11月30日
509－⑨	79	領収書(下水下用川砂運送馬車代金１円10銭)	明治41年11月30日
509－⑩	79	記(川砂馬車１車分受取)	(５月25日)
510	79	明治四十一年借地ニ係ル土工費	(明治42年４月23日調)
512	79	四十二年下水工事費	(明治)42年
513－①～③	79	(見積書綴)	
513－①	79	御積り書(大谷石・下拵・据付・運送・石工手間賃書上)	
513－②	79	御積り書(大谷石代金・運送持込共42銭ほか書上)	明治43年５月30日
513－③	79	御積り書(大谷石代金・運送持込金69銭書上)	明治43年５月27日
515－1－①～⑤	80	(井戸工事関係書類綴)	(明治43年)
515－1－①	80	(書状、見積書延引につき詫)	(明治)43年７月17日
515－1－①－1	80	(明治41年10月11月の下水道工事に関わる証憑証受取の旨)	
515－1－②	80	見積書(井戸喞筒新規につき代金60円65銭にて)	(明治)43年７月17日
515－1－③	80	見積書(井戸用喞筒新規工事につき)	６月28日
515－1－④	80	(書状、見積書送付する旨)	(明治)43年５月21日
515－1－⑤	80	井戸用喞筒御新規見積書	(明治)43年５月21日
516－①～④	80	(井戸喞筒工事見積書綴)	
516－①	80	見積書(梅田様裏井戸喞筒工事請負金21円50銭書上)	明治43年７月18日
516－②	80	見積書(織田様ほか井戸喞筒工事請負金161円90銭書上)	明治43年７月10日
516－③	80	見積書(中里様ほか18か所井戸喞筒工事請負金322円70銭書上)	明治43年５月21日

作成→受取	形態	数量	備　考
芝赤羽根土(屋)孫(兵衛)㊞→阿部邸執事御中	横		
東京市深川区清住町壱番地浅野セメント合資会社㊞→阿部様御執事御中	状		
赤坂表弐丁目十六番地河原喜太郎㊞→阿部家御会計御中	状		
霞町十八番地石工進藤長右衛門㊞→阿部様御役所中様	状		
東京市赤坂区表弐丁目十六河原喜太郎㊞→阿部家御会計御中	状		
芝区新堀町四拾番地相馬米吉㊞→阿部家御役所中様	状		
東京市深川区清住町壱番地浅野セメント合資会社㊞→阿部様御執事御中	状		
芝区松本町四十七番地土屋孫兵衛㊞→阿部家執事御中	状		
芝赤羽根土(屋)孫(兵衛)㊞→阿部家執事御中	状		
	竪	1	
	竪	1	
	綴	1	
東京市麻布区霞町拾八番地進藤石工店㊞→阿部様御役所御中	状		
東京市麻布区霞町拾八番地進藤石工店㊞→阿部様御役所御中	状		
㊞(石工師麻布霞町進藤雲抱)→阿部様役所御中	状		
	綴・封	1・1	封筒上書「見積書、阿部家用所」、朱書「井戸其他修理御費用其他」
玉川清三㊞→阿部家御会計御中	状		
	状		515－1－①～⑤の1～2丁挟込
芝区芝車町十八玉川清三㊞→阿部家御会計御中	状		
玉川清三㊞→阿部家御会計御中	状		
玉川清三㊞→阿部家御会計御中	状		
芝区芝車町十八玉川清三㊞→阿部家御会計御中	竪		
	綴	1	
東京市四谷区伝馬町三丁目廿八番地石川粂吉→阿部様御中	状		
四谷区伝馬町三丁目廿八番地石川粂吉㊞→阿部様御中	竪		
東京市四谷区伝馬町三丁目廿八番地石川粂吉㊞→阿部様御中	竪		

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
516－④	80	見積書(井戸上ブタ板金80銭書上)	明治43年5月21日
358	69	牛車止メ制札建設願(下書)	年月日
359	69	地元下水自費修繕願(下書)	
360－1	69	改良水道鉄管敷設請願(写)	
360－2	69	(立木・長屋・女中に関する件覚書)	
360－3	69	(家屋平面図)	
363	69	(東京電気鉄道敷地覚書)	
388	69	記(新門通りほか道路長さ・幅・坪数書上)	
389－1	69	(道路坪数書上)	
389－2	69	(借地内破損・取替願場所書上)	
389－3	69	(借地間数・坪数書上)	
390	69	(所有地坪数改書上表)	
図面			
380－1	69	(貸地番地坪数・地代書上および図面)	(明治25年)
380－2	69	(貸地136坪余図面)	
396	C	(番地組換図)	
397	C	(番地組換図)	
398	69	(麻布霞町所有地内個別宅地図)	
399	69	(麻布霞町坪数書上および宅地・間取図)	
400	70	(麻布霞町など宅地図および間取図綴)	
401	C	(借地略図)	
402	70	(麻布霞町所有地内個別宅地図)	
403	70	(長屋など間取図)	
404	C	(霞町青山墓地道図)	
405	70	(家屋間取図)	
406	C	麻布区霞町阿部家地図	

作成→受取	形態	数量	備　　考
四谷伝馬町三丁目廿八番地石川粂吉㊞→阿部様御中	状		
本郷区駒込西片町拾番地伯爵何之誰、右代理何之誰印→本郷警察署御中	状	1	
麻布区麻布霞町壱番地三号廿三番地差配人森順三郎→区長宛殿	竪	1	
牛込矢来町一番地伯爵酒井忠通	状	1	
	状	1	
	状	1	
	状	1	
	竪	1	
	竪	1	
	状	1	389－1の1～2丁挟込
	状	1	389－1の1～2丁挟込
	竪	1	
本村町百九十六番地浜川	竪	1	
	状	1	380－1の5～6丁挟込
地主麻布区麻布霞町壱番地阿部正功	鋪	1	彩色／付箋あり／77.0×109.4
	鋪	1	彩色／付箋あり／78.7×107.6
	綴	1	
	綴	1	
	綴	1	
	鋪	1	彩色／54.3×52.2
	綴	1	
	綴	1	
	鋪	1	彩色／73.1×75.7
	状	1	
	鋪	1	明治39年5月・12月・40年1月砂利敷込の記載あり／73.1×75.7

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
407	70	(明治11年7月11日地租改正帳へ調印の麻布霞町宅地区分書上)	
408－1	70	(霞町通宅地図)	
408－2	70	(敷地割図)	
408－3	70	(宅地図)	
408－4	70	(2・3番地宅地図)	
408－5	70	(2・3番地宅地図)	
408－6	70	(6・7・8番地など宅地図)	
408－7	70	(敷地割図)	
409－1	C	(宅地割図)	
409－2	C	(宅地割図)	
409－3	C	(宅地割図)	
409－4	C	(宅地割図)	
409－5	C	(宅地割図)	
409－6	C	(宅地割図)	
409－7	C	(宅地割図)	
410－1	C	麻布区霞町道路新設之図	
410－2	C	(麻布霞町道路新設図)	
411	C	(霞町22番地宅地図)	
415－1	70	(燈籠惣目録写)	
415－2	70	(燈籠図写)	
1686	C	麻布区役所脩写霞町図面(麻布霞町1～18番地)	
1687	C	霞町全図、麻布区役所脩写(麻布区霞町1～20番地)	
1776	168	(封筒)	
1782	168	(「霞町絵図類」)	
1790	C	(麻布霞町絵図)	

作成→受取	形態	数量	備　考
	状	1	
	状	1	
	状	1	
	状	1	
	状	1	朱書・付箋あり
	状	1	
	状	1	
	綴	1	
	鋪	1	彩色／「第一表」とあり／28.1×38.6
	鋪	1	彩色(3色)／「第一表附図」とあり／28.1×38.6
	鋪	1	彩色(3色)／28.1×38.6
	鋪	1	彩色(6色)／27.9×40.0
	鋪	1	彩色(9色)／28.1×38.5
	鋪	1	彩色(6色)／27.9×38.3
	鋪	1	彩色(5色)／「第六表附図」とあり／28.1×38.6
	鋪	1	彩色／「阿部用所」印あり／54.0×75.7
	鋪	1	彩色／27.2×106.1
	状	1	27.3×39.0
鈴木源右衛門(書印)・霞町十八ノ石工進藤長右衛門(書印)	竪	1	
鈴木源右衛門(書印)・霞町十八ノ石工進藤長右衛門(書印)	竪	1	
	鋪	1	94.7×100.2
	鋪	1	彩色／52.4×55.7
東京府麻布区役所	封	1	上書「霞町渡辺家図面下書」
	状	1	上部が結び目になっているこより札状のもの
	鋪	1	彩色／182.5×222.0

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
賃貸料ほか			
277－1	66	明治廿九年七月ヨリ改正地代并ニ坪数記	明治29年７月
277－2	66	(塚本借地略図)	
278	66	阿部家所有霞町貸地々賃貸料類別表(下書)	(明治29年)
383	69	(借家につき届書ほか)	(明治30年)
287	66	(霞町火災防禦規約案文)	(明治31年)
292	66	(地所賃借契約書および追加)	(明治33年４月１日・同36年１月21日)
295	66	地所変更願(麻布霞町６番地船坂喜太郎借地14坪大池サトへ分割につき)	明治34年８月18日
320	67	(地代延滞者調)	(明治43年～同44年)
375－1	69	(貸地番地坪数・借地人書上)	
375－2	69	(貸地番地坪数・家屋借地人書上)	
376	69	(貸地坪数・地代・借地人書上表)	
377	69	(借地人別借地番地坪数・地代・宅地図面書上)	
378	69	(借地人書上)	
379	69	(貸地坪当り代金書上表)	
381	69	地代家賃一覧表	
382	69	記(貸家賃料値上覚)	
384－1－1	69	旧額割増下調書抜(地代)	
384－1－2	69	記(17番地坪数・地代覚)	
384－2	69	(貸地番地坪数・地代・借地人など書上)	
385	69	(貸地坪数・地代借地人書上)	
386	69	(山岡隆貞ほか12名宅地坪数・地代書上)	
387	69	(貸地地形図・坪数・地代など書上)	
391	69	(麻布区麻布霞町所有地坪数・地価・地租書上)	
393	69	記(小寺借地の内貸家敷覚ならびに図)	

作成→受取	形態	数量	備　　考
阿部家用所	竪	1	
	状	1	277－1の1～2丁挟込
	竪	1	朱書「廿九年度御所得ニ関シ所得税下調掛リニテ番地毎ニ貸地代壱坪ニ付何程ト云事取調可差出旨通達ニ付番地毎ノ地代平均ヲ以左之通幸橋収税署へ差出ス下書也」
	綴	1	
	竪	1	
東京市麻布区麻布霞町壱番地貸主阿部正功㊞(抹消)・東京市麻布霞町借主A.C.Shaw・Mrs.A.C.Shaw	竪	1	
麻布区霞町六番地船坂喜太郎㊞ほか1名→阿部家御差配中	竪	1	図面付
	綴	1	
	横	1	
	横	1	
	竪	1	
	竪・袋	1・1	袋上書「必要図面類入」・袋下げ札「霞町図面貸地分、参考物」
	横	1	
	竪	1	
阿部家々扶	竪	1	1～2丁に罫紙1枚挟込
	状	1	
	竪	1	
	状	1	384－1－1の3～4丁挟込
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	横	1	
	竪	1	
	綴	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
394	69	(貸地坪数・地代・借地人書上表)	
395	69	(阿部家屋敷位置・坪数など書上控)	

D－4－7　事業投資－米市場－

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
740	109	(桜井洪造貸し金一件につき記録)	(明治7年10月～12月)
667	108	(桜井洪造への貸金催促訴訟留書)	(明治7年11月～同9年2月)
668－1	108	(桜井洪造への貸金・手数料・利子ほか書上)	(明治7年11月～同9年3月)
668－2	108	(桜井洪造への貸金・手数料・利子ほか書上)	(明治7年11月～同9年3月)
669－①～⑧	108	(桜井洪造借用金一件証文貼継)	(明治7年11月～同10年10月)
669－①	108	借用仕金子之事(鉄砲洲家屋敷・洲崎村地所を引当として金2000円)	明治7年12月21日
669－②	108	添証文之事(金2000円借用につき)	明治7年12月25日
669－③	108	証(鉄砲洲家屋敷・洲崎村地所を引当として金2000円借用につき戸長証印書類差し出すべき旨)	明治7年11月20日
669－④	108	借用仕金子之事(金100円)	明治7年12月21日
669－⑤	108	添証文之事(金100円借用につき)	明治7年12月25日
669－⑥	108	借用仕金子之事(金1500円)	明治8年1月24日
669－⑦	108	定約書(昨11月中借用金返済猶予願)	明治8年5月20日
669－⑧	108	定約書(当1月中借用金返済猶予願)	明治8年5月20日
666	108	証(鉄砲洲家屋敷・洲崎村地所を引当として金2000円借用金証文および添証文写)	明治7年12月25日
670	108	借用金証(金1500円借用証文雛型)	明治8年1月24日

作成→受取	形態	数量	備　考
	竪	1	
	状	1	明治12年5月14日東京府記録係より取調を命じられ、8月1日提出の控

作成→受取	形態	数量	備　考
	状	2	
	状	3	
	竪	1	
	状	1	
	貼継状・包	1・1	紐あり／包紙に「九月十日、田町八丁目三、阿部様御家扶御中、畳丁十番地太田廣誠」とあり
東京鉄砲州本湊町六番地桜井洪造㊞ほか1名→松野文左衛門殿	状		紙背に明治10年10月17日付の大阪裁判所判決文あり
島根県管下神門郡奥田儀村壱番地農・東京府下第一大区拾小区本湊町六番地寄留桜井洪造㊞→松野文左衛門殿・加藤次徳殿	状		
本湊町六番地桜井洪造㊞→松野文左衛門殿	状		
島根県下出雲国神門郡奥田儀村壱番地農・本湊町六番地寄留桜井洪造㊞→松野文左衛門殿	状		
島根県管下神門郡奥田儀村壱番地農・東京府下第一大区十小区本湊町六番地寄留桜井洪造㊞→松野文左衛門殿・加藤次徳殿	状		
島根県下出雲国神門郡奥田儀村壱番地農・本湊町六番地寄留桜井洪造㊞→松野文左衛門殿	状		
島根県下神門郡奥田儀村農・東府下第一大区拾五小区本八丁堀八丁目五番地寄留桜井洪造㊞ほか1名→松野文左衛門殿・加藤次徳殿	状		
島根県下神門郡奥田儀村農・東京府下第一大区拾五小区本八丁堀弐丁目五番地桜井洪造㊞ほか2名→松野文左衛門殿・加藤次徳殿	状		
島根県管下神門郡奥田儀村壱番地農・東京府下第一大区拾小区本湊町六番地桜井洪造→松埜文左衛門殿・加藤次徳殿	状	1	
借主戊某印・請人──印→丁某殿	状	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
671	108	約書(高松能重よりの阿部正外借用金1500円返金する旨)	明治8年2月27日
672	108	証(金1500円借用証文雛形)	明治8年2月27日
673	108	約定証(金拵大小二ツ腰抵当にて借用の1500円の返金方法につき)	明治8年3月1日
676	108	(阿部正外借金につき公訴一件覚書)	(明治8年8月19日～同9年7月4日)
730	108	(米社設立に失敗したため高松保郎を退け牧野忠恭へ全権委任の旨約書控)	(明治8年10月6日)
731	108	(阿部正外・正功より牧野家への負債償い困難の旨書付)	(明治8年10月21日～同9年2月8日)
686	108	明治九年三月三十一日立換金催促ノ訴状(写留)	(明治8年11月24日～同9年4月7日)
674－1	108	別紙約定証券(借用金引当として地券預け置くにつき控)	明治8年12月29日
674－2	108	記(明治8年12月29日金1500円貸付関係書類目録)	
675	108	約証(東京小網町米市場取立共同出資のところ負債償却方担当依頼控)	明治8年12月
677	108	預り金之証(金100円)	明治9年1月14日
680－1	108	約証(西沢久右衛門より金1000円借用に際し弁償の要なしを約す旨)　＊680－1～5	明治9年2月11日
680－2	108	譲り証(阿部正外借金滞金2200円受取につき債権譲渡につき)	明治9年3月30日
680－3	108	入置証(阿部正外立替金返金につき正功へ関係なき旨)	明治9年4月24日
680－4	108	(証文前欠)	明治8年11月24日
680－5	108	(証文前欠)	明治8年12月15日
682	108	蛎殻丁事件(西沢久右衛門よりの貸金催促訴訟一件留)	(明治9年2月20日)
683	108	約書(高松能重よりの阿部正外借用金1500円返金につき写)	明治9年2月27日
684－1	108	約書(借用金1500円返金する旨証文雛形)	明治9年2月27日
684－2	108	(借用金証文雛形)	
685	108	明治九年三月湯島西沢久左㈦衛門ヨリ正外様へ係ル貸金一件ニ付従五位様御容体書(阿部正功診断書写)	明治9年3月18日
687	108	明治九年三月下旬より入用荒増之簿(裁判関係入費)	(明治9年3月28日～9月1日)
688	108	借用証書(金1100円借金証文写)	明治9年4月12日
689	108	添証之約定(金額150円と改正するまで金130円借用証書差出につき写)	明治9年4月12日
690	108	(西沢久右衛門より阿部正外金子1000円借用の件につき)	明治9年4月22日

作成→受取	形態	数量	備　考
戸田忠至ほか4名→阿部正外殿	状	1	
借主乙某印・請人丙某印→甲某殿	状	1	
桜井鉄㈜造㊞ほか3名→加藤次徳殿	状	1	
	竪	1	
	状	1	
	状	1	
東京府下第四大区七小区本郷真砂町五番地原告代言人曽根大太郎	竪	1	
阿部正外(書印)ほか1名→三宅松雄殿	状	1	
	状	1	
約主阿部正外印ほか1名→牧野忠恭殿	状	1	
預主阿部正外㊞ほか1名→牧文吉殿	状・包	1・1	包紙上書「貸金証証、華族阿部正外殿」／貼紙1枚はがれ
第八大区壱小区麻布霞町壱番地華族阿部正功代阿部正外㊞(消印)→牧野忠恭殿	一括包・状	1・1	一括包紙上書「明乳㈜九年四月廿三日牧野忠恭ヨリ請取候、松埜文左衛門」
第四大区五小区湯島梅園町五番地西沢久右衛門(印切)→牧野忠恭殿	状	1	
牧野忠恭代理曽根大太郎㊞→鈴木正雄殿	状	1	
第八大区壱小区麻布霞町壱番地借主阿部正外㊞(消印)ほか1名→西沢久右衛門殿	状	1	
第八大区壱小区麻布霞町壱番地阿部正外㊞(消印)ほか1名→西沢久右衛門殿	状	1	
(原告人西沢久右衛門ほか3名→東京裁判所長松岡六等判事殿)	竪	1	
桜井洪造(書印)ほか4名→阿部正外殿	状	1	671の写
丙某印ほか3名印→乙某殿	状	1	
乙某印→丙某印	状	1	
東京府士族医師瀧澤直行(書印)	竪	1	
山名・鈴木	横	1	
第九大区壱小区関口台町四十番地阿部正外印→牧野忠恭殿代理曽根大太郎殿	状	1	
浅草吉野町三十八番地鈴木正雄(書印)→牧野忠恭殿代理曽根大太郎殿	状	1	
牧埜忠恭(書印)	状	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
681	108	入置証(阿部正外立替金返金につき正功へ関係なき旨写)	明治9年4月24日
691	108	入置仮証(金1121円60銭返済猶予願)	明治9年4月24日
692	108	(立換金催促訴訟につき対決後済状)	明治9年4月24日
693－1	108	借用金ノ証(金130円)　＊693－1～3	明治9年4月24日
693－2	108	借用金ノ証(金130円)	明治9年4月24日
693－3	108	入置仮証(金1121円60銭返済猶予願)	明治9年4月24日
694	108	(明治9年4月25日済口訴訟用罫紙料金5厘上納書)	明治9年5月11日
695	108	入置証(借用金残金352円を受人加藤次徳より受取るようにとの旨)	明治9年6月28日
696	108	(阿部正外ら小網町米市場取立て失敗につき負債一件留)	(明治9年～同10年)
736	109	(西沢久右衛門より阿部正外貸し金一件につき正功申上)	(明治9年)
697	108	(書状、高松より借入金などにつき大阪裁判の件)	(明治)10年1月17日
698	108	遅参御届(埼玉県原口真之助預け金取戻の件勧解当日腹痛につき)	明治10年1月23日
699－1	108	委任状之事(病気につき原口真之助預け金取戻の件につき家扶恒屋盛庸を代理とする旨)	明治10年1月25日
699－2	108	(原口真之助預け金取戻一件に関わる恒屋盛庸遅参始末書・阿部正功から恒屋盛庸への委任状写)	(明治10年1月25日)
700	108	(阿部正外の戸田家に関する負債につき申上書写)	明治10年1月
702	108	(書状、阿部正外負債の件につき民籍に入り商法上の負債なれば正功とは関係なき旨)	[明治10年] 2月17日
701	108	(書状、戸田家に関する負債の件につき)	[明治10年] 2月25日
719	108	(書状、高松代理藤沼より預高・配当金高につき)	[明治10年] 3月1日
703	108	(葉書、預りの書付を品川先生へ届ける旨)	[明治10年] 3月2日
720	108	(書状、御後見様へ相談につき明朝まで返答なければ出先へ案内してもらいたい旨)	(明治10年カ) 3月2日
721	108	(書状、明朝までに成否の答えを頼む旨)	(明治10年カ) 3月3日
722	108	(書状、桜井洪造借金一件につき品川先生よりの返答および金30円預かりの旨)	(明治10年) 3月3日
723	108	(書状下書、阿部正外負債の内藤沼方への配当出金につき猶予願)	(明治10年カ) 3月4日

作成→受取	形態	数量	備　考
牧野忠恭代理曽根大太郎(書印)→鈴木正雄殿	状	1	
阿部正外(爪印)ほか1名→牧野忠恭殿代理曽根大太郎殿	状	1	
第一大区三小区有楽町三丁目弐番地原告代言人曽根大太郎印ほか1名→東京裁㈜所長松岡六等判事殿	状	1	
阿部正外(爪印)→牧野忠恭殿代理曽根大太郎殿	一括包・状	1・1	一括包紙上書「九年四月廿九日品川町ニテ松林方ゟ預り、牧野侯一件証書入」
阿部正外→牧野忠恭殿代理曽根大太郎殿	状	1	
阿部正外(爪印)ほか1名→牧野忠恭殿代理曽根大太郎殿	状	1	
第八大区壱小区麻布霞丁一番地阿部正功煩ニ付同区同所同地谷山万吉㊞→東京裁判所長松岡六等判事殿	状	1	
第九大区壱小区関口台町四十番地阿部正外代理鈴木正雄→海賀直常殿	状	1	
	竪	1	
阿部正功幼年殊入塾中・松野文左衛門	竪	1	
(松野)文左衛門拝㊞→盛庸様	状	1	
第八大区一小区麻布霞町壱番地阿部正功家扶被告人代恒屋盛庸→東京田町区裁判所二級判事補行徳元穆殿	状	1	
第八大区一小区麻布霞町一番地華族阿部正功㊞	状	1	
(第八大区一小区麻布霞町一番地華族阿部正功ほか)	状	1	
第五部華族従五位阿部正静(書印)ほか1名→第五部長山内豊誠殿	状	1	
[中ノ郷八軒町拾壱番地]八軒丁様[阿部正恒]御家扶→霞町[壱番地阿部正功]様御家扶中様	状・封	1・1	
[品川丁阿部]→[麻布霞町壱番地阿部正功殿邸内恒屋様]	状・封	1・1	
[自浅草山谷吉の町三十番地]鈴木[正雄]より→[麻布霞町壱番地華族阿部邸内]恒や[盛庸]様	状・封	1・1	
日本橋釘店岡田店松林重弘→麻布霞丁阿部正功様御家扶様	状	1	
戸田家扶→阿部様御家扶中様	状	1	
戸田代理太田道精→阿部様御家扶中様	状	1	
松林→恒屋君	状・包	1・1	
阿部家扶→戸田様御家扶中様	状	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
724	108	(書状、かねて談判の一件につき明日未明までに大至急返答を乞う旨)	(明治10年カ) 3月4日
704	108	(書状、借金抵当地所建家有無伺いにつき)	(明治)10年3月5日
705	108	(書状、藤沼方金件につき相談の上出金決まるにより安心の旨)	[明治10年] 3月5日
725	108	(書状、明治8～同9年松野・加藤の大坂行の日程につき)	(明治10年カ) 3月5日
706	108	(書状、桜井洪造事件につき)	[明治10年] 3月6日
707	108	(阿部正外借金につき戸田家保証の借用証書戸田家へ渡す旨書付案文)	明治10年3月7日
708	108	(書状、桜井へ関係の金件1100円余受取方につき伺い)	[明治10年] 3月26日
709	108	(書状、預りの証書八通送付につき)	[明治10年]11月18日
710	108	(阿部家年間収支書上)	(明治10年カ)
711	108	記(蛎殻町の分ほか借金皆済予定)	(明治10年～同11年3月)
712	108	(倉持市郎右衛門ら所有地券を抵当に借用した金を小網町正米売買仲間へ連借の件につき判決書)	明治11年6月29日
713－1	108	(倉持市郎右衛門ら所有地券を抵当に借用した金を小網町正米売買仲間へ連借の件につき判決書写)	明治11年6月29日
713－2	108	(阿部正外の儀弘前裁判所にて判決済みにつき通知)	(明治)11年7月3日
714－1	108	株金取戻ノ訴(米穀相場会社設立官許下りず瓦解につき出資株券金1500円取り戻し訴訟写)	明治11年10月25日
714－2	108	米穀問屋株券之儀ニ付吉井清秀代飯高宗三郎より申出候付御尋之次第左ニ申上候(写)	明治11年10月4日
714－3	108	(阿部正外呼出の上金子取受の儀断りの旨書付)	
715	108	原告吉井清秀ヨリ牧野忠篤江掛ル株券金取戻一件、明治十一年ヨリ同十二年三月落着、御掛り関判事殿判決状写	(明治12年3月28日)
716	108	請取証(明治10年部長局へ申立の金140円)	明治12年3月31日
678	108	譲渡証(阿部正外への貸金100円証譲渡につき)	明治18年9月23日
679	108	証(牧文吉借用証書引き替えとして金15円受取)	明治18年9月23日
717	108	(書状、証文廻送の件につき)	1月18日

作成→受取	形態	数量	備　考
[本所竪川通仮屋橋脇] 戸田家扶→[麻布霞丁壱番地] 阿部 [正功] 様御家扶中様	状・封	1・1	
大西昇兵衛拝→松埜様・加藤様参人中	状	1	
[本所竪川通仮屋橋脇] 戸田 [忠至] 家扶→[麻布霞町壱番地] 阿部 [正功] 様御家扶中様	状・封	1・1	
加藤→恒屋様	状	1	
[従浪速新町南通二丁目大西] 昇兵衛拝→[東京麻布霞町壱番地] 松野 [文左衛門] 大人・加藤大人	状・封	1・1	
御名・御後見御名→五部長山内豊誠殿	状	1	
[本所竪川通仮屋橋脇戸田忠至内長山正智] →[麻布霞町一番地阿部正功様御邸恒屋盛庸様]	状・封	1・1	
[従浪速新町南通二丁目] 大西昇兵衛拝→[東京麻布霞町壱番地] 松埜文左衛門様・加藤次徳様貴下	一括封・状・包	1・1・1	一括封筒上書「十年第十一月十九日発、書留証書八通在中、従浪速新町南通弐丁目七番地大西昇兵衛出→東京麻布霞町壱番地松埜文左衛門殿行」
	竪	1	
	状	1	
弘前裁判所秋田支庁㊞→東京府下第十大区三小区浅草吉野町三十八番地鈴木正雄方同居平民阿部正外	竪	1	
弘前裁判所秋田支庁→東京府下第十大区三小区浅草吉野丁三十八番地鈴木正雄方同居平民阿部正外	状	2	
小林茂二郎→松林様	状	1	
第壱大区六小区捨物町三番地寄留鹿児島県下鹿児島郡第一大区五小区西村百五十三番地居住吉井清秀→東京裁判長判事池田弥一殿	竪	1	末尾朱書「此御書面十一月一日御差出之由」
椰野嘉平・太田卜弥	竪	1	奥書「第六大区七小区本所緑町弐丁目十弐番地従五位牧野真寧印」
	状	1	
(東京裁判所)	竪	1	表紙に「本書ハ牧埜家ニ蔵」とあり
戸田忠至㊞→阿部正功殿	状	1	
蛎殻町三百十一番地牧文吉→鈴木正雄殿	状	1	
鈴木正雄㊞→阿部正外殿代理森順三郎殿	状	1	
加藤拝→恒屋様上置	状	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
718	108	(書状、金子請取年月・大阪への書状廻しの件などにつき)	2月28日
726	108	(廻章、桜井洪造への貸付金の件につき相談)	3月8日
1711	164	(蠣殻町米商会所仲買人91名よりの捐助金書上)	3月11日
727	108	(書状、桜井元手代と鉄炮洲本湊町などの土地につき談判の件)	3月16日
728	108	(書状、鉄炮洲本湊町屋敷など取り調べにつき)	3月18日
729	108	(書状、別紙一通り拝見につき)	3月25日
732	108	(阿部正外負債一件につき返済方法親族相談書留)	(12月16日)
733	108	(書状、阿部正外貸金の内へ桜井洪造よりの入金高問いあわせ)	23日
734	108	(阿部家家計成り立ちのため正外負債につき弁償方法親族協議の件)	
735－1	109	(桜井洪造貸金裁判につき抵当の鉄砲洲の家作など取り調べの旨)	
735－2	109	(桜井洪造貸金裁判にて差紙到来につき出頭のところ抵当地所建家につき)	
737	109	(書状、阿部正外負債一件弁償につき取り調べの件)	
738	109	(家計窮乏につき阿部正功より正外負債弁償しかねる旨)	
739－1	109	(阿部正外負債に関する金銭賃貸関係図)	
739－2	109	(金銭賃貸関係図雛型)	
741	109	(元金書出覚)	
742	109	(阿部家仏事執行に関する借用金につき問答書)	
743	109	(家計窮乏につき阿部正功より正外負債弁償しかねる旨)	
744	166	(岩倉公邸中負債調べ呼び出しにつき覚書)	
745	109	(書状、出訴年月問い合せ)	
746	109	(金2160円負債返済計画表)	
747	109	(金2010円負債返済計画書)	
1763	168	(袋)	
1764	168	(「分籍阿部正外儀戸田忠至保証人ニテ高松純長ヨリ」)	

作成→受取	形態	数量	備　　考
加藤拝→恒屋様	状	1	表書に「別紙二葉[]」とあり
阿部正功様家扶恒屋盛庸→大村様御家扶中様・丸山阿部様御家扶中様・八軒町阿部様御家扶中様	状	1	
	状	2	
加藤拝→恒屋様	状	1	
加藤拝→恒屋様	状	1	
(加藤)	状	1	
	竪	1	
恒や拝→加藤様	状	1	
(阿部正静)	状	2	
	状	1	
	状	1	
	状	1	
	状	2	「円山阿部」名入罫紙
	状	1	
	状	1	
	状	1	
	竪	1	
	状	2	
	状	1	
恒屋拝→加藤様	状	1	
	状	1	
	竪	1	
	袋	1	袋上書「正外様御負債一件、牧埜・戸田・松井関係書類」とあり
	状	1	

D－4－8　棚倉

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
東京移転			
223	64	明治十丑年御道具帳(牧村控)	明治10年
245－1	65	鬼子母神来由(加藤清正伝来霊像麻布邸へ安置来歴)　＊245－1～7	明治18年
245－2	65	鬼子母神来由	明治18年９月
245－3	65	鬼子母神由来	
245－4	65	(西白河郡西郷村大字小田倉の観音堂を麻布屋敷へ移転につき願書類綴)	(明治25年～同35年)
245－5	65	仏堂移転願	(明治25年)
245－6	65	(小田倉村観音堂由緒・建立ほか書上写)	
245－7	65	(白河町金谷町宗妙閑寺安置の念披権現仏像の麻布邸移転の件につき書付)	
313－1	67	(牧村家扶より引継書類目録)　＊313－1～7	(明治41年カ)
313－2	67	(明治４１年時阿部家歴代没後年数早見表)	
313－3	67	(書状控、本門寺位牌類焼につき石塔法号問合)	(明治)39年７月27日
313－4	67	記(常松次郎太郎へ月渡金の件)	(明治)41年６月
313－5	67	(西白河郡関平村所有地田反別・地価金・小作金など覚書)	
313－6	67	(家督相続・遺産相続課税価格表)	
313－7	67	(正月元日および正月15日具足開の折の三方配膳覚書)	
旧藩士復族			
1059	129	明治四年阿部家卒之者帰農被申付候人名	明治４年
1062－1	166	御旧藩士由緒書有無姓名簿	明治22年８月
1062－2	166	(名前書上)	
258	65	記(亡父鈴木伝五右衛門所持の旧藩押収金品返戻願書)	明治25年３月
282	66	明治三十年五月復族願書写(旧棚倉藩卒族70名士族編入願書類留)	明治30年５月
1061	129	旧藩士社川村居住者子弟(履歴書上)	
1065	129	(旧家臣居住地・収入書上)	

作成→受取	形態	数量	備　考
棚倉御家内	竪	1	表紙貼紙「明治四十四年八月牧村俣平棚倉表ゟ東京へ移住ノ節引継書類五冊ノ内五」
恒屋盛庸謹識	一括袋・状	1・1	一括袋上書「鬼子母神一件書類、阿部家々扶」
	竪	1	
	状	1	
	綴・包	1・1	包紙上書「明治廿五年中観音堂移転願書類」
	状	1	
白河町時宗小峯寺住職佐川善祐ほか4名→福島県令山吉盛典殿	竪	1	
	竪	1	
	一括袋・横	1・1	一括袋上書「明治四十一年八月牧邨家扶ヨリ引継書類入」
	横	1	貼紙「寛永五年八月四日、一、光厳院殿正澄様四十二年迄二百八十二年」
→岩瀬郡広戸村大字矢田野甲斐杢之丞	状	1	
	状	1	
	状	1	
	竪	1	
	竪	1	
	横	1	
	横	1	
	状	1	1062－1の14～15丁挟込
磐城国西白河郡金山村亡鈴木伝五右衛門長男鈴木正司郎㊞→阿部正功様家扶恒屋盛庸殿	竪	1	
	竪・包	1・1	包紙上書「復族出願書写」
	横	1	
	横	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
興業・奨学			
215	63	アトルフ・レー氏陸前国細倉鉱山点検意見之報知訳本	1874(明治7年)7月1日
216－1	63	(陸前国細倉鉱山開坑関係書類留)	(明治6年12月～同7年9月)
216－2	63	(借区開坑願・仮坑区券写)	(明治6年12月)
216－3	63	(陸前国細倉鉱山開坑願書)	明治7年9月
330	69	自大正三年六月十八日至大正三年十一月卅日第一期事業及決算報告書	大正3年12月20日
217	63	勘定書(鉱山関係稼方一日分大概調)	
218	C	陸前国栗原郡鶯沢村細倉鉱山略図	
1066	129	(磐城国東白川郡・西白川郡出身者奨学会規則・貸費生規則下書)	
1067－1	129	会則(旧藩士子弟奨学会)	
1067－2	129	(旧棚倉藩士子弟奨学会規則)	
1068	129	(棚白郷友会々員名書上・救育会会則)	
1069	129	学生試験規則	
1704	164	開墾予算	
戊辰戦争の死者招魂			
1703－1	164	(和歌、めくり来て・・・)　＊1703－1～9	(明治13年6月5日)
1703－2	164	(和歌、五月雨の・・・)	(明治13年)
1703－3	164	(和歌、これまての・・・)	(明治13年)
1703－4	164	(和歌、何ことも・・・)	(明治13年)
1703－5	164	(和歌、幾たひも・・・)	(明治13年)
1703－6	164	(和歌、諸人も・・・)	(明治13年)
1703－7	164	(和歌、古の民に・・・)	(明治13年)
1703－8	164	戊辰戦死のもの御回向に依て(牧田重道ほかの2名句書上)	
1703－9	164	(和歌、はからすも・・・)	
242	65	建碑寄附人名簿(阿部家旧臣戦死者の碑建立につき)	(明治17年)
254－①～②	65	(御請書綴)	

作成→受取	形態	数量	備　考
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
発起人清水和兵衛ほか2名	竪	1	
福島県西白河郡白河町字中町参拾番地白棚鉄道株式会社	竪(印刷)	1	
	竪	1	
	鋪	1	彩色／55.5×68.8
	竪	1	
	状	1	
	状	1	
	状	1	
	状	1	
	竪	1	
昌悠	一括包・状	1・1	一括包紙上書「上、蜂腰」／短冊上部に「明治十三年旧六月五日戦死のものを御供養有ければ」とあり
長順	状	1	短冊上部に「戊辰戦死の者十三回忌御回向の有かたきを」とあり
重道	状	1	短冊上部に「戊辰戦死のもの十三回忌の御回向の有かたきに」とあり
莞尓	状	1	裏に「よわひ六十一」とあり
雅水	状	1	
莞尓	状	1	
雅水	状	1	
	状	1	
	状	1	
発起人平田雨郭ほか4名、補助5名、出納掛3名	横	1	
	綴	1	綴紐切れ

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
254－①	65	御受書(戊辰戦争戦死者弔魂碑追刻承諾通達につき)	明治23年6月11日
254－②	65	御受書(戊辰戦争戦死者弔魂碑追刻承諾通達につき)	明治23年6月11日
255－①～②	65	(戊辰戦争戦死者供養につき諸経費書上綴)	
255－①	65	記(碑石追刻石工料など経費書上)	
255－②	65	(棚倉蓮花寺の戦死者供養につき代理資満様下向諸費用書上)	(明治)23年7月30日
294－1	66	戊辰之役戦死者三十三年忌相当ニ付棚倉於蓮家寺為御供養御下向ニ付諸御入費積書　＊294－1～7	(明治)33年5月
294－2	66	被下相成候御品書	(明治)33年6月14日
294－3	66	献上御品書目六	(明治)33年6月14日
294－4	66	記(棚倉より関田まで旅中諸入費書上ほか)	明治33年6月
294－5	66	明治三十三年六月四日棚倉御着、戊辰之役戦死者三十三忌ニ付為御供養棚倉表江御下向ニ付御滞在中諸御入費調	明治33年6月
294－6	66	戦死者三十三回御法事記事	(明治33年6月)
294－7	66	(戊辰戦争戦死者七・十三・二十三年忌ほか供養記録)	(明治33年6月)
303	66	(書状、戊辰戦争事件筆記の校訂願書)	明治36年8月23日認
304	66	吉羽賢三郎討死之部へ加名ノ儀請願	明治36年11月
305	66	(書状、戊辰戦争討死者の内へ吉羽賢三郎加名請願書差上につき)	明治36年11月
362	69	白河鎮英魂保存会定款	
鎮護神社			
319－1	67	鎮護神社御移転并拝殿新築発起人(石沢寛助ほか53名)　＊319－1～3	
319－2－①～②	67	(鎮護神社移転寄付金関係書類)	(明治43年6月)
319－2－①	67	回章(鎮護神社棚倉旧城内へ移転寄付金者金額記入書差上)	明治43年6月18日
319－2－②	67	(書状、鎮護神社移転につき寄付金願)	(明治43年)6月10日
319－3	67	通常為替金受領証書(棚倉へ送金21円31銭)	(明治43年7月4日)
317	67	(書状下書、鎮護神社旧城趾へ遷座につき寄付了承の件)	(明治43年)7月4日

作成→受取	形態	数量	備　考
彦之助亡長男常盤彦四郎㊞→元御重役平田文左衛門殿・阿部正功殿御家扶恒屋盛庸殿	状		
福島県西白河郡西郷村大字小田倉村字小田倉原開墾本橋信盛㊞→平田文左衛門殿・恒屋盛庸殿	状		
	綴	1	
	状		
	横		
	一括袋・竪	1・1	一括袋上書「戊辰殉難者ニ関スル書類、阿部家用所」
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	表紙朱書「浄写済」
	竪	1	
福島県東白川郡高城村大字伊香百三番地鉄砲火薬売買免許商吉田国之進→恒屋盛庸様	状	1	
福島県東白川郡高城村大字伊香元大砲役肝煎加役請願人吉田国之進㊞ほか1名→恒屋盛庸殿	竪	1	「八代目吉田国之進」名入罫紙
福島県東白川郡高城村大字伊香百三番地鉄砲火薬売買免許商吉田国之進→恒屋盛庸様	状	1	
	竪	1	
	一括袋・竪	1・1	一括袋上書「明治四十三年七月、鎮護神社寄付金一件書類、八木」
	綴	1	
霞町廿三川勝隆儀㊞ほか1名	竪		
比原利勝ほか1名→川勝隆儀様、八木重威様	状		
麻布霞町郵便局長清水政治郎㊞→	状	1	
八木(重威)ほか1名→吉田信徳殿、此原利勝殿	状	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
318－①～③	67	(鎮護神社寄付金一件につき綴)	(明治43年７月)
318－①	67	回章(鎮護神社寄付金出金につき領収証送付願)	(明治)43年７月15日
318－②	67	(書状、鎮護神社寄付金尽力感謝の旨)	(明治43年)７月７日
318－③	67	鎮護神社寄附金受領証	明治43年７月７日
321－1	67	(書状、鎮護神社拝殿新築決算報告書配布方依頼書)　＊321－1～2	(明治44年)５月９日
321－2	67	(書状、鎮護神社拝殿新築決算報告書など受取につき返事下書)	(明治)44年５月22日
322	67	鎮護神社寄付金(新島一郎ほか31名の寄付金送付覚)	

作成→受取	形態	数量	備　　考
	綴	1	
八木重威、川勝隆儀	状		
拝殿新築発起人比原利勝ほか1名→八木重威様、川勝隆儀様	状		
拝殿新築発起人比原利勝㊞ほか1名→八木重威様㊞、川勝隆儀㊞	竪		
[福島県東白川郡棚倉町]吉田信徳ほか1名→[東京都麻布区霞町壱番地]八木重威様・川勝隆義様	一括封・状	1・1	
八木・川勝→吉田・仁平宛	状	1	
	状	1	

E　阿部正功

E－1　　正功著作物

E－1－1　日記・手帳

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
622－1	104	十二年一月日記	明治12年1月1日～12月31日
622－2	104	(阿部正功学業の略歴)	6月3日認ム
623	104	(日記)	(明治13年1月～12月29日)
624	104	(日記)	(明治14年1月～12月31日)
625－1	104	明治十五年第一月吉日明治十五年日記	明治15年1月1日～7月28日
625－2	104	(徳川慶喜授爵祝賀会出席人名書上)	(明治35年6月22日)
625－3	104	(5月15・16日日記記事書付)	
626－1	104	明治十五年第八月吉日五ヶ月日記	明治15年7月29日～12月31日
626－2	104	(明治15年前半期家屋税・戸数割協議費・地価割協議費)	(明治15年)
627－1	105	明治十六年第一月吉日日記一	明治16年1月1日～8月28日
627－2	105	(名刺、姚文棟)	(明治16年1月27日)
627－3	105	(日記下書ほか)	(明治16年7月4日～14日)
628－1	105	明治十六年第八月日日記	明治16年8月28日～12月31日
628－2	105	(七官学校生徒募集の件などにつき)	(明治16年11月3日～12日)
628－3	105	(岩倉具視墓前の石燈籠建設に対する礼状)	
629－1	105	明治十七年第一月日記	明治17年1月1日～12月31日
629－2	105	(「先進繍像・玉石雑誌・群書文集」)	
629－3	105	(書状下書、陽寿館下げ渡しの件につき)	
629－4	105	(書状下書、恒屋解職の件につき)	10月21日
630	105	明治十八年第一月日記	明治18年1月1日～12月31日
631	105	明治十九年従一月至十二月日記	明治19年1月1日～12月31日
632	105	明治二十年従一月至十二月日記	明治20年1月1日～12月31日
633	105	明治廿一年従一月日記	明治21年1月1日～12月31日

作成→受取	形態	数量	備　　考
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
	状	1	625－1の24～25丁挟込
(阿部正功)	状	1	625－1の33丁内挿入
(阿部正功)	竪	1	
	状	1	626－1の17丁内挿入
(阿部正功)	竪	1	
	状	1	裏書「明治十六年一月廿七日学習院ニ於テ地学協会例会之部初而面会名片ヲ交換ス、氏之名姓ハ表面之通り」／627－1の28丁内挿入
(阿部正功)	状	1	627－1の34丁内挿入
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	3	628－1の15丁内挿入
[宝田町三番地] 岩倉具綱ほか1名→[麻布霞町一番地阿部正功殿]	状(印刷)・封	1・1	628－1の22～23丁挟込
(阿部正功)	竪	1	
	状	1	629－1の18丁内挿入
(阿部正功→松埜へ)	状	1	629－1の29丁内挿入
(阿部正功→平田ほか2名)	状	2	629－1の31～32丁挟込
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
634－1	105	明治二十二年一月ヨリ日記	明治22年１月１日～12月31日
634－2	105	二拾二年十二月滞金調	(明治)22年12月３日調
635－1	105	明治二十三年第一月ヨリ十二月ニ終日記	明治23年１月１日～12月31日
635－2	105	(書状、明日宮邸に参上につき同道したく屋敷へ立寄ってもらいたい旨)	１月18日
635－3	105	(書状、拙宅へ来訪願)	(明治23年)２月７日
635－4	105	(府会議員改選選挙通知)	明治23年１月25日
636	106	明治二十四年従一月至十二月日記	明治24年１月１日～12月31日
637	106	明治二十五年従一月至十二月日記	明治25年１月１日～12月31日
638	106	明治二十六年従一月日記	明治26年１月１日～12月31日
639－1	106	明治二十七年従一月日記	明治27年１月１日～12月31日
639－2	106	高城大神氏子惣代(人名書上)	
639－3	106	(葉書、大本営近火につき天機見舞の旨)	明治27年11月15日
639－4	106	自由新聞号外(戒厳令)	明治27年10月6日
639－5	106	証(金１円病気見舞い)	12月27日
640	106	明治廿八年従一月日記	明治28年１月１日～12月31日
641	106	明治二十九年日記	明治29年１月１日～12月31日
642－1－①～②	106	(明治31年～同32年日記)	明治31年１月１日～同32年12月31日
642－1－①	106	明治三十一年従一月日記	明治31年１月１日～12月31日
642－1－①－1	106	(日記部分)	(明治31年３月６日)
642－1－②	106	明治三拾貳年従一月日記	明治32年１月１日～12月31日
643	106	明治三拾三年従一月日記	明治33年１月１日～12月31日
644－1－①～②	106	(明治34年～同35年日記)	明治34年１月１日～同35年12月31日
644－1－①	106	明治卅四年従一月日記	明治34年１月１日～12月31日
644－1－①－1	106	(日付・地名の書付)	
644－1－②	106	明治三拾五年従一月日記	明治３５年１月１日～12月31日

作成→受取	形態	数量	備　考
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	634－1の37丁内挿入
(阿部正功)	竪	1	
[東京麹町八丁目二十四番地米津] 政敏→阿部 [正功] 君	状・封	1・1	635－1の14丁内挿入
[米津] 政敏→阿部大雅 [正功殿]	状・封	1・1	635－1の16～17丁挟込
麻布区役所→霞ノ一阿部正功殿	状(印刷)	1	635－1の16～17丁挟込
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
	状	1	639－1の1～2丁挟込
子爵会事務委員→麻布区霞町一阿部正功殿	状(印刷)	1	639－1の42～43丁挟込
東京市京橋区南金六町八番地自由新聞社	状(印刷)	1	639－1の45丁内挿入
鵜殿広治→霞町御邸御家扶中	状	1	639－1の63丁内挿入
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	綴	1	642－1の53丁内に下敷き1枚挿入
(阿部正功)	竪		
	状	1	642－1－①の7～8丁挟込
(阿部正功)	竪		
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	綴	1	
(阿部正功)	竪		
	状	1	644－1－①の23丁内挿入／鉛筆書
(阿部正功)	竪		

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
644－1－②－1	106	（書状、渡道以来の勤務状況など近況報告）	［明治35年11月21日］
645－1	106	明治三十六年従第一月日記	明治36年1月1日～12月31日
645－2	106	（日記部分）	（11月）3日～7日
645－3	106	（色切紙）	
645－4	106	（名刺、加藤泰吉）	
646	106	明治三拾七年従一月日記	明治37年1月1日～12月31日
647－1	107	明治三拾八年従一月日記	明治38年1月1日～3月27日
647－2	107	（葉書、若井勝邦逝去に対し記念図版など作成につき寄付願）	［明治38年3月21日］
647－3	107	（計算書付ほか白紙）	
648	107	四拾年仮日記	明治40年1月1日～同41年5月7日
649	107	四拾壱年仮日記	明治41年1月1日～同42年6月30日
650	107	四拾二年仮日記	明治42年7月1日～同43年12月31日
651	107	仮日記	明治44年1月～大正2年7月
653	107	七月三十一日大正ト改元アリ四拾五年仮帳	明治45年1月1日～大正元年12月30日
652	107	四拾五年工事日記	明治45年2月～12月31日
654	107	大正二年仮日記	大正2年1月1日～同3年7月8日
655	107	大正二年工事日記	大正2年1月4日～同4年12月31日
656－1	107	大正四年仮日記	大正4年1月1日～12月31日
656－2	107	（薬代計算など書付）	
657	107	大正五年仮日記	大正5年1月1日～12月31日
658	107	大正六年仮日記	大正6年1月1日～12月31日
659－1	107	大正七年仮日記	大正7年1月1日～12月31日
659－2	107	（計算紙）	
660	107	大正八年日記	大正8年1月1日～12月31日
661	107	大正九年仮日記	大正9年1月1日～12月31日

作成→受取	形態	数量	備　　考
［北海道炭鉱鉄道株式会社岩見沢社宅拾五番］北海道岩見沢機関庫事務所主任阿部寿㊞→［東京市麻布霞町壱番地阿部家］恒屋［盛庸］様	状・封	3・1	644－1－②の30～31丁挟込
(阿部正功)	竪	1	
	状	1	645－1の13～14丁挟込
	状	1	彩色／645－1の13～14丁挟込
	状(印刷)	1	645－1の13～14丁挟込
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	15丁内に下敷1枚挿入
東京帝国大理科大学人類学教室内東京人類学会→麻布区霞町一阿部正功殿	状	1	647－1の15～16丁挟込
	状	8	
(阿部正功)	横	1	
(阿部正功)	横	1	
(阿部正功)	横	1	
(阿部正功)	横	1	
(阿部正功)	横	1	
(阿部正功)	横	1	
(阿部正功)	横	1	
(阿部正功)	横	1	
(阿部正功)	横	1	
	状	1	656－1の22～23丁挿入
(阿部正功)	横	1	
(阿部正功)	横	1	
(阿部正功)	横	1	大正七年六月調華族名簿抄録(住居別)、大正六年四月改正電話番簿抜抄職業別記載あり
	状	1	659－1の1丁内挿入
(阿部正功)	横	1	
(阿部正功)	横	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
662	108	大正拾年仮日記	大正10年1月1日～12月31日
663	108	大正拾壱年仮日記	大正11年1月1日～12月31日
664	108	大正拾弐年仮日記	大正12年1月1日～同13年6月30日
665	108	大正拾三年従七月仮日記	大正13年7月1日～同14年9月1日
1484－1	154	(手帳)	
1484－2	154	(手帳)	
1484－3	154	(手帳)	

E－1－2　調査旅行記など

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1310	149	(正功作文集)	明治7年10月17日～同9年2月25日
1311	149	(日光山道中記・甲信上三州遊歴之記・下総種畜場視察之記)	(明治9年・同11年・同14年)
1312－1	149	立春遊梅園(作文下書)	(明治)13年2月4日
1312－2	149	立春遊梅園(作文下書)	(明治)13年2月4日
1313	149	雪之説(下書)	明治13年3月6日
1314	149	初雪之説(下書)	明治13年3月6日
1315－1	149	要馬術之説	明治13年第4月
1315－2	149	(要馬術之説構成メモ)	
1318－1	149	(天候記録帳)	(明治13年)
1318－2	149	(金銭出納書上)	(明治13年6月)
1317－1	149	棚倉紀行(ふみ月の記)	(明治13年7月)
1317－2	149	(弁官符につき覚書)	
1320	149	北豊嶋郡某村化石産地之略説	(明治15年)3月21日
1323－1	149	都外の記全	明治15年3月
1323－2	149	余星野へ与ル文ヲ荒木玄松大先生へ呈シ以テ高評ヲ乞フ	
1321	149	宗教民心ヲ収攬スル事并ニ慣習ノ威力ヲ論ズ	明治15年5月12日
230－1	65	神祖御肖像之記(家康木像購入時の覚書)	明治15年9月15日

作成→受取	形態	数量	備　考
(阿部正功)	横	1	
(阿部正功)	横	1	
(阿部正功)	横	1	
(阿部正功)	横	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	

作成→受取	形態	数量	備　考
阿部正功	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
阿部正功	状	1	朱書訂正あり
阿部正功	状	1	
阿部正功	竪	1	
阿部正功	状	2	朱書訂正あり
阿部正功	竪	1	
(阿部正功)	状	1	1315－1の2丁内挿入
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	1318－1の9～10丁挟込
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	1317－1の18丁内挿入／鉛筆書
(阿部正功)	竪	1	
霞の里老翁(阿部正功)	竪	1	
安陪㈜翁(阿部正功)拝→荒木君	状	1	1323－1の6丁内挿入
(阿部正功)	竪	1	
壟土里の霞山老翁誌(阿部正功)	状	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
230－2	65	追記(阿部家代々徳川家に恩を受け今度家康肖像を得るにつき感謝の旨)	明治15年10月26日
1322	149	西荒井大師参詣之記	明治15年11月18日
1089－1	131	明治十六年第三月ヨリ小学日課録一	明治16年３月17日～28日
1089－2	131	明治十六年第四月ヨリ小学日課録二	明治16年４月～
1089－3	131	小学日課録	
1089－4	131	明治十七年一月ゟ六月迄小学日課録	明治17年１月～６月
1324	149	問答之記全(徳大寺公弘と党友について問答写)	明治17年６月３日
1325	149	壟土考・附麻布考(麻布壟土地名由来調べ)	明治17年６月20日
1326	149	白河紀行(戊辰戦争殉難者記念碑建立につき招魂祭出席のため)	(明治17年11月20日～12月３日)
1328	149	明治二十年六月棚倉旅行日記(墓参につき)	(明治20年６月６日～15日)
1329	149	明治二十年八月十九日日蝕観望記(日蝕につき白河出張日記)	明治20年８月19日
1330	149	荏原郡塚穴探見記	(明治21年９月６日)
1333	149	石世遺跡捜索記(武蔵国荏原郡遺跡)	(明治21年９月６日～同25年12月15日)
1334	149	遺跡捜索道程記	(明治21年９月６日～同25年12月15日)
1335	149	御殿場記行	(明治22年５月11日)
1338	149	冨士登山紀	明治22年10月
1339－1	149	冨嶽一週記	明治22年10月日
1339－2	149	(阿部正功著紀行書名書上)	(昭和)
1731	C	冨士山草木見本(植物標本)	(明治22年以降カ)
1342	149	相州湯本紀行草稿	(明治23年２月20日)
1343	149	南多摩郡八王子近傍遊覧之記	(明治23年３月18日)
1344	149	大演習観覧記	(明治23年３月30日～４月５日)
1485	154	(名古屋大演習随行観覧記)	(明治23年３月30日～４月７日)
1345	150	東海巡覧紀行	明治23年６月
1348	150	小河内遊記	(明治23年８月４日～13日)
1349	150	(西多摩郡小河内遊記・伊香保紀行書抜)	(明治23年８月・同24年８月)

作成 → 受取	形態	数量	備　考
家主誌(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
阿部正功	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	㊞(阿部)あり
(阿部正功)	竪	1	㊞(阿部)あり
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	1337－7(本目録272・273頁参照)と関連あり
(阿部正功)	竪	1	
	状	1	
(阿部正功)	竪・箱	1・1	紐あり／箱は紙製
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	1344と関連あり／後欠
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	1354(本目録274・275頁参照)と関連あり
(阿部正功)	竪	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1350	150	山路家章ニ付テ探究ノ顛末	明治23年8月日
1351－1	150	原村獅子舞之記	(明治23年8月9日)
1351－2	150	(花傘持・籠摺装束着装図)	
1351－3	150	(籠摺装束図)	
1351－4	150	(黒鷲・神衣媛・草野灰ほか書上)	
1351－5	150	(獅子舞演技および装束図)	
1359－1	150	上代土器拾集ノ記	(明治24年2月15日・5月2日)
1359－2	150	目黒地方二於ル上代土器拾集ノ記	(明治24年2月5日)
1355	150	埼玉県下熊谷紀行	明治24年6月日
1357	150	伊香保紀行	(明治24年8月6日～16日)
1356	150	箱根紀行	(明治24年8月17日～24日)
1360	150	(埼玉県など遺跡視察の書上)	(明治24年～同27年)
1371	151	(採集・寄贈・買入遺物出所書上)	(明治24年～同28年)
1368	150	(南埼玉郡貝塚行・石器時代遺物採集記事)	(明治25年7月10日)
1370－1	151	(武蔵豊嶋下渋谷村字豊沢貝塚ほか採集遺物および採集年月日書上)	(明治26年2月19日～12月8日)
1370－2	151	(武蔵荏原野沢村字ツルガクボほか採集遺物および採集年月日書上)	(明治27年)
1370－3	151	寄贈并ニ買入之部(遺跡出土品)	(明治25年10月16日～同32年2月5日)
1370－4	151	(上野緑野藤岡町字高根岸ほか遺物および採集年月日書上)	(明治28年5月12日～同31年12月24日)
1370－5	151	(磐城西白河大村字久保小字観音前ほか採集遺物および採集年月日書上)	(明治32年3月14日～21日)
1366	150	羽前地方巡回記	(明治25年10月20日～31日)
1508	154	羽前国風俗一斑	(明治25年以降カ)
1332	149	従明治廿一年至同廿五年石器時代遺物採集記(草稿)	明治25年12月調
1378	151	武蔵国南埼玉郡遺跡捜索之記	(明治26年6月19日～27日)
1375	151	明治二十六年十月立川・中藤地方遺跡視察之記	(明治26年10月20日・22日)
1377	151	(南多摩郡日野台遺跡ほか発見記)	(明治26年10月27日～11月7日)
1376－1	151	(南多摩郡下川口村字十二社台出土縄紋土器破片付札)　＊1376－1～3	明治26年11月25日採集

作成→受取	形態	数量	備　考
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	㊞(阿部)あり
(阿部正功)	状	1	1351－1の1～2丁挟込
(阿部正功)	状	1	1351－1の1～2丁挟込
(阿部正功)	状	1	1351－1の1～2丁挟込／1560(本目録272・273頁参照)の6丁表に同内容の記述あり
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	本目録274～277頁・282～283頁に関連記事あり
(阿部正功)	竪	1	本目録274～279頁に関連記事あり
(阿部正功)	状・包	4・1	
(阿部正功)	状	5	鉛筆書
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	10	「一」～「十」の通し番号あり
(阿部正功)	状	3	
(阿部正功)	状	2	「一」～「二」の通し番号あり
(阿部正功)	状	6	「一」～「五」と通し番号あり／「一」は2枚
(阿部正功)	状	6	「一」～「六」と通し番号あり
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	㊞(阿部)／1518－40(本目録286・287頁参照)と関連あり
(阿部正功)	竪	1	㊞(阿部)あり
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	こよりあり

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1376－2	151	(南多摩郡楢原村出土縄紋土器破片付札)	明治26年11月25日採集
1376－3	151	(南多摩郡下長房村小名舟田岡出土縄紋土器破片付札)	明治26年11月25日採集
1379－1	151	明治二十六年遺跡捜索記一	明治26年
1379－2	151	(土器製造法覚)	
1379—3	151	明治二十六年遺跡捜索記二	明治26年
1379－4	151	(採集遺物など書付)	
1381	151	方言取調綱目	明治27年２月
1387－1	151	明治二十七年遺跡捜索記	(明治27年２月24日～11月22日)
1387－2	151	相模国愛甲大住二郡内遺跡概察図	
1387－3	151	(婦人婚姻綿帽子図)	
1388	151	府下荏原郡野沢村石器土器含有地層視察記(下書)	(明治27年２月25日)
1382	151	明治二十七年三月水戸地方捜索記稿	明治27年３月
1384	151	野州日光山旅記	(明治27年５月23日～27日)
1386	151	南洋サイパン嶋土人トノ問答	(明治27年９月３日)
1391	151	明治二十八年四月武蔵秩父地方旅費支払覚	(明治28年４月11日～20日)
1392	151	秩父地方探見録	(明治28年４月11日～13日)
1393－1	151	(秩父地方探見録)	(明治28年４月14日～17日)
1393－2	151	(舞踊図カ)	
1398	151	明治二十八年西多摩郡遺跡捜索旅記	明治28年11月５日～７日
1397	151	明治二十八年十一月入間郡扇町屋附近遺跡探見旅記	明治28年11月12日～14日
1399	151	岩代安積郡大槻村土俗	明治28年12月22日
1400－1	151	遺跡捜索記并ニ土俗聞記	(明治28年～同34年)
1400－2	151	(縄文土器など点数書上)	
1400－3	151	(荏原郡野沢村野口氏宅地内発掘につき記録)	(明治28年10月23日～24日)
1400－4	151	(神居山周辺習俗など記録)	
1400－5	151	(塞神祭などにつき書付)	

作成→受取	形態	数量	備　　考
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	1379－1の 8 丁内挿入
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	1379－3の 9 ～10丁挟込
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	1387－1の 1 丁内挿入／彩色／26.8×19.1
(阿部正功)	状	1	1387－1の16丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	彩色
(阿部正功)	竪	1	
阿部	横	1	
(阿部正功)	竪	1	本目録278～279頁、282～289頁に関連記事あり
(阿部正功)	竪	1	本目録278～279頁、282～289頁に関連記事あり
(阿部正功)	状	1	1393－1の55～56丁挟込
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	1400－1の 1 丁内挿入
(阿部正功)	状	1	1400－1の 6 丁内挿入
(阿部正功)	状	1	1400－1の 6 丁内挿入
(阿部正功)	状	1	1400－1の 6 丁内挿入

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1400－6	151	(荏原郡大森・羽田村漁夫・漁法に関する書付)	
1400－7	151	(金ヶ沢村丸木舟などにつき)	
1403	151	廿九年八月箱根旅行記	(明治29年８月17日～28日)
1404	151	函根入浴記	(明治29年８月17日～28日)
1406	151	黒曜石発見顛末	(明治29年９月24日)
1411－1	152	明治三拾年五月ヨリ陳列場参観人人名簿	明治30年５月28日～同34年10月12日
1411－2	152	三拾年五月ヨリ陳列場参観人人名	明治30年５月28日～同32年12月５日
1418－1	152	大磯旅行記	(明治30年７月28日～30日)
1418－2	152	学術上取調記事(大磯町滞在中取調べ記事集録書付)	
1417	152	麻布霞町古穴発見記	(明治30年10月)
284	66	記(陸前国牡鹿郡石巻町字湊にてバンドウ購入覚)	明治31年３月
1422	152	(芝円山古墳調査略記)	明治31年５月(３月６日～４月16日)
1424	152	三十一年六月菊多郡関田村高木之朝ヨリ廻送品(古杵・筵織のオサ・親舟のカイほか)	(明治)31年６月
1495－1	154	土俗取調綱目	
1495－2	154	(明治31年～同32年素焼器物・雷斧・矢ノ根石発見地書付)	(明治31年～同32年)
1495－3	154	土俗取調綱目(下書)	
1495－4	154	土俗取調綱目	
288－1	66	明治三十二年三月十一日御出立奥筋江御下向、西白河・石川郡龍崎・東白川棚倉江被為入候節各所ゟ献上御品名前簿	明治32年３月11日
288－2	66	(土偶・石鏃など献上品書上)	
289	66	明治三十二年三月十一日御出立奥筋江御下向、西白河郡・石川郡龍崎・東白川郡棚倉江被為入候節各所之者江被下物御品名前簿	明治32年３月11日
1427－①～②	152	(白河滞泊中・巡検中日誌綴)	(明治32年３月11日～21日)
1427－①	152	従明治三十二年三月十一日至同年同月十八日白河滞泊中日誌	明治32年３月11日～18日
1427－②	152	従明治三十二年三月十八日至同年同月二十一日各郡邨御巡検中日誌	明治32年３月18日～21日
1428	152	明治三十二年三月廿一日ヨリ同廿七日迄棚倉御滞在中日誌	明治32年３月21日～27日
293	66	京都墓参ニ付旅中記事	(明治33年４月８日～10日)

作成→受取	形態	数量	備　考
(阿部正功)	状	1	1400－1の16丁内挿入
(阿部正功)	状	1	1400－1の17～18丁挟込
阿部三郎	横	1	阿部三郎は阿部正外の四男
(阿部正功)	竪	1	本目録280～283頁に関連記事あり
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	1411－1の2丁内挿入
(阿部正功)	竪	1	本目録284～289頁に関連記事あり
(阿部正功)	状	1	1418－1の53丁～54丁挟込
(阿部正功)	横	1	
(阿部正功)	状	1	紙背に九州地方の風俗に関する覚書あり
東京人類学会々員阿部正功	竪	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	1495－1の1～2丁挟込
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	㊞(阿部)あり
	竪	1	
	状	1	288－1の5～6丁挟込／鉛筆書
	竪	1	
	綴	1	
	竪		
	竪		
	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1438	153	(京都地方旅行記)	(明治33年)
1437	153	(所有地麻布霞町1番地の内発掘のところ遺物発見につき土窟調査御届綴)	明治33年6月23日
1482	154	白子近傍巡覧記	
1483	154	杉田道之記	
1560	155	東白川郡遺跡古墳予察	

E－1－3　図・スケッチなど

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1316－1	149	目ノ湯百度・岩瀬郡二股野温泉瀧ノ湯(スケッチ)	明治13年7月22日
1316－2	149	岩瀬郡湯本村温泉流出図・近辺ノ温泉百三十度・岩瀬郡湯本村ノ内二股野温泉(スケッチ)	明治13年7月22日
1319	149	(星座観測図)	明治14年7月16日
1327	149	麻布区霞丁人窟之図・正面ノ図	(明治)18年10月17日
1576－1	C	(天明3年浅間嶽大焼を南側より望む図) ＊1576－1～6	(明治19年5月写)
1576－2	C	(天明3年浅間嶽大焼を北側より望む図)	(明治19年5月写)
1576－3	C	(天明3年吾妻郡鎌原村へ押出の大石図)	(明治19年5月写)
1576－4	C	(天明3年浅間嶽山焼被害絵図)	(明治19年5月写)
1576－5	C	中嶋村火焼石之図	(明治19年5月写)
1576－6	C	(神奈川横浜町絵図)	
1337－1	149	駿河駿東郡須走駅西方出口登山道而冨嶽東面写 ＊1337－1～8	明治22年7月19日
1337－2	149	甲駿国界加古坂峠北方下口而冨嶽東北面写	明治22年7月22日
1337－3	149	甲斐都留郡山中村北方十余丁之原中而写	明治22年7月22日
1337－4	149	甲斐都留郡山中村北方字梨子ヶ原而写	明治22年7月22日
1337－5	149	甲斐都留郡成沢村而冨嶽北面写	明治22年7月24日
1337－6	149	駿河冨士郡根原村而冨嶽西面写	明治22年7月24日
1337－7	149	(富士山八合目石室ノ図および同間取図)	(明治22年7月)

作成→受取	形態	数量	備　考
(阿部正功)	竪	1	
右地主麻布区麻布霞町壱番地正四位子爵阿部正功(書印)→麻布警察署御中	綴	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	7丁表に1351－4(本目録266・267頁参照)と同内容の記述あり

作成→受取	形態	数量	備　考
阿部正功	状	1	彩色／14.7×20.8
阿部正功	状	1	彩色／14.7×20.8
(阿部正功)	状	1	14.7×20.8
(阿部正功)	状	1	14.8×20.9
阿部正功	一括袋・綴	1・1	彩色／一括袋上書「天明年間浅間嶽大焼之図」・裏書「明治十九年五月関四郎兵衛借覧之上写置」／37.7×27.1
(阿部正功)	綴	1	彩色／38.0×27.1
(阿部正功)	状	1	彩色／38.0×27.2
(阿部正功)	鋪	1	彩色／27.0×75.9
(阿部正功)	状	1	彩色／27.2×38.0
(阿部正功)	鋪	1	彩色／38.0×27.1
(阿部正功)	一括包・状	3・2	一括外包紙上書「冨士真景」／内包紙上書「冨士山真影並石器土器参考図」／内包紙の中に更に包紙あり／裏面に「一」とあり／状の内1枚あて紙／19.1×28.4
(阿部正功)	状	2	裏面に「二」とあり／状の内1枚あて紙／19.2×28.4
(阿部正功)	状	2	裏面に「三」とあり／状の内1枚あて紙／19.3×28.3
(阿部正功)	状	2	彩色／裏面に「四」とあり／状の内1枚あて紙／19.1×28.3
(阿部正功)	状	2	裏面に「五」とあり／状の内1枚あて紙／19.1×28.3
(阿部正功)	状	2	裏面に「六」とあり／状の内1枚あて紙／19.0×28.3
(阿部正功)	状	1	「予等一行止宿之石室也」とあり／1338(本目録264・265頁参照)の14丁裏に同図あり／17.3×24.7

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1337－8	149	駿河冨士郡神守村而冨嶽南面写	明治22年7月26日
1354－1	150	(明治41年6月8日雹の記録)　＊1354－1～19	明治41年6月8日
1354－2	150	御書キ物類(ノート切端)	
1354－3	150	(ウミガラスの正面図)	
1354－4	150	(ウミガラス頭部および正面図)	
1354－5	150	(山間集落景図)	
1354－6	150	木賀亀屋庭園ノ瀧略景	
1354－7	150	(土師器・石器・土器などの図)	
1354－8	150	西多摩郡奥峰村ノ景(スケッチ)	
1354－9	150	西多摩郡前峰村ノ景(スケッチ)	明治23年8月7日
1354－10	150	武蔵国久良岐郡日野村字金井六千九十二番地荒井八兵衛所有山横穴之実景(スケッチ)	明治26年9月24日
1354－11	150	(久良岐郡釜利谷村禅林寺近傍ほか横穴図)	
1354－12	150	沢井村山口屋ゟ対山ノ景(スケッチ)	明治23年8月4日
1354－13	150	武州多摩郡オマキド山景・噴口旧址(スケッチ)	
1354－14	150	(钁・長柄平鍬、杉植付用鍬図)	(明治23年8月12日)
1354－15	150	(鍬図)	
1354－16	150	(地形図)	
1354－17	150	(峰村近傍地図)	(明治23年8月7日)
1354－18	150	(土俗学系譜図)	
1354－19	150	(久良岐郡日野村春日社近傍など横穴図)	
1358－1	150	(箱根山中噴火熱泥流域・附土石散布図)　＊1358－1～22	(明治24年8月22日)
1358－2	150	榛名火山層ノ図	(明治24年8月9日)
1358－3	150	二ツ嶽近傍地形図	
1358－4	150	(武蔵・相模国境周辺地図)	
1358－5	150	岡崎地勢図	

作成→受取	形態	数量	備　考
(阿部正功)	状	2	裏面に「七」とあり／状の内1枚あて紙／19.1×28.4
(阿部正功)	一括包・状	1・1	一括包紙上書「どうさひき」(木版)
	状	1	
	状	1	彩色
	状	1	彩色
(阿部正功)	状	1	「(4)」とあり
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	1348(本目録264・265頁参照)の43丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1348(本目録264・265頁参照)の42丁裏に同図あり
阿部正功	状	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	1348(本目録264・265頁参照)の67丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	1348(本目録264・265頁参照)の42丁表に同図あり
(阿部正功)	状	2	裏面に日光・岡崎などの古墳図あり／状の内1枚白紙
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	一括包・状	1・1	一括包紙上書「伊香保紀行入、明治二十四年八月六日午前七時発途」・「図面22枚」／1356(本目録266・267頁参照)の24丁表に同図あり／24.7×17.0
(阿部正功)	状	1	1357(本目録266・267頁参照)の13丁裏に同図あり／24.7×17.0
(阿部正功)	状	1	17.0×24.7
(阿部正功)	状	1	33.9×24.7
(阿部正功)	状	1	12.5×14.0

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1358－6	150	遠州山名郡西貝塚村貝塚図	
1358－7	150	磐田郡見附旧城趾(古墳絵図)	
1358－8	150	中泉近傍地図	
1358－9	150	八幡山横穴近傍略地図・丸山村遺跡略図	
1358－10	150	横穴断面ノ図・横穴位置ヲ示ス山腹ノ図	
1358－11	150	(古墳入口・横断面図)	
1358－12	150	三河国碧海郡小針城趾ノ図	
1358－13	150	(相模国橘樹郡以西地図)	
1358－14	150	(相模国高座郡以西地図)	
1358－15	150	(榛名湖畔山景図)	(明治24年) 8 月 9 日
1358－16	150	伊香保ヨリ子持・小野子二山ヲ望(図)	
1358－17	150	渋川町民家構造略図	(明治24年 8 月16日)
1358－18	150	西群馬郡渋川町之図(西群馬郡渋川駅ノ地図)	(明治24年 8 月16日)
1358－19	150	温泉涌源近傍地図(伊香保温泉)	(明治24年 8 月 8 日)
1358－20	150	伊香保町図	(明治24年 8 月 7 日)
1358－21	150	(摺碓峠景図)	(明治24年) 8 月 9 日
1358－22	150	榛名地形ノ図	(明治24年 8 月 9 日)
1534－1	155	(七五三餝・鉈ほか略図)　＊1534－1～14	(明治24年カ)
1534－2	155	(石室遠望図)	
1534－3	155	(摺碓峠ノ景図)	
1534－4	155	(箱田より伊香保山および上二子山より下二子山頂眺望図)	
1534－5	155	(伊香保町を岡崎新田よりの眺望図)	
1534－6	155	(箱田村利根河岸ヨリ榛名嶺眺望図)	
1534－7	155	相州足柄下郡早雲山噴口東北面図	
1534－8	155	(榛名二ツ嶽の景図)	
1534－9	155	(大地獄山図)	

作成→受取	形態	数量	備　考
(阿部正功)	状	1	13.0×16.7
(阿部正功)	状	1	8.7×10.5
(阿部正功)	状	1	12.2×17.0
(阿部正功)	状	1	16.0×14.0
(阿部正功)	状	1	綴じ穴あり／「十五」とあり／16.0×11.0
(阿部正功)	状	1	8.8×14.2
(阿部正功)	状	1	25.0×15.0
(阿部正功)	状	1	24.7×15.6
(阿部正功)	状	1	24.8×10.8
(阿部正功)	状	1	彩色／1357(本目録266・267頁参照)の10丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1534－12(本目録278・279頁参照)と同図
(阿部正功)	状	1	1357(本目録266・267頁参照)の27丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	彩色／1357(本目録266・267頁参照)の27丁表に同図あり／13.8×14.5
(阿部正功)	状	1	1357(本目録266・267頁参照)の6丁裏に同図あり／24.5×17.0
(阿部正功)	状	1	彩色／1357(本目録266・267頁参照)の6丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1357(本目録266・267頁参照)の8丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1357(本目録266・267頁参照)の13丁裏に同図あり／17.0×24.7
(阿部正功)	一括包・状	1・1	1357(本目録266・267頁参照)の24・27丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	1357(本目録266・267頁参照)の8丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1357(本目録266・267頁参照)の27丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	2	1357(本目録266・267頁参照)の17丁裏に同図あり／2枚の内1枚は白紙
(阿部正功)	状	2	1357(本目録266・267頁参照)の27丁裏に同図あり／2枚の内1枚は白紙
(阿部正功)	状	1	「(4)」とあり／1356(本目録266・267頁参照)の10丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1357(本目録266・267頁参照)の14丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1356(本目録266・267頁参照)の11丁裏に同図あり

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1534－10	155	(上二子頂窪地図カ)	
1534－11	155	(辨大山ヨリ芦ノ湯駒ヶ嶽二子山など眺景図)	
1534－12	155	(伊香保ヨリ子持小野子二山ヲ望む図)	
1534－13	155	(登山図カ)	
1534－14	155	須走口八合石室建坪ノ図	
1361	150	青山近傍遺跡散布之略図	明治25年3月調製
1362－1	150	武蔵国橘樹郡末吉・駒岡・師子ヶ谷三村内ニ於ル太古遺蹟散布之地域略図	
1362－2	150	武蔵国橘樹郡末吉・駒岡・師子ヶ谷三村内ニ於ル太古遺蹟散布之図	
1362－3	150	(橘樹郡南師子谷村ほか探見遺蹟略図)	(明治25年4月16日・25日)
1363	150	三河国碧海郡小針村旧城趾之略図	明治25年7月24日
1369－1	151	遺物位置地層(貝塚断面・積層細図)	(明治25年10月2日～同27年6月10日)
1369－2	151	(貝塚図カ)	
1554－1	155	武蔵国秩父郡浦山村地図　＊1554－1～5	明治28年4月14日
1554－2	155	(秩父郡略図)	
1554－3	155	秩父地方遺跡略図	明治28年5月調製
1554－4	155	(秩父浦山村略図)	
1554－5	155	(秩父郡略図)	
1532－1	155	(芝円山古墳紀事入用平絵図)	
1532－2	155	(芝円山古墳分布および平面・断面図)	
1532－3	155	(清水晴風氏所蔵肥後熊本ベンタ人形図)	
1532－4	155	(秩父地方探見録所載第33・39～41・43図下図)	(明治28年4月カ)
1532－5	155	(秩父地方探見録所載第8・10・17・19～22・28図下図)	(明治28年4月カ)
1532－6	155	(秩父地方探見録所載第1・9・18・23ノ1・2図下図および金崎村荒川渡舟守の仮舎図)	(明治28年4月カ)
1532－7	155	(磐城石川郡龍崎村字上代出土遺物図)	
1532－8	155	(磐城石川郡龍崎村字上代出土遺物図)	
1532－9	155	(磐城石川郡龍崎村字上代出土遺物図)	

作成→受取	形態	数量	備　考
(阿部正功)	状	1	「(3)」とあり／1356(本目録266・267頁参照)の16丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	「(8)」とあり／1356(本目録266・267頁参照)の16丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	「(3)」とあり／1358－16(本目録276・277頁参照)に同図あり
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	1338(本目録264・265頁参照)の14丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	19.5×27.3
(阿部正功)	状	1	彩色／27.3×19.5
(阿部正功)	状	1	彩色／27.3×19.5
(阿部正功)	状	1	彩色／27.3×19.5
(阿部正功)	状	1	1358－12(本目録276・277頁参照)と関連あり／31.5×45.5
(阿部正功)	竪	1	㊞(阿部)あり
(阿部正功)	状	1	1369－1の8丁内挿入
(阿部正功)	一括包・鋪	1・1	「右同村役場所蔵図ヲ謄写」とあり／27.6×38.3
(阿部正功)	状	1	19.4×27.3
(阿部正功)	状	1	彩色／19.4×27.3
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の34丁表参照／26.5×38.0
(阿部正功)	状	1	27.3×38.4
(阿部正功)	状	1	28.7×38.2
(阿部正功)	状	1	28.7×38.2
(阿部正功)	状	1	彩色
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の22丁表などにあり
(阿部正功)	状	1	1392(本目録268・269頁参照)の8丁表などにあり
(阿部正功)	状	1	1392(本目録268・269頁参照)の4丁裏などにあり
(阿部正功)	状	1	「(1)」とあり
(阿部正功)	状	1	「(2)」とあり
(阿部正功)	状	1	「(3)」とあり

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1532－10	155	(磐城石川郡龍崎村字上代出土遺物図)	
1532－11	155	(磐城石川郡龍崎村字上代出土遺物図)	
1532－12	155	(磐城西白河郡内松村字ワダイ出土遺物図)	
1532－13	155	(磐城西白河郡内松村字ワダイ出土遺物図)	
1532－14	155	(磐城西白河郡内松村字ワダイ出土遺物図)	
1532－15	155	(磐城西白河郡内松村字ワダイ出土遺物図)	
1532－16	155	(磐城西白河郡熊倉村ほか出土遺物図)	
1532－17	155	(磐城西白河郡神田村字岡之内ほか出土遺物図)	
1532－18	155	(磐城西白河郡白河町字三十三間ほか出土遺物図)	
1532－19	155	(磐城西白河郡矢吹村字ヤクビョウダほか出土遺物図)	
1532－20	155	(磐城西白河郡町屋村出土遺物図)	
1532－21	155	(磐城西白河郡町屋村出土遺物図)	
1532－22	155	(磐城西白河郡町屋村出土遺物図)	
1532－23	155	(西白河郡三城目村ほか出土遺物図)	
1532－24	155	(西白河郡明岡村ほか出土遺物図)	
1532－25	155	(西白河郡萱根村ほか出土遺物図)	
1532－26	155	(西白河郡神田村ほか出土遺物図)	
1532－27	155	(白河近郷人風俗図)	
1532－28	155	(神田淡路町葬具屋発売玉飾図)	
1532－29	155	(土器図)	
1532－30	155	(土器図)	
1532－31	155	(遺物図)	
1532－32	155	(土器図)	
1532－33	155	(土器図)	
1532－34	155	(土器図)	
1405－1	151	(神棚図)　＊1405－1～15	

作成→受取	形態	数量	備　考
(阿部正功)	状	1	「(4)」とあり
(阿部正功)	状	1	「(5)」とあり
(阿部正功)	状	1	「(6)」とあり
(阿部正功)	状	1	「(7)」とあり
(阿部正功)	状	1	「(8)」とあり
(阿部正功)	状	1	「(9)」とあり
(阿部正功)	状	1	「(10)」とあり
(阿部正功)	状	1	「(11)」とあり
(阿部正功)	状	1	「(12)」とあり
(阿部正功)	状	1	「(13)」とあり
(阿部正功)	状	1	「(14)」とあり
(阿部正功)	状	1	「(15)」とあり
(阿部正功)	状	1	「(16)」とあり
(阿部正功)	状	1	「(17)」「(1)」とあり／彩色
(阿部正功)	状	1	「(18)」「(2)」とあり／彩色
(阿部正功)	状	1	「(19)」「(3)」とあり／彩色
(阿部正功)	状	1	「(20)」「(4)」とあり／彩色
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	彩色
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	彩色
(阿部正功)	状	2	2枚の内1枚は白紙
(阿部正功)	一括包・状	1・1	一括包紙上書「廿九年八月、函根記事下図入」・裏書「芦湯地形図」／こよりあり／1404(本目録270・271頁参照)の27丁表に同図あり

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1405－2	151	(神具・供物・餝付および屋敷間取)	
1405－3	151	(猟法および猟具図)	
1405－4	151	(漁具など図)	
1405－5	151	(箱根芦ノ湯ニテ逢ヘル蓑板運搬ノ方法など図)	
1405－6	151	(神棚図および屋敷間取図)	
1405－7	151	箱根土産(遺跡遺物記録)	
1405－8	151	函根芦ノ湯温泉場略図	(明治29年8月)
1405－9	151	(芦ノ湯周辺古墳平面・断面図)	
1405－10	151	(宮城野村戸数など覚)	
1405－11	151	(神具および正月餝など図)	
1405－12	151	宮城野村村婦炭俵ヲヤセンマニ付テ搬スル実況	
1405－13	151	(早川村漁家ほか屋敷図)	
1405－14	151	(脛巾・運搬具など図)	
1405－15	151	(箱根山中および小田原付近民家構造および間取図)	
1518－1	154	大磯旅行記事図入要用書付(袋)　＊1518－1～88	
1518－2	154	上野伊香保温泉涌出地近傍略図	
1518－3	154	(鎌・肥料桶などの図)	
1518－4	154	(削花・鎌などの図)	
1518－5	154	(蘆湖に関する書付)	
1518－6	154	(埼玉県金谷村内太神宮仮祠の図)	
1518－7	154	(鍬などの図)	
1518－8	154	(丸型ススミなどの図)	
1518－9	154	(荒川にて使用の置釣・ウケなど漁具図)	
1518－10	154	(久治良村付近略図)	
1518－11	154	大宮近傍略地図	
1518－12	154	(姥塚横面・平面図)	

作成 → 受取	形態	数量	備　考
(阿部正功)	状	1	1404(本目録270・271頁参照)の26丁表・27丁表・28丁表などに同図あり
(阿部正功)	状	1	1404(本目録270・271頁参照)の17丁表・23丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1404(本目録270・271頁参照)の23丁裏などに同図あり
(阿部正功)	状	1	1404(本目録270・271頁参照)の18丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1404(本目録270・271頁参照)の23丁表・27丁表などに同図あり
(阿部正功)	状	1	1404(本目録270・271頁参照)の32丁裏などに同図あり
(阿部正功)	状	1	1405－1の包紙裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1404(本目録270・271頁参照)の32丁裏などに同図あり
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	1404(本目録270・271頁参照)の26丁表・27丁表などに同図あり
(阿部正功)	状	1	裏書「宮城野村九百四十二番地瀬戸花吉、蓑持主」／1404(本目録270・271頁参照)の18丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1404(本目録270・271頁参照)の14丁表・15丁表などに同図あり
(阿部正功)	状	1	1404(本目録270・271頁参照)の16丁裏・17丁表・23丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1404(本目録270・271頁参照)の14丁裏・15丁表に同図あり
(阿部正功)	一括紙挟み・袋	1・1	
(阿部正功)	状	1	彩色／1357(本目録266・267頁参照)の 6 丁裏に同図あり／30.6×18.6
(阿部正功)	状	1	1392(本目録268・269頁参照)の23丁表などに同図あり
(阿部正功)	状	1	1392(本目録268・269頁参照)の 8 丁表などに同図あり
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	1392(本目録268・269頁参照)の 4 丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の10丁表などに同図あり
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の54丁裏・55丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の55丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	彩色／8.0×18.4
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の50丁表に同図あり／24.3×11.5
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の49丁表に同図あり

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1518－13	154	(大淵漁桶図)	
1518－14	154	(古墳平面図・断面図カ)	
1518－15	154	(漁法の説明ならびに釣り針・小磯道祖神などの図)	
1518－16	154	(小磯道祖神図)	8月27日
1518－17	154	(笊の図)	
1518－18	154	(古墳平面図・断面図カ)	
1518－19	154	(タケモツコウなど図)	
1518－20	154	冠谷家附間略図	
1518－21	154	(ケハイ坂周辺古墳などにつき書付)	
1518－22	154	(章魚釣針・オヅメ磨具図)	
1518－23	154	(玩具臼図)	
1518－24	154	(玩具草人形・コマ図)	
1518－25	154	(玩具木ノフシコブ図)	
1518－26	154	(アボ茶屋軒口に魚頭と榊を祀った図)	
1518－27	154	秩父地方探見(金谷の古墳などの図)	
1518－28	154	(児玉郡金谷地層の断面図)	
1518－29	154	(浦山家屋図)	
1518－30	154	(字家附原嶋氏家屋図ならびに住宅位置図)	
1518－31	154	(大淵地内茶屋うどんの看板図)	
1518－32	154	(湧泉を溜める水槽図)	
1518－33	154	(献立品々の書付)	
1518－34	154	(塩入・釣竿などの図)	
1518－35	154	(掘立小屋図など)	
1518－36	154	(冠谷部落探見につき書付)	
1518－37	154	(神棚の図)	
1518－38	154	(秩父郡蒔田村諏訪神社堺内末社ノ石祠・奉納額などの図)	

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
(阿部正功)	状	1	1392(本目録268・269頁参照)の14丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の51丁表・55丁表などに同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の55丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	1392(本目録268・269頁参照)の10丁表などに同図あり
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の23丁裏に同図あり／24.8×13.6
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の25丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の43丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の43丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の43丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1392(本目録268・269頁参照)の24丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1392(本目録268・269頁参照)の7丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1518－27に折り込まれていた／1392(本目録268・269頁参照)の5丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の37丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の31丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1392(本目録268・269頁参照)の15丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の22丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の14丁裏にあり
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の19丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の25丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の33丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1392(本目録268・269頁参照)の17丁裏などに同図あり

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1518－39	154	(鍬などの図)	
1518－40	154	(羽前田川郡木撞通学之服装下図など)	
1518－41	154	(下日野沢村墓石などの図)	
1518－42	154	(ススミ・鍬図)	
1518－43	154	(白久笠・立替臼・杵などの図)	
1518－44	154	(浦山木刀・玩具ヅク・コマ・土室などの図)	
1518－45	154	(正月厠内に飾る木刀の図)	
1518－46	154	(年始用品繭玉など図)	
1518－47	154	(秩父橋橋際アボ茶屋の神棚図)	
1518－48	154	(浦山草刈籠など運搬具図)	
1518－49	154	(大磯盆踊廻歩の図)	
1518－50	154	(墓石図)	
1518－51	154	(ササラなど図)	
1518－52	154	(蓆・俵など編むのに使うナマコ石図)	
1518－53	154	(運搬具ヤセシマなど図)	
1518－54	154	(「大宮」と記された鎌の図)	
1518－55	154	(塞神祠・草刈籠など図)	
1518－56	154	(ナイカツギ・ヲヤジヤルなど運搬の図)	
1518－57	154	(小舟タブ子の碇図)	
1518－58	154	(漁夫宅地小祠図)	
1518－59	154	(小舟タブ子・浮木ウケ図)	
1518－60	154	(鮑を岩よりはがすカネベラ図)	
1518－61	154	(ムツオモリの図)	
1518－62	154	(漁具イカヅノ図)	
1518－63	154	(犬の食器図)	
1518－64	154	(漁具イカヅノ図)	

作成 → 受取	形態	数量	備　考
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の44丁裏・54丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1508(本目録266・267頁参照)の5丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1392(本目録268・269頁参照)の14丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の54丁裏・55丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の53丁裏・54丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の43丁裏に同図あり／1392の25丁裏(本目録268・269頁参照)に同図あり
(阿部正功)	状	1	1392(本目録268・269頁参照)の15丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の44丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1392(本目録268・269頁参照)の23丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の42丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の49丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の46丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の48丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の33丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の33丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の54丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の33丁裏・38丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の33丁裏・35丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の31丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の31丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の29丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の31丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の24丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の27丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の25丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の27丁裏に同図あり

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1518－65	154	(墓地石塔側立札など図)	
1518－66	154	(酒匂道祖神図)	
1518－67	154	(前川梅沢道祖神の図)	
1518－68	154	(大磯台丁石碑の図)	
1518－69	154	(ハエナワの碇図)	
1518－70	154	(明治30年７月～８月大磯旅行にて集録漁具スラなど図)	(明治30年７月～８月)
1518－71	154	(バヅメなど漁具図)	
1518－72	154	(墓地石塔側立札など図)	
1518－73	154	(酒匂村～大磯間の道祖神図ならびに大磯盆踊り視察につき書付)	
1518－74	154	(台町民舎入口の鴨居に疱瘡除の釘付のシャモジなどの図)	
1518－75	154	(漁具置場納屋図)	
1518－76	154	(小磯地内塚などの図)	
1518－77	154	(一面大石の図)	
1518－78	154	(源兵衛堂という穴に安置してある薬師如来につき書付)	
1518－79	154	(千歳川周辺の図)	
1518－80	154	(下日野沢村字柴岡の村娘荒板を背負う図)	
1518－81	154	(楽器ササラ図)	
1518－82	154	(漁串など図)	
1518－83	154	(板碑・墓図)	
1518－84	154	(奉納物円石図)	
1518－85	154	(下日野沢村字柴岡民舎の神棚図)	
1518－86	154	三河旅行記入(包紙カ)	
1518－87	154	(白河地方古墳・農家間取など書付)	
1518－88	154	(貝の図)	
1435－1	153	(明治32年３月14日白河滞泊中視察地記録図面)	(明治32年３月14日)

作成→受取	形態	数量	備　考
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の28丁表・29丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の47丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の47丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の47丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の27丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の22丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の19丁裏・24丁表・25丁裏・26丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の28丁表・33丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の47丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の17丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の57丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	2	1418(本目録270・271頁参照)の23丁裏に同図あり／2枚の内1枚は白紙
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	1518－78に折り込まれていた
(阿部正功)	状	1	1518－79に折り込まれていた
(阿部正功)	状	1	1392(本目録268・269頁参照)の13丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の48丁裏に同図あり
(阿部正功)	状	1	1393－1(本目録268・269頁参照)の29丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の45丁裏・46丁表に同図あり
(阿部正功)	状	1	1418(本目録270・271頁参照)の38丁表に同図あり
(阿部正功)	状	2	1392(本目録268・269頁参照)の13丁裏に同図あり／2枚の内1枚は白紙
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	1518－88に折り込まれていた
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	「(1)」とあり／(1)白河登丁墓地ニ新葬の新墓現況(2)白河天神町天神山の山貌(3)大村鹿嶋神社瓶盛山・鹿嶋神社々社并ニ附近地勢(4)西白河郡大村字阿弥陀前古墳高五尺(5)同郡大村字久保横穴／18.7×28.4

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1435－2	153	（明治32年３月14日～15日視察地記録図面）	（明治32年３月14日～15日）
1435－3	153	（明治32年３月14日～15日白河滞泊中視察地記録図面）	（明治32年３月14日～15日）
1435－4	153	（明治32年３月24日聞き取り記録図面）	（明治28年～同32年）
1435－5	153	（明治32年３月18日白河滞泊中視察地記録図面）	（明治32年３月18日）
1435－6	153	（明治32年３月18日白河滞泊中視察地記録図面）	（明治32年３月18日）
1435－7	153	（明治32年３月19日白河滞泊中視察地記録図面）	（明治32年３月19日）
1435－8	169	（明治32年３月18日～19日白河滞泊中視察地記録図面）	（明治32年３月18日～19日）
1435－9	153	（明治32年３月19日～20日白河滞泊中視察地記録図面）	（明治32年３月19日～20日）
1435－10	153	（明治32年３月20日白河滞泊中視察地記録図面）	（明治32年３月20日）
1435－11	153	（明治32年３月21日白河滞泊中視察地記録図面）	（明治32年３月21日）
1435－12	153	（明治32年３月24日白河滞泊中視察地記録図面）	（明治32年３月24日）
1435－13	153	（明治32年３月24日白河滞泊中視察地記録図面）	（明治32年３月24日）
1435－14	153	（白河町町長大竹貞幹所蔵石棒・黒曜石・石鎗など図）	
1435－15	153	（白河町須釜嘉平太所蔵石器など図）	

作成→受取	形態	数量	備　考
(阿部正功)	状	1	(西白河郡大村字山尾坂峠里道祠図)・(桜岡村字孤子村・萱根村字城趾山貌図)、(萱根村字鳥の子前古墳山貌図)、(白河沿岸地勢図)、(内松村ワダイ遺跡地勢図及び地層図)／18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	「(3)」／桜岡村孤子山横穴、白河近村に於ル畠界馬防柵図、西白河郡中野村字上の原馬墓、(馬頭観音図)、中野村字上の原古墳三個ノ一ツ、同処畠中地上ニ露出ノ蓋石、同郡大村ノ内字本社入鹿嶋神社の旧趾／18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	白河町近郷農家の屋根形・西白河郡桜岡村字桜岡辺見留之助所有地内古墳、同郡鶴生村字壇ノ原古墳(同郡大田村横穴)・(西白河郡矢吹村字疫病田ヨリ堀取土器)／18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	「(4)」とあり／(石川郡龍崎村字寺山城趾地勢図・山貌図・横穴図・土層図)／18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	「(5)」とあり／龍崎村字寺山大穴・西白河郡矢吹停車場附近原中古墳、岩瀬郡前田川村字六軒原々中路傍之古墳・龍崎村字上代古墳散布之現況・字上代石世遺跡／18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	「(6)」とあり／字塚越古墳、三城目村古墳散布ノ現況、鬼穴ノ構造、神田村字クラカケ塚附近ノ概況、クラカケ塚現状、クラカケ塚原型、クラカケ塚配石ノ位置／18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	表裏あり、1435－6・7の下絵カ／龍崎村上代古墳散在ノ現況、前田川村古墳(岩瀬郡前田川村字六軒原々中路傍之古墳)、矢吹原古墳(西白河郡矢吹停車場附近原中古墳)、三城目村字塚越古墳、三城目村字横山鬼穴・奥壁并二右左壁組立ノ形チ／18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	「(7)」とあり／神田村古墳分布之位置、神田三城目二村ノ略地図、神田村林中古墳分布ノ現況、西白河郡明岡村字三壇古墳、西白河郡松崎村蝦夷穴、松崎村蝦夷穴構造・内面側壁ノ模様／18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	「(8)」とあり／西白河郡関和久村胴屠塚山貌図・平面図・縦断面図・原型復元図・原型崩壊図／18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	「(9)」とあり／西白河郡蕪内村古墳、西白河郡深仁井田村石世期遺跡断面地盤、深仁井田村字原田石世遺跡現況、(深仁井田村付近遺跡位置図)／18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	東白河郡逆川沿原中ニ散布ノ古墳位置ヲ示ス(図)／18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	(東白河郡上台村芳賀氏所有地内古墳図)、同郡福井村字大清水ノ古墳、同郡一色村字通壇ノ古墳、同郡板橋村字兼塚ノ古墳、同郡一色村字一色原古墳、(東白河郡福井村字上堀宇賀神社地内仮設オマス図)／18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	「(1)」とあり／18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	「(2)」とあり／18.7×28.4

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1435－16	153	(白河町赤坂武雄所蔵石器など図)	
1435－17	153	(西白河郡中野村菊地甚四郎所蔵黒曜石・石鎗など図)	
1435－18	153	(西白河郡桜岡村辺見留之助所蔵白瑪瑙曲玉ほか図)	
1435－19	153	(西白河郡釜子村駐在所詰巡査吉田義之所蔵石鏃など図)	
1435－20	153	(磐城西白河郡釜子村字カリシキ坂発見石器など図)	
1435－21	153	磐城国東白川郡棚倉町字涯ノ上(旧矢近村古名矢近坪)石世期住民遺跡発見ニ依リ其附近地勢見取図	
1435－22	153	(東白河郡棚倉町附近および字涯ノ上試掘位置・地勢断面図)	
1435－23	153	(地形図カ)	
1435－24	153	(石器図)	
1435－25	153	(石器図)	
1435－26	153	(石器図)	
1435－27	153	(土器図)	
1435－28	153	(土器図)	
1435－29	153	(土器図)	
1435－30	153	(土器図)	
1435－31	153	(土器図)	
1435－32	153	(土器図)	
1435－33	153	(剣図)	
1435－34	153	(鏃など図)	
1435－35	153	東京芝公園円山古墳所出之鏃(図)	
1340	149	(富士山噴火度数・浅間社創建などにつき覚)	
1341	149	(富士山に関する覚書)	
1367－1	150	(外国人帰化年譜など留帳)	
1367－2	150	(東北地方駅間距離および運賃など書上)	
1367－3	150	(東北地方にて購入物など書上)	
1394	151	(単語書上および棚倉古丁出土縄文土器図)	

作成→受取	形態	数量	備　考
(阿部正功)	状	1	「(3)」とあり／18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	「(4)」とあり／18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	「(5)」とあり／18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	「(6)とあり」／18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	「(7)」とあり／18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	彩色／18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	彩色／18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	彩色／18.7×28.4
(阿部正功)	状	1	彩色／19.1×29.3
(阿部正功)	状	2	彩色／2枚の内1枚は白紙／19.1×29.3
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	31～32丁に切込赤紙挟込
(阿部正功)	状	1	1367－1の13～14丁挟込
(阿部正功)	状	1	1367－1の13～14丁挟込
(阿部正功)	状	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1519－1	154	(久良岐郡本牧村字マカド台などの貝塚発見位置・断面図)	
1519－2	154	(荏原郡鵜ノ木村などの貝塚発見位置・断面図)	
1519－3	154	(南豊嶋郡青山5・6丁目などの貝塚発見位置・断面図)	
1519－4	154	(東京青山5・6丁目などの貝塚発見位置・断面図)	
1519－5	154	(足立郡側ヶ谷戸村などの貝塚発見位置・断面図)	
1519－6	154	(足立郡側ヶ谷戸村などの貝塚発見位置・断面図)	
1519－7	154	(大門村字貝殻坂などの貝塚発見位置・断面図)	
1519－8	154	(大門村字貝殻坂などの貝塚発見位置・断面図)	
1519－9	154	(南埼玉郡慈恩寺村などの貝塚発見位置・断面図)	
1520	154	(身延付近略図)	
1521－1	154	(富士山周辺俯瞰図)	
1521－2	154	(富士山周辺俯瞰略図)	
1522－1	154	(相州足柄上・下郡周辺略図)	
1522－2	154	(相州足柄上・下郡周辺略図)	
1523	154	相州三浦郡略図	
1524	154	(武州秩父郡略図)	
1525	154	荏原郡目黒近傍地図	
1526	154	武蔵多摩郡略図	
1527－1	154	(日本遺跡地図凡例)　＊1527－1～48	
1527－2	154	(北海道・沖縄遺跡地図)	
1527－3	154	(青森県管内遺跡地図)	
1527－4	154	(秋田県管内遺跡地図)	
1527－5	154	(岩手県管内遺跡地図)	
1527－6	154	(山形県管内遺跡地図)	
1527－7	154	(宮城県管内遺跡地図)	
1527－8	154	(新潟県管内遺跡地図)	

作成→受取	形態	数量	備　考
(阿部正功)	状	1	彩色／左下に「一」とあり／26.8×38.4
(阿部正功)	状	1	彩色／左下に「二」とあり／26.8×38.4
(阿部正功)	状	1	彩色／左下に「三」とあり／26.8×38.4
(阿部正功)	状	1	彩色／左下に「三」とあり／26.8×38.4
(阿部正功)	状	1	彩色／左下に「四」とあり／26.8×38.4
(阿部正功)	状	1	彩色／一部明治27年10月19日・25日発見の旨が記されている／26.8×38.4
(阿部正功)	状	1	彩色／左下に「五」とあり／26.8×38.4
(阿部正功)	状	1	彩色／左下に「五」とあり／26.8×38.4
(阿部正功)	状	1	彩色／左下に「六」とあり／26.8×38.4
(阿部正功)	状	1	28.0×39.0
(阿部正功)	状	1	27.0×38.8
(阿部正功)	状	1	27.0×38.8
(阿部正功)	状	1	27.8×38.5
(阿部正功)	状	1	27.8×38.5
(阿部正功)	状	1	33.0×27.0
(阿部正功)	状	1	27.0×38.5
(阿部正功)	状	1	土器塚などの位置記入あり／38.5×27.7
(阿部正功)	状	1	38.5×27.0
(阿部正功)	一括包・状	1・1	一括包紙上書「磐水引薄美濃」(印刷)／19.1×53.6
(阿部正功)	状	1	19.1×53.6
(阿部正功)	状	1	「本(1)」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本(二)」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本(三)」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本(四)」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本(五)」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本(六)」とあり／19.1×26.8

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1527－9	154	（福島県管内遺跡地図）	
1527－10	154	（茨城県管内遺跡地図）	
1527－11	154	（栃木県管内遺跡地図）	
1527－12	154	（群馬県管内遺跡地図）	
1527－13	154	（長野県管内遺跡地図）	
1527－14	154	（富山県管内遺跡地図）	
1527－15	154	（石川県管内遺跡地図）	
1527－16	154	（千葉県管内遺跡地図）	
1527－17	154	（東京府管下武蔵遺跡地図）	
1527－18	154	（埼玉県管内遺跡地図）	
1527－19	154	（神奈川県管内遺跡地図）	
1527－20	154	（静岡県管内遺跡地図）	
1527－21	154	（山梨県管内遺跡地図）	
1527－22	154	（岐阜県管内遺跡地図）	
1527－23	154	（福井県管内遺跡地図）	
1527－24	154	（島根県管内遺跡地図）	
1527－25	154	（鳥取県管内遺跡地図）	
1527－26	154	（愛知県管内遺跡地図）	
1527－27	154	（滋賀県管内遺跡地図）	
1527－28	154	（京都府管内遺跡地図）	
1527－29	154	（大坂府管内遺跡地図）	
1527－30	154	（兵庫県管内遺跡地図）	
1527－31	154	（岡山県管内遺跡地図）	
1527－32	154	（広島県管内遺跡地図）	
1527－33	154	（山口県管内遺跡地図）	
1527－34	154	（奈良県管内遺跡地図）	

作成→受取	形態	数量	備　考
(阿部正功)	状	1	「本(七)」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本(八)」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本(九)」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本(十)」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本(十一)」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本(十二)」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本(十三)」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本(十四)」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「(1)本」「十五」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本十六」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本(十七)」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本」「(十八)」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本(十九)」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本二十」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本二十一」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本二十二」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本廿三」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本二十四」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本二十五」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本二十六」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本二十七」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本二十八」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本二十九」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本三十」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本三十一」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本」「三十二」とあり／19.1×26.8

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1527－35	154	(三重県管内遺跡地図)	
1527－36	154	(和歌山県管内遺跡地図)	
1527－37	154	(愛媛県管内遺跡地図)	
1527－38	154	(高知県管内遺跡地図)	
1527－39	154	(香川県管内遺跡地図)	
1527－40	154	(徳島県管内遺跡地図)	
1527－41	154	(福岡県管内遺跡地図)	
1527－42	154	(佐賀県管内遺跡地図)	
1527－43	154	(長崎県管内遺跡地図)	
1527－44	154	(熊本県管内遺跡地図)	
1527－45	154	(宮崎県管内遺跡地図)	
1527－46	154	(大分県管内遺跡地図)	
1527－47	154	(鹿児島県管内島しょ部遺跡地図)	
1527－48	154	(鹿児島県管下遺跡地図)	
1528	155	(漢・百済・新羅・任那・高麗人移住地名書上)	
1529－1	155	(日本遺跡地図カ)	
1529－2	155	(日本遺跡地図カ)	
1529－3	155	(日本古墳・横穴分布地図)	
1529－4	155	(日本貝塚・土器出所・石器出所分布地図)	
1529－5	155	(遺跡平面図カ)	
1530	155	(横穴・古墳所在地一覧表)	
1531	155	(貝塚・土器など出所地書上)	
1533	155	(ウィリアム・ホルミス編著太古土器編などより遺物写図抜書)	
1535	155	(土偶などの図)	
1536－1	155	(満州付近墳墓略図)	
1536－2	155	(満州付近墳墓・村祠略図)	

作成→受取	形態	数量	備　考
(阿部正功)	状	1	「本(三十三)」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「本三十四」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「四」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「四」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「四」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「四」とあり／19.1×53.6
(阿部正功)	状	1	「九」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「九」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「九」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「九」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「九」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「九」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「九」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	状	1	「九」とあり／19.1×26.8
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	38.3×53.6
(阿部正功)	状	1	38.3×53.6
(阿部正功)	状	1	38.3×53.6
(阿部正功)	状	1	38.3×53.6
(阿部正功)	状	1	38.3×53.6
(阿部正功)	状	2	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	2	2枚の内1枚は白紙
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1537－1	155	壱岐の古墳(八木奘三郎より聞書)	
1537－2	155	壱岐の古墳(八木奘三郎より聞書)	
1538	155	(畿内・伊勢産物および遺跡書上)	
1539	155	(天皇陵解説および図)	
1540	155	(鹿島地方および貝塚断面図)	
1541－1	155	(人骨全体図)　＊1541－1～2	
1541－2	155	(人骨部分図)	
1542	155	(辺見永之助字山崎106番地より発見品略図)	
1545－1	155	(チマキ笹葉包図)	
1545－2	155	(鳥・魚の頭部に紐を通した図)	
1546	155	(運搬農具および旧城趾古碑図)	
1547	155	武蔵貝塚位置地名	
1548	155	麻布・渋谷・青山・赤坂近傍太古遺蹟予定図	
1549	155	(上野付近略地図)	
1550	155	久良岐郡金沢近傍遺蹟	
1551	155	橘樹郡東西寺尾・生麦・子安四ヶ村ニ跨ル丘上遺跡略図	
1552	C	元荒川沿岸貝塚分布略図	
1553－1	C	埼玉県下遺跡略図	
1553－2	155	埼玉県下遺跡略図	
1553－3	155	埼玉県下遺跡略図	
1553－4	C	(埼玉県西部遺跡略図)	
1555	C	(元荒川沿岸貝塚分布略図)	
1556	155	福嶋県下遺跡地名	
1557－1	155	(福島県下村名・小字・寺社書上)	
1557－2	155	(福島県下石世期遺跡分布略図)	
1557－3	155	(栃木県下大谷川流域略図)	

作成→受取	形態	数量	備　考
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	横	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	17.5×25.0
(阿部正功)	一括包・状	1・1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	彩色
(阿部正功)	状	1	彩色
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	彩色／29.5×42.0
(阿部正功)	鋪	1	55.0×76.0
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	彩色／27.6×19.5
(阿部正功)	鋪	1	彩色／157.6×114.3
(阿部正功)	鋪	1	彩色／113.5×54.6
(阿部正功)	状	1	彩色／38.8×54.5
(阿部正功)	状	1	彩色／38.8×26.5
(阿部正功)	鋪	1	彩色／82.6×78.0
(阿部正功)	鋪	1	彩色／114.0×54.8
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	1557－1の5～6丁挟込／1557－4の3枚目に同図あり／27.9×38.4
(阿部正功)	状	1	1557－1の5～6丁挟込／(1)とあり／遺跡分布図カ／11.0×25.0

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1557－4	155	（遺跡分布略図綴）	
1558－1	155	磐城国西白河郡土俗	
1558－2	155	（東原正月銜図）	
1559－1	155	比丘尼堂古甕説明大略	
1559－2	155	（棚倉町字比丘尼堂出土遺物図・拓本）	
1561－1	155	（磐城国東白川郡石世期遺跡予察図）	
1561－2	155	（磐城国東白川郡古墳予察図）	
1562－1	155	（磐城国西白河郡白河町字寒晒山出土石製品図）	
1562－2	155	（石製品図）	
1563	155	福嶋県下磐城国菊多郡地方民俗形勢一班	
1564－1	155	（部分日食観測図）	
1564－2	155	（部分日食観測図）	
1566	155	（書、古関余香）	
1567	155	（書、西福寺）	
1568	155	（円山古墳発掘記録部分）	
1722	164	（麻布霞町邸丸山祠堂周辺平面図）	
1723	164	（台所風景写生図）	
1765	168	（棚倉城周辺石炭採掘・化石拾取関係絵図）	
1767	168	（城割図下書）	

E－2　書状・葉書・名刺

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1331	149	（書状、参邸の礼および貴地の塚年代につき）	［明治21年］９月28日
1346	150	（書状、阿部正功小河内温泉安着の旨および旅程など報告）	（明治）23年８月５日

作成→受取	形態	数量	備　考
(阿部正功)	綴	1(6枚)	彩色／(日本石器・土器分布略図)・(福島県下図)・福嶋県下石世期遺跡分布略図・(福島県下穴遺跡分布図)・(福島県下塚分布図)・(福島県下立石・石神・山神分布図)
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	1558－1の1～2丁挟込
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	27.0×38.5
(阿部正功)	状	1	27.0×38.5
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状・封	1・1	封筒上書「従四位高島信(義カ)」・裏書「菊多郡風俗習慣」
(阿部正功)	状	1	15.0×19.1
(阿部正功)	状	1	15.0×18.9
正功謹書	状	1	24.4×33.3
正四位阿部正功書	状	1	落款数種押印／55.1×117.2
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	11.5×18.5
(阿部正功)	状	1	彩色／29.0×38.0
(阿部正功)	鋪	1	彩色
(阿部正功)	状	1	

作成→受取	形態	数量	備　考
小石川大和町若林勝邦→[麻布区霞町壱番地阿部正功様御執事御中]	状・封	1・1	
[神奈川県下西多摩郡小河内温泉原島小一郎方] 川勝隆儀→[東京麻布霞町一番地阿部家御内] 恒屋盛庸様	状・封	1・1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1347	150	(書状、阿部正功沢井村着の旨および旅程など報告)	[明治23年] 8月11日
256	65	(書状、西園寺様帰国に際しての使者などにつき)	[明治24年] 8月14日
1364	150	(書状、仙台市から作並湯本到着の旨および旅程など報告)	[明治25年] 10月21日
1365	150	(書状、庄内の人気・食物および旅程と近々帰京の旨など報告)	[明治25年] 10月27日
1372	151	(書状、貝塚遺物頂戴につき礼ほか)	[明治] 26年5月14日
1373	151	(書状、貝塚遺物受け取りにつき礼)	[明治] 26年5月17日
1374－1	151	(書状、藤蔓ハバ木2足製作承りにつき寸法問い合わせ)　＊1374－1～2	(明治)26年10月12日
1374－2	151	(山猟師用雉子笛およびヒクハ製造につき覚)	5月
1715－1	164	(洲崎村20番地持主浅草芳町加嶋利助)　＊1715－1～11	
1715－2	164	(名刺、理学士飯塚啓)	
1715－3	164	(名刺、麹町区下六番町45番地理学士山上万次郎)	
1715－4	164	(名刺、東京市大森区池上本門寺内大本山本門寺執事伊藤海聞)	
1715－5	164	(名刺、東京市麻布区霞町1番地長谷部新蔵)	
1715－6	164	(名刺、福嶋県西白河郡信夫村河合末吉)	
1715－7	164	(名刺、相州鎌倉光明寺執事神林周道)	
1715－8	164	(「御書簡類」)	
1715－9	164	(「東京芝公園字丸山採集」)	明治26年10月18日
1715－10	164	(丸玉・曲玉など首飾りの図)	
1715－11	164	(「西白河郡白河町字南町菊地亥之吉」)	
261－1	65	(書状、所望のしなた織献納につき)　＊261－1～2	(明治27年) 1月23日
261－2	65	説明書(しなた織寸法・代価・原料・用途など)	明治27年1月
260	65	(書状、蓑帽子・藁履・丸カンジキなど注文の諸品発送につき)	明治27年1月26日
262	65	(書状、依頼の浜茶取調べの件断り)	[明治27年] 2月3日

作成→受取	形態	数量	備　考
[神奈川県下西多摩郡沢井村山口や止宿] 川勝隆儀→[麻布区麻布霞町一番地(阿部)家案内] 恒屋盛庸様	状・封	1・1	
[上野国伊香保木暮八郎方] 恒屋盛庸→[東京麻布霞町壱番地] 御両所御中 [阿部正功殿御家従中]	状・封	1・1	
[宮城県陸前国宮城郡作並村湯本ニ而] 宇野秀包→[東京市麻布区麻布霞町一番地] 森順三郎様	状・封	1・1	
[山形県下北村山郡楯岡町伊勢屋方宇野秀包]→[東京市麻布区麻布霞町壱番地森順三郎様]	状・封	1・1	
[羽前鶴岡高畑] 羽柴雄輔→[東京麻布区霞町一番地] 阿部正功殿下執事	状・封	1・1	
[羽前鶴岡高畑] 羽柴雄輔→[東京麻布区霞町壱番地] 阿部正功殿玉台下	状・封	1・1	
[福島県西白河郡西郷村大字真船] 和越三作→[東京麻布区麻布霞町壱番地] 阿部正功殿執事御中	一括封・状	1・1	
	状	1	
	一括包・状	1・1	
	状	1	裏に「Akira Iizuka」とあり
	状	1	「Dr.M.Yamagami」とペン書きあり
	状	1	鉛筆書「18－7／27鬼子母神敷地御寄附方申請ニ来邸(長谷部氏同道)」
	状	1	鉛筆書「18－7／27鬼子母神敷地御寄附方申請ニ来邸(本門寺伊藤執事同道)」
	状	1	裏に鉛筆書「西白河郡中新城村崖腹ヨり出ツ、明治卅二年三月十六日寄贈」
	状	1	
	状	1	
	状	1	
	状	1	「大学書記官丸山熊彦」とあり
	状	1	
中村直敬→阿部子爵殿執事御中	一括封・状	1・1	
福島県伊達郡茂庭村製造人斎藤義一㊞	状	1	
永原和三郎→御叔父様	状	1	
[静岡県浜松町伝馬] 土屋彦六→[東京市麻布霞町壱番地] 安部 [正功殿御家扶御中] 様	状・封	1・1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1383	151	(書状、阿部正功発見の野沢土器塚の事引用したい旨)	[明治27年] 5月29日
1385	151	(羽前国地方農民所用の藁製帽子・履類など民具標本6点受領につき)	明治27年6月25日
1390－1	151	(書状、依頼の魚はヲウブダイである旨など回答) ＊1390－1～2	[明治28年3月18日]
1390－2	151	(アヲブダイ図)	
1448	153	(書状、旅費持ち合わせがないため秩父地方調査の件同行しかねる旨)	(明治28年) 4月1日
1449	153	(書状、秩父旅行へ同行できるにつき)	(明治28年) 4月3日
1450	153	(書状、秩父旅行旅程および大宮にて採集の石器の件)	(明治28年)[4月6日]
1451	153	(書状、秩父への行き方などにつき)	(明治28年) 4月9日
1452	153	(書状、秩父旅行の礼などにつき)	(明治28年) 4月21日
1453	153	(書状、旅行記編纂の件につき訪問したい旨)	(明治28年) 4月22日
266	65	(書状、来臨の礼に菓子を送った旨)	[明治28年] 5月9日
1396	151	(書状、朝鮮旅程の報告および正功の尽力へ礼の旨)	(明治28年)11月20日
1408	151	(書状、考古学会寄付への謝辞および八木氏旅程・考古学会費送付につき)	(明治)29年12月29日
1410－1	151	(書状、三河国小針村にて掘り出しの古器物につき) ＊1410－1～5	(明治30)年1月17日
1410－2	151	古代土器説明	明治30年3月18日
1410－3	151	証(古器物2個献納につき)	明治30年1月15日
1410－4	151	小包送票(岡崎郵便局差出、東京配送)	(明治30年1月15日)
1410－5	151	(書状、古土器掘り出し送付につき挨拶として金15円贈る旨)	
1409	151	(書状、マラリア全快につき帰京の旨)	[明治30年] 1月29日
1413	152	返書(古土器2個送付の礼として為替金証券請取の旨)	(明治)30年7月12日
1464	153	(書状、邸内に発見の大穴拝見したき旨)	(明治30年)10月12日

作成→受取	形態	数量	備　考
［東京本郷帝国大学理科人類学室］鳥居龍蔵→［東京麻布かすみ町］阿部(正功)君閣下	状・封	1・1	
帝国大学総長浜尾新㊞→［麻布霞町一番地］子爵阿部正功殿	状(印刷)・封	1・1	
［理科大学人類学室］鳥居拝(龍蔵)→［東京麻布かすみ町］阿部正功殿	一括封・状	1・1	
	状	1	
［東京神田旭町二三］鳥居龍(龍蔵)→［東京あざぶかすみ町］阿部子爵(正功)殿	状・封	1・1	
［神田旭町二三］鳥居(龍蔵)→［東京あざぶ区かすみ町］阿部子爵(正功)殿	状・封	1・1	
［理科大学人類学室］とりゐ(鳥居龍蔵)→［東京麻布区かすみ丁］阿部(正功)殿	状・封	1・1	
［東京神田旭町二三］鳥居龍蔵→［東京麻布かすみ町一］阿部(正功)君	状・封	1・1	
［神田旭町二三］鳥居龍蔵→［東京麻布区かすみ町］阿部(正功)君	状・封	1・1	
鳥居・大野→［東京麻布かすみ町］阿部(正功)君	状・封	1・1	
［埼玉県武蔵国大里郡吉見村大字冑山］根岸武香→［東京府麻布区霞町壱番地］阿部［正功］君	状・封	1・1	
［清国盛京省］大孤山にて鳥居龍蔵→［東京麻布霞町番地］阿部子爵(正功)殿	状・封	1・1	
［本郷区西片町十番地にノ廿四号］下村三四吉拝→［麻布区霞町一番地］阿部正功様御人々衆中	状・封	1・1	
［駒込西片町十番地］三井豊次郎→霞町阿部様御家扶御中	一括封・状	1・1	一括封筒上書「小針ニテ掘右人名献納人名此内ニアル、外坪井説明書もアリ」
理科大学人類学教室ニ於テ坪井正五郎(書印)	状	1	
献納人愛知県下三河国碧海郡志貴村大字小針五拾三番戸阿部家墓所世話方、矢田治郎八→東京市麻布区霞町壱番地子爵阿部正功様	状	1	
→本郷区駒込西片町	状	1	
→矢田治郎八殿	状	1	
［阿波徳島船場町鳥居方］鳥居龍蔵→［東京麻布霞町壱番地］阿部正功殿	状・封	1・1	
三河国碧海郡志貴村大字小針五十三番戸矢田治郎八㊞→東京市麻布区霞町壱番地恒屋盛庸殿	状・封	1・1	
［神田駿河台南甲賀町九番地］八木奘三郎拝→［麻布区霞町壱番地］阿部正功様貴下	状・封	1・1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1414	152	(葉書、台湾の紅頭嶼へ赴き人類学上の調査を行う旨)	[明治30年] 10月18日
1415	152	(書状、人類学会第13年会会計報告の旨)	明治30年10月20日
1471	153	(書状、風邪全快の上横穴拝見したい旨)	(明治30年カ)10月22日
1416	152	(葉書、庭中に発見した穴居遺跡および陳列場を訪れたい旨)	(明治30年)10月28日
1419－1	152	(書状、大小豆・イジコ・松アカシ石を19日送付の旨)　＊1419－1～2	[明治31年] 4月22日
1419－2	152	(イジコ・松アカシ石ほか送付品書上)	[明治31年] 4月
1421－1	152	(書状、櫂廻送につき)　＊1421－1～2	[明治31年] 5月17日
1421－2	152	(書状、かねて注文の貝殻類および櫂廻送につき)	[明治31年] 14日
1432－1	152	(納結につき書付)　＊1432－1～3	
1432－2	152	(書状、親舟の櫂など注文の品につき問い合わせの旨)　＊1432－2～3	(明治31年) 5月15日
1432－3	152	(親舟の櫂ほか注文の品書上)	(明治31年)
1425	152	(書状、人類学会明治30年9月より同31年8月までの会計報告につき)	明治31年9月17日
1429－1	152	(書状、竜崎字上代にて堀り取りの石器献納したい旨)　＊1429－1～2	明治32年4月7日
1429－2	152	(竜崎字上代出土石器図)	
1430	152	(書状、問い合わせの矢根石出所は大字松崎字原田一番地の旨)	明治32年4月21日
1476	153	(書状、いもあらいなど送付の旨)	(明治32年) 5月2日
1431	152	(書状、献上のいもあらいにつき)	[明治] 32年5月10日
290－1	66	(書状、阿部正功来訪の際留守につき詫状)　＊290－1～7	明治32年11月2日
290－2	66	(名刺、京都三条通堺町東入浜口新十郎)	(明治33年4月9日)
290－3	66	(名刺、京都帝国大学法科大学助教授同附属図書館長文学士島文次郎)	(明治33年4月9日)
290－4	66	(名刺、京都帝国大学図書館長島文次郎)	(明治33年4月11日)
290－5	66	(名刺、浅草小島町28番地黒川真道)	(明治33年7月13日)

作成→受取	形態	数量	備　考
基隆にて鳥居龍蔵→東京麻布区かすみ町阿部正功殿	状	1	
[下谷中根岸四十番地] 人類学会々計主任若林勝邦㊞→[麻布区霞町壱番地] 中央委員阿部正功殿	状・封	1・1	
[下谷区根岸四十番地] 若林勝邦→[麻布区霞町壱番地] 阿部正功様玉机下	状・封	1・1	
巣鴨町上駒込十三蒔田鎗次郎→麻布霞町壱番地阿部正功様机下	状	1	
[東白川郡棚倉町] 牧村俏平→[東京麻布霞町壱番地] 恒屋盛庸様	一括封・状	1・1	
牧村俏平→恒屋盛庸様	状	1	
[従磐城窪田村字関田] 高木之朝→[東京麻布霞丁一] 恒屋盛庸様	一括封・状	1・1	
高木→恒屋様	状	1	
	一括包・状	1・1	
[石城郡窪田村字開田高木] 之朝→[東京麻布霞町一番地](恒屋)盛庸様机下	一括封・状	1・1	
	状	1	
[下谷中根岸七十二・人類学会] 若林(勝邦)→[麻布区霞町壱番地] 中央委員阿部正功殿	状・封	1・1	
[福島県石川郡泉村竜崎] 小林房三㊞拝白→[東京市麻布区霞町] 阿部正功殿御内ニテ有田暉時殿玉案下	一括封・状	1・1	
	状	1	
[福島県西白河郡滑津村大字] 松崎小室秀実→[東京市麻布区霞町一番地阿部正功殿内] 有田暉時殿	状・封	1・1	
[福島県西白河郡西郷村] 横川時次→[東京麻布区霞町壱番地] 恒屋様(盛庸)	状・封	1・1	
[福島県西白河郡西郷村□□内] 横川時次→[東京市麻布区霞町] 阿部(正功)様御家令御中	状・封	1・1	
[京都上京区上塔三条町四百九十番戸] 田中生 [勝太郎] 拝→阿部学兄 [三條小橋大津殿方阿部正功様]	一括封・状	1・1	封筒表付箋「付箋之通ニ付配達ス、京都郵便電信局㊞」・「上京区東三本木水明楼ニテ阿部正功殿、右方へ御届被下度候也、十一月二日正午、三條小橋大津家㊞」
	状	1	裏に「明治三十三年四月九日日光屋へ面会ニ来ル」の鉛筆書あり
	状(印刷)	1	裏に「明治三十三年四月九日京都帝国大学図書館ニテ授与」の鉛筆書あり
	状(印刷)	1	裏に「卅三年四月十一日西京日光や止宿の時来訪(不在ニ而面会セス)」の鉛筆書あり
	状(印刷)	1	裏に「三十三年七月十三日発掘品内覧ニ博物館ゟ来ル」の鉛筆書あり

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
290－6	66	（名刺、技手若林勝邦）	（明治33年７月13日）
290－7	66	（名刺、愛住女学校主小具貞子）	
1440	153	（葉書、東京人類学会創立20年紀念を祝う旨）	［明治37年］９月２日
1439	153	（書状、東京人類学会20年紀念祝賀会開催につき）	［明治37年］９月27日
323	67	（書状、阿部正功娘旅中暴風雨にあうも無事の旨帰京日限知らせ）	［明治44年］８月17日
1444－1	153	（書状、市立図書館優待券送付の旨）＊1444－1～2	明治44年10月13日
1444－2	153	市立図書館優待券	明治44年10月10日
324	67	（書状、歳暮として海苔頂戴につき礼）	［明治44年］12月25日
326	67	（書状、御機嫌伺い）	［大正２年］３月11日
327	67	（書状、要子様結婚の祝）	［大正２年］５月24日
334	69	（絵葉書、年賀状）	大正７年１月１日
1473	153	（書状、品評会来会に対する礼）	１月10日
1474	153	（書状、鈴木審三の紹介ならびに面会のため来館願）	２月
1475	153	（書状、西松二郎の紹介ならびに面会のため来館願）	３月10日
1447	153	（書状、オランダ土俗学会雑誌に阿部正功論文の記載あり注意の旨）	３月30日
1454－1	153	（書状、堀尾太郎・宮沢甚太郎紹介の旨）＊1454－1～3	５月４日
1454－2	153	（名刺、長野県更埴郡北原東京人類学会々員堀尾太郎）	
1454－3	153	（名刺、長野県更埴郡埴生高等学校長・東京人類学会会員宮沢甚三郎）	
1455	153	（書状、土俗調査書郵送の旨などにつき）	５月18日
1456	153	（書状、来る土曜日訪問したい旨）	６月７日
1565	155	（書状、柴崎雇用につき）	６月12日
1477	153	（書状、親族本荘寿臣の紹介ならびに面会願）	７月３日

作成→受取	形態	数量	備　考
	状(印刷)	1	裏に「三十三年七月十三日発掘品内覧ニ博物館ゟ来ル」の鉛筆書あり
	状(印刷)	1	
白河町字向寺六四公翁山千葉亀吉拝→東京麻布霞町壱丁目壱番地従三位子爵阿部正功殿御執事御中	状	1	
[東京帝国大学理科大学人類教学室内] 東京人類学会→[麻布区霞町一] 子爵阿部正功殿	状・封	1・1	
[相州大磯町角半楼ニテ] 外池六弥→[東京市麻布区霞町壱番地阿部家内御諸臣御中] 牧村俣平様、八木重威様、森順三郎様、種村助三郎様	状・封	1・1	
東京市麻布区役所㊞→子爵阿部家御家扶殿	一括封・状(印刷)	1・1	
東京市役所㊞→子爵阿部正功殿	竪(印刷)	1	
[磐城国棚倉町] 阿部資満→[東京市麻布区霞町一番地] 御二所 [阿部正功] 様	状・封	1・1	
[名古屋市外御器所村龍興寺池東畔] 阿部正直→[東京市麻布区霞町] 阿部正功様	状・封	1・1	
[名古屋外御器所村龍興寺池東畔] 阿部正直→[東京市麻布区霞町] 阿部正功様	状・封	1・1	
信州善光寺釈迦堂護宝会→東京市麻布区霞町阿部正功殿	状	1	善光寺本堂写真の図柄
[糀丁区四番丁十三番地] 林若吉→[麻布区麻布霞丁一番地] 阿部正功殿侍史	状・封	1・1	
[上野帝国博物館天産部] 藤森峰三→[麻布区霞町壱番地] 阿部正功様	状・封	1・1	封筒裏書「託鈴木審三氏」
[上野帝国博物館] 藤森峰三→[麻布区霞町壱番地] 阿部正功様貴下	状・封	1・1	
[理科大学人類学内] 鳥居龍(蔵)→[あざぶ区かすみ町] 阿部(正功)	状・封	1・1	
[理科大学人類学室にて] 鳥居龍蔵→阿部子爵 [正功] 殿	一括封・状	1・1	
	状(印刷)	1	名刺裏書「本郷区真砂町卅番地藤木方」
	状	1	「下谷区上車坂町六十番穴沢吉蔵方」とあり
鳥井龍蔵→[東京麻布かすみ町] 阿部(正功)君	状・封	1・1	
[東京理科大学人類学室] 鳥居(龍蔵)拝→[東京麻布かすみ町] 阿部(正功)大君	状・封	1・1	
[北澤内ゟ](阿部)正功→御母上 [亀印] 様	状・封	1・1	
[伯爵] 小笠原長幹→ [子爵] 阿部正功様	状・封	1・1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1460	153	(書状、土俗会開催につき発起人加入依頼)	7月4日
1457	153	(書状、来る日曜日訪問したい旨)	7月8日
1461	153	(書状、訪問時の厚遇などに対する礼)	7月28日
1478	154	(書状、八王子駅より上諏訪駅までの旅程報告)	7月31日
1479	154	(書状、立寄り一泊する旨など飯田駅から・米川村の旅程報告)	8月3日
1462	153	(書状、土俗会発起人引受の礼および土俗会当日景況の旨)	8月11日
349－1	69	(書状、御依頼の耕作経済書見当らないにつき関係書大略書上差上)　＊349－1～2	8月14日
349－2	69	Boussingault's Rural Economy Lan.(耕作経済書関係書大略写)	
1465	153	(書状、鳥居龍蔵の消息につき)	8月14日
1458	153	(書状、生蕃着京につき来遊されたい旨)	8月15日
1463	153	(書状、第4回土俗会開催につき出席願)	8月20日
1745	168	(封筒)	9月2日
1480	154	(書状、見本のような物発見につき鑑定願)	9月4日
1470	153	(書状、阿部正功邸にて発掘の古器物一見のため参堂の旨)	9月5日
1481	154	(書状、台中県下で使用の携帯弓矢差し上げる旨)	9月6日
1466	153	(書状、中央委員候補者申込人に加えたい旨)	9月16日
1467	153	(書状、人類学学会中央委員辞退につき一年継続下されたい旨)	10月7日
1472	153	(書状、博物館に再度の来訪を願う旨)	10月24日
1468	153	(書状、本会役員選定の件につき書面にて意見を伺いたい旨)	10月29日
354	69	(葉書、不在の詫と訪問日時伺い)	(11月1日)
537	82	記(天目茶碗代金ほか74銭書上)	第11月2日
1469	153	(書状、中央委員改選につき別紙記入の上送付されたい旨)	11月2日
353	69	(書状、約束の添書渡しにつき)	11月5日

作成→受取	形態	数量	備　考
［神田駿河台住］八木奘三郎拝→［麻布区霞町壱番地］阿部正功様侍吏	状・封	1・1	
［東京神田旭町］鳥居(龍蔵)→［東京あざぶ区かすみ町］阿部正功殿	状・封	1・1	
八木(奘三郎)拝→［麻布区霞町壱番地］阿部正功様	状・封	1・1	
［信州上諏訪中洲邨内神宮寺角屋新助方ゟ］柿沼・三雲→［東京府下麻布霞町壱番地］恒屋(盛庸)様	状・封	1・1	
三雲武雄・柿沼量度→［長埜県下伊那郡］恒屋(盛庸)様	状・封	1・1	
八木奘三郎拝→［麻布区霞町壱番地］阿部正功様侍吏	状・封	1・1	
上杉［勝賢］→阿部公［正功殿］	一括封・状	1・1	
	状	1	
［本郷西片町十番地］つぼゐしやうごろう(坪井正五郎)→［麻布区霞町壱番地］あべ(阿部正功)くん	状・封	1・1	
鳥居(龍蔵)→［東京麻布区かすみ町］阿部(正功)君	状・封	1・1	
［糀丁区四番丁十三番地］林若吉ほか1名→［麻布区霞町一番地］阿部正功様	状・封	1・1	
神田駿河台南甲賀町九番地八木奘三郎→麻布区霞町壱番地阿部正功様侍史	封	1	
［宮城野村］松本文次郎→［東京麻布霞町壱番地］阿部正功様	状・封	1・1	封筒上書「見本水晶片三個入」
［荒川区大和町十八番地］若林勝邦→［麻布区霞町壱番地］阿部正功様	状・封	1・1	
［丸屋町佐々部方］江森保存拝→［麻布霞町一番地］阿部子爵［正功］様侍史	状・封	1・1	
理科大学人類学室ニテ東京人類学会幹事若林邦勝ほか1名→［麻布区霞町壱番地］阿部正功様	状・封	1・1	
［本郷区西片町十番地］坪井正五郎→［麻布区霞町一番地］阿部正功様	状・封	1・1	
［下谷区上野公園帝国］博物館歴史部ニて若林勝邦拝→［麻布区霞町壱番地］阿部正功様	状・封	1・1	
［本郷西片町十番地］臨時幹事坪井正五郎→［麻布区霞町壱番地］阿部正功様	状・封	1・1	
上京区武者小路町四一浜田耕作→上京区三条小橋大津屋旅宿にて阿部正功殿	状	1	
亀分舗㊞→上様	状	1	
本郷理科大学人類学教室坪井正五郎→［麻布区霞町壱］阿部正功殿	状・封	1・1	
野村敷明→［東三本木信東樓隣小西様方］子爵阿部［正功］殿御近侍御中	状・封	1・1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
538	82	キ(カラミヒモほか2円40銭余書上)	11月9日
1459	153	(書状、坪井教授演説要旨)	
1510	154	記(馬船献上につき)	
1756	168	(封筒)	

E－3　収集文献

E－3－1　目録

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1283	146	和漢洋書籍目録・西洋書籍類全	(明治4年～同6年)
1280	146	書目(洋書・和漢書)	明治11年
1281－1	146	書籍目録(慶應義塾などにて既読書名書上)	(明治4年～同16年)
1281－2	146	(入退塾年月書上)	
1285	146	(帝国百科全書の内食物論ほか書籍名ならびに値段書上)	
1287	146	(ダーウィン著作など洋書書上)	

E－3－2　書籍類の写し・抜書

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1570－1	155	東察加紀事略	(明治8年4月・明治12年4月4日写)
1570－2	155	東察加紀事略	明治8年4月・明治12年4月4日写
1571－1	155	(千島紀行)	(明治8年8月・明治12年4月10日写)
1571－2	155	千島紀行	(明治8年・明治12年4月10日写)
1705	164	(明治14年8月25日両国橋上流より7番台場まで教導船・目衛船・伝馬船大流の順序記録)	(明治14年)
1573－1	155	人国記	
1573－2	156	(人国記)	明治18年9月写
1029	127	国本論全	天明元年8月21日・明治18年10月写
1574	156	奥州白川往昔伝記全	延宝6年4月・明治19年2月写
1575	156	白川風土記抜写(白河風土記巻之四)	明治19年3月5日写

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
京都出町今出川上ル高山源蔵→阿部様	状	1	
[理科大学人類学室] 鳥居龍蔵→[東京あざぶ区かすみ町] 阿部(正功)君	状・封	1・1	
西白河郡西郷村大字小田倉字上新田四拾五番地平民農相川鉄吉	状	1	
本郷区西片町十番地にノ廿四下村三四吉→麻布区霞町一番地阿部正功殿親展	封	1	

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	1281－1の 8 ～ 9 丁挟込
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
福士成豊・(阿部正功写)	竪	1	東察加＝カムチャツカ
福士成豊・(阿部正功写)	竪	1	
佐藤秀顕・(阿部正功写)	竪	1	表紙欠
佐藤秀顕・(阿部正功写)	竪	1	29～30丁、30～31丁、31～32丁、32～33丁、35～36丁に付箋挟込
	状	1	
伊東春琳職	竪	1	
伊東春琳職・(阿部正功写)	竪	1	
白川世子源(松平)定信・(阿部正功写カ)	竪	1	巻末に「此書旧小田原大久保家ゟ借覧シ写、于時明治十八年秋十月」とあり
白河城下大塚氏高之著・(阿部正功写)	竪	1	
(阿部正功写)	竪	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1091	132	警視庁規則ノ内犯罪幼年者教育会社ノ事	明治19年6月写
1258	145	楠諸士教序	元禄5年1月13日・明治19年6月写
1259	145	酒井讃州家訓(「一話一言」抜書写)	文化3年11月・明治19年6月写
1260	145	安永天明年間江戸服飾之形地(「一話一言」抜書写)	(明治19年6月写)
1257	145	切支丹宗門来朝実記一・二・三・四・五	明治19年11月写
1577	156	風土蠡測全	享保12年12月・明治20年2月21日写
1221	143	文徳実録抜書	(明治)21年6月写
1336	149	富士山記(碑文写)	天保13年6月建立・明治22年7月22日写
1352	150	(東京人類学会雑誌所載物品目録ほか写)	(明治23年～同28年)
1579	156	相模風土記抄録相模国産物録	明治24年12月写
1580－1	156	磐城国東白川郡各村字名帳	
1580－2	156	(東白河郡村地図)	明治25年4月
1594－1	156	新編武蔵風土記稿抄録共十(惣説)	(明治26年写カ)
1594－2	156	新編武蔵風土記稿抄録神代系図全	
1594－3	156	新編武蔵風土記稿抄録共十(入間郡)	
1594－4	157	新編武蔵風土記稿抄録共十(南・西多摩郡)	
1594－5	157	新編武蔵風土記稿抄録共十(埼玉郡)	
1594－6	157	新編武蔵風土記稿抄録共十(大里・横見・男衾・豊嶋郡)	
1594－7	157	新編武蔵風土記稿抄録共十(高麗・新座・比企郡)	
1594－8	157	新編武蔵風土記稿抄録共十(荏原・北多摩郡)	
1594－9－1	157	新編武蔵風土記稿抄録共十(幡羅・榛沢・那賀・児玉・賀美・秩父郡)	
1594－9－2	157	(秩父郡古墳・石棒所在地図)	
1594－10	157	新編武蔵風土記稿抄録共十(久良岐・都筑・橘樹郡)	
1594－11	157	(新編武蔵風土記稿足立郡抜書)	
1380－1	151	各品説明書(羽前地方などの民具説明書写)	
1380－2	151	各品説明(羽前地方などの民具説明書)	明治27年1月15日

作成→受取	形態	数量	備　考
	竪	1	
(室)鳩巣著・外池六弥写	竪	1	
(大田南畝著)	竪	1	
(大田南畝著)	竪	1	
	竪	1	
山田好之著・(阿部正功写)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	「明治二十二年七月廿二日須走浅間社詞㈹官高相豊見ヨリ借写」とあり
(阿部正功)	状	24	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
㊞(工藤)	鋪(印刷)	1	1580－1の1～2丁挟込／28.1×40.3
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	鋪	1	彩色／1594－9－1の30～31丁挟込／27.0×38.6
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
	竪	1	
山形県羽前国西田川郡雀岡町宝町甲八番地永原和三郎記㊞	状	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1706	164	牛込・八王寺㈜・立川・青梅間時刻表	(明治27年11月19日～)
1097	132	農商務省令明治廿八年三月改正狩猟規則	明治28年３月20日
1099	132	国民軍条例写	(明治28年１月～２月)
1269	146	朝日庄由来縁記	明治28年７月写
1395－1	151	(ウミガラスにつき説明書)　＊1395－1～4	明治28年８月
1395－2	151	(名刺、田中房種)	
1395－3	151	(ウミガラス頭部・正面図)	
1395－4	151	(ウミガラス頭部・正面図)	
1581	156	延喜式内磐瀬総社郷社桙衝神社調書	明治28年12月
283	66	鳥相場(鳥種類・価額)	明治30年
1423	152	芝公園内古墳発掘地々図(縮尺600分の１)	明治31年６月８日
1445	153	(オニシバリ写生図および解説)	1912年６月29日
347	69	(磐城国西白河郡拝鳥などからの産物の栃・ブナの木差上につき)	２月28日
1514	154	(狩猟衣類・鹿笛・火縄筒など書上)	３月
1295－1	147	(宜園百家詩写)	
1295－2	147	春日雑題卅韵(写)	
1295－3	147	四月十二日沈君梅史讌客楠亭在座者秋月古香石川鴻斎黄君公度梁君詩五也鴻斎有詩見貽即席奉和二首(写)	(６月６日)
1295－4	147	(芸伎に関することなど書付)	
417	70	旅路の心得	
1102	132	初等小学校第三級生ノ習学文体	
1103	133	毎日御教科順序(実物・数学問題書上)	
1202	142	児童孝行短歌	
1219	143	続日本紀(写抜書)	
1220－1	143	(延喜式陶器関係記事抄録ほか)	
1220－2	143	(延喜式・古事記伝抄録ほか)	
1222	143	姓氏録抜書草稿	

作成→受取	形態	数量	備　考
	状	1	
	堅	1	
	堅	1	
磐城菊多郡入遠野村上遠野秀宗写	堅	1	巻末に「右之通古書写献上候也」とあり
田中房種記	一括包・状	1・1	一括包紙上書「魚ノ図」
	状	1	
	状	1	彩色
	状	1	彩色
福島県岩代国岩瀬郡郷社桙衝神社々司室田賢一㊞	堅	1	
	堅	1	
瓶廼舎尚古之記	鋪	1	112.5×53.5
	状	1	彩色／18.0×10.5
	状	1	
	状	1	
	状	91	
	堅	1	
	状	1	「報知六月六日」とあり
	状	1	
	状	1	
	堅	1	
	堅	1	
	堅	1	
(阿部正功)	堅	1	
(阿部正功)	横	1	6丁内に下敷挿入
(阿部正功)	横	1	
(阿部正功)	堅	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1223	143	(姓氏録抜書)	
1226－1	143	大日本史神祇志抜抄	
1226－2	143	礼楽志抜抄	
1227	143	大日本史抄録	
1228	143	(大日本史氏族志抄録ほか)	
1229	143	大日本史抄録(農事)	
1230	143	(大日本史抄録ほか)	
1231	143	礼楽志抄録山陵略考	
1232	143	(外史抜書足利伝・後北条伝)	
1237	144	(神降詞祝詞など抄録)	
1238	144	三才図会抄録(物産起源および沿革考)	
1239	144	(万葉集略解・冠辞考・大日本史十志・博物叢書・大日本史蝦夷之部ほか抜書)	
1244	144	備考貞丈雑記書抜(巻之七膳の部)	
1486	154	(動物説明書)	
1487	154	(柿栽培法につき第1回内国勧業博覧会出品解説書などより抜書)	
1488	154	(かての割合など書上)	
1489	154	靴足袋短靴足袋ヲ織ル事(ストッキング・ソックスなど織り方説明書)	
1490	154	(鉛筆製法書)	
1491	154	(明治4年～同6年郵便制度書上)	
1492－①～②	154	(人類学資料・土俗学資料)	
1492－①	154	人類学資料(考古之部石器時代・古墳時代)	
1492－②	154	土俗学資料	
1493	154	(石川郡竜崎村のエソ穴のある地名につき書付)	
1494	154	記(猛獣ホブリ刀などにつき)	
1496	154	(保司方にて饗膳につき書付)	
1504	154	(保司方にて祝宴につき書付)	

作成→受取	形態	数量	備　考
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	16	
(阿部正功)	状	5	
(阿部正功)	状	2	
(阿部正功)	横	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	11	
(阿部正功)	竪	1	㊞(阿部)あり
(阿部正功)	状	2	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功カ)	竪	1	
(伊勢貞丈著・阿部正功写カ)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	竪	1	
	状	1	
	竪	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	2	2枚の内1枚は白紙
(阿部正功)	綴	1	彩色
(阿部正功)	竪		
(阿部正功)	竪		
(阿部正功カ)	状	1	
(阿部正功カ)	状	1	
(阿部正功)	状	1	1504と関連のもの／「(5)とあり」
(阿部正功)	状	1	1496と一連のもの／「(7)」とあり

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1497－1	154	土俗品(内外土俗品名ならびに個数書上)	
1497－2	154	(土俗品名ならびに個数書上)	
1498	154	(旧国名別祭神書上)	
1499	154	(浮囚住地書付)	
1500	154	(京都の土俗・土器種類など書付)	
1501－1	154	(稲虫除札文言書付)	
1501－2	154	(苗代水口祭で四方に竹にてはさみ建てる札文言書付)	
1501－3	154	(毎朝神々へ拝礼のことなど民俗取調書上)	
1502	154	(秩父地方石神・古墳ほか民俗取調項目など書上)	
1503	154	茨城県常州笠間近郷上市原村住飯田某妻きんノ直話	
1505－1	154	武蔵国荏原郡目黒村・駿河国駿東郡沼津町近傍土俗(方言・年中行事など書上)	
1505－2	154	(大里郡本田村庚申塔の図)	
1506－1	154	荏原郡鵜木村千鳥久保天明歌三郎所有貝塚(石器などの個数書上)	
1506－2	154	(地形図)	
1507	154	(野沢村土器出所・水戸近傍遺跡の書付)	
1509	154	(宮城野村戦場城などにつき書付)	
1511	154	磐城国東白川郡土俗(方言・産物など書上)	
1512－1	154	(クツツコなど方言書上)	
1512－2	154	(東白川郡方言書上)	
1513	154	(東白川郡高野村猟師皮靴ほか所持物書上)	
1517	154	富士のしをり(富士山付近の俯瞰図)	
1543	155／C	(蝦夷島奇観抄写)	
1586	156	磐城国西白河郡町村大字小字調	
1587－1	156	(東白川郡163カ村旧村名書上)	
1587－2	156	(東白川郡117カ村旧村名書上)	
1588	156	白河郡荘郷略誌(白川風土記書抜)	

作成→受取	形態	数量	備　考
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	2	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	1505－1の1丁内挿入
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	彩色
(阿部正功)	状	1	彩色
(阿部正功)	状	1	「阿部」印あり
(阿部正功)	竪	1	
	状	1	
(阿部正功)	状	1	
	状	1	
(阿部正功)	状	1	
秦檍丸(麿)・山東雲模写	巻	1	彩色／31.1×440.5
	竪	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	竪	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1589	156	磐城国東白川郡村社書抜	
1590	156	(奥羽観蹟聞老志白河郡関係記事書抜)	
1591－1	156	参考抜書(大日本史など白河関係記事書抜および陶器考)	
1591－2	156	(陶器考付図)	
1592	156	(相模国風土記第三集阿部家賜領地抜書写)	
1593－1	156	(陸奥国風土記より八槻郡記事および白河・磐城・菊多郡村名抜書)	
1593－2	156	(陸奥国風土記八槻郡記事抜書)	
1595	157	国産要略全	
1596－1	157	改正絵入南都名所記(奈良名所旧跡古歌集・春日社惣社尊附・東大寺寺社本尊附・二月堂観世音因縁附・大仏殿建立縁起附・興福寺伽藍造立附)	
1596－2	157	(名前書付)	
1597	157	霞町往今記事略(金埃集・公余録より麻布下屋敷記事抜書)	
1699	164	塗物必書全	
1702－1	164	雑題全(比例雑題)	
1702－2	164	(第63問解答書付)	

E－3－3　雑誌・新聞の抜書

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1084	131	改ム清国救恤記事(朝野新聞1353号抄録)	(明治11年3月)
1599	158	繭糸・織物・陶器・漆器共進会私評参考論(読売新聞第3101・3108・3110号より写)	(明治18年5月21日～31日)
1600	158	吉宗公治蹟(読売新聞第3814号掲載重野安繹東京学士会院講演記録写)	(明治20年9月23日)
1598	157	事々抄録全(明治12年～同16年雑誌新聞・官報・諸書などからの記事抄録)	明治23年12月
1601	158	神道ハ祭天ノ古俗(史学会雑誌第23号掲載久米邦武論文写)	(明治24年10月15日)
1602	158	徳川氏施政評論全(史学雑誌第40号掲載池田晃淵講演記録写)	(明治26年3月15日)
1603	158	日本全国ニ散在スル古物遺跡ヲ基礎トシテコロボックル人種ノ風俗ヲ追想ス(史学雑誌第40号掲載坪井正五郎講演記録写)	(明治26年3月15日)
1604	158	牛込原町中川氏所有地土室之説(東京朝日新聞第2624号抄録)	(明治26年8月22日)
1606	158	(読売新聞第6273～6274号抄録広島雑記ほか)	(明治27年1月16日～17日)

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	1591－1の24～25丁挟込
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功)	状	1	
(阿部正功)	竪	1	
	竪	1	
	状	1	1596－1の 2 丁内挿入
(阿部正功)	竪	1	
(阿部正功カ)	竪	1	蔵書印(阿部家文庫)あり
蔵書印(富田蔵書)	竪	1	
	状	1	1702－1の12丁内挿入

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
	竪	1	表紙に「廃書也」とあり
	状	7	彩色／ 7 枚の内 2 枚は白紙
	竪	1	
	竪	1	阿部正功の奥書あり／こよりあり
	竪	1	
	竪	1	明治25年12月10日講演
	状	10	明治26年 2 月18日講演
	竪	1	「戦争ト地方労役者」を含む
	竪	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1605	158	天保度ノ白川侯賢ニシテ敵ヲ招ク(東京日日新聞抄録)	(明治27年3月13日)
1609	158	(台湾蕃族奇聞ほか時事新報第4482号・日清戦争実記第40～46編抄録)	(明治28年9月27日～同29年1月5日)
1608	158	(時事新報第4474～4541号、抄録生蕃探検記ほか)	(明治28年12月27日～同29年3月14日)
1607	158	生蕃視察記(時事新報第4608～4610号抄録、予備陸軍歩兵中尉長野義虎台湾視察の記録)	(明治29年5月31日～6月3日)
1113－1	134	明治三十年一月十二日官報号外抄録崩御ニ付宮内省告示内閣閣令(英照皇太后葬儀関係記事抄録1)	(明治30年1月12日～2月9日)
1113－2	134	(英照皇太后葬儀関係記事抄録2)	(明治30年1月16日～31日)
1113－3	134	(英照皇太后葬儀関係記事抄録3)	(明治30年1月24日～2月2日)
1113－4	134	(英照皇太后葬儀関係記事抄録4)	(明治30年2月3日～6日)
1113－5	134	(英照皇太后葬儀関係記事抄録5)	(明治30年2月5日～3月5日)
1610	158	都新聞切抜芝丸山古墳発掘記事	(明治31年3月8日～4月14日)
1613	158	(国民新聞第2512～2517号掲載、鳥居龍蔵演述紅頭嶼土人ハ如何ナル種族ヨリ成乎ほか)	(明治31年5月28日～同32年9月23日)
1612	158	人種的相異ト人類的一致(国民新聞第2530～2532号掲載坪井正五郎演説ほか抄録)	(明治31年6月18日～同32年2月28日)
1611－1	158	骨製の矢の根(国民新聞第2534号野中完一氏話掲載)	(明治31年6月23日)
1611－2	158	壱岐の古墳(国民新聞第2539号八木奘三郎氏談掲載)	(明治31年6月28日)
1611－3	158	神戸茸合村の古墳(国民新聞第2578号抄録)	(明治31年8月12日)
1611－4	158	鳥取県浜坂村石器時代遺跡(国民新聞第2588号抄録)	(明治31年8月24日)
1611－5	158	播磨国飾磨郡平野村字奥野興塚(国民新聞第2589号抄録図)	(明治31年8月25日)
1611－6	158	石斧及錘石ノ類(国民新聞第2591号抄録図)	(明治31年8月27日)
1611－7	158	妄信俗伝(国民新聞第2608号抄録、第6回土俗談話会坪井正五郎演述記録)	(明治31年9月16日)
1611－8	158	妄信俗伝(続)(国民新聞第2609号抄録、第6回土俗談話会坪井正五郎演述記録)	(明治31年9月17日)
1611－9	158	九州に於ける石器時代人民(国民新聞第2613号抄録、東京人類学会例会理学士佐藤伝造氏演述記録)	(明治31年9月22日)
1611－10	158	栃木県石那田の石器時代遺跡(国民新聞第2621号抄録)	(明治31年10月2日)
1611－11	158	大磯在万田の横穴(国民新聞第2641号抄録)	(明治31年10月26日)
1611－12	158	新発見の石器時代遺跡(国民新聞第2643号抄録)	(明治31年10月28日)
1611－13	158	九州に於ける奇らしき古跡(国民新聞第2684号抄録)	(明治31年12月17日)
1611－14	158	鎌倉に古墳を発見す(国民新聞第2690号抄録)	(明治31年12月24日)

作成→受取	形態	数量	備　考
	状	1	阿部能登守正瞭死因につき異聞
	竪	1	
	竪	1	「浦里社支庁長北蕃紀行并ニ北蕃調書」・「台湾蕃族考」を含む
	竪	1	
	竪	1	こより札「1」あり
	竪	1	こより札「2」あり
	竪	1	こより札「3」あり
	竪	1	こより札「4」あり
	竪	1	こより札「5」あり
	竪	1	
	竪	1	「人類ノ移住」・「大学ノ博覧会出品」を含む
	竪	1	「パラオ島土人を観る」・「芝公園円山古墳」・「アイヌの一生涯」・「骨製の矢の根」
	状	2	1612にもあり
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	状	1	
	状	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	状	1	
	竪	1	
	竪	1	
	状	2	
	状	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1611－15	158	鎌倉発見の石塔婆に就て(国民新聞第2693号八木奘三郎話抄録)	(明治31年12月28日)
1611－16	158	鎌倉発見の石塔婆に就て(国民新聞第2693号八木奘三郎話抄録部分)	(明治31年12月28日)
1611－17	158	鎌倉発見の古塔(国民新聞第2694号抄録)	(明治31年12月29日)
1611－18	158	国民新聞第二千九百八号抄録(反古カ)	(明治32年９月)
1615	158	(国民新聞第2695号掲載、日本石器時代人民の研究一歩ヲ進ほか)	(明治32年１月１日～９月24日)
1616－1	158	野蛮人ノ歌謡(国民新聞第2695号抄録)	(明治32年１月１日)
1616－2	158	貝塚より人骨を発見す(国民新聞第2697号抄録、常陸国江戸崎町吹上貝塚における頭骨片採集につき)	(明治32年１月５日)
1616－3	158	神籠石(国民新聞第1748号抄録、筑後国久留米市東方御井町高良神社附近の遺跡につき)	(明治32年３月７日)
1616－4	158	東京人類学例会(国民新聞第2749号抄録、坪井正五郎人類学上土俗調査範囲につき)	(明治32年３月８日)
1616－5	158	前橋在発見の貝塚遺物(国民新聞第2756号抄録、膠漆様附着の石鏃につき)	(明治32年３月16日)
1616－6	158	東北地方の遺跡(国民新聞第2878号抄録、八木奘三郎東北地方へ人類学的調査につき報告)	(明治32年８月８日)
1616－7	158	芝丸山古墳の人骨(国民新聞第2908号抄録)	(明治32年９月12日)
1616－８	158	(国民新聞第2908号抄録部分、芝丸山古墳出土人骨につき)	(明治３２年９月12日)
1616－9	158	(国民新聞第2641号抄録、大磯在万田の横穴)	(明治３１年10月26日)
1616－10	158	考古談話会の遠足会(国民新聞第2928号抄録、柏駅附近の貝塚探究)	(明治32年10月６日)
1616－11	158	市政及府政(国民新聞第2946号抄録、芝公園内古墳調査および保存意見につき)	(明治32年10月28日)
1433	152	土俗品下調(読売新聞第8028号抄録含む)	(明治32年10月～同33年２月20日)
1618	158	新嘗祭(国民新聞第2968～69号抄録)	(明治32年11月24日～25日)
1619	158	華族の新娯楽(都新聞第4513号抄録、貝塚探検)	(明治33年１月７日)
1620	158	東京湾漁場(都新聞第4542・4545～4547号抄録)	(明治33年２月11日～17日)
1621	158	第二回時代料理会(読売新聞第8141～8143号抄録、鎌倉時代の饗応料理再現につき)	(明治33年３月５日～７日)
1118	135	皇室婚嫁令写(明治33年４月26日時事新報第5898号ほかより抄録)	(明治33年４月25日～28日)
1622	158	風土病・流行病の指定(時事新報第5900号抄録)	(明治33年４月28日)
1623	158	露兵の首級(東京日々新聞第8642号抄録)	(明治33年７月29日)
1624－1	159	第一府下の奇癖家集録・東京朝日新聞抄録	明治33年８月(６日～30日)
1624－2	159	(ワインラベル、シャトー・ラローズ)	1887年

作成→受取	形態	数量	備　考
	竪	1	
	状	2	
	竪	1	
	状	1	
	竪	1	「鳥居龍蔵氏ノ千島行」・「千島群島ノ学術探検」を含む
	状	1	
	状	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	状	1	
	竪	1	
	状	1	1616－7の部分
	状	1	1611－11の部分
	状	1	
	状	2	
	竪	1	
	竪	1	
	状	2	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
ボルドー・シャトー・ラローズ	状(印刷)	1	1624－1の19～20丁挟込

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1624－3	159	府下之奇癖家集録(東京朝日新聞第5057～5114号抄録)	(明治33年8月6日～10月3日)
1100	132	小学校令・同施行規則(東京日日新聞第8661号抄録)	明治33年8月21日
1625	159	世界ニ誇ルベキ日本ノ特産物(時事新報第6148号抄録)	(明治34年1月1日)
1626	159	在東京印度学生(時事新報第6210号抄録)	(明治34年3月4日)
1627	159	各駅売声(時事新報第6519号抄録)	(明治35年1月7日)
1629	159	青森第五聯隊雪中行軍遭難記事集録(時事新報6540～6662号抄録)	(明治35年1月28日～5月30日)
1119	135	社説華族ト学術(明治35年2月1日刊行時事新報第6544号抄録)	(明治35年2月1日)
1628	159	東京朝日新聞・読売新聞・時事新報掲載大島記事抄録(東京地学協会第4回遠足会伊豆大島探検関連記事)	(明治35年4月7日～5月11日)
1126	135	明治元年八月二十七日御即位大典子爵長谷信成物語(大正2年1月2日報知新聞第12861号抄録)	(大正2年1月2日)
1630	159	大食論(報知新聞第13516～13517・13519号抄録)	大正3年10月24日写
1389	151	武蔵石世期遺跡表(東京人類学雑誌抜書)	

E－3－4　地図

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1665－1	C	官板実測日本地図・北蝦夷	(明治3年)
1665－2	C	官板実測日本地図・蝦夷諸島	(明治3年)
1665－3	C	官板実測日本地図・畿内・東海・東山・北陸	(明治3年)
1665－4	C	官板実測日本地図・山陰・山陽・南海・西海	(明治3年)
1664	C	卜部精一著新撰日本全図全	明治8年4月成鏤
1515	154／C	野州二荒山温泉図	明治9年7月御届
1675	160	磐城岩代両国全図	明治11年7月・明治12年3月刻成
1677・1679　箱一括			
1679	163	第一師管地方二万分一迅速測図一覧表　＊1677－1～206・1679	明治21年4月25日出版
1677－1	161	(2万分の1迅速測図・譲原村)　＊1677－1～10	明治18年測量・明治21年4月25日出版
1677－2	161	(2万分の1迅速測図・高崎)	明治18年測量・明治26年6月30日印刷発行
1677－3	161	(2万分の1迅速測図・藤岡町)	明治18年測量・明治26年8月29日印刷発行

作成 → 受取	形態	数量	備　考
	竪	1	1624－1の清書
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	「露国ノ凍死者応急治療法、稀有ノ寒気」を併録
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	
	竪	1	㊞(阿部)あり

作成 → 受取	形態	数量	備　考
	鋪(印刷)	1	彩色／206.4×83.2
	鋪(印刷)	1	彩色／206.4×83.2
	鋪(印刷)	1	彩色／228.1×159.9
	鋪(印刷)	1	彩色／195.8×142.7
著図并蔵鐫ト部精一・発売阪府下本町四丁目岡島真七	鋪(印刷)	1	彩色／124.3×87.3
栃木県日光町鬼平金四郎	鋪(印刷)	1	彩色／37.0×51.0
福嶋県地誌編輯掛大須賀次郎識・福嶋県地理課編製	鋪(印刷)・箱	1・1	141.7×160.8／箱は紙製
陸地測量部	一括箱・鋪(印刷)	1・1	一括箱1677(本目録384・385頁参照)上書「二万分一地図」、「特五」ラベル貼付／阿部印あり
参謀本部陸軍部測量局	一括袋・鋪(印刷)	1・1	一括袋上書「高崎及冨岡近傍倉賀野・鬼石・吉井・藤岡・高崎・譲原、桐生近傍大間々・大胡、前橋近傍前橋・金古」／57.9×46.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1677－4	161	（２万分の１迅速測図・吉井町）	明治18年測量・明治26年７月29日印刷発行
1677－5	161	（２万分の１迅速測図・鬼石町）	明治18年測量・明治21年４月25日出版
1677－6	161	（２万分の１迅速測図・倉賀野駅）	明治18年測量・明治26年８月29日印刷発行
1677－7	161	（２万分の１迅速測図・大間間町）	明治18年測量・明治21年４月25日出版
1677－8	161	（２万分の１迅速測図・大胡町）	明治18年測量・明治26年５月29日印刷
1677－9	161	（２万分の１迅速測図・前橋）	明治18年測量・明治21年７月23日出版
1677－10	161	（２万分の１迅速測図・金古駅）	明治19年測量・明治21年７月22日出版
1677－11	161	（２万分の１迅速測図・佐原村）　＊1677－11～31	明治18年測量・明治22年11月29日出版
1677－12	161	（２万分の１迅速測図・野手村）	明治17年測量・明治23年12月25日出版
1677－13	161	（２万分の１迅速測図・八日市場村）	明治16年測量・明治23年９月27日出版
1677－14	161	（２万分の１迅速測図・小浜村）	明治17年測量・明治23年８月28日出版
1677－15	161	（２万分の１迅速測図・須田新田）	明治17年測量・明治22年９月28日出版
1677－16	161	（２万分の１迅速測図・鏑木村）	明治17年測量・明治22年11月29日出版
1677－17	161	（２万分の１迅速測図・柏田村）	明治16年測量・明治21年11月29日出版
1677－18	161	（２万分の１迅速測図・野尻村）	明治17年測量・明治22年11月29日出版
1677－19	161	（２万分の１迅速測図・小見川村）	明治17年測量・明治22年11月29日出版
1677－20	161	（２万分の１迅速測図・飯岡村）	明治17年測量・明治23年11月29日出版
1677－21	161	（２万分の１迅速測図・蓮沼村）	明治16年測量・明治23年９月27日出版
1677－22	161	（２万分の１迅速測図・万歳村）	明治17年測量・明治23年９月27日出版
1677－23	161	（２万分の１迅速測図・高神村）	明治17年測量・明治２３年８月28日出版
1677－24	161	（２万分の１迅速測図・多古村）	明治16年測量・明治22年11月29日出版
1677－25	161	（２万分の１迅速測図・須賀山村）	明治17年測量・明治22年９月28日出版
1677－26	161	（２万分の１迅速測図・銚子）	明治17年測量・明治22年９月28日出版
1677－27	161	（２万分の１迅速測図・根本村）	明治16年測量・明治26年２月28日印刷出版
1677－28	161	（２万分の１迅速測図・柏崎浦）	明治16年測量・明治27年８月28日印刷発行

作成→受取	形態	数量	備　考
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	一括袋・鋪(印刷)	1・1	一括袋上書「銚子近傍小見川・野尻・柏田・鏑木・須田新田・小浜・八日市場・野手・佐原・銚子・須賀山・多古・高神・万歳・蓮沼・飯岡、館山近傍南朝夷・館山・白浜・柏崎浦・根本」
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1677－29	161	（2万分の1迅速測図・白浜村）	明治16年測量・明治23年3月31日出版
1677－30	161	（2万分の1迅速測図・館山町）	明治16年測量・明治27年8月28日印刷発行
1677－31	161	（2万分の1迅速測図・南朝夷村）	明治16年測量・明治27年8月28日印刷発行
1677－32	161	（2万分の1迅速測図・勝下村）　＊1677－32～46	明治18年測量・明治21年4月25日出版
1677－33	161	（2万分の1迅速測図・下石崎村）	明治18年測量・明治20年9月28日出版
1677－34	161	（2万分の1迅速測図・居切村）	明治18年測量・明治25年3月29日印刷出版
1677－35	161	（2万分の1迅速測図・汲上村）	明治18年測量・明治25年2月29日出版
1677－36	161	（2万分の1迅速測図・鹿嶋）	明治18年測量・明治25年3月29日出版
1677－37	161	（2万分の1迅速測図・札村）	明治18年測量・明治25年3月29日出版
1677－38	161	（2万分の1迅速測図・清水村）	明治18年測量・明治21年12月27日出版
1677－39	161	（2万分の1迅速測図・子生村）	明治18年測量・明治20年9月28日出版
1677－40	161	（2万分の1迅速測図・磯浜村）	明治18年測量・明治25年3月29日印刷出版
1677－41	161	（2万分の1迅速測図・荒野村）	明治18年測量・明治25年3月29日印刷出版
1677－42	161	（2万分の1迅速測図・鉾田村）	明治18年測量・明治25年3月29日出版
1677－43	161	（2万分の1迅速測図・潮来村）	明治18年測量・明治25年2月29日出版
1677－44	161	（2万分の1迅速測図・石橋駅）	明治19年測量・明治21年7月23日出版
1677－45	161	（2万分の1迅速測図・壬生町）	明治19年測量・明治21年7月23日出版
1677－46	161	（2万分の1迅速測図・栃木町）	明治19年測量・明治21年7月23日出版
1677－47	161	（2万分の1迅速測図・下糟屋村）　＊1677－47～52	明治15年測量・明治20年9月28日出版
1677－48	161	（2万分の1迅速測図・平塚駅）	明治15年測量・明治20年9月28日出版
1677－49	161	（2万分の1迅速測図・山西村）	明治16年測量・明治21年10月21日出版
1677－50	161	（2万分の1迅速測図・松田総領）	明治16年測量・明治20年10月21日出版
1677－51	161	（2万分の1迅速測図・堀斉藤村）	明治16年測量・明治20年10月21日出版
1677－52	161	（2万分の1迅速測図・大磯駅）	明治20年測量・明治29年2月28日発行

作成 → 受取	形態	数量	備　考
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	一括袋・鋪(印刷)	1・1	一括袋上書「磯浜及鹿島近傍勝下・下石崎・居切・汲上・鹿島・札・清水・子生・磯浜・荒野・鉾田・潮来、栃木近傍石橋・壬生・栃木」
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	一括袋・鋪(印刷)	1・1	一括袋上書「相模国中部小田原近傍戸塚・原宿・下糟屋・雪下・平塚・藤沢・山西・松田惣領・堀斉藤・大磯」
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1677－53	161	（2万分の1迅速測図・加須町）　＊1677－53～73	明治17年測量・明治21年5月22日出版
1677－54	161	（2万分の1迅速測図・岩井村）	明治16年測量・明治20年9月28日出版
1677－55	161	（2万分の1迅速測図・守谷町）	明治14年測量・明治20年8月26日出版
1677－56	161	（2万分の1迅速測図・幸手駅）	明治16年測量・明治20年8月26日出版
1677－57	161	（2万分の1迅速測図・水海道駅）	明治16年測量・明治20年9月28日出版
1677－58	161	（2万分の1迅速測図・関本村）	明治17年測量・明治20年9月28日出版
1677－59	161	（2万分の1迅速測図・菖蒲町）	明治17年測量・明治20年8月26日出版
1677－60	161	（2万分の1迅速測図・沓掛村）	明治16年測量・明治18年製版
1677－61	161	（2万分の1迅速測図・大宮駅）	明治14年6月測量・明治20年8月26日出版
1677－62	161	（2万分の1迅速測図・粕壁駅）	明治14年測量・明明治20年8月26日出版
1677－63	161	（2万分の1迅速測図・野田町）	明治14年測量・明治20年8月26日出版
1677－64	161	（2万分の1迅速測図・岩槻町）	明治14年測量・明治20年8月26日出版
1677－65	161	（2万分の1迅速測図・西宝珠花村）	明治16年測量・明治20年8月26日出版
1677－66	161	（2万分の1迅速測図・結城町）	明治19年測量・明治26年12月25日印刷発行
1677－67	161	（2万分の1迅速測図・新石下村）	明治17年測量・明治26年12月28日印刷発行
1677－68	161	（2万分の1迅速測図・小山駅）	明治19年測量・明治26年12月28日印刷発行
1677－69	161	（2万分の1迅速測図・下館町）	明治17年測量・明治26年12月25日印刷発行
1677－70	161	（2万分の1迅速測図・関宿）	明治16年測量・明治27年2月28日印刷発行
1677－71	161	（2万分の1迅速測図・栗橋駅）	明治16年測量・明治27年5月29日印刷発行
1677－72	161	（2万分の1迅速測図・冨田駅）	明治19年測量・明治27年3月31日印刷発行
1677－73	161	（2万分の1迅速測図・下妻町）	明治16年測量・明治26年12月28日印刷発行
1677－74	161	（2万分の1迅速測図・古所村）　＊1677－74～92	明治16年測量・明治19年製版
1677－75	161	（2万分の1迅速測図・笹村）	明治15年測量・明治26年2月28日印刷出版
1677－76	161	（2万分の1迅速測図・磯村）	明治16年測量・明治26年2月28日出版印刷

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
陸地測量部	一括袋・鋪（印刷）	1・1	一括袋上書「古河及関宿近傍加須・岩井・守谷・幸手・水海道・関本・菖蒲・沓掛・大宮・粕壁・野田・岩槻・西宝珠花・結城・新石下・小山・下館・関宿・栗橋・冨田・下妻」
参謀本部陸軍部測量局	鋪（印刷）	1	
陸地測量部	鋪（印刷）	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪（印刷）	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪（印刷）	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪（印刷）	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪（印刷）	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪（印刷）	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪（印刷）	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪（印刷）	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪（印刷）	1	
陸地測量部	鋪（印刷）	1	
陸地測量部	鋪（印刷）	1	
陸地測量部	鋪（印刷）	1	
陸地測量部	鋪（印刷）	1	
陸地測量部	鋪（印刷）	1	
陸地測量部	鋪（印刷）	1	
陸地測量部	鋪（印刷）	1	
陸地測量部	鋪（印刷）	1	
陸地測量部	鋪（印刷）	1	
参謀本部陸軍部測量局	一括袋・鋪（印刷）	1・1	一括袋上書「茂原及大多喜近傍古所・笹・磯・中魚落郷・茂原・長南・長志・松野・鶴舞・蔵玉・真里・市場・前原・天津・田淵・興津・勝浦・苅谷・長者」
陸地測量部	鋪（印刷）	1	
陸地測量部	鋪（印刷）	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1677－77	161	（2万分の1迅速測図・中魚落郷）	明治16年測量・明治19年製版
1677－78	161	（2万分の1迅速測図・茂原町）	明治16年測量・明治20年8月26日出版
1677－79	161	（2万分の1迅速測図・長南駅）	明治16年測量・明治20年8月26日出版
1677－80	161	（2万分の1迅速測図・長志村）	明治17年測量・明治19年製版
1677－81	161	（2万分の1迅速測図・松野村）	明治17年5月測量・明治19年9月転写製版
1677－82	161	（2万分の1迅速測図・鶴舞村）	明治15年測量・明治20年8月26日出版
1677－83	161	（2万分の1迅速測図・蔵玉村）	明治16年測量・明治19年9月転写製版
1677－84	161	（2万分の1迅速測図・真里村）	明治15年測量・明治26年1月28日印刷出版
1677－85	161	（2万分の1迅速測図・市塙町）	明治15年測量・明治26年1月28日印刷出版
1677－86	161	（2万分の1迅速測図・前原町）	明治16年測量・明治26年2月28日印刷出版
1677－87	161	（2万分の1迅速測図・天津村）	明治16年測量・明治19年製版
1677－88	161	（2万分の1迅速測図・田淵村）	明治16年測量・明治19年製版
1677－89	161	（2万分の1迅速測図・興津村）	明治17年測量・明治19年製版
1677－90	161	（2万分の1迅速測図・勝浦町）	明治16年12月測量・明治19年9月転写製版
1677－91	161	（2万分の1迅速測図・苅谷村）	明治16年測量・明治19年製版
1677－92	161	（2万分の1迅速測図・長者町）	明治16年測量・明治19年製版
1677－93	161	（2万分の1迅速測図・浦和駅）　＊1677－93～106	明治13年測量・明治20年8月26日出版
1677－94	161	（2万分の1迅速測図・飯能村）	明治14年測量・明治20年8月26日出版
1677－95	161	（2万分の1迅速測図・亀久保村）	明治14年測量・明治20年8月26日出版
1677－96	161	（2万分の1迅速測図・所沢村）	明治14年測量・明治20年8月26日出版
1677－97	161	（2万分の1迅速測図・大井町）	明治14年測量・明治20年8月26日出版
1677－98	161	（2万分の1迅速測図・大和田町）	明治14年測量・明治20年8月26日出版
1677－99	161	（2万分の1迅速測図・蕨駅）	明治13年測量・明治20年8月26日出版
1677－100	161	（2万分の1迅速測図・扇町屋村）	明治14年測量・明治20年8月26日出版
1677－101	161	（2万分の1迅速測図・我孫子宿）	明治13年測量・明治20年9月28日出版
1677－102	161	（2万分の1迅速測図・流山村）	明治13年測量・明治20年9月28日出版

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	一括袋・鋪(印刷)	1・1	一括袋上書「浦和及所沢近傍浦和・飯能・亀窪・所沢・大井・大和田・蕨・扇町屋、松戸及越ヶ谷近傍我孫子・流山・越ヶ谷・小金・松戸・川口」
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
大日本帝國参謀本部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1677－103	161	（２万分の１迅速測図・越箇谷駅）	明治13年測量・明治20年９月28日出版
1677－104	161	（２万分の１迅速測図・小金町）	明治13年測量・明治20年９月28日出版
1677－105	161	（２万分の１迅速測図・松戸駅）	明治13年測量・明治20年９月28日出版
1677－106	161	（２万分の１迅速測図・川口町）	明治13年測量・明治20年９月28日出版
1677－107	161	（２万分の１迅速測図・長岡村）　＊1677－107～129	明治18年測量・明治28年６月28日印刷発行
1677－108	161	（２万分の１迅速測図・竹原村）	明治17年測量・明治20年９月28日出版
1677－109	161	（２万分の１迅速測図・木原村）	明治16年測量・明治20年９月28日出版
1677－110	161	（２万分の１迅速測図・西小塙村）	明治17年測量・明治20年９月28日出版
1677－111	161	（２万分の１迅速測図・井上村）	明治18年測量・明治23年製版
1677－112	161	（２万分の１迅速測図・浮嶋村）	明治14年測量・明治23年７月29日出版
1677－113	161	（２万分の１迅速測図・高浜村）	明治17年測量・明治18年製版
1677－114	161	（２万分の１迅速測図・柿岡村）	明治17年測量・明治20年９月28日出版
1677－115	161	（２万分の１迅速測図・玉造村）	明治18年測量・明治23年７月29日出版
1677－116	161	（２万分の１迅速測図・真壁町）	明治17年測量・明治20年９月28日出版
1677－117	161	（２万分の１迅速測図・北條村）	明治17年測量・明治20年９月28日出版
1677－118	161	（２万分の１迅速測図・安居村）	明治18年測量・明治23年製版
1677－119	161	（２万分の１迅速測図・岩間下郷村）	明治16年測量・明治20年９月28日出版
1677－120	161	（２万分の１迅速測図・江戸崎村）	明治14年測量・明治23年製版
1677－121	161	（２万分の１迅速測図・下稲吉村）	明治17年測量・明治28年３月29日印刷発行
1677－122	161	（２万分の１迅速測図・土浦）	明治16年測量・明治28年３月29日印刷発行
1677－123	161	（２万分の１迅速測図・筑波町）	明治17年測量・明治28年３月29日印刷発行
1677－124	161	（２万分の１迅速測図・石岡町）	明治17年測量・明治28年３月29日印刷発行
1677－125	161	（２万分の１迅速測図・根本村）	明治14年測量・明治28年２月28日印刷発行
1677－126	161	（２万分の１迅速測図・谷田部町）	明治16年測量・明治28年６月28日印刷発行
1677－127	161	（２万分の１迅速測図・山王村）	明治14年測量・明治30年10月30日発行

作成→受取	形態	数量	備　考
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	一括袋・鋪(印刷)	1・1	一括袋上書「土浦近傍長岡・竹原・木原・西小塙・井上・浮嶋・西小幡・高浜・柿岡・玉造・真壁・北條・安居・岩間下郷・江戸崎・下稲吉・土浦・筑波・石岡・根本・谷田部・山王・島津・牛久」
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1677－128	161	（２万分の１迅速測図・島津村）	明治16年測量・明治30年８月30日発行
1677－129	161	（２万分の１迅速測図・牛久村）	明治14年測量・明治28年10月１日印刷発行
1677－130	161	（２万分の１迅速測図・奈良輪村）＊1677－130～143	明治15年測量・明治27年７月18日印刷発行
1677－131	161	（２万分の１迅速測図・金束村）	明治15年測量・明治27年７月18日印刷発行
1677－132	161	（２万分の１迅速測図・桜井村）	明治15年測量・明治25年３月29日出版
1677－133	161	（２万分の１迅速測図・那古村）	明治16年測量・明治25年３月29日印刷出版
1677－134	161	（２万分の１迅速測図・加知山村）	明治16年測量・明治25年３月29日印刷出版
1677－135	161	（２万分の１迅速測図・上村）	明治15年測量・明治25年３月29日出版
1677－136	161	（２万分の１迅速測図・松田村）	明治16年測量・明治26年２月28日印刷出版
1677－137	161	（２万分の１迅速測図・佐貫町）	明治16年測量・明治26年１月28日印刷出版
1677－138	161	（２万分の１迅速測図・冨津村）	明治15年測量・明治25年３月31日出版
1677－139	161	（２万分の１迅速測図・船形村）	明治16年測量・明治27年７月18日印刷発行
1677－140	161	（２万分の１迅速測図・鹿野山宿）	明治14年測量・明治27年７月18日印刷発行
1677－141	161	（２万分の１迅速測図・木更津村）	明治15年測量・明治25年12月28日印刷出版
1677－142	161	（２万分の１迅速測図・佐久間下村）	明治15年測量・明治25年11月29日印刷出版
1677－143	161	（２万分の１迅速測図・竹箇岡村）	明治16年測量・明治26年２月28日印刷出版
1677－144	162	（２万分の１迅速測図・館林）　＊1677－144～162	明治17年測量・明治21年５月22日出版
1677－145	162	（２万分の１迅速測図・鴻巣駅）	明治17年測量・明治20年10月21日出版
1677－146	162	（２万分の１迅速測図・足利町）	明治17年測量・明治20年６月29日出版
1677－147	162	（２万分の１迅速測図・行田町）	明治17年測量・明治20年10月31日出版
1677－148	162	（２万分の１迅速測図・川越）	明治14年測量・明治21年６月29日出版
1677－149	162	（２万分の１迅速測図・妻沼村）	明治17年測量・明治21年４月25日出版
1677－150	162	（２万分の１迅速測図・菅谷村）	明治17年測量・明治20年10月21日出版
1677－151	162	（２万分の１迅速測図・境町）	明治18年測量・明治22年10月29日出版
1677－152	162	（２万分の１迅速測図・小前田村）	明治18年測量・明治20年10月21日出版

作成 → 受取	形態	数量	備　　考
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	一括袋・鋪(印刷)	1・1	一括袋上書「木更津及鹿野山近傍奈良輪・金束・桜井・那古・加知山・上・松田・佐貫・富津・船形・鹿野山・木更津・佐久間下・竹ヶ岡」
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	一括袋・鋪(印刷)	1・1	一括袋上書「舘林及川越近傍舘林・鴻巣・足利・行田・川越・妻沼・菅谷・境・小前田・寄居・深谷・阪戸・熊谷・太田・松山・小泉・平方・羽生・伊勢崎」
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1677－153	162	（２万分の１迅速測図・寄居町）	明治18年測量・明治20年10月21日出版
1677－154	162	（２万分の１迅速測図・深谷駅）	明治18年測量・明治21年４月25日出版
1677－155	162	（２万分の１迅速測図・坂戸村）	明治14年測量・明治21年６月29日出版
1677－156	162	（２万分の１迅速測図・熊谷駅）	明治17年測量・明治20年10月21日出版
1677－157	162	（２万分の１迅速測図・太田町）	明治18年測量・明治21年４月25日出版
1677－158	162	（２万分の１迅速測図・松山町）	明治17年測量・明治20年10月21日出版
1677－159	162	（２万分の１迅速測図・小泉村）	明治17年測量・明治21年５月22日出版
1677－160	162	（２万分の１迅速測図・平方村）	明治14年測量・明治21年５月22日出版
1677－161	162	（２万分の１迅速測図・羽生町）	明治17年測量・明治20年10月21日出版
1677－162	162	（２万分の１迅速測図・伊勢崎町）	明治18年測量・明治26年７月29日印刷発行
1677－163	162	（２万分の１迅速測図・市川駅）　＊1677－163～176	明治13年測量・明治20年８月26日出版
1677－164	162	（２万分の１迅速測図・船橋駅）	明治13年測量・明治20年８月26日出版
1677－165	162	（２万分の１迅速測図・逆井村）	明治13年測量・明治20年８月26日出版
1677－166	162	（２万分の１迅速測図・下谷区）	明治13年測量・明治20年８月26日出版
1677－167	162	（２万分の１迅速測図・麹町区）	明治13年測量・明治20年８月26日出版
1677－168	162	（２万分の１迅速測図・板橋駅）	明治14年測量・明治20年８月26日出版
1677－169	162	（２万分の１迅速測図・内藤新宿）	明治13年測量・明治20年８月26日出版
1677－170	162	（２万分の１迅速測図・田無町）	明治13年測量・明治20年８月26日出版
1677－171	162	（２万分の１迅速測図・小川村）	明治15年測量・明治20年８月26日出版
1677－172	162	（２万分の１迅速測図・府中駅）	明治15年測量・明治20年８月26日出版
1677－173	162	（２万分の１迅速測図・拝島村）	明治15年測量・明治20年８月26日出版
1677－174	162	（２万分の１迅速測図・布田駅）	明治13年測量・明治20年８月26日出版
1677－175	162	（２万分の１迅速測図・布田駅）	明治13年測量・明治19年開版
1677－176	162	（２万分の１迅速測図・八王子駅）	明治15年測量・明治20年８月26日出版
1677－177	162	（２万分の１迅速測図・登戸村）　＊1677－177～183	明治14年測量・明治20年９月28日出版

作成→受取	形態	数量	備　考
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	一括袋・鋪(印刷)	1・1	一括袋上書「東京近傍八幡・市川・舟橋・逆井・下谷・麹町・板橋・内藤新宿、八王子及布田近傍田無・小川・府中・拝嶋・布田・八王子」
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり
大日本帝国参謀本部測量局	鋪(印刷)	1	保□㊞あり、「□□文庫」の角印あり
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり
参謀本部陸軍部測量局	一括袋・鋪(印刷)	1・1	一括袋上書「品川及横浜近傍品川・二子・横浜・洲崎・羽田・川崎・本牧、程ヶ谷及厚木近傍登戸・厚木・下鶴間・上溝・原町田・橋本・小野路・荏田・程ヶ谷」

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1677－178	162	（２万分の１迅速測図・厚木町）	明治15年測量・明治20年９月28日出版
1677－179	162	（２万分の１迅速測図・上溝村）	明治15年測量・明治20年９月28日出版
1677－180	162	（２万分の１迅速測図・原町田村）	明治14年測量・明治19年９月28日出版
1677－181	162	（２万分の１迅速測図・橋本村）	明治15年測量・明治20年９月28日出版
1677－182	162	（２万分の１迅速測図・小野路村）	明治15年測量・明治20年９月28日出版
1677－183	162	（２万分の１迅速測図・八幡町）	明治13年測量・明治20年８月26日出版
1677－184	162	（２万分の１迅速測図・神崎本宿）＊1677－184～207	明治18年測量・明治20年８月26日出版
1677－185	162	（２万分の１迅速測図・柴山村）	明治17年測量・明治20年８月26日出版
1677－186	162	（２万分の１迅速測図・四天木村）	明治16年測量・明治20年８月26日出版
1677－187	162	（２万分の１迅速測図・成田村）	明治15年測量・明治26年７月29日印刷発行
1677－188	162	（２万分の１迅速測図・佐倉）	明治15年測量・明治20年８月26日出版
1677－189	162	（２万分の１迅速測図・土気町）	明治15年測量・明治20年８月26日出版
1677－190	162	（２万分の１迅速測図・臼井村）	明治15年測量・明治20年８月26日出版
1677－191	162	（２万分の１迅速測図・取手駅）	明治14年測量・明治20年８月26日出版
1677－192	162	（２万分の１迅速測図・習志野）	明治15年測量・明治20年製版
1677－193	162	（２万分の１迅速測図・五井村）	明治15年測量・明治20年８月26日出版
1677－194	162	（２万分の１迅速測図・登戸村）	明治15年測量・明治20年８月26日出版
1677－195	162	（２万分の１迅速測図・千葉町）	明治15年測量・明治30年２月28日発行
1677－196	162	（２万分の１迅速測図・白井橋本村）	明治15年測量・明治20年８月26日出版
1677－197	162	（２万分の１迅速測図・八幡駅）	明治16年測量・明治20年８月26日出版
1677－198	162	（２万分の１迅速測図・下志津村）	明治15年測量・明治20年８月26日出版
1677－199	162	（２万分の１迅速測図・中川村）	明治15年測量・明治20年８月26日出版
1677－200	162	（２万分の１迅速測図・大網駅）	明治16年測量・明治20年８月26日出版
1677－201	162	（２万分の１迅速測図・八街村）	明治15年測量・明治26年７月29日印刷発行
1677－202	162	（２万分の１迅速測図・滑川村）	明治15年測量・明治20年８月26日出版

作成→受取	形態	数量	備　考
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	一括袋・鋪(印刷)	1・1	一括袋上書「佐倉近傍神崎本宿・柴山・四天木・成田・佐倉・土気・臼井・取手・習志野・五井・登戸・千葉・白井橋本・八幡・下志津・中川・大網・八街・滑川・成東・大里・龍ヶ崎・安食」
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1677－203	162	(2万分の1迅速測図・成東町)	明治17年測量・明治20年8月26日出版
1677－204	162	(2万分の1迅速測図・大里村)	明治17年測量・明治20年8月26日出版
1677－205	162	(2万分の1迅速測図・龍箇崎村)	明治14年測量・明治26年11月29日印刷発行
1677－206	162	(2万分の1迅速測図・安食村)	明治17年測量・明治2□年月2□日印刷発行
1676・1678・1680・1681	箱一括		
1676－1	161	東京図幅(20万分の1地形図)　＊1676－1～2・＊1678－1～150・＊1680－1～25・1681	明治19年印行
1676－2	161	前橋図幅(20万分の1地形図)	明治19年印行
1678－1	162	(20万分の1地形図・紗那)　＊1678—1～17	明治25年2月29日出版
1678－2	162	(20万分の1地形図・捨子古丹嶋)	明治26年7月29日印刷発行
1678－3	162	(20万分の1地形図・得撫嶋)	明治26年3月31日印刷出版
1678－4	162	(20万分の1地形図・茂以計志岬)	明治26年6月30日印刷発行
1678－5	162	(20万分の1地形図・知林古丹嶋)	明治26年12月28日印刷発行
1678－6	162	(20万分の1地形図・新知嶋)	明治26年10月28日印刷発行
1678－7	162	(20万分の1地形図・藁取)	明治25年5月28日印刷出版
1678－8	162	(20万分の1地形図・阿吐江也岬)	明治25年2月29日出版
1678－9	162	(20万分の1地形図・色丹嶋)	明治25年3月31日出版
1678－10	162	(20万分の1地形図・温祢古丹嶋)	明治26年11月29日印刷発行
1678－11	162	(20万分の1地形図・松輪嶋)	明治26年6月30日印刷発行
1678－12	162	(20万分の1地形図・知理保以嶋)	明治26年5月29日印刷出版
1678－13	162	(20万分の1地形図・占守嶋)	明治26年5月29日印刷出版
1678－14	162	(20万分の1地形図・別飛)	明治25年5月28日印刷出版
1678－15	162	(20万分の1地形図・鳥嶋)	明治26年12月28日印刷発行
1678－16	162	(20万分の1地形図・阿頼度島)	明治26年12月28日印刷発行
1678－17	162	(20万分の1地形図・羅處和島)	明治26年5月29日印刷出版

作成 → 受取	形態	数量	備　考
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	鋪(印刷)	1	
農商務省地質局	一括箱・鋪(印刷)	1・1	一括箱(本目録384・385頁参照)上書「二十万分一地図」／「特四」ラベル貼付あり
農商務省地質局	鋪(印刷)	1	
陸地測量部	一括袋・鋪(印刷)	1・1	46.1×59.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.1×58.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	45.8×57.8
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.0×57.9
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.2×58.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.1×58.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.0×58.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.5×59.4
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.6×59.5
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.0×57.9
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.1×58.7
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.3×59.5
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.2×59.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.3×59.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	45.7×58.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.1×57.7
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.4×59.1

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1678－18	162	(20万分の１地形図・久遠)　＊1678－18～43	明治25年２月29日出版
1678－19	162	(20万分の１地形図・室蘭)	明治25年８月29日印刷出版
1678－20	162	(20万分の１地形図・天塩)	明治27年５月18日印刷発行
1678－21	162	(20万分の１地形図・札幌)	明治26年３月31日印刷出版
1678－22	162	(20万分の１地形図・幌内)	明治25年12月28日印刷出版
1678－23	162	(20万分の１地形図・浦河)	明治25年３月29日出版
1678－24	162	(20万分の１地形図・網走)	明治25年1月28日出版
1678－25	162	(20万分の１地形図・知床岬)	明治27年５月18日印刷発行
1678－26	162	(20万分の１地形図・根室)	明治25年10月29日印刷出版
1678－27	162	(20万分の１地形図・斜里)	明治26年２月28日印刷出版
1678－28	162	(20万分の１地形図・茂寄)	明治25年３月29日出版
1678－29	162	(20万分の１地形図・紋別)	明治25年９月28日印刷出版
1678－30	162	(20万分の１地形図・神居古潭)	明治27年５月18日印刷発行
1678－31	162	(20万分の１地形図・苫小牧)	明治27年10月29日印刷発行
1678－32	162	(20万分の１地形図・苫前)	明治25年11月29日印刷出版
1678－33	162	(20万分の１地形図・函館)	明治23年５月29日出版
1678－34	162	(20万分の１地形図・渡島大島)	明治24年11月28日出版
1678－35	162	(20万分の１地形図・岩内)	明治25年10月29日印刷出版
1678－36	162	(20万分の１地形図・宗谷)	明治25年７月28日印刷出版
1678－37	162	(20万分の１地形図・増毛)	明治25年12月28日印刷出版
1678－38	162	(20万分の１地形図・枝幸)	明治27年５月18日印刷発行
1678－39	162	(20万分の１地形図・夕張嶽)	明治25年９月28日印刷出版
1678－40	162	(20万分の１地形図・陸別)	明治25年１月29日印刷出版

作成 → 受取	形態	数量	備　考
陸地測量部	一括袋・鋪(印刷)	1・1	一括袋上書「千嶋色丹島・紗那・得撫島・羅處和島・捨子古丹島・阿頼度島・阿吐江也岬・別飛・和理保以島・松輪島・温祢古丹島・鳥嶋・茂以計志岬・藻取・新知島・知林古丹島・波羅牟知島・占守嶋、北海道久遠・室蘭・天塩・札幌・幌内・浦河・大津・網走・知床岬・根室・斜里・茂崎・紋別・神居古潭・苫小牧・苫前・函館・渡嶋大嶋・岩内・宗谷・増毛・枝幸・夕張嶽・陸別・襟裳岬・厚岸・浜中」／46.2×58.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	45.9×59.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.0×57.8
陸地測量部	鋪(印刷)	1	45.9×57.9
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.1×58.9
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.1×59.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.1×58.4
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.2×58.3
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.2×59.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	45.9×58.2
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.1×59.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.4×58.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.0×57.6
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.0×58.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.1×58.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.0×57.6
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.0×58.7
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.0×59.4
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.1×58.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.0×59.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.1×58.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	45.3×53.5
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.2×59.1

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1678－41	162	(20万分の１地形図・襟裳岬)	明治23年11月29日出版
1678－42	162	(20万分の１地形図・厚岸)	明治25年７月28日印刷出版
1678－43	162	(20万分の１地形図・浜中)	明治24年６月27日出版
1678－44	162	(20万分の１地形図・尻屋岬)　＊1678－44～73	明治22年９月28日出版
1678－45	162	(20万分の１地形図・野辺地)	明治22年９月28日出版
1678－46	162	(20万分の１地形図・青森)	明治22年７月29日出版
1678－47	162	(20万分の１地形図・八戸)	明治22年12月24日出版
1678－48	162	(20万分の１地形図・弘前)	明治22年12月24日出版
1678－49	162	(20万分の１地形図・男鹿嶋)	明治22年９月28日出版
1678－50	162	(20万分の１地形図・秋田)	明治23年４月29日出版
1678－51	162	(20万分の１地形図・盛岡)	明治23年４月29日出版
1678－52	162	(20万分の１地形図・磐井)	明治23年７月29日出版
1678－53	162	(20万分の１地形図・新庄)	明治23年６月27日出版
1678－54	162	(20万分の１地形図・酒田)	明治22年12月24日出版
1678－55	162	(20万分の１地形図・石巻)	明治23年４月29日出版
1678－56	162	(20万分の１地形図・仙台)	明治22年３月27日出版
1678－57	162	(20万分の１地形図・村上)	明治23年１月29日出版
1678－58	162	(20万分の１地形図・相川)	明治22年９月28日出版
1678－59	162	(20万分の１地形図・福嶋)	明治27年10月29日印刷発行
1678－60	162	(20万分の１地形図・新潟)	明治22年９月28日出版
1678－61	162	(20万分の１地形図・長岡)	明治23年１月29日出版
1678－62	162	(20万分の１地形図・珠洲岬)	明治23年１月28日出版
1678－63	162	(20万分の１地形図・輪嶋)	明治22年７月29日出版
1678－64	162	(20万分の１地形図・白河)	明治21年５月22日出版

作成 → 受取	形態	数量	備　考
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.0×58.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.2×60.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.4×58.1
陸地測量部	一括袋・鋪(印刷)	1・1	阿部㊞あり／一括袋上書「本州東北部尻失(ヵ)・野辺地・青森・八戸・弘前・男鹿・秋田・盛岡・磐井・新庄・酒田・石巻・仙台・村上・相川・福嶋・新潟・長岡・珠洲岬・輪嶋・白川・日光・高田・冨山・七尾・金沢・高山・長野・宇津宮・水戸」／46.5×58.9
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.1×59.8
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.1×58.4
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.1×57.8
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.1×58.4
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.1×58.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.1×58.5
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.4×58.7
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／45.9×58.3
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.1×58.3
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.1×58.3
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.1×58.3
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.1×58.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.0×58.3
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.2×58.4
陸地測量部	鋪(印刷)	1	45.8×57.8
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／45.8×59.3
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.1×59.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／45.9×58.9
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.1×58.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.4×58.9

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1678－65	162	(20万分の１地形図・日光)	明治21年５月22日出版
1678－66	162	(20万分の１地形図・高田)	明治21年４月25日出版
1678－67	162	(20万分の１地形図・富山)	明治27年10月29日印刷発行
1678－68	162	(20万分の１地形図・七尾)	明治22年９月28日出版
1678－69	162	(20万分の１地形図・金沢)	明治21年12月27日出版
1678－70	162	(20万分の１地形図・高山)	明治23年４月29日出版
1678－71	162	(20万分の１地形図・長野)	明治29年４月１日印刷発行
1678－72	162	(20万分の１地形図・宇都宮)	明治20年９月28日出版
1678－73	162	(20万分の１地形図・水戸)	明治20年９月28日出版
1678－74	163	(20万分の１地形図・佐倉)　＊1678－74～101	明治20年９月28日出版
1678－75	163	(20万分の１地形図・東京)	明治21年９月25日出版
1678－76	163	(20万分の１地形図・甲府)	明治20年９月28日出版
1678－77	163	(20万分の１地形図・飯田)	明治22年７月29日出版
1678－78	163	(20万分の１地形図・岐阜)	明治21年９月25日出版
1678－79	163	(20万分の１地形図・大多喜)	明治20年８月26日出版
1678－80	163	(20万分の１地形図・横須賀)	明治20年８月26日出版
1678－81	163	(20万分の１地形図・静岡)	明治20年８月26日出版
1678－82	163	(20万分の１地形図・豊橋)	明治20年９月28日出版
1678－83	163	(20万分の１地形図・名古屋)	明治27年５月18日印刷発行
1678－84	163	(20万分の１地形図・山田)	明治20年８月26日出版
1678－85	163	(20万分の１地形図・宮津)	明治20年８月26日出版
1678－86	163	(20万分の１地形図・鳥取)	明治21年９月25日出版
1678－87	163	(20万分の１地形図・松江)	明治21年９月25日出版
1678－88	163	(20万分の１地形図・杵築)	明治27年５月18日印刷発行

作成→受取	形態	数量	備　考
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.3×58.8
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／48.5×60.6
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.0×58.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.2×58.9
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.1×58.4
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／49.1×58.9
陸地測量部	鋪(印刷)	1	49.1×58.9
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	「阿部氏所有」とあり／45.8×57.8
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／45.7×58.0
参謀本部陸軍部測量局	一括袋・鋪(印刷)	1・1	阿部㊞あり／一括袋上書「本州西南部佐倉・東京・甲府・飯田・岐阜・大多喜・横須賀・静岡・豊橋・名古屋・山田・宮津・鳥取・松江・杵築・西郷・姫路・岡山・浜田・見嶋・京都大坂・和歌山・田辺・広嶋・山口・神子元島・伊良湖岬・木本・豊浦」／45.9×57.9
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.1×57.9
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.1×59.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／48.9×59.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.1×57.9
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／49.2×58.5
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／49.4×58.3
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／48.9×58.5
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	45.9×58.2
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.1×58.0
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.1×58.0
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.1×58.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／45.6×58.9
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／45.6×58.9
陸地測量部	鋪(印刷)	1	45.8×57.6

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1678－89	163	(20万分の１地形図・西郷)	明治22年９月28日出版
1678－90	163	(20万分の１地形図・姫路)	明治21年９月25日出版
1678－91	163	(20万分の１地形図・岡山)	明治21年９月25日出版
1678－92	163	(20万分の１地形図・浜田)	明治22年10月29日出版
1678－93	163	(20万分の１地形図・見嶋)	明治27年７月31日印刷発行
1678－94	163	(20万分の１地形図・京都及大阪)	明治27年５月18日印刷発行
1678－95	163	(20万分の１地形図・和歌山)	明治27年５月18日印刷発行
1678－96	163	(20万分の１地形図・田辺)	明治21年４月25日出版
1678－97	163	(20万分の１地形図・広嶋)	明治27年５月18日印刷発行
1678－98	163	(20万分の１地形図・山口)	明治27年５月18日印刷発行
1678－99	163	(20万分の１地形図・伊良湖)	明治27年５月18日印刷発行
1678－100	163	(20万分の１地形図・木本)	明治21年４月25日出版
1678－101	163	(20万分の１地形図・豊浦)	明治22年12月24日出版
1678－102	163	(20万分の１地形図・三宅嶋)　＊1678―102～118	明治22年10月29日出版
1678－103	163	(20万分の１地形図・御倉嶋)	明治22年10月29日出版
1678－104	163	(20万分の１地形図・八丈嶋)	明治22年10月29日出版
1678－105	163	(20万分の１地形図・青箇嶋)	明治22年10月29日出版
1678－106	163	(20万分の１地形図・父嶋)	明治23年11月29日出版
1678－107	163	(20万分の１地形図・母嶋)	明治23年12月25日出版
1678－108	163	(20万分の１地形図・聟嶋)	明治23年９月27日出版
1678－109	163	(20万分の１地形図・硫黄嶋)	明治24年９月29日出版
1678－110	163	(20万分の１地形図・南硫黄嶋)	明治24年９月29日出版
1678－111	163	(20万分の１地形図・北硫黄嶋)	明治24年９月29日出版
1678－112	163	(20万分の１地形図・徳嶋)	明治20年９月28日出版
1678－113	163	(20万分の１地形図・丸亀)	明治21年６月29日出版

作成 → 受取	形態	数量	備　考
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／45.6×58.9
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.4×59.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.4×59.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.3×57.7
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.4×57.7
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／45.9×58.0
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.0×57.9
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.0×59.3
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.0×59.3
陸地測量部	鋪(印刷)	1	45.9×57.8
陸地測量部	鋪(印刷)	1	48.8×60.7
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.0×59.3
陸地測量部	鋪(印刷)	1	阿部㊞あり／46.0×59.3
陸地測量部	一括袋・鋪(印刷)	1・1	一括袋上書「伊豆七嶋三宅嶋・御倉嶋・八丈嶋・青ヶ嶋、小笠嶋父嶋・母嶋・聟嶋・硫黄嶋・南硫黄嶋・北硫黄嶋、四国徳嶋・丸亀・剣山・与津岬・松山・高知・宇和島」／45.1×58.6
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.1×57.9
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.2×58.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.1×58.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.4×58.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.2×58.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.4×58.8
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.0×59.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	45.7×58.4
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.3×58.7
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	48.5×60.5
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.3×58.6

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1678－114	163	(20万分の１地形図・剣山)	明治22年９月28日出版
1678－115	163	(20万分の１地形図・与津岬)	明治22年９月28日出版
1678－116	163	(20万分の１地形図・松山)	明治22年４月29日出版
1678－117	163	(20万分の１地形図・高知)	明治22年11月29日出版
1678－118	163	(20万分の１地形図・宇和嶋)	明治22年10月29日出版
1678－119	163	(20万分の１地形図・大浦湊)　＊1678－119～150	明治23年11月29日出版
1678－120	163	(20万分の１地形図・久米嶋)	明治27年７月31日印刷発行
1678－121	163	(20万分の１地形図・石垣嶋)	明治23年11月29日発行
1678－122	163	(20万分の１地形図・伊平屋嶋)	明治23年12月25日出版
1678－123	163	(20万分の１地形図・宮古嶋)	明治23年11月29日出版
1678－124	163	(20万分の１地形図・西表嶋)	明治23年10月29日出版
1678－125	163	(20万分の１地形図・那覇)	明治23年11月29日出版
1678－126	163	(20万分の１地形図・多良間嶋)	明治27年７月31日印刷発行
1678－127	163	(20万分の１地形図・与那国嶋)	明治24年５月28日出版
1678－128	163	(20万分の１地形図・中津)	明治27年５月18日印刷発行
1678－129	163	(20万分の１地形図・宮崎)	明治22年４月29日出版
1678－130	163	(20万分の１地形図・八代)	明治22年2月28日出版
1678－131	163	(20万分の１地形図・屋久島)	明治22年９月28日出版
1678－132	163	(20万分の１地形図・長崎)	明治27年５月18日印刷発行
1678－133	163	(20万分の１地形図・黒島)	明治22年10月29日出版
1678－134	163	(20万分の１地形図・中之島)	明治23年１月29日印刷出版
1678－135	163	(20万分の１地形図・徳之島)	明治24年５月28日出版
1678－136	163	(20万分の１地形図・大分)	明治27年５月18日印刷発行
1678－137	163	(20万分の１地形図・小倉)	明治27年５月18日印刷発行

作成 → 受取	形態	数量	備　考
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.1×59.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.1×59.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.0×59.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.0×59.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	45.9×58.9
陸地測量部	一括袋・鋪(印刷)	1・1	一括袋上書「九州琉球琉球図・大浦港・久米島・石垣嶋・伊平屋嶋・宮古嶋・西表嶋・那覇・多良間嶋・与那国嶋、九州中津・宮崎・八代・屋久嶋・長崎・黒嶋・中之島・徳之嶋・大分・小倉・鹿児嶋・野母崎・福江・与論嶋・奄美大嶋・宝嶋・厳原・延岡・熊本・唐津・甑嶋・富江・開聞嶽」／46.0×58.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.4×58.4
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.3×58.4
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.4×58.9
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.2×59.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.2×58.4
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.2×58.8
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.2×58.8
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.0×57.9
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.0×57.9
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.4×58.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.1×58.4
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.2×59.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	45.7×58.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.0×57.9
陸地測量部	鋪(印刷)	1	45.8×57.7
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.2×59.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	45.8×58.7
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.0×58.0

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1678－138	163	(20万分の１地形図・鹿児嶋)	明治22年５月29日出版
1678－139	163	(20万分の１地形図・野母崎)	明治21年５月22日出版
1678－140	163	(20万分の１地形図・福江)	明治21年６月29日出版
1678－141	163	(20万分の１地形図・与論嶋)	明治24年９月29日出版
1678－142	163	(20万分の１地形図・奄美大島)	明治22年９月28日出版
1678－143	163	(20万分の１地形図・宝島)	明治23年１月29日出版
1678－144	163	(20万分の１地形図・厳原)	明治20年８月26日出版
1678－145	163	(20万分の１地形図・延岡)	明治27年５月18日印刷発行
1678－146	163	(20万分の１地形図・熊本)	明治22年11月29日出版
1678－147	163	(20万分の１地形図・唐津)	明治27年５月18日印刷発行
1678－148	163	(20万分の１地形図・甑嶋)	明治22年10月29日出版
1678－149	163	(20万分の１地形図・富江)	明治21年９月25日出版
1678－150	163	(20万分の１地形図・開聞嶽)	明治22年５月29日出版
1680－1	163	(東亜輿地図100万分の１・海拉爾站) ＊1680－1～25	明治31年製図・大正７年５月30日発行
1680－2	163	(東亜輿地図100万分の１・哈巴羅夫喀)	明治30年製図・明治42年12月10日発行
1680－3	163	(東亜輿地図100万分の１・塔掃夫)	明治30年製図・明治42年12月10日発行
1680－4	163	(東亜輿地図100万分の１・烏魯伯斯古也)	明治30年製図・明治43年２月10日発行
1680－5	163	(東亜輿地図100万分の１・吉林)	明治30年製図・明治42年10月10日発行
1680－6	163	(東亜輿地図100万分の１・博爾多站)	明治31年製図・大正７年５月30日発行
1680－7	163	(東亜輿地図100万分の１・斉斉哈爾)	明治31年製図・明治43年２月10日発行
1680－8	163	(東亜輿地図100万分の１・恰克図)	明治36年製図・明治43年４月10日発行
1680－9	163	(東亜輿地図100万分の１・庫倫)	明治36年製図・明治43年４月10日発行
1680－10	163	(東亜輿地図100万分の１・義爾古徳斯克)	明治39年製図・明治43年４月10日発行
1680－11	163	(東亜輿地図100万分の１・乞塔)	明治36年製図・明治43年２月10日発行
1680－12	163	(東亜輿地図100万分の１・克魯倫)	明治36年製図・明治43年２月10日発行
1680－13	163	(東亜輿地図100万分の１・古拉夫斯幾)	明治30年製図・明治42年12月10日発行

作成 → 受取	形態	数量	備　考
陸地測量部	鋪(印刷)	1	45.7×58.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.2×58.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.1×59.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.2×58.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.1×57.9
陸地測量部	鋪(印刷)	1	45.9×58.3
参謀本部陸軍部測量局	鋪(印刷)	1	46.4×58.1
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.0×58.0
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.0×59.3
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.0×57.9
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.3×58.8
陸地測量部	鋪(印刷)	1	45.9×58.4
陸地測量部	鋪(印刷)	1	46.4×58.3
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／46.0×57.9
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／45.9×58.1
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／45.9×58.2
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／45.9×58.1
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／46.1×57.8
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／46.1×58.1
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／46.0×58.1
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／45.9×57.8
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／45.9×57.8
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／45.9×58.0
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／45.8×57.7
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／46.0×58.1
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／46.0×57.9

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1680－14	163	（東亜輿地図100万分の１・索匪斯克）	明治30年製図・明治42年12月10日発行
1680－15	163	（東亜輿地図100万分の１・密海羅色明）	明治30年製図・大正７年５月30日発行
1680－16	163	（東亜輿地図100万分の１・墨爾根）	明治30年製図・明治42年12月10日発行
1680－17	163	（東亜輿地図100万分の１・乃耳青斯克）	明治31年製図・明治43年２月10日発行
1680－18	163	（東亜輿地図100万分の１・浦潮斯徳）	明治29年製図・明治42年10月10日発行
1680－19	163	（東亜輿地図100万分の１・呼蘭）	明治30年製図・明治42年12月10日発行
1680－20	163	（東亜輿地図100万分の１・伯拉郭威什琛斯克）	明治30年製図・大正７年５月30日発行
1680－21	163	（東亜輿地図100万分の１・多来加湾）	明治30年製図・明治42年９月10日発行
1680－22	163	（東亜輿地図100万分の１・亜歴山）	明治30年製図・明治42年12月10日発行
1680－23	163	（東亜輿地図100万分の１・聖俄里哈湾）	明治29年製図・明治42年10月10日発行
1680－24	163	（東亜輿地図100万分の１・尼古来斯克）	明治37年製図・明治42年12月10日発行
1680－25	163	（東亜輿地図100万分の１・伯列因斯喀雅）	明治30年製図・明治42年12月10日発行
1681	163	陸地測量部出版地図区域一覧図	
1402	151	出雲大社之図	明治29年５月21日発行
1412－1	152	日本石器時代人民遺物発見地名表	明治30年７月18日発行
1412－2	152	日本石器時代人民遺物発見地名表	明治30年７月12日発行
36	C	奥州白河輿地図	（明治32年カ）
1668～1670	箱一括		
1668－1	C	（日本輿地図、陸奥国部分・出羽国・常陸国・下総国・上総国・安房国・下野国・上野国・武蔵国・相模国・伊豆国・甲斐国・越後国・信濃国・駿河国部分）	
1668－2	C	（日本輿地図、遠江国部分・三河国・尾張国・飛騨国・美濃国・加賀国・能登国・越中国・越前国・若狭国・伊勢国・伊賀国・志摩国・近江国・山城国・大和国・紀伊国・河内国・和泉国・摂津国・丹波国・丹後国・但馬国）	
1668－3	C	（日本輿地図、播磨国・因幡国・備前国・備中国・備後国・美作国・伯耆国・出雲国・安芸国・石見国・周防国・長門国部分）	
1668－4	C	（日本輿地図、讃岐国・阿波国・土佐国・伊予国部分）	

作成→受取	形態	数量	備　考
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／45.8×57.9
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／45.9×58.0
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／45.9×57.8
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／45.9×57.8
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／45.9×58.1
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／45.8×58.1
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／45.9×57.9
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／45.8×58.0
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／46.0×58.0
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／45.9×58.1
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／45.9×57.8
大日本帝国陸地測量部	鋪(印刷)	1	彩色／46.0×58.1
陸地測量部	状(印刷)	1	
著作兼発行者出雲国簸川郡杵築町大字杵築東二百八十二番邸吉川健五郎	状(印刷)・包	1・1	包紙上書「出雲大社之真景」／37.4×26.6
編纂兼発行者東京帝国大学	竪(印刷)	1	
編纂兼発行者東京帝国大学	竪(印刷)	1	
	鋪	1	彩色／表裏表紙付／「奥州白河為阿部侯之旧封土、余久蔵此図、今以贈呈子爵正功君㊞、当有今昔之感也、明治己亥三月乾堂外史北澤正誠識㊞」とあり／61.5×81.5
	一括箱・鋪	1・1	一括箱(本目録384・385頁参照)上書「大皇国輿地全図・地球万国之図・京大坂形勢図、高橋蔵」、蓋裏書「一日本図大小十二、一京大坂図一折、一西洋万国図一折」の札貼付あり／彩色／299.9×126.4／1688－1～11は1枚の国を切断分割したもの
	鋪	1	彩色／152.9×153.4
	鋪	1	彩色／78.7×174.7
	鋪	1	彩色／79.0×122.2

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1668－5	C	（日本輿地図、豊前国・豊後国・筑前国・筑後国・肥前国・肥後国・日向国・大隅国・薩摩国部分）	
1668－6	C	（日本輿地図、佐渡国部分）	
1668－7	C	（日本輿地図、淡路国部分）	
1668－8	C	（日本輿地図、五島部分）	
1668－9	C	（日本輿地図、壱岐国・対馬国部分）	
1668－10	C	（日本輿地図、隠岐国部分）	
1668－11	C	（日本輿地図、伊豆属島部分）	
1668－12	160	（「信濃・上野・下野・下総・常陸・越後・陸奥・出羽」）	
1668－13	160	（防虫剤包カ）	
1669	C	西洋地球万国図	
1670	C	京大坂形勢図	
1682	163	陸地測量部御出版地図払下目録	
1683	163	（東日本旧国名入地図）	
1684	163	（東北・北陸・常陸郡名地図）	
1685	163	（輯製二十万分一図書上）	

E－3－5　書籍・雑誌

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
書籍			
1268	146	官許無水岡田開闢法	明治元年11月
1082	131	学制	明治５年７月
1569－1	155	福嶋県治統計概表	明治10年７月
1569－2	155	（「福島県・相模国地図」）	
1083	131	官員名鑑全	明治10年10月出版
1572	155	地理局雑報第拾一号（甲斐国地質・樹木育成状況報告書）	明治12年５月13日
1302	148	習学東照宮御消息	明治12年５月31日出版
1303	148	旅中必携駅路便覧	明治12年６月４日

作成→受取	形態	数量	備　考
	鋪	1	彩色／140.5×117.5
	鋪	1	彩色／34.6×43.9
	鋪	1	彩色／25.5×16.4
	鋪	1	彩色／40.7×30.2
	鋪	1	彩色／48.2×96.2
	鋪	1	彩色／27.9×53.7
	鋪	1	彩色／106.9×45.0
	状	1	
	包・状	3・1	「卅二十月」とあるものあり／状は白紙
	鋪	1	彩色／157.3×156.7
	鋪	1	彩色／93.0×57.9
発行所日本橋区金吹町二番地湧金堂岡田栄助	状(印刷)	1	
	状	1	32.6×24.4
	鋪	1	彩色／109.2×75.2
	状	1	

作成→受取	形態	数量	備　考
羽州由利郡岡田明義著	竪	1	底本は「育民堂」板本
太政官・文部省	竪(印刷)	1	「定価四匁五分」印あり
福島県蔵版	折本(印刷)	1	
	状	1	1569－1に挟込
編輯兼出版人鹿児島県士族神崎正誼㊞ほか2名	横(印刷)	1	
	竪(印刷)	1	㊞(阿部)あり／表紙はずれ、後欠
東京府華族筆者大宮覚宝・出版人三重県平民富岡新三郎	竪(印刷)・帙	1・1	
編輯人東京府平民酒井捨彦・出版人愛知県士族伊藤武彦㊞、発兌金港堂㊞	折本(印刷)	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1090－1	132	改正官員録上	明治19年３月
1090－2	132	改正官員録下	明治19年３月２日出版
1578	156	明治二十年福島県東白川郡治一覧表	明治21年８月25日
1306	148	大日本国尽・郡名並府県庁管轄記	明治22年３月16日出版
1304	148	戦国写真画報西京名所(第11巻)	明治28年４月５日再版
1707	164	歳々改正明治廿八年数早見	明治28年出版
1098	132	海軍中将伊東祐亨君之事蹟(天保14年～明治28年)	(明治28年以降カ)
1401－1	151	鎮西博物館歴史参考之備品　＊1401－1～2	明治29年２月11日発行
1401－2	151	(日本白地図)	
1708	C	豊公廟建築計画図	明治29年10月
1420－1	152	第二版日本石器時代人民遺物発見地名表	明治31年５月12日発行
1420－2	152	(「東大畑」)	
1582	156	纂訂古風土記逸文全	明治31年８月14日発行
1709－1	164	しん板はんじゑ旧の月日(暦)	明治32年11月１日出版
1709－2	164	しん板はんじゑ旧の月日(暦)	明治31年11月１日出版御届
1305－1	148	守護職小史前編巻の上	明治31年11月３日発行
1305－2	148	(葉書、守護職小史送付につき)	(明治32年)２月24日
1305－3	148	守護職小史前編巻の下	明治32年４月１日発行
1614	158	(国民新聞第2714号附録勝海舟肖像写真)	明治32年１月25日
1617	158	時事新報号外第二(日本鉄道汽車転覆)	明治32年10月８日
1436	153	古墳横穴及同時代遺物発見地名表	明治33年３月15日発行
1307－1	148	国家要書全	明治33年５月20日発行
1307－2	148	(正誤表)	
1737	M	北清事変写真帖	明治35年４月４日発行
1735	M	清国雑観(写真集)	明治41年４月22日発行

作成→受取	形態	数量	備　考
博公書院	横(印刷)	1	㊞(阿部)あり
編輯出版京橋区瀧山町拾壱番地彦根正三ほか1名	横(印刷)	1	㊞(阿部)あり
福島県東白川郡役所	折本(印刷)	1	
耕道散士編輯、発行者東京浅草区南元町十五番地牧金之助	竪(印刷)	1	
編輯主任森貞次郎ほか1名、発行所東京日本橋区通四丁目五番地春陽堂	竪(印刷)	1	
著作印刷兼発行者東京下谷区数寄屋町拾五番地勝木吉勝	状(印刷)・包	1・1	包紙上書「新刻明治廿八年出版、年数早見、東京勝々堂蔵」・包紙裏書「東京市下谷区数寄屋町十五番地勝々堂」、包紙表に「御年玉、麻布区飯倉片町近江屋椙江新兵衛」の印あり
十二代横綱力士陣幕久五郎ほか1名	竪(印刷)	1	
編纂兼発行者福岡県福岡市福岡簀子町三十七番地江藤正澄	状(印刷)	3	1401－1～2は軸によって巻かれている／こよりあり／39.8×55.7
	状	1	32.2×43.4
工学士伊藤忠太計画	鋪(印刷)	1	彩色／47.5×102.7
編集兼発行者東京帝国大学	竪(印刷)	1	表紙に「訂正加筆」とあり
	状	1	1420－1の13丁～14丁挟込
茨城県士族編纂者栗田寛	竪(印刷)	1	
著者発行并印刷者岩手県盛岡市肴町廿五番戸阿部秀直	状(印刷)	1	
編輯発行并印刷人岩手県盛岡市肴町廿五番戸阿部秀直	状(印刷)	1	
編纂兼発行者北原雅長	竪(印刷)	1	
麻布霞町廿三番地平田白鶴→市内牛込甲良町十二番地石井収様	状	1	1305－1の1～2丁挟込
編纂兼発行者北原雅長	竪(印刷)	1	
小川一真製	状(印刷)	1	
発行所時事新報社	状(印刷)	1	
編纂兼発行者東京帝国大学	竪(印刷)	1	
著者権発行者東京市麻布区霞町廿一番地磯村松太郎、発行所東京市麻布区霞町廿一番地鬼子母神堂	竪(印刷)	1	
	状(印刷)	1	1307－1の8～9丁挟込
小川一真・小川写真製版所	横(印刷)	1	
大日本東洋婦人会編纂	横(印刷)	1	非売品

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1583	156	日本名勝天龍峡	明治45年6月20日発行
1584	156	県社高城神社沿革考	大正5年9月
1585	156	棚倉町勢一斑	(大正5年10月25日)
1739－1	167	支那大観・黄河之巻　＊1739－1～2	大正6年1月7日再発行
1739－2	167	支那大観・揚子江之巻	(大正6年1月7日再発行)
1516	154	(箱根蘆湖畔三景楼広告)	
1701	C	(東海道中双六)	
1712	164	標準時地方時対照表	
1713	164	軍隊符号	
1714	164	(泉州堺宿屋町農人丁十九世泉首斎岡村平兵衛製造刀剣拭用丁子油・打粉宣伝紙)	
1736	M	The HUNDRED BEST VIEWS of CEYLON(写真集)	
1772	168	(包紙)	
学術雑誌			
1353－1	150	東京人類学会雑誌第五巻いろは引総目録	明治23年12月28日発兌
1353－2	150	東京人類学会雑誌第六巻自五拾五号至六拾六号いろは引総目録	明治24年11月28日発兌
1353－3	150	東京人類学会雑誌第七巻自第六十七号至第七十八号いろは引総目録	明治25年10月28日発兌
1353－4	150	東京人類学会雑誌第八巻自第七十九号至第九十号索引総目録	明治26年11月28日発兌
1353－5	150	東京人類学会雑誌第九巻自九拾一号至百〇二号いろは引総目録	明治27年11月28日発兌
1353－6	150	東京人類学会雑誌第十巻自百三号至百十四号いろは引総目録	明治28年11月28日発兌
1353－7	150	東京人類学会雑誌第十一巻自百十五号至百廿六号いろは引総目録	明治29年11月28日発兌
1353－8	150	東京人類学会雑誌第十二巻自百二十七号至百三十八号いろは引総目録	明治30年12月28日発行
1353－9	150	東京人類学会雑誌第十三巻自百三十九号至百五十号いろは引総目録	明治31年11月20日発行
1353－10	150	東京人類学会雑誌第十四巻自第百五十一号至第百六十二号いろは引総目録	明治32年11月20日発行
1353－11	150	東京人類学会雑誌第十五巻自第百六十三号至第百七十四号総目録	明治33年12月20日発兌
1353－12	150	東京人類学会雑誌第十六巻自第百七十五号至第百八十六号総目録	明治35年5月20日発行
1353－13	150	東京人類学会雑誌第十七巻自第百八十七号至第百九十八号総目録	明治36年2月20日発行

作成 → 受取	形態	数量	備　考
編輯兼発行人上柳緑	竪(印刷)	1	
埼玉県武蔵国大里郡熊谷町県社高城神社社務所	竪(印刷)	1	
	竪(印刷)	1	
福田周太郎著・金尾文淵堂蔵版	一括箱・一括帙・横(印刷)	1・1・1	一括箱は紙製
(福田周太郎著・金尾文淵堂蔵版)	横(印刷)	1	
(東海道箱根駅湖水側旅人御休泊所三景楼はふや(高瀬)四郎右衛門)	状(印刷)	1	
	状(印刷)	1	58.8×73.0
牛込区市谷本村町十二番地法田富松	状(印刷)	1	
	状(印刷)	1	端裏書「軍隊附号」
	状(印刷)	1	彩色
The Times of CEYLON	横(印刷)	1	
	包(印刷)	1	包紙上書「栗田寛纂訂、古風土記逸文」
発行人兼印刷人井上円成ほか1名	竪(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』第57号附録
発行人兼印刷人井上円成ほか1名	竪(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』第7巻第68号附録
発行人兼印刷人井上円成ほか1名	竪(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』第8巻第79号附録
発行人兼印刷人井上円成ほか1名	竪(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』第9巻第92号附録
発行人兼印刷人井上円成ほか1名	竪(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』第10巻第104号附録
発行人兼印刷人坂田篤敬ほか1名	竪(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』第116号附録
発行人兼印刷人長沢市蔵ほか1名	竪(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』第128号附録
発行人兼印刷人高頭忠造ほか1名	竪(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』第141号附録
発行人兼印刷人高頭忠造ほか1名	竪(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』第152号附録
発行人兼印刷人高頭忠造ほか1名	竪(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』第164号附録
東京本郷六丁目五番地東京人類学会事務所	竪(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』第177号附録
東京市本郷六丁目五番地東京人類学会事務所	竪(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』第194号附録
東京本郷区六丁目五番地東京人類学会事務所	竪(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』第203号附録

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1353－14	150	東京人類学会雑誌第十九巻自第二百十一号至第二百二十二号(総目録)	明治37年
1353－15	150	東京人類学会雑誌第二十巻自第二百二十三号至第二百三十四号(総目録)	明治38年
1353－16	150	東京人類学会雑誌第二十一巻自第二百三十五号至第二百四十六号(総目録)	明治39年
1353－17	150	東京人類学会雑誌第二十二巻自第二百四十七号至第二百五十八号(総目録)	明治40年
1353－18－1	150	東京人類学会雑誌第二十四巻自第二百七十一号至二百八十二号(総目録)	明治42年
1353－18－2	150	(博運社広告)	
1407	151	考古学会趣意書	明治29年9月
1426	152	(集古会大会ノ主旨・集古会規則)	明治31年9月[21日]
1434－1	153	明治三十二年十月調東京人類学会会員宿所姓名簿	明治31年10月20日発兌
1434－2	153	明治三十三年十月調東京人類学会会員宿所姓名簿	明治33年10月20日発兌
1434－3	153	明治三十四年十二月調東京人類学会会員宿所姓名簿	明治34年12月20日発兌
1434－4	153	明治三十五年十二月調東京人類学会会員宿所姓名簿	明治35年12月20日発兌
1441－1	153	人類学写真集日本石器時代土偶ノ部総説 ＊1441－1～2	明治38年3月30日発行
1441－2	153	(土偶写真図版)	
1442	153	東京人類学会会員名簿	明治38年12月20日発行
1443－1	153	東京人類学会会員名簿	明治40年12月20日発行
1443－2	153	(東京神田佐柄木町21番地博運社広告ビラ)	
1781	168	(山林売買について書籍部分)	

E－3－6　写真・絵葉書

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
写真			
1733－1	M	(写真、鎮護神社祭礼) ＊1733－1～6	明治43年5月3日
1733－2	M	(写真、鎮護神社祭礼)	(明治43年5月3日)
1733－3	M	(写真、鎮護神社祭礼)	(明治43年5月3日)
1733－4	M	(写真、鎮護神社祭礼)	(明治43年5月3日)

作成 → 受取	形態	数量	備　考
東京人類学会	竪(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』第224号附録
東京人類学会	竪(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』第236号附録
東京人類学会	竪(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』第248号附録
東京人類学会	竪(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』第260号附録
東京人類学会	竪(印刷)	1	
	状(印刷)	1	1353－18－1の1～2丁挟込
考古学会	状(印刷)	2	
小石川区指ヶ谷町五十三番地集古会仮事務所大野雲外→［麻布区霞町壱番地阿部正功殿］	状(印刷)・封	5・1	
東京市本郷区本郷六丁目五番地東京人類学会事務所	竪(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』第163号附録
東京市本郷区本郷六丁目五番地東京人類学会事務所	竪(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』第175号附録
東京市本郷区本郷六丁目五番地東京人類学会事務所	竪(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』第189号附録
東京市本郷区本郷六丁目五番地東京人類学会事務所	竪(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』第201号附録
東京帝国大学理科大学教授理学博士坪井正五郎	一括袋・横(印刷)	1・1	一括袋上書「人類学写真集日本石器時代土偶ノ部」
	状(印刷)	20	
東京帝国大学理科大学人類学教室内東京人類学会事務所発行兼編輯者松村瞭	横(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』第237号附録
東京帝国大学理科大学人類学教室内東京人類学会事務所発行兼編輯者松村瞭	横(印刷)	1	『東京人類学会雑誌』261号附録
	状(印刷)	2	1443－1の17～18丁挟込
発売書肆・東京南伝馬町二丁目拾三番地有隣堂穴山篤太郎㊞	状(印刷)	1	書籍の一部分

作成 → 受取	形態	数量	備　考
	一括包・状	2・3	台紙裏面に墨書「本丸東ヨリ西ヲ望ム」とあり／3枚の内1枚は白紙
	状	1	
	状	1	
	状	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1733－5	M	(写真、鎮護神社祭礼)	(明治43年5月3日)
1733－6	M	(写真、鎮護神社祭礼)	(明治43年5月3日)
1729－1	M	(写真、宮中御祭典御器物平居瓶)　＊1729－1～5	
1729－2	M	(写真、宮中御祭典御器物平居瓶・多志良加・羹鍋)	
1729－3	M	(写真、宮中御祭典御器物多志良加)	
1729－4	M	(写真、宮中御祭典御器物羹鍋)	
1729－5	M	(写真、宮中御祭典御器物平居瓶・多志良加・羹鍋)	
1730－1	M	(写真、遺跡と1人の男)　＊1730－1～7	
1730－2	M	(写真、遺跡と4人の男)	
1730－3	M	(写真、遺跡にて集合)	
1730－4	M	(写真、遺跡・住居址)　＊1730－4～5	
1730－5	M	(写真、遺跡・住居址)	
1730－6	M	(写真、遺跡・住居址と1人の男)　＊1730－6～7	
1730－7	M	(写真、遺跡・住居址と1人の男)	
1732－1	M	(写真、メキシコインディオの2人の女)　＊1732－1～2	
1732－2	M	(写真、メキシコインディオの2人の女)	
1740	M	(写真、椅子に座る女)	
1741－1	M	(写真、遺跡・住居址)	
1741－2	M	(写真、遺跡・住居址と男)	

作成→受取	形態	数量	備　考
	状	1	台紙裏面に墨書「本丸西南隅ヨリ東北ヲ望ム」とあり
	状	1	台紙裏面に墨書「本丸東北隅ヨリ西南隅ヲ望ム」とあり
徳大寺公弘写	一括包・状	1・1	裏に「宮中御祭典御器物、平居瓶・白酒黒酒ヲ盛テ供シ奉ル」とあり／写真表隅に紙片貼付「徳大寺公弘写」とあり
徳大寺公弘写	状	1	裏に「宮中御祭典御器物、平居瓶・白酒黒酒ヲ盛テ供シ奉ル、多志良加・御手洗水ヲ入ル器、同、羹鍋・和布羹蚫羹ヲ入ル器」とあり／写真表隅に紙片貼付「徳大寺公弘写」とあり
徳大寺公弘写	状	1	裏に「宮中御祭典御器物多志良加・御手洗水ヲ入ル器」とあり／写真表隅に紙片貼付「徳大寺公弘写」とあり
徳大寺公弘写	状	1	裏に「宮中御祭典御器物羹鍋・和布羹蚫羹ヲ入ル器」とあり／写真表隅に紙片貼付「徳大寺公弘写」とあり
徳大寺公弘写	状	1	裏に「宮中御祭典御器物、平居瓶・白酒黒酒ヲ盛テ供シ奉ル、多志良加・御手洗水ヲ入ル器、同、羹鍋・和布羹蚫羹ヲ入ル器」とあり／写真表隅に紙片貼付「徳大寺公弘写」とあり
	一括包・状	2・1	
	状	1	
	状	1	
	一括包・状	1・1	
	状	1	
	一括包・状	1・1	
	状	1	
	一括包・状	1・1	
	状	1	
	ガラス乾板	1	
	一括包・ガラス乾板	1	包紙上書「い寿し」／1730－4・5のガラス乾板
	ガラス乾板	1	1730－6・7のガラス乾板

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1728－1	M	(写真、人魚)　＊1728－1～2	
1728－2	M	(写真、人魚)	
絵葉書			
346－1	69	(絵葉書、棚倉全景・棚倉小学校)　＊346－1～9	[明治44年10月20日]
346－2	69	(絵葉書、郡役所ヨリ城跡ヲ望ム)	
346－3	69	(絵葉書、棚倉町ノ景)	
346－4	69	(絵葉書、国幣中社都々古別神社)	
346－5	69	(絵葉書、忠魂碑及鎮護神社)	
346－6	69	(絵葉書、久慈川館岩景)	
346－7	69	(絵葉書、矢祭山御獄ノ越)	
346－8	69	(絵葉書、蓮家寺ノ景)	
346－9	69	(絵葉書、宇迦神社門前ノ景)	
1724－1	164	(絵葉書、明治神宮社殿出来形予想図および明治神宮附属外苑予定図)　＊1724－1～2	[大正5年6月25日発行]
1724－2	164	(絵葉書、明治神宮奉賛会設立につき令旨および伏見総裁宮殿下肖像)	[大正5年6月25日発行]
1725－1	164	(絵葉書、行幸啓紀年)	大正6年5月8日
1725－2	164	余興番組(プログラム)	
1726－1	164	(絵葉書、東京市内大暴風雨惨状)　＊1726－1～3	大正6年10月1日
1726－2	164	(絵葉書、東京市および府下海嘯襲来惨状実況)	大正6年10月1日
1726－3	164	(絵葉書、東京市および府下大暴風雨海嘯襲来惨状実景)	大正6年10月1日

作成→受取	形態	数量	備　考
	一括包・状	1・1	裏に「心斎橋筋古梅園ノ所有ナリ、其主人曰古昔海陸変セン時ニ当リ対州ニ上レリ夫ヨリ数百年ノ後古梅園ノ手ニ入ル、或ハ之ヲ人魚ト称シ或ハ之ヲ海中ノ仙ト言フ之ヲ有スレバ魔ヲハラヘ之ヲ見ル者長命スト、腰ヲ圍ム者ハ貝ノ類ニシテ足ナシ、前ニ抱ク者ハ胴ノ傾ケル者ナリヌ、又背ニ毛アリ、其主人之ヲ敬スル事神ノ如シ」とあり／「silber」の印画紙
	状	1	
［棚倉町字南町三阿部資満→東京市麻布区霞町一番地阿部正功様］	一括封・状（印刷）	1・1	一括封筒上書「絵端書三葉在中」／明治44年10月19日教育品展覧会紀念スタンプ押印
	状（印刷）	1	
	状（印刷）	1	
	状（印刷）	1	
	状（印刷）	1	
	状（印刷）	1	明治44年10月19日教育品展覧会紀年スタンプ押印
	状（印刷）	1	明治44年10月19日教育品展覧会紀年スタンプ押印
	状（印刷）	1	
	状（印刷）	1	
東京市麹町区三年町御料地明治神宮奉賛会	一括包・状（印刷）	1・1	一括包紙上書「紀年絵葉書」
東京市麹町区三年町御料地明治神宮奉賛会	状（印刷）	1	
袖ヶ崎島津	状（印刷）・包	5・1	包紙上書「大正六年五月八日、行幸啓紀年絵葉書、袖ヶ崎島津」
	状（印刷）	1	
	一括包・状・袋	1・8・1	袋上書「大正六年十月一日気象台開始以来の大暴風雨惨状」
	状・袋	8・1	袋上書「大正六年十月一日帝都を襲ふ大暴風雨最も惨状を極めたる東京市及び府下海嘯襲来惨状実況」
東京中村興文堂	状・袋	16・1	袋上書「大正六年十月一日午前一時ヨリ帝都を襲ふ大暴風雨海嘯襲来惨状之実景」

E－4　正功没後の動向

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1282－1	146	昭和八年九月改御書籍目録(阿部家蔵書)	昭和8年9月改
1282－2	146	(書籍目録)	
1282－3	146	図書目録	
1282－4	146	図書目録	
1446	153	阿部家収蔵考古学的遺物目録(京都帝国大学・東京大学・学習院3ヶ所へ配分につき)	昭和11年6月3日
1780	168	(外国人帰化年譜ほか書名書上)	(昭和年月日)

作成→受取	形態	数量	備　考
	竪	1	
	状	1	1282－1の28～29丁に挟込
	状	4	1282－1の28～29丁に挟込
	状	3	1282－1の28～29丁に挟込／1282－3の1～3枚目をタイプ打ちしたもの
肥後和男ほか2名	竪(印刷)	1	
	状	1	歴史・民俗関係の書目／「麻布霞町阿部家」の青色罫紙

F　拓本

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
阿部家当主墓碑			
1632	159	御代々様御碑文写	(宝永元年11月 1 日～明治11年)
1652－1	160	(拓本、真厚院殿従五位寛誉廓然養浩大居士) ＊1652－1～11	
1652－2	160	(拓本、阿部正備墓碑文)	甲戌(明治 7 年) 5 月15日
1652－3	160	(拓本、阿部正静墓碑文)	(明治11年)
1652－4	160	(拓本、阿部正武宝塔)	
1652－5	160	(拓本、阿部正武碑銘)	宝永甲申(元年)11月朔日
1652－6	160	(拓本、□□到彼國･･･)	
1652－7	160	(拓本、阿部正静墓碑文)	(明治11年)
1652－8	160	(拓本、阿部正識墓碑文)	享和 3 年 3 月25日
1652－9	160	(拓本、阿部正権墓碑文部分)	(文政 6 年11月)
1652－10	160	(拓本、阿部正武宝塔)	
1652－11	160	(拓本、従五位阿部正静墓)	
1645－1	159	小菅美義妻阿部氏之墓(拓本)	(明治29年 5 月)
1645－2	159	小菅孺人阿部氏墓碑銘(拓本)	明治29年 5 月
1651	160	(拓本、阿部正精漢詩碑文)	甲戌孟夏
戊辰戦争の死者招魂碑			
1642－1	159	弔魂之碑(拓本、戊辰戦争棚倉藩戦士者)	(明治13年 5 月)
1642－2	159	(拓本、戊辰戦争戦死者13回忌につき建立弔魂之碑碑文)	明治庚辰(13年) 5 月
1643－1	159	鎮英魂(拓本、戊辰戦争棚倉藩戦士者鎮魂碑)	明治17年 9 月
1643－2	159	鎮英魂(拓本、戊辰戦争棚倉藩戦士者鎮魂碑)	明治17年 9 月
1643－3	159	故棚倉藩殉難士(拓本)	
1786	168	(「戊辰戦死者碑石摺」)	

作成→受取	形態	数量	備　考
	綴	1	阿部正武・正喬・正允・正識・正敏・正由・正権・正瞭・正定・正耆・正静碑文
	一括包・状	1・1	一括包紙上書「御代々様御墓碑石摺」／真厚院は阿部正備／142.2×59.0
従五位阿部正功抆涙而誌	状	1	143.3×59.9
従五位阿部正功抆涙而誌	状	1	105.5×63.2
	状	1	裏書「徳厳院様御宝塔裏書之写」／66.6×77.2
忍城主朝散大夫阿部飛騨守正喬識	状	1	裏書「徳厳院様御碑銘」／66.2×76.0
	状	1	79.6×38.9
従五位阿部正功涙抆而誌	状	1	104.5×64.3
忍城主従五位下播磨守阿部朝臣正由涕泣認	状	1	裏書「浄観院様御碑銘」／70.0×37.8
	状	1	37.8×70.4
	状	1	裏書「徳厳院様御宝塔表之写」／67.2×74.5
	状	1	138.0×63.6
	状	1	阿部正備二女婦美(文)／136.1×68.6
大埜孝撰并書	状	1	阿部正備二女婦美(文)／136.8×68.1
阿(部)(正)精書	状	1	「阿精書」とあり／40.7×136.0
(阿部正功)	状	1	99.9×68.7
従五位阿部正功	状	1	101.6×68.8
従五位子爵阿部正功篆額、元老院議官従四位勲三等渡辺清撰、平田文書	状	1	188.6×95.6
従五位子爵阿部正功篆額、元老院議官従四位勲三等渡辺清撰、平田文書	状	1	189.0×95.6
発起平田雨郭ほか16名	状	1	197.6×95.5
	状	1	

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
名跡など			
1631	159	(拓本、大江山夷族追討につき祈祷すべき旨)	寛仁元年3月11日
1633－1	159	平潟洞門碑銘(拓本)	安永7年8月15日
1633－2	159	平潟洞門碑銘(拓本)	安永7年8月15日
1634	159	柿本大夫祠堂碑銘之写	安永9年5月25日写
1635－1	159	松濤山(拓本)	天明2年4月
1635－2	159	松濤山(拓本)	天明2年4月
1636－1	159	古関蹟(拓本)	(寛政12年8月1日)
1636－2	159	(拓本、白川関蹟碑文)	寛政12年8月1日
1637	159	(拓本、江戸浅草本性寺境内男神霊験に関する碑文)	享和2年冬
1638	159	(拓本、源義家勿来関にての詠歌碑文)	文政5年3月11日
1639－1	159	法華経一字一石供養塔(拓本)	
1639－2	159	□経碑(拓本)	
1639－3	159	(拓本、勤古今無･･･)	天保8年歳在丁酉夏5月
1640	159	弘道館記(拓本)	嘉永3年歳在戊夏5月
1641－1	159	(拓本、勿来関賀茂季鷹顕彰碑)	嘉永辛亥(4年)仲春
1641－2	159	(拓本、勿来関賀茂季鷹顕彰碑)	嘉永辛亥(4年)仲春
1644	159	立憲頌徳之碑(拓本縮写)	(明治22年)
1646	159	(拓本、「雲雀よりうへにやすらふ峠かな」)	
1647－1	159	画中斧詩(拓本)	
1647－2	159	画中斧詩(拓本)	
1648	159	(拓本、富嶽之雪･･･)	
1649	159	(拓本、斉道則見無道則隠)	
1650－1	160	(拓本、梵字カ)	

作成→受取	形態	数量	備　考
摂津守源朝臣(花押)→成相寺衆徒	状	1	
長久保玄珠(赤水)撰、寺門威如篆額、立原万書	状	1	端裏貼紙「奈須有方ヨリ上ル」／平潟洞門は、福島県いわき市勿来町へ続く切通しにあった洞門(茨城県北茨城市平潟町黒浦)／128.5×73.6
長久保玄珠(赤水)撰、寺門威如篆額、立原万書	状	1	127.9×73.6
阿(部)正識再写	竪	1	明和元年「源明次」写を更に書写／表紙貼紙「正識公御書」
	状	1	85.3×113.1
	状	1	後欠／83.7×74.7
	状	1	1636－1と1636－2は元は一体のものか／132.4×49.8
白河城主従四位下行左近衛権少将兼越中守源朝臣定信識	状	1	1636－1と1636－2は元は一体のものか／126.9×49.7
	状	1	台紙付／69.1×65.8
正四位下賀茂県主季鷹	状	1	千載和歌集の一首「吹く風をなこその関と思へともみちもせに散山桜かな」／100.4×59.2
	状	1	149.1×43.8
	状	1	148.8×43.7
白河後学、崑陽津直清撰、谷南矢嶋信青書	状	1	148.8×43.6
景山公(徳川斉昭)所撰、臣藤田彪(東湖)謹書	状	1	141.3×60.3
筒井憲并書	状	1	103.7×59.7
筒井憲并書	状	1	104.6×59.6
農商務大臣海軍中将従二位勲一等子爵榎本武揚篆額、従四位勲四等貴族院議員文学博士重野安繹拝撰、従四位勲三等貴族院議員錦鶏祇侯巌谷修拝書	状・包(印刷)	1・1	包紙上書「立憲頌徳之碑全」／50分の1縮写／115.3×57.8
はせを(松尾芭蕉)	状	1	79.9×55.3
雲洞社多	状	1	81.3×29.7
雲洞社多	状	1	83.7×29.7
(藤田)東湖	状・包	1・1	包紙上書「東湖藤田先生遺墨」／131.5×59.3
無頼長者半睦臨書	状	1	127.4×41.4
	状	1	110.0×54.8

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1650－2	160	(拓本、題詠17首)	
1650－3	160	白河城外南湖詩二十韻(拓本)	

G　包紙・封筒など

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1753	168	(罫紙・白紙)	
1754	168	(袋)	
1762	168	(袋)	
1771	168	(包紙)	
1785	168	(罫紙・白紙)	
1789	168	(袋)	

作成→受取	形態	数量	備　考
	状	1	113.8×52.2
陸奥国飯坂社文剛謹鐫	状	1	112.4×52.5

作成→受取	形態	数量	備　考
	状	1	青色罫紙
	袋	1	袋上書「阿部家御私邸図」
	袋	1	袋上書「覚、金一朱ト百文但散薬二包分」
	包	1	
	状	1	青色罫紙、罫紙中心に「十二」の印刷あり
	袋	1	付箋「貸地図及下調、参考物」とあり

H　モノ資料

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	法　量
28	C	箱(かぶせ蓋)	39.2×26.8×4.1
75	C	箱(さん蓋)	18.3×27.5×6.2
750	C	箱(印籠蓋)	8.2×38.8×6.5
1074	C	箱(かぶせ蓋)	37.9×27.5×8.4
1186	C	箱(印籠蓋)	33.8×24.5×25.0
1653	C	書物簞笥	18.9×11.8×24.0
1663	C	書物簞笥	19.9×13.1×4.5
1668	C	箱(かぶせ蓋)	44.2×29.8×7.3
1676	C	書物簞笥	29.3×18.0×41.3
1677	C	書物簞笥	29.5×20.0×41.3
1690	C	箱(印籠蓋)	30.8×12.4×9.7
1734		(金具・釘、御簞笥御鉄具)	
1738		(ピンバッチ、参拝章)	
1792	C	長持	53.0×130.0×67.8
1793	C	長持	63.4×155.8×63.8
1794	C	長持	63.4×155.8×63.8
1795	C	長持	57.1×141.8×61.1
1796	C	長持	55.0×130.2×56.9
1797	C	長持	58.3×101.1×60.5
1798	C	長持	51.0×96.3×60.0
1799	C	長持	43.0×135.6×39.0
1800	C	挟箱(かぶせ蓋)	48.5×76.0×38.0
1801	C	挟箱(かぶせ蓋)	47.5×76.0×37.2

備　考
箱上書「御領知郷村高帳」・貼紙「第五号」紐付／蓋破損あり／資料が中に収められている(中の資料については本目録32・33頁を参照)
箱上書「正勝公・正次公・忠吉公御家譜下調一冊、忠秋公御譜下調一冊、正能公御家伝御下調一冊、但御伝之内御書物書付壱通」／資料が中に収められている(中の資料については本目録54・55頁を参照)
箱上書「誓詞、阿部美作守」／紐付(紐に破損あり)／資料が中に収められている(中の資料については本目録44・45頁を参照)
箱上書「御知行高五万石御備立」・「ノ印七番物」・貼紙「第七号甲」(甲のみ朱書)／資料が中に収められている(中の資料については本目録72・73頁を参照)
箱上書「上、草木考」／掛子あり／紐付(紐に破損あり)／資料が中に収められている(中の資料については本目録110～113頁を参照)
箱貼布「御江戸切絵図二十八冊」・蓋裏貼紙「惣絵図〆弐十九全」／内部は3段に分かれている／資料が中に収められている(中の資料については本目録126～129頁を参照)
箱貼紙「官許銅鐫大日本国細図、懐用全二帖」(印刷)／底に押穴あり／資料が中に収められている(中の資料については本目録126・127頁を参照)
箱上書「大皇国輿地全図・地球万国之図・京大坂形勢図、高橋蔵」・蓋裏貼紙「一日本図大小十二、一京大坂図一折、一西洋万国図一折」／資料が中に収められている(中の資料については本目録362～365頁を参照)
箱上書「二十万分一地図」・ラベル「特四」／内部は8段に分かれる／蓋のつまみはずれている／資料が中に収められている(中の資料については本目録348～363頁を参照)
箱上書「二万分一地図」・ラベル「特五」／棚板・底部破損／内部は8段に分かれる／資料が中に収められている(中の資料については本目録330～349頁を参照)
箱上書「乾坤之巻二軸」・蓋裏書「寛政四年壬子閏二月廿八日、藤田権平定資伝授之、源頼朴㊞」／紐付(紐に破損)・こより札「正由様御伝書」結びつけあり／資料が中に収められている(中の資料については本目録62・63頁を参照)
包紙上書「御単㈜笥御鉄具」／数量3点(包共)
菅公会・勲章師相原製／数量3点(包・箱共)
朱塗／右側面貼紙「古記録一」／内部全面に紙貼付／蝶番破損／錠付(鍵なし)／棹通しあり
朱塗／内部に「御守」貼付／内部全面に紙貼付／錠なし／底部破損あり／棹通し破損
朱塗／内部に「御守」貼付／内部全面に紙貼付／底部ハガレ多し／錠なし
黒塗／左側面に貼紙「本」／蝶番破損／棹通し破損／元は内部に紙貼付されていたか
黒塗／左側面貼紙「御文事一」／錠付(鍵なし)／内部金具部に和紙で覆いあり
黒塗／右側面貼紙「古記録二」／内部全面紙貼付／蝶番破損／錠なし／蓋がとれている
黒塗／正面貼紙「九六」／内部に紙貼付(一部ハガレ)／錠なし／一部金具破損
朱塗／蓋なし／正面紙貼付跡あり／内部に紙貼付の跡あり
内外面とも黒塗／正面朱書「二」など／蓋部に黒色革覆いあり
内外面とも黒塗／正面貼紙「雑七」／正面に朱書「阿一」／掛子あり

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	法　量
1802	C	挟箱(かぶせ蓋)	40.6×59.0×36.8
1803	C	箱(かぶせ蓋)	65.5×50.3×21.5
1804	C	箱(かぶせ蓋)	55.5×76.0×21.3
1805	C	箱	37.2×27.8×7.2
1806	C	箱	24.7×34.7×11.4
1807	C	箱(印籠蓋)	45.9×23.9×28.6
1808	C	書物簞笥	29.9×45.3×60.4
1809	C	書物簞笥	31.1×24.5×61.9
1810	C	書物簞笥	30.8×22.4×58.1
1811	C	書物簞笥	30.9×43.9×60.1
1812	C	書物簞笥	32.7×45.5×60.5
1813	C	箱(かぶせ蓋)	38.0×51.8×14.3
1814	C	簞笥ひきだし	37.6×122.7×15.5
1815	C	箱(かぶせ蓋)	57.3×44.2×19.5
1816	C	箱(印籠蓋)	60.6×21.0×40.2
1817	C	箱(印籠蓋)	15.1×54.5×16.9
1818	C	箱(印籠蓋)	14.8×54.0×16.2
1819	C	箱(印籠蓋)	40.0×10.0×10.5
1820	C	箱(印籠蓋)	88.1×11.0×13.8
1821	C	箱(印籠蓋)	34.5×26.5×30.5

備　考
外面黒塗／内部全面紙貼付／錠なし／掛子あり
黒塗／蓋部分上に金の三葉葵紋２つあり／内部全面紙貼付／蓋に紙の覆いあり／紙覆いに「御香奠」「御霊前」「金弐円」などとあり／内部に鉛筆書など５枚あり
黒塗／紐付(紐に破損)／内部全面に紙貼付／底板１枚抜け
朱塗／蓋上部付箋「佛［　　］(ヤブレ)」／蓋内側と箱底部に墨書「白川手許」／紐付、荷札「各流目録類」結びつけ／内部に朱色の紐あり／蓋破損
梅鶯の絵柄／内部漆塗／錠なし
箱上書「御条目」／底裏部墨書「安政三丙辰年三月廿二日御用部屋」／蝶番破損
左側扉ラベル「七」／内部は右側３段・左側２段分かれ、下は引出し／引出し内に異種の取手あり／天板・左側扉・引出し取手の金具部破損
蓋貼紙「正功様御日記」・ラベル「特二」／内部は３段に分かれる
蓋ラベル「五」／内部は３段に分かれる／扉破損／２段目奥にこよりあり
蓋貼紙「第弐拾六号」／内部は右側３段、左側２段に分かれる／右側上段の棚に紙片「町奉行之者」あり
蓋貼紙「正功様御旅行日記」・ラベル「特一」／内部は３段に分かれる
黒塗／内部紙貼付／蓋に紙の覆いあり／紙覆いに「・・・辞令書」「紙文庫」とあり
黒塗／内部全面紙貼付
蓋部分上に朱の三葉葵紋１つあり／外面漆破損甚大
朱塗／判物箱２点（1817・1818）収納／蝶番破損／鍵なし
箱上書「御判物」／紐付／紐通しの金具は阿部家家紋違鷹羽／資料番号1816の上部にある
箱上書「御判物」／紐付／紐通しの金具は阿部家家紋違鷹羽／資料番号1816の下部にある
箱上書「会津御家中御条目」／蓋板破損・紛失部分あり／箱側面に紐を通す金具跡あり
箱上書「御備立絵図壱巻」・貼紙「政務局」・「備立絵」／紐付(破損)／軸受の枕あり
蓋上部貼紙「第拾弐号(カ)」・「分限帳(カ)」／蓋側面貼紙「拾弐号」／紐付(破損)／蓋破損

I　他家資料

資料番号	マイクロ等請求番号	資　料　名	年　代
1689	163	(駿遠両度出陣功労につき武田勝頼感状写)	天正２年７月28日
1081	130／C	越中江先勢遣覚(豊臣秀吉朱印状)	(天正13年)７月17日
122－1	57／C	口宣案(藤原正快叙従五位下)	慶長18年２月１日
122－2	57／C	口宣案(藤原正快任修理亮)	慶長18年２月１日
888	113	倹約之条々	貞享４年

作成→受取	形態	数量	備　考
勝頼(花押)→辻弥兵衛殿	状	1	
秀吉(朱印)→加藤作内(光泰)とのへ	状	1	32.7×95.3
蔵人左少弁藤原(柳原)業光→藤原正快	状	1	宿紙／上卿大炊御門大納言(経頼)
蔵人左少弁藤原(柳原)業光→藤原正快	状	1	宿紙／上卿大炊御門大納言(経頼)
	巻	1	末尾に「今度倹約之儀御尋ニ付御先代被仰出候趣を以愚意ニ存寄候儀書付差上候、在江戸、西郷頼母」とあり／紐あり／37.4×1520.0

付　　表

付表１　阿部家歴代一覧

［作成　三上淳子］

1代　忠吉（ただよし）

①元亀１～寛永１.１.11／②正勝二男・江原定次娘／④従五位下／⑤正吉・忠正／⑥善七郎・左馬助／⑦青陽院殿泰岳柳安／⑧明武霊神／⑨徒頭（慶長４～）・大番頭（元和３～）／⑩大須賀五郎左衛門康高娘（蓮成院）

2代　忠秋（ただあき）

①慶長７.７.19～延宝３.５.３／②忠吉二男・大須賀康高娘／③寛永１／④従四位下　豊後守・侍従／⑥小平次／⑦透玄院殿隆誉天朗空煙／⑧貞徳霊神・鎮護神／⑨六人衆（寛永10.３.23～寛永11.３頃）・老中（寛永11.３頃～寛文６.３.29）／⑩稲葉左近蔵人道通女（離別）、戸田丹波守康長娘（光聚院）

3代　正能（まさよし）

①寛永４～貞享２.４.13／②阿部正澄長男・加藤清正娘／③寛文11.５.25／④従四位下　播磨守／⑤正令（まさよし）／⑥徳千代・市正・養拙／⑦建徳院殿超誉大安養拙／⑨老中（延宝１.12.13～延宝４.10.６）／⑩牧野内匠頭信成娘（長幸院）

4代　正武（まさたけ）

①慶安２.６.15～宝永１.９.17／②正能長男・牧野信成娘／③延宝５.７.４／④従四位下　美作守・豊後守・侍従／⑥寅之助・善七郎／⑦徳巌院殿性誉恵範皓山／⑨奏者番兼寺社奉行（延宝８.閏８.11～天和１.３.26）・老中（延宝9.３.26～宝永１.９.17）／⑩井伊掃部頭直澄養女井伊直時娘万（香雲院）

5代　正喬（まさたか）

①寛文12.４.28～寛延３.７.26／②正武長男・井伊直澄養女／③宝永１.10.29／④従四位下　出羽守・飛騨守・豊後守・侍従／⑥善七郎／⑦俊徳院殿桂誉鶴算徹真／⑨奏者番（元禄12.３.28～宝永１.10.29）・寺社奉行（元禄12.閏９.28～宝永１.10.29）・老中（宝永６.４.11～享保２.９.19）／⑩井伊掃部頭直興娘栄（仙寿院）

6代　正允（まさちか）

①享保７.３.11～安永９.11.24／②阿部正晴長男・遠山友春娘／③寛延１.７.29／④従四位下　能登守・飛騨守・豊後守・侍従／⑤正尹（まさただ）・正因（まさより）／⑥帯刀／⑦宝国院殿広蓮社観誉得解了脱／⑨奏者番（寛延２.７.23～宝暦９.12.７）・大坂城代（宝暦12.12.９～明和１.６.21）・京都所司代（明和１.６.21～６.８.18）・西丸老中・老中（明和６.８.18～安永９.11.24）／⑩正直娘釟（芳春院・未婚早世）、井伊掃部頭直定養女直惟娘和佐（柔桑院）

7代　正敏（まさとし）

①享保17.４.28～天明７.４.２／②正喬五男・草本氏三重／③安永９.12.27／④従四位下　能登守／⑥般之進・満之進・織部／⑦尚徳院殿勲誉功海輝山／⑨奏者番（天明１.４.21～４.５.11）・大坂城代（天明４.５.11～７.４.２）／⑩水野監物忠辰養女忠輝娘類（覚証院）

8代　正識（まさつね）

①明和１.11.28～享和３.２.５／②正敏男・河合氏千世／③天明７.５.26／④従五位下　美作守・豊後守／⑥虎次郎・兵庫／⑦浄観院殿広誉慈門慧嶽／⑩阿部伊勢守正倫娘定（未婚離縁）

9代　正由（まさより）

①明和１.11.22（表向き同６.11.22）～文化５.10.11（表向き同11.11）／②徳川（紀州）宗将十一男・村上氏／③寛政８.２.21／④従五位下　播磨守／⑤頼朴（よりなお）／⑥久米（粂）之丞／⑦厚徳院殿仁誉俊山巍然／⑨奏者番（寛政10.６.19～文化１.１.23）・寺社奉行（享和１.７.17～文化１.１.23）・大坂城代（文化１.１.23～文化３.10.12）・京都所司代（文化３.10.12～文化５.11.22）／⑩正識養女正敏娘多喜（泰寿院）

10代　正権（まさのり）

①文化３．１．９～文政６.10.６／②正由二男・帝釈氏以佐／③文化５.12.27／⑥鉄丸／⑦光覚院殿瑞誉常照智鑑／⑩阿部備中守正精娘純（未婚離縁）

11代　正篤（まさあつ）

①享和１．９．３～天保14.３.17／②松平（紀州）頼興男・豊高氏仲／③文政６.11.22／④従五位下　飛騨守／⑤頼矩／⑥房丸／⑦大巌院殿義誉徳風無疆／⑩島津薩摩守斉宣娘苗・聡（聡徳院）

12代　正瞭（まさあきら）

①文化10.８.20～天保９．４.10（表向き同５.12）／②松平（三河吉田）信明七男・榊原氏／③天保２.10.20／④従五位下　能登守／⑥益之助／⑦成徳院殿行誉自昭翠山／⑨奏者番（天保７．６.12～天保９．５.12）兼寺社奉行（天保８．７.20～天保９．５.12）／⑩松平（松井）周防守康任養女永井飛騨守直与娘彩（成寿院）

13代　正備（まさかた）

①文政６．６.20～明治７．４.11／②大村純昌五男・渡海氏／③天保９．６.28／④従五位下　能登守／⑤道純・正保（まさもち）／⑥弾正・養浩／⑦真厚院殿寛誉廓然養浩／⑨奏者番（天保14.９.24～弘化４．11.12）／⑩内藤駿河守頼寧娘教（浄興院）

14代　正定（まささだ）

①文政６.10.26～嘉永１．８.25／②阿部正蔵長男・南部信真娘／③嘉永１．５.10／⑥虎吉・杢三郎・誠一郎／⑦清龍院殿深誉秀岸智底／⑩花房大膳職恕娘鏞（玉仙院）

15代　正耆（まさひさ）

①文政12.10.24～文久３.12.20（表向き元治１．３．２）／②阿部（福山）正粹長男・平野氏／③嘉永１．11.30／④従四位下　播磨守・侍従／⑥義三郎／⑦浄厳院殿徳誉賢譲良節／⑨奏者番（嘉永４．６.13～文久2.閏8.23）／⑩真田豊後守幸栄娘秀（未婚早世）、阿部伊予守正寧娘豊（正耆没後離縁）

16代　正外（まさとう）

①文政11.４.20～明治20.４.20／②阿部正蔵二男・家女／③元治１．３．４／④従四位下　越前守・豊後守・侍従／⑥久馬作・長吉郎・兵庫・葆真／⑦広観院殿得誉知道葆真／⑨神奈川奉行（文久１.11.11～文久２.閏８．５）・外国奉行（文久２.閏８．５～文久３．４.23）・江戸町奉行（文久３．４.23～元治１．３．４）・奏者番（元治１．６.22～24）・寺社奉行（元治１．６.22～元治１．６.24）・老中（元治１．６.24～慶応１.10.１）／⑩長谷川能登守正直娘千代・良（離縁）

17代　正静（まさきよ・まさしづ）

①嘉永2.11.28～明治11.1.23／②正外長男・家女／③慶応2.6.19／④従五位下　美作守／⑤潔（きよし）／⑥録太郎・長吉郎／⑦大清院殿高誉智峯正静／⑩須田津次郎娘通（心月院）、正備娘幸

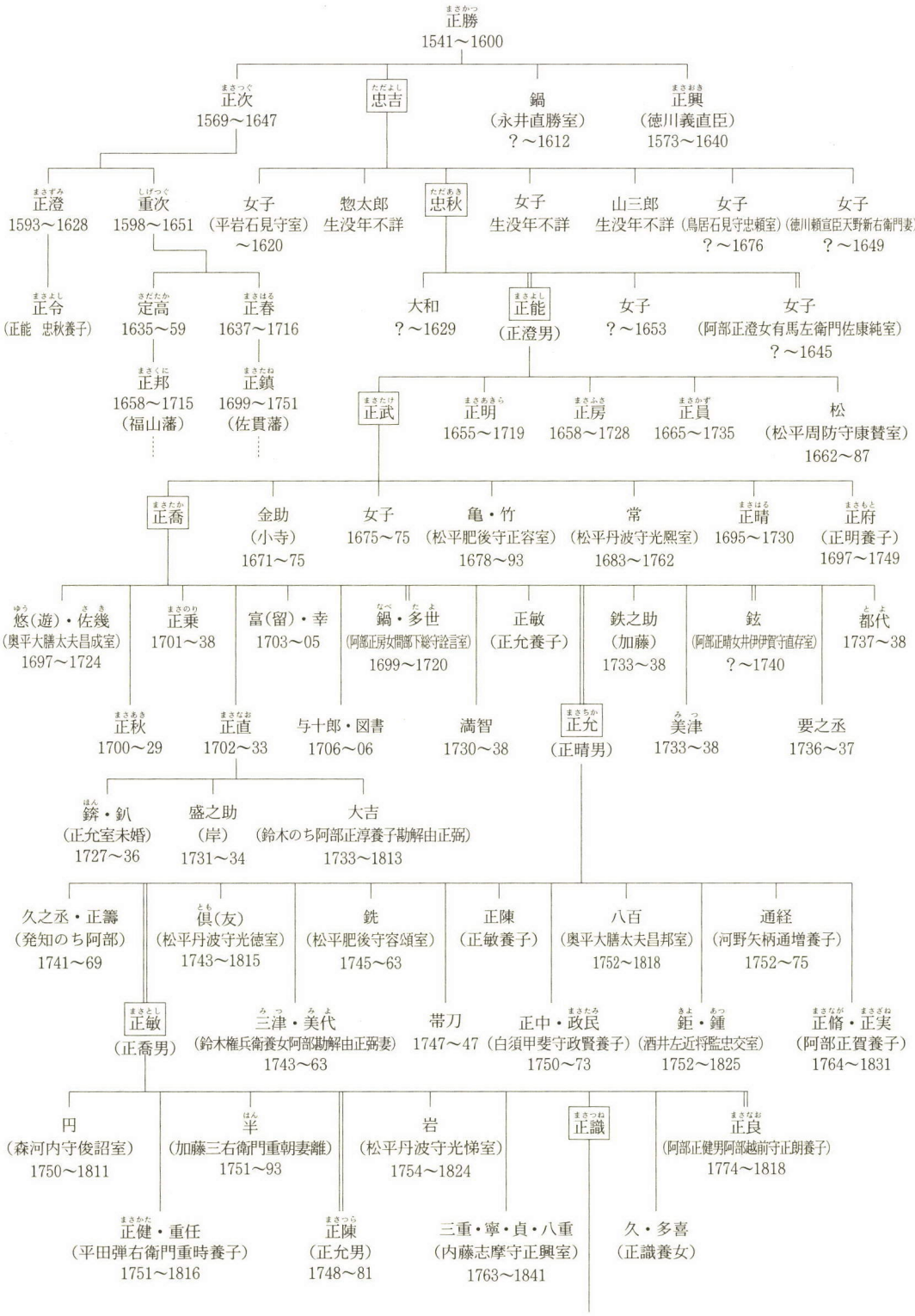
18代　正功（まさこと）

①万延1.1.23～大正14.9.11／②正耆二男・宮地氏八重（弦尾）／③明治1.12.15／④従五位下・従二位子爵（近代）／⑥光之助（介）・基之助（介）／⑦昭徳院殿円誉輝堂正功／⑨棚倉藩知事／⑩徳大寺公純娘照子

①生没年月日／②実父母／③家督相続年月日／④官位／⑤他の実名／⑥幼名・隠居名／⑦法号／⑧神号／⑨役職／⑩正室

付表 2　阿部家系図（═══ は養子を示す）

［作成　三上淳子］



- 多賀 1786〜86
- 慶・豊 1786〜88
- 鉄 1788〜89
- 安 1789〜91
- 幸（こう） （正由養女）
- 多喜（たき） （正敏女・正由室） 1768〜1843
- **正由（まさよし）** （徳川宗将男）
  - 幸（ゆき）・潔（きよ）・明（はる） （正識女亀井大隈守慈尚室） 1792〜1864
  - 酉次郎（ゆうじろう） 1795〜97
  - 久 1797〜98
  - 立 1797〜1800
  - 美（よし） 1801〜02
  - 澤（わき） 1803〜04
  - **正権（まさのり）**
    - **正篤（まさあつ）** （松平修理大夫頼興男）
      - **正瞭（まさあきら）** （松平伊豆守信明男）
        - 善七郎 1834〜35
        - 男 1835〜35
        - 鋼（こう） 1836〜37
        - 禎之進 1837〜43
        - **正備（まさかた）** （大村豊前守純昌男）
          - **正定（まささだ）** （阿部遠江守正蔵男）
            - 昌（まさ） 1845〜45
            - 千百（ちお） （阿部正順のち政吉室） 1846〜71
            - 憲（かず） 1848〜50
            - **正耆（まさひさ）** （阿部正粋男）
              - 男 1857〜57
              - 正功 （正静養子）
              - 淑之助（よしのすけ） 1863〜63
              - **正外（まさとう）** （阿部正蔵男）
                - **正静（まさきよ）**
                - 勝（かつ） （正備養女）
                - 義（ただす） 1870〜71
                - 礼（れい） （岡井道延養女） 1871〜？
                - 好（ゆたか） 1872〜75
                - 三郎 （阿部政吉養子） 1874〜？
                - **正功（まさこと）** （正耆男）
                - 恵（けい）・喜久（きく） 1866〜87
                - 信一郎（しんいちろう） 1868〜71
                - 長（ひさし） （西村のち宮地） 1874〜？
                - 令子（のりこ） 1886〜1921
                - 保子（やすこ） 1892〜92
                - 要子（ようこ） （正寛夫人） 1894〜1977
                - 正淳（まさただ） 1896〜1905
                - 直子（なおこ）・春子 （阿部正直夫人） 1897〜1982
                - 波子（なみこ） 1899〜99
                - 正寛（まさひろ） （島津忠亮男） 1887〜1928
                - 正一（まさかず） 1914〜32
                - 正友（まさとも） 1916〜1988
                - 竹子（たけこ） （相馬澄胤夫人） 1922〜
          - 道（みち）・貞子（さだこ） （松平頼英夫人離鈴木五右衛門妻離） 1848〜1905
          - 図書 1849〜49
          - 三郎太郎 1851〜54
          - 丕（もと）・布美（ふみ）・文（ふみ） （阿部正迪室離小菅美義妻） 1854〜95
          - 右（たか） 1857〜66
          - 潜蔵（せんぞう） 1858〜60
          - 幸（とみ） （正静夫人京極高典夫人離大久保忠礼夫人） 1855〜1918
          - 多（ます）・千代 （土方雄志夫人離） 1860〜1940
          - 勝（かつ）・賀津（かつ）・賀代（かよ） （正功女飯島義一妻離大塚保太郎妻） 1861〜96
          - 脩（とり） 1864〜71
          - 田鶴雄（たずお） 1867〜92
          - 与（くみ） （山田勝次郎妻） 1865〜？
          - 杰（ひで） （内藤政養夫人） 1862〜1932
          - 資満（すけまろ） 1872〜1920

付表３　阿部家領地国郡別村数・石高

［作成　藤實久美子］

国名	郡名	寛文４年（1664）４月５日	元禄７年（1694）５月25日	元禄12年（1699）２月５日
武蔵国	埼玉郡	35ヶ村　3万4113石9斗8升9合	43ヶ村　3万8248石4斗7升3合	56ヶ村　5万7894石5斗8升7合3勺
	大里郡	31ヶ村　1万6276石6斗7升9合	31ヶ村　1万6276石6斗7升9合	6ヶ村　7169石3斗6升4合
	秩父郡	27ヶ村　1万1685石4斗5升5合	27ヶ村　1万1685石4斗5升5合	27ヶ村　1万1685石4斗5升5合
	足立郡	13ヶ村　8672石6斗8升9合	5ヶ村　4538石2斗　5合	5ヶ村　3882石5斗　1合
	幡羅郡	2ヶ村　1271石1斗2升7合	2ヶ村　1271石1斗2升7合	
	男衾郡	9ヶ村　1074石6斗5升5合	9ヶ村　1074石6斗5升5合	7ヶ村　817石4斗3升5合
相模国	御浦郡	8ヶ村　3105石4斗　6合	8ヶ村　3105石4斗　6合	
上野国	新田郡	7ヶ村　3800石	7ヶ村　3800石	
摂津国	河辺郡		51ヶ村　1万 406石　4升	51ヶ村　1万 406石　4升
	豊嶋郡		22ヶ村　4742石9斗1升7合9勺	22ヶ村　4742石9斗1升7合9勺
	嶋下郡		9ヶ村　3583石8斗9升4合	9ヶ村　3583石8斗9升4合
	武庫郡		3ヶ村　1267石1斗4升8合1勺	3ヶ村　1267石1斗4升8合1勺
陸奥国	白川郡			
	石川郡			
	岩瀬郡			
	伊達郡			
	信夫郡			
出羽国	村山郡			
遠江国	豊田郡			
	山名郡			
	麁玉郡			
	引佐郡			
播磨国	加東郡			
信濃国	伊那郡			
磐城国	菊多郡			
		都合　8万石	都合　10万石	都合　10万石

元文２年（1737）10月27日	天保10年（1839）３月５日	安政２年（1855）３月５日	明治元年（1868）12月
56ヶ村　5万8117石3斗6升8勺7才			
6ヶ村　8240石3斗6升2合			
22ヶ村　9907石4斗1升5合3勺			
5ヶ村　4054石2斗3升1合			
1ヶ村　109石5斗1升4合			
36ヶ村　1万1105石5斗4升5合			
22ヶ村　4813石9斗7升9合9勺			
10ヶ村　3824石1升6合6勺3才			
3ヶ村　1283石2斗7升2合1勺			
	44ヶ村　3万1212石5斗2升	44ヶ村　3万1212石5斗2升	86ヶ村　3万8777石　8升5合
	15ヶ村　7824石　7升1合	15ヶ村　7824石　7升1合	
	33ヶ村　2万3295石1斗5升8合	33ヶ村　2万3295石1斗5升8合	
	15ヶ村　1万7679石1斗　7合	15ヶ村　1万7679石1斗　7合	
	2ヶ村　2841石5斗1升8合	2ヶ村　2841石5斗1升8合	
	23ヶ村　2万6953石6斗6升5合7勺	12ヶ村　8549石7斗5升8合	
		18ヶ村　5059石8斗　6合	
		12ヶ村　3078石2斗2升3合	
		3ヶ村　293石1斗8升	
		4ヶ村　2150石4斗9升6合	
		18ヶ村　5847石3斗5升4合	
		45ヶ村　1万4039石8斗　2才	
			30ヶ村　2万1222石9斗1升5合
都合　10万石	都合　10万石	都合　10万石	都合　6万石

作表は本資料群中の領知目録および「公余附録」巻１による。

陸奥国棚倉藩主・華族 阿部家資料
学習院大学史料館収蔵資料目録　第17号

平成13年3月31日 発行

発行者　学習院大学史料館
代表者　鈴　木　恒　夫

〒171-8588　東京都豊島区目白1-5-1
（電話）03－3986－0221　〈内線〉6569

『陸奥国棚倉藩主・華族　阿部家資料』正誤表

頁数	資料番号	誤項目	誤	正
27	3-2	備考	87.0×172.0	44.4×172.0
43	144-2-2	備考	こよりあり	[削除]
43	145-1	形態	状	巻
67	1201	備考	22～23丁下敷挟込	[削除]
73	1075-3～5	形態	鋪	折本
73	1077	形態	鋪・袋	鋪・箱
73	1077	備考		もとは1820の箱に入っていたものか
77	1760	備考	付箋「七番長持物」	貼紙「七番長持物」
81	749	数量	1	1・1
103	981-1	形態	堅	竪
105	1152-1～2	作成→受取	(鳥有生著)・成寿院写	(烏有生著)・成寿院写
127	1653-1	備考		1653-1～10まで一括箱1段目入り
127	1653-2	備考	表紙題箋「外桜田永田町絵図全」	[削除]
129	1653-12	備考	表紙題箋「芝高輪辺絵図」	表紙なし
132	1055-1～2	マイクロ番号	129	39
132	1055-3～4	マイクロ番号	129	40
132	1055-5	マイクロ番号	129	41
132	1055-6	マイクロ番号	129	42
132	1055-7～8	マイクロ番号	129	43
132	1055-9～10	マイクロ番号	129	44
132	1055-11～12	マイクロ番号	129	45
132	1055-13～14	マイクロ番号	129	46
132	1055-15～16	マイクロ番号	129	47
132	1055-17～18	マイクロ番号	129	48
132	1055-19～21	マイクロ番号	129	49
152	1544-1～4	マイクロ番号	155	[削除]
152	909-4	資料名	(恭寿院から阿部正権への直書写)	(泰寿院から阿部正権への直書写)
156	273	資料名	(明治29年12月史談会月番幹事割)	(明治29年1・2・4・5月史談会月番幹事割)
158	272-7	資料名	官位復旧之義ニ付再願	官位復旧之儀ニ付再願
164	1041	資料名	明治元戊辰年ヨリ同四年辛未マテ(温公録…	明治元戊辰年ヨリ同四辛未年マテ(温古録…
164	928-1	マイクロ番号	16	17
168	1110-5	マイクロ番号	133	134
183	226-9	備考	226-1の248～249丁挟込／226-7の中に折込	226-1の244～245丁挟込／226-8の中に折込
185	579-2	備考	580-1の160～161丁挟込	579-1の160～161丁挟込
198	329-37	マイクロ番号	68	169

頁数	資料番号	誤項目	誤	正
199	329-35～36	備考	329-34・35ピン一括	329-35・36ピン一括
210	494-1	資料名	(明治卅七年1月…	(明治卅七年一月…
210	496-6	資料名	(大正四年七月廿四日納宅地組…	(大正4年7月24日納宅地租…
218	477-6	資料名	(明治39年度第34期分市税…	(明治39年度第3・4期分市税…
225	481-6	備考	481-6の綴紐部分に挟込	481-5の綴紐部分に挟込
226	1770	年代		(明治30年)10月29日
234	411	マイクロ番号	C	70
247	743	数量	2	1
261	656-2	備考	656-1の22～23丁挿入	656-1の22～23丁挟込
265	1322	形態	堅	状
269	1387-3	備考		1387-1の16丁内挿入／
273	1576-1	備考	「…関四郎兵衛借覧之上写置」	「…関四郎兵衛ゟ借覧之上写置」
307	1396	作成→受取	→[東京麻布霞町番地]阿部子爵(正功)殿	→[東京麻布霞町一番地]阿部子爵(正功)殿
311	327	作成→受取	[名古屋外御器所村龍興寺池東畔]…	[名古屋市外御器所村龍興池東畔]…
310	1454-1	資料名	(書状、堀尾太郎・宮沢甚太郎紹介の旨)	(書状、堀尾太郎・宮沢甚三郎紹介の旨)
312	1479	資料名	(…飯田駅から・米川村の旅程報告)	(…飯田駅から米川村の旅程報告)
314	1573-1	マイクロ番号	155	156
324	1598	資料名	…雑誌・新聞・官報・諸書などからの記事抄録)	…雑誌・新聞・官報・諸書などからの記事抄録)
326	1611-9	資料名	(…佐藤伝造氏演述記録)	(…佐藤伝蔵氏演述記録)
330	1675	マイクロ番号	160	C
346	1677-184	資料名	＊1677-184～207	＊1677-184～206
347	1677-184	備考		／白紙1枚あり
362	1681	マイクロ番号	163	[削除]
364	1684	マイクロ番号	163	C
369	1585	形態	竪(印刷)	竪
370	1443-2	マイクロ番号	153	169
371	1733-1	備考	3枚の内1枚は白紙	3枚の内2枚は白紙
373	1741-1	数量	1	1・1
374	1726-2～3	資料名	(…海瀟襲来惨状…)	(…海瀟襲来惨状…)
375	1726-1	形態	一括包・状・袋	一括包・状(印刷)・袋
375	1726-2～3	形態	状・袋	状(印刷)・袋
376	1446	資料名	(…東京大学・学習院3ヶ所へ配分…)	(…東京文理科大学・学習院3ヶ所へ配分…)
378	1642-1	資料名	(…棚倉藩戦士者)	(…棚倉藩戦死者)
378	1643-1～2	資料名	(…棚倉藩戦士者鎮魂碑)	(…棚倉藩戦死者鎮魂碑)

学習院大学史料館収蔵資料目録　第17号

陸奥国棚倉藩主・華族 阿部家資料

学習院大学史料館